THE TAIWAN JIHO

臺灣時報

八月號

昭和二年八月二十五日發行（每月一回十五日

EAST ASIA ECONOMIC INVESTIGATION BUREAU
登錄濟
南滿洲鐵道株式會社東亞經濟調查局
SEP 14 1927
SOUTH MANCHURIA RAILWAY CO., LIMITED.

臺灣時報發行所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

臺灣時報發行所役員

評議員長　後藤文夫

評議員（以下イロハ順）

石坂莊作　大越大藏
石黑英彦　小野時雄
伊藤兼吉　簡朗山
西川利藤太　片山三郎
醫學博士 堀内次雄　吉岡荒造
宮田松彦　楊吉臣
宮地近思　醫學博士 高木友枝
陳鴻鳴　高橋親吉
陳中和　田村武七
林熊徵　田村藤四郎
林献堂　田丸直之
林烈堂　高山仰
林鶴壽　武田英一
李延禧　赤司初太郎
太田吾一　津久井誠一郎
大竹勝一郎　鼓包美
農學博士 大島金太郎　津田毅一

素木栗造　近江時五郎
坂本素魯哉　永山止米郎
佐々木紀綱　中田秀造
楢瀨軍之佐　宇賀四郎
皿谷廣次　草鹿砥祐吉
蔡蓮舫　醫學博士 倉岡彦助
齋藤透　久米孝藏
佐藤得太郎　松岡富雄
木村久太郎　牧山清砂
木村泰治　松本晃吉
許廷光　増永吉次郎
木下信　藤野幹
三好德三郎　小松吉久
三浦碌郎　吳昌才
白勢黎吉　辜顯榮
古賀三千人　徐杰夫
遠藤所六　黃欣
平山寅次郎　吳汝祥
久宗董　黃春帆
本山文平　後藤和佐二
鈴木重臣　枝德二
後宮信太郎　鄭神寶
相原祐彌　赤石定藏

編纂委員

猪股松之助　田端幸三郎
服部武彦　中瀨拙夫
生駒高常　原口竹次郎

大澤清高　中田榮次郎
大竹勇　内田隆
和田一次　深川繁治
和田博　淺野安吉
鎌田正威　佐藤續
横光吉規　水越幸一

常務員

編輯係　秦滿　眞倉民治
鷹取田一郎　安藤泰夫
泉芳德　鈴木重男
葉山石雲　伊藤憐之助

昭和二年八月廿三日印刷（毎月一回）
昭和二年八月廿五日發行（十五日發行）
（定價一部郵稅共金三十五錢）
（廣告料一頁金二十圓）

臺灣總督府內
發行所　臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣二〇七〇番
電話總督府內第八九番

臺北市東門町一五八番地
編輯兼發行人　伊藤憐之助

臺北市榮町二丁目十二番地
印刷者　加藤盟吉

臺北市京町二丁目四十三番地
印刷所　小塚本店印刷工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

株式會社

臺灣銀行

（臺北）

支店出張所

臺灣

基隆　新竹　臺中　嘉義　臺南

高雄　宜蘭　淡水　桃園　南投

屏東　臺東　花蓮港　澎湖島

支店出張所

支那

上海　漢口　福州　廈門

汕頭　香港　廣東　新嘉坡

其他

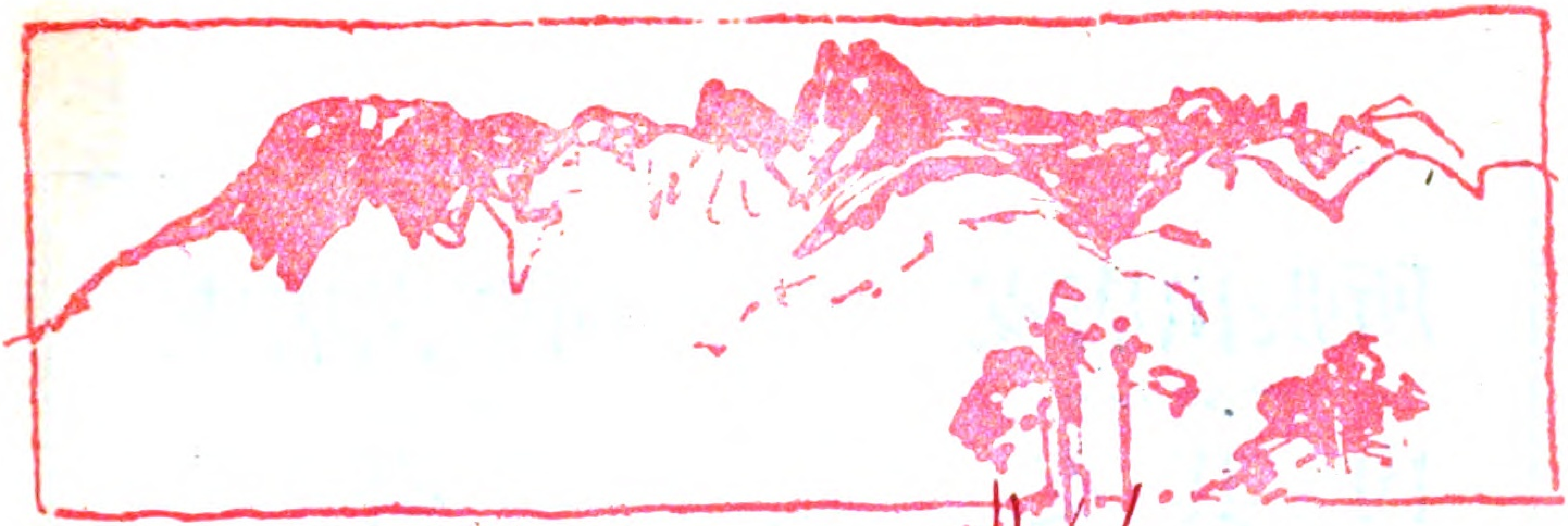
スラバヤ　スマラン　バタビヤ　孟買

カルカツタ　倫敦　紐育

內地

神戸　大阪　橫濱　東京

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



H61

臺灣時報 昭和二年八月號 目次

口繪 ▽全島中等學校庭球大會

時言

税務會議に於ける長官訓示……一

税務會議に於ける財務局長訓示……二

臺灣銀行の減資其他に就て……中田榮次郎……七

時報

内臺連絡海軍飛行　法院條例の改正　全島税務課長會議　肥料取締法公布と趣旨徹底　上山總督歸任　臺灣民衆黨結成　臺灣銀行調査會の整理案　臺灣民報島内發行許可　樟腦値下斷行　知事局長異動

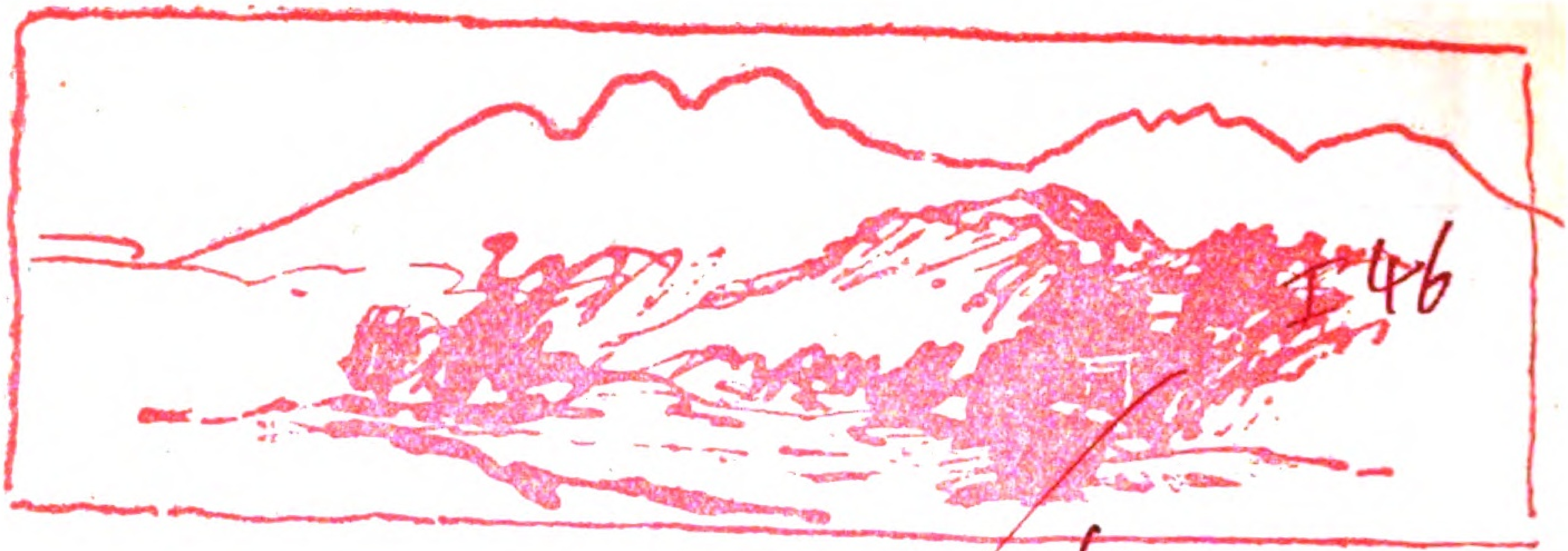
寄書

支那の優生學的考察……恒春園主人……一四

講演

熱帶果物に就て……小松茂……三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



說苑

綠風抄……石川欽一郎……三

調査研究

臺灣に於ける產業資金の需要……財務局金融課……二六
和蘭の植民政策……山岸裕一譯……六四
內地人臺灣渡航者……松浦儀一……七一

島情

臺灣貿易統計……總督府稅關……八二
臺灣金融統計……財務局金融課……八八
文苑　漢詩　俳句……九三
臺灣日誌　人事消息　任命……九六

支那及南洋情報……總督官房調査課……一一七
支那　比律賓　佛領印度支那　暹羅　英領馬來　蘭領東印度　英領印度　其他
支那及南洋其他海外重要記事索引……總督官房調査課……一一八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三井物產株式會社

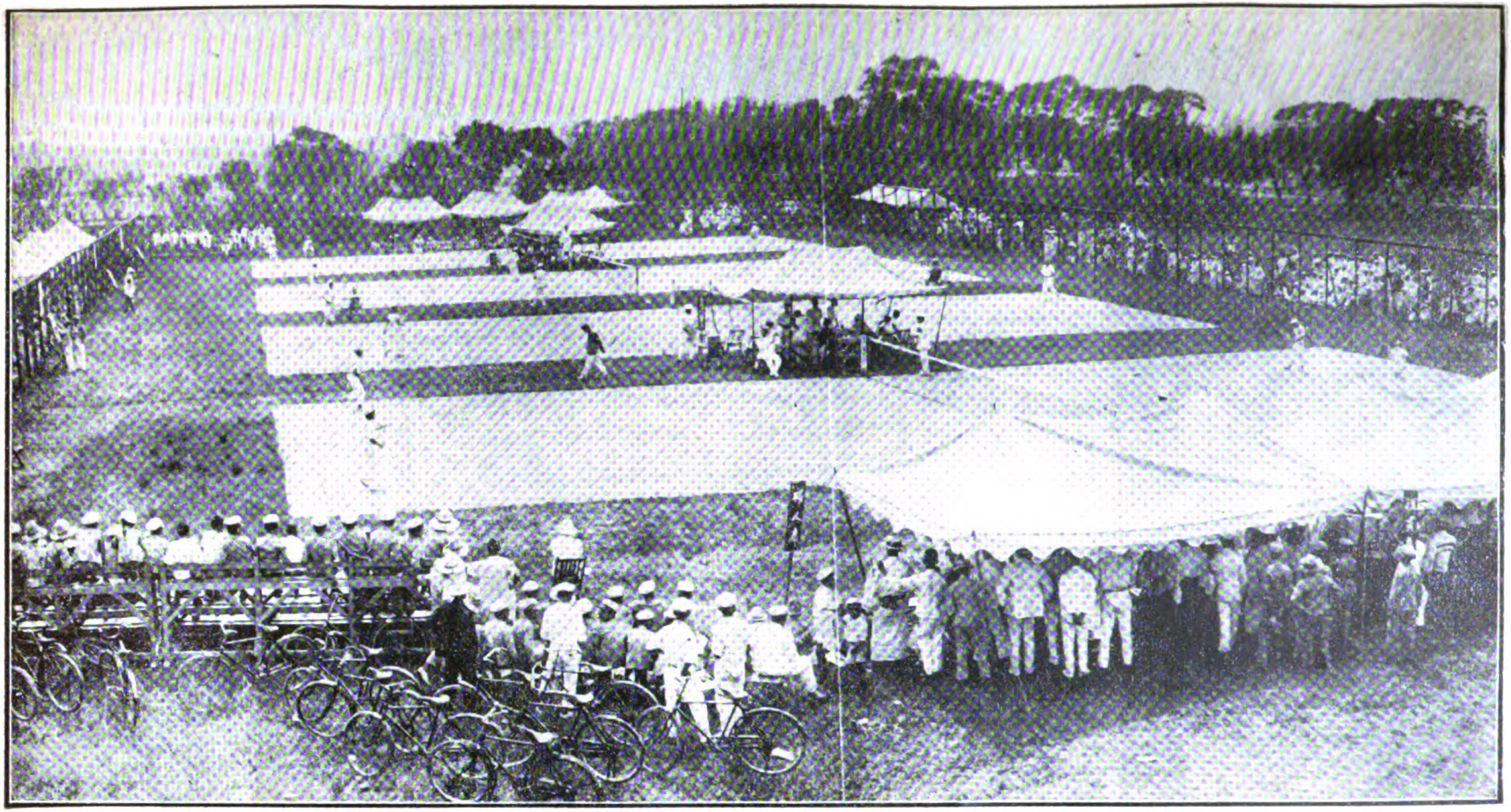
臺北支店
臺南支店

出張所、出張員

廈門　福州
基隆　高雄
臺中

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



全島中等學校庭球爭覇戰
（七月三十日より）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

八月號

税務會議に於ける長官訓示

税務に關する會議を開きまして各般の事項に付て協議を重ねる爲炎暑の際御集合を願ひ御勞苦を深く多とする次第であります會議の初めに當りまして一言申述べて御參考に供したいと思ひます。

內地に於きましては大正十五年度に第一次税制整理を行はれ本年度に於て第二次の税制整理を行はれました譯であります。臺灣に於ても之に順應して昨年度に於て一二の税率を引上げ又は税の廢止を致しました又本年度に於きましては所得税令と地租規則を改正し登錄税、砂糖消費税及印紙税の改正法が夫々臺灣にも施行せられましたのでありまして相當の改革を見ると云ふことになつたのであります然し乍ら實際臺灣として税制の形を同じくして居るものは少なくありませんけれどもその根本の仕組に付て異なるものが餘程あります內地の税制整理を其の儘臺灣に其の趣旨通りに實施すると云ふ譯には參り兼ねるのであります形の上に於ては同じきも內容實體に於て各々異るものがあるのであります此の點は申上るまでもなく諸君の已に御承知の事であると思ひます此の兩年度に於ける內地の税制整理の大體の眼目は第一に負擔の均衡を圖り第二現下の社會狀態並經濟

産業の狀況に順應して社會政策的效果を與ぐると同時に産業の振興と事業の基礎を鞏固にすること第三課稅實行上の利便を圖ることが綱目となつて居るのであります稅制整理と云ふことに付ては多年行はれて居つた議論でありますがさて之が實現に當りましては諸君に於てよく此の稅制整理の根本精神を翫味して其の趣旨に則りて適切なる稅務行政の效果を擧げられむことを望む次第であります申す迄もなく凡租稅の立法と云ふことは固より大切の事でありまして公正にして時代に適應せる稅法が制定せられなければならないことは勿論のことであります併ながら如何によく稅法が作られ又改正せられましても之を實際に運用する稅務行政が其の當を得ざるときは租稅制度の目的を達することが出來ないのであります故に諸君は常に此の點に留意せられて稅法の趣旨とする所のものが完全に實施せらるゝ樣御努力あらんことを希望致して置くのであります。

今回の改正稅法は實施後未だ日が淺いのでありまして之を一般に周知させ一般民衆に了解をさすと云ふことに付て夫々方策を講じて居らるゝことゝ存じます申す迄もなく租稅に付一般民衆がよく理解して居ると云ふことは官民共に便利であり又稅務行政の圓滿なる施行を期する所以でありますから特にかゝる機會に於て適切なる方法により稅のことに理解を持たすと云ふことに一層の努力を拂はれんことを希望する次第であります。

以上氣の付きました一二の點を申上げたに過ぎません委しいことは主務局長から色々御相談することゝ存じます充分に考究討議せられて稅の運用を全からしむる樣に御骨折を希望する次第であります。

（昭和二年七月五日）

稅務會議に於ける財務局長訓示

稅制整理の大綱に關して只今長官より御話がありましたが私は玆に本年度に於て整理しました各稅に付之が改正の主要なる點に付て其の趣旨の概要を申述べて諸君の御參考に供し度いと思ひます。

先づ所得稅令改正に就ての第一は法人の留保所得と配當所得との區分を廢し所得の總額に付て百分の五の比例稅を課することに改めたのであります舊令に於て法人の留保所得に對して百分の五乃至二十と云ふ累進的課稅を爲して居りました所以は配

當に對する個人所得の綜合課税を免れんが爲にする不當の留保を防止せんとする趣旨に出てたのであります併ながら法人の種類又は留保の要否を問はず如何なる法人に對しても一律に斯る取扱を爲すのでありますから所謂純然たる事業會社であつて而も必要なる留保と認むべきものに對しても等しく重税を課する結果となりまして之が爲に留保を少なからしむる傾向を生じ法人の基礎を薄弱ならしめ産業の堅實なる發達を阻礙するとの批難がありますし又實際上に於きましても綜合課税を免かるゝ意思なしと認めらるゝ留保に對して高率の課税を受くるものがある狀況でありまするが故に今回留保所得及配當所得の區別を廢しそのものを合せて普通所得として課税することに改めたのであります第二は第一種所得税と第二種所得税との重複を避くる爲に第一種所得税中から其の事業年度に於て納付したる第二種所得税を控除することに改正したのであります元來第二種所得税は我國現時の納税觀念の狀態では個人所得に綜合課税すること困難なるが爲に之を源泉課税するの外なきものとして設けられたものであります故に法人の如く普通總ての所得を計上したるものを計算して第一種所得税を課するものであり而も第二種所得税を納めたる是等の利子を其の所得中に包含して居ることの明白なるものに對しても尚且第一種所得税を課すると云ふことは明かに重複課税の弊に陷るのであります由て之を避くる爲に第一種所得税から第二種所得税を控除することに改正したのであります第三は法人の所得計算方に關する改正であります從來清算所得計算に付殘餘財産價額より積立金をも控除したのでありますが今回之を改めて資本金のみを控除し積立金を控除しないことにしました之は積立金を減少して配當するときは其の株主又は社員に對し第三種所得税として綜合課税するのでありますから事實上配當と同一なる殘餘財産の分配中積立金に相當する分に付ても清算所得として課税せなければ權衡を失することゝなるからであります第四は同族會社の課税方に關する改正であります舊法に於ては留保金を配當と看做し個人所得に綜合することになつて居りましたけれども其の結果が後年度の所得算定に影響を及ぼし計算が徒に複雜となり殆ど實行が不可能の場合を生ずるのであります故に個人所得に綜合せられたる場合の税額を斟酌して適當なる税率を定め法人に對して課税することに改正して以て此の規定を容易に活用し得ることを圖りました又同族會社の脱税手段は多種多樣でありまして從來の如く單に會社と株主若は社員との行爲に付其の計算を否認するのみにては充分に取締の目的を逐することが困難であります因て一歩を進めて會社の行爲及計算にして其の所得又は納税者の所得に

付稅逋脫の目的ありと認めらるゝときは其の行爲又は計算の如何に拘らず政府の認むる所に依り會社又は緣故者の所得を計算し得ることに改めたのであります第五、第三種所得計算に付從來前年の實績によるもの又は收入豫算年額によるもの等區々に分れて居りましたが之を統一する趣旨で原則として前年の實績に依ることに改めました第六は所得金額一萬八千圓以下なるものゝ勤勞所得に對する控除は從來比例漸減の方法を採つて居たのでありますが一層負擔の權衡を圖る爲遞次漸減の方法に改め又扶養家族一人に對する控除金額は所得二千圓以下なるときと三千圓以下なるときに付差別を設けて居つたのでありますが却て負擔の均衡を得ざる場合がありまして適當でないのみならず實際上控除額の等差を設くる程の必要がないものと認められますから三千圓以下の所得に付一律に一人に付百圓を控除することに改正したのであります。

次は地租規則の改正に付てゞあります內地に於きましては從來の課稅標準である地價制度を改めて昭和三年度より賃貸價格に依ることになつたのであります內地の地價は明治初年に定めたものを其の儘今日迄改訂せず爾來數十年の間に土地の收益狀態に著しき變動を來し地租の負擔が頗る均衡を失する結果に陷つて居つたのであります併ながら臺灣の現行等則は建物敷地は大正四年に之を創設し田、畑、養魚池は大正八年に修正せられて居るのでありますが故に今回は從來の不備と認めた一二の點に付改正したるに過ぎざる次第であります今此の改正の主要なるものを擧げて見ますれば第一舊規則に依れば地租の賦課、修正若は免除に付ては總て事實發生の翌年より處理することゝなつて居るのであります故に其の年相當收益あるに拘らず課稅せず又は其の年既に何等收益なきに至りたるに拘らず尙課稅するが如き果結を來しますから課稅を實際に一致せしむる爲事實發生の次の納期より之を處理することに改めたのであります第二は從來災害地の地租に付ては之が免除の特例を認めて居らなかつたのでありますが災害又は天候不順に因り生產皆無に歸したる土地の地租は其の年分に限り之を免除する事としました臺灣は二期作等の關係もあり收穫皆無の實例少なかつたのでありますが大暴風又は大旱魃の如き稍大區域に亘る被害發生する事なきを保し難いのであります故に斯る場合に於きまして地租免除の特例を設けたのであります次は登錄稅の改正に付てゞあります其の第一の不動產に對する課稅稍過重なりと認められて居りましたので其の所有權の移轉、質權抵當權の取得等の各場合に付相當稅率の輕減をしたのであります、第二は法人の合併は我國現今の經濟狀態に於ては之を獎勵

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

すべきものと認められて居りますから此の場合の稅率を輕減したのであります第三は時勢の變遷に伴ひ負擔の均衡を圖る爲商業登記其の他一部の定額稅に付相當稅率の引上を行ふたのであります。

次は砂糖消費稅の改正に付てゞあります元來砂糖は世界的商品たる關係上消費稅は關稅と相俟つて夫々適當に改正せられたのでありますが茲には消費稅改正の主要なる點に付て申述べて置きます改正の第一は第一種糖の稅率を引下げたのであります言ふ迄もなく此の種の砂糖は主として中産階級以下の需用品でありますが故に庶民階級負擔輕減の見地より減稅したのでありますが又一面本島の赤糖製造業者の如きも其の經營上に相當好影響を蒙るものと考へられます第二は舊法第二種及第三種を併せて同一種別として之に舊法第二種の稅率五圓を適用し舊法第四種色相二十一號未滿を二十二號未滿に擴め且つ此の稅率を引下げ七圓三十五錢とし二十二號以上の分蜜双目を八圓三十五錢に引下げたのであります舊法制定當時に於きましては我製糖技術が幼稚でありまして自然に製造せらるゝ所謂粗糖の色相は舊法第二種程度のものでありました然るに其の後製糖技術が著しく進歩しましてそれ以上のものが製造せらるゝようになりましたのでありますが稅率の關係上折角自然に出來上りました上種別の砂糖に故らに著色して低率の課稅を受けて居ると云ふ樣な不自然にして不經濟の弊害に陷つて居つたのであります故に此の點を改善して砂糖製造工業の自然の發達を助長すると共に又消費者の利益をも增進せしめんことを期した次第であります然るに近時一部の糖業者には是等不自然著色糖の需要せるを好餌として尙依然舊態を改めざる向あるを認めらるゝのでありますが斯くては斯業の發達を阻礙するばかりでなく消費稅改正の趣旨を沒却せらるゝ次第でありますから是等の矯正方に就ては愼重の考慮を望む次第であります。

次に印紙稅に付てゞあります改正の第一は從來の比例稅と定額稅とを併用課稅せられた制度を階級定額稅に改めたのであります比例稅は納稅の都度納稅者自ら稅額を算出しなければならぬ手數がありますし自然の間に脫稅又は印紙貼用高等に間違などが起つて官民共に手數を要することが多く又之が爲却て負擔の公平を期することが出來難い狀態であります故に從來比例稅を課して居りました主なる證書卽ち不動産移轉に關する證書及消費貸借に關する證書等に付階級定額稅を課することゝしたのであります第二は賣買仕切書、物品又は有價證券の賣買に關する證書及送狀は商人間に於て頻繁に作成せらるゝものたるのみな

らず其の態様も亦複雜なる商習慣により多種多様でありまして果して納税すべきものであるか或は課税すべきものであるか等に付て官民共其の判定に困難を感ずる場合がありまず從て兩者の間に紛爭少なからざる狀態でありますから此の際一切免税することゝなつたのであります第三は産業組合及貯蓄銀行の發する貯金通帳、質札、質物通帳、勤務通帳等に對しては之を免税することにしたのであります卽ち是等の通帳證書等は零細なる資金に關するものが多いのでありますが故に庶民階級の負擔輕減上之を免税することが宜しいと認めたからであります第四は通帳、判取帳に對し其の税率を引上げたのであります是等の帳簿は何れも多數の取引事實を證明するものでありますから相當租税力ありと認めらるゝからであります。

本年度に於ける各種税法改正の要項は以上述べました通りでありますどうか諸君に於ては税法改正の趣旨精神を良く御諒解になつて税務行政實施上遺憾なきを期せられんことを望みます。

次に特に諸君の御考慮を願つて置きたいことは第一種所得税の調査方に關することであります從來法人所得税に付ては會計検査院の審理を受くるものが尠からずあるのであります由來法人所得の調査決定は極めて複雜煩瑣であつて其の眞相を捕捉することは頗る困難なことであると云ふ事情は充分承知してをるのでありますが本税は最も擔税力もあり亦税額も多額のものが多い重要なる租税でありますから特に本税に付ては將來一層力を注ぎ周到なる調査を遂げられまして一旦課税したる後過誤訂正等のことが起らない様御注意あらむことを希望します。

終に納税施設の指導奬勵と云ふこと又官規の振肅と云ふこと等に付ては是迄會議の都度諸君の御注意を喚起せられてをる事項でありますから玆に重ねて申述べることは致しませぬが從來御訓示のありました所のことの實現が期せらるゝ様充分御留意あらむことを望みます。

（昭和二年七月五日）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣銀行の減資其他に就て

金融課長　中田榮次郎

臺灣銀行が其資本金を三分の一に減資し、且内地でコール資金一億二千數百萬圓を返還するため、島内放資に六七千萬圓の資金不足を生じ、惹いて本島產業の萎靡不振を來しはしないかとの惧を抱くものがあるといふことであるが此觀測は當らぬ。臺灣銀行が今回支拂ふコールは全部臺灣融資法の適用による日本銀行よりの新規借入金を以て支辨するもので、之が爲め毫も島内放資の回收を爲すことを要しない。又資本金を三分の一に減少し之を以て其缺損補塡資源の一部に充當するにしても之が爲め毫末も其島内放資を減少する結果とならない。何となれば現に臺灣銀行が有する三千九百三十餘萬圓の拂込資本金は名儀上即ち帳簿上は猶存在してゐる形となつてゐるけれども、其實質に於ては二億圓を超ゆる同行の缺損の爲め毫も殘存せざるもので、之を殘存とすると思ふこそ誤りである。だから今三分の一に減資を爲すも唯帳簿上株主に屬する勘定の整理を爲すに過ぎないもので何等實質的の關係を有するものでない、即ち減資の結果は其程度の如何に拘はらず毫も島内放資回收等の結果を招來するものでない。此點は島民諸君に於かれても充分眞相を諒解し徒らに杞憂を抱くことなきを希望する。尚減資後の臺灣銀行の營業は大體現狀と異らぬであらうが營業方針として臺灣中心主義に立歸つた譯だから頭取以下重役及行員の氣分も一新せられ、臺灣としては何にかにつけ從來よりも一層の便宜に浴し得ると信ずる。大藏省でも特に此點を力說して居る。若し夫れ、米糖資金其他產業上眞に有利有用なる資金に就ては發行權の作用又は再割引其他の方法により充分に金融をつけ得べく、コールの吸收を廢止することゝなつたとて決して心配は及はぬ。

尚減資程度が過大だとの說もあらうが何分二億圓を超ゆる同行の缺損と、之に對する國民の負擔とを考慮すれば、株主勘定として兎に角も一千五百萬圓を存置せしめられたることは左樣に亂暴な措置とも考へ得られぬ。臺銀調查會の成案の決定に至

る間に於て今一層不利益な意見も相當強がつたと謂ふから株主諸君に於ても其邊を充分考察し諒承ありたきものであるしかし乍ら政府直接の監督の下にあつて株主が其經營上の方針監督等を全然政府に一任せざるを得ざる形式を採つて居る特殊銀行に於て、今回の如く株主に多大の損害を蒙らしめた事の遺憾なる事は今更謂ふ迄もなき所であるが、是一に制度及人の問題に原因するものと思はざるを得ない。斯く觀じ來れば現在の制度及組織の如き特殊銀行なるものゝ存續の要否は、今後官民共に大に考慮研究の餘地あることを感ぜしめる。(談)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時報

内臺連絡海軍飛行

内臺連絡海軍飛行機サ第七十六、八十一、八十二の三機は六月二十九日午前中城灣發、同日午後基隆の上空に雄姿を現はし、社寮島の上空より港口に向つて飛翔し、官民歡呼裡に港口に無事着水した。

それより三機は港内を除行し、在鄕軍人會其他の諸團體、港内碇泊の大小船舶乘組員、岸壁に密集せる群衆の歡呼を浴びて悠々浮標に繫留した。尚ほ右海軍飛行機中二機は八月一日基隆より馬公に向ひ、同四日には三機共中城灣に無事到着した。

法院條例の改正

臺灣總督府法院條例並に同關係法規の改正は七月三日を以て公布され同十日から施行さるゝことゝなつたが法院條例改正の主要點は次の通である。

●臺灣總督府法院條例中左ノ通改正ス

第二條　第三項中「登記及公證ノ事務」ヲ「登記事務」ニ改メ第四項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

地方法院ニ單獨部及合議部ヲ置ク

第三條ノ二　地方法院合議部ハ左ニ掲グル事項ニツキ裁判ヲ爲シ刑事ノ豫審ニ關スル事務ヲ取扱フ但シ高等法院上告部ノ權限ニ屬スル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラ

第一　第一審トシテ

(イ)訴訟物ノ價額二千圓ヲ超過スル請求

(ロ)人事訴訟

(ハ)死刑、無期又ハ短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ル罪

(ニ)短期一年ニ滿タザル有期ノ懲役若ハ禁錮又ハ罰金ニ該ル罪ニシテ豫審ヲ經タルモノ

第二　第二審トシテ

(イ)地方法院單獨部ノ判決ニ對スル控訴

(ロ)地方法院單獨部ノ決定及命令ニ對スル抗告

第四條　第二項第一(ロ)及(ハ)ヲ左ノ如ク改ム（上告部ノ權限ニ關スルモノ）

(ロ)地方法院合議部ノ第二審トシテ爲シタル決定及命令並ニ高等法

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

院覆審部ノ法定及命令ニ對スル抗告

（ハ）地方法院單獨部又ハ合議部ノ爲シタル上告棄却ノ決定ニ對スル抗告

第七條　地方法院單獨部ニ於テハ判官單獨ニテ裁判ヲ爲ス

地方法院合議部ニ於テハ三人ノ判官合議シテ裁判ヲ爲ス

臺灣總督ハ地方法院合議部ノ判官ノ一人又ハ數人ニ刑事ノ豫審ヲ爲スコトヲ命ス

第十條　第三項ヲ左ノ如ク改ム

地方法院檢察官ハ差支ノ爲其ノ職務ヲ行フコトヲ得ザルトキハ地方法院單獨部ノ權限ニ屬スル事項ト認ムルモノニ限リ警視又ハ警部ヲシテ之ヲ代理セシムルコトヲ得

附　則

本令施行前地方法院ノ單獨判官ニ於テ爲シタル裁判ハ之ヲ地方法院單獨部ニ於テ爲シタルモノト看做ス但シ刑事ノ豫審終結ノ決定ニ對スル抗告ハ覆審部ニ之ヲ爲スベシ本令施行ノ際現ニ地方法院ノ單獨判官ニ於テ審理中ノ刑事ノ豫審ハソノ地方法院ノ單獨部ニ於テ之ヲ完結ス但シソノ決定ニ對スル抗告ハ覆審部ニ之ヲ爲スベシ

本令施行ノ際現ニ高等法院覆審部ニ繫屬中ノ控訴又ハ抗告事件ニシテ地方法院ノ單獨判官ノ裁判ニ對シテ爲サレタルモノハ覆審部ニ於テ之ヲ完結ス

臺灣總督ノ指定スル地方法院出張所ニ於テハ當分ノ內仍公證ノ事務ヲ行フコトヲ得

全島稅務課長會議

全島稅務課長會議は七月五日より五日間總督府に於て開會、各州廳稅務課長並に出張所長出席、府內より富田財務局長以下各關係官列席、その第一日は後藤長官並に富田局長の訓示あり引續き議事に入り左記諮問事項並に協議事項につき五日間協議した。

諮問事項

一、稅法改正後ノ民情竝ニ之カ周知ニ關シテ採リタル方法如何外二件（以上第一日）

一、商工庶業ノ所得調査方ハ現在ノ執務員數及配賦豫算額ノ範圍ニ於テ如何ナル程度方法マテ實行シ得ラルルヤ

一、稅法改正ニ依リ砂糖消費狀態ノ異動竝ニ消費稅收入見込額及印紙稅ノ檢査取締ニ關スル所見如何（以上第二日）

一、納稅ノ現況及施設等ニ關シ左ノ事項答申セラルベシ

（イ）時代ノ推移ニ伴ヒ租稅其ノ他公共團體費ノ徵收ニ及ボス影響如何

（ロ）現ニ實行シツツアル納稅督勵ノ狀況

（ハ）稅ノ理解及納稅成績ノ向上ニ關シ尤モ有效ナリト認ムル施設

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（二）各州ニ納税組合聯合會ヲ組織シ（一）州内ニ於ケル納税組合ノ増設助成及統一並ニ指導監督及表彰（二）税務ニ關スル異議又ハ質問ニ對スル應答申告申請及救濟手續ノ指示（三）税務行政ニ關スル宣傳施設ノ普及等ニ當ラシムルニ付テノ意見及之ニ要スル經費ノ概算　（以上第三日）

一、メートル法ニ依リ地籍圖ヲ調製スルトセバ之ガ縮尺圖大及様式等ハ如何ニ改ムベキカ又現ニ改測シツツアルモノハ漸次メートル法ニ依リ施行スルヲ可トセズヤ　（以上第四日）（協議事項略）

肥料取締法公布と趣旨徹底

本島の肥料取締法は五日附を以て發布され八月一日から施行の事となつた。よつて各州廳においては關係當業者を市役所又は郡役所に集めて肥料取締法規の解説をなすことゝし總督府より補助として小野技師其他の係員を出張説明せしめ七月九日から着手して同二十六日を以て終了した。

尚ほ肥料取締法と最も密接な關係を有する製糖會社に對しては十六日嘉義郡役所に全島製糖業者の集合を求め小野、柏木兩氏詳細に之を説明した。

上山總督歸任

滯京中の上山總督は臺銀問題其他の懸案か解決の緒についたので、竹屋、一戸兩秘書官を隨へ七月四日午前東京驛發、下關より扶桑丸にて同七日午後基隆入港、官民多數の出迎を受け同六時半歸臺された。

臺灣民衆黨結成

臺灣民黨が禁止されて以來創立委員は總督府當局と數次の交渉を重ね綱領及び政策を改め黨名を臺灣民衆黨とし、その結黨式を七月十日臺中に於て擧行したが、同黨の綱領及び政策は次の通である。

綱領　本黨は民本政治の確立、合理的經濟組織の建設、及び社會制度の缺陷を排除するを以つて綱領とす

政策　州市街庄の自治機關の民選及びそれに議決權を付與することを要求し、選擧法は普通選擧制をとる事

一、集會結社言論出版の自由の實現を期し島内に於て臺灣人の新聞雜誌發行を即時許可することを要求す

一、學制の改革を要求す

甲、義務教育の實施

乙、公學校教授用語は内臺語を併用する事

丙、公學校の漢文を必須科目となす事

丁、内臺人教育の機會均等

一、保制度の撤廢を要求す

一、警察制度の改善を要求す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、司法制度の改善及び陪審制度の實施を要求す
一、行政裁判法の實施を要求す
一、支那行旅券制度の撤廢を要求す
一、税制の改革及冗費の節約を要求す
一、臺灣金融制度の改革及び農工金融機關の急設を要求す
一、生産者の利權を擁護し一切の搾取機關及び制度を排除す
一、農會及び水利組合の改革を要求す
一、專賣制度の改革を要求す
一、農民運動勞働運動及び社會的團體の發達を援助す
一、男女平等の原則を確認し女權運動を援助し人身賣買に反對す

臺灣銀行調査會の整理案

臺灣銀行調査會は七月十四日午前藏相官邸に於て開かれ、三土藏相、阪谷會長、井上日銀總裁外各委員幹事出席、劈頭阪谷會長から幹事會に於る調査立案の經過並に結果の報告、松本銀行局長から提案理由等の説明あり、審議の結果左記整理案を可決し、阪谷會長は直ちに答申の手續をとつた。但し同調査會は、金融制度調査會に於て臺銀の兌換券發行權の存廢並に爲替事務の存廢等に關する諸制度の審議決定まで、これを存續せしむることゝなつた。

臺灣銀行整理に關する答申

第一　臺灣銀行が多額の缺陷を擁して其基礎の安定を見るに至らざるは其本來の使命を逸脱し放漫偏倚の貸出を敢てしたる爲めに外ならず故に今後に於ける同行の營業方針は本來の使命たる臺灣に於ける産業資金の供給を以て中心とし其餘力を以て南支南洋に於ける外國爲替業務に當らしむるを至當なりと認む

第二　臺灣銀行の資産を包藏する缺陷に對しては左の方法に依り之れが補塡の資源を求むるを適當なりと認む

一、資本金を三分の一に減少する事
二、諸積立金を取崩すこと
三、震災手形中震災手形處理委員會の議を經て相當債務額の免除を受くる事
四、臺灣の金融機關に對する資金融通に關する法律に依り融通を受けたる金額中特別融通損失審査會の決定を經て相當債務額の免除を受くる事

第三　臺灣銀行の將來に於ける經營に關しては前記第一の方針に則り左の改善を加ふの要ありと認む

一、内地に於ける貸出は之れを爲さゞる事
二、内地市場に於けるコールの吸收は之れを爲さゞる事
三、店舗の縮小廢止を行ふ事、殊にロンドン、ニューヨーク出張所に對しては其規模を縮小すること
四、店舗の縮小廢止役員の減員等に依り極力經費の節約を圖る事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第四　臺灣銀行の整理は鈴木商店關係貸出に對する回收の程度如何に依る處甚大なるを以て特に同行内に整理部を設け其組織を充實し嚴重なる監督を加ふる要ありと認む尙ほ今後同店に對し一切の貸出を爲さゞるは勿論なりとす

第五　臺灣銀行の主要債務たるコールの處置については臺灣銀行調査會に於いて具體的成案を得る迄は暫定主義に之れが返濟の猶豫を得つゝあるの狀態なるも此際本問題の解決を遂ぐるは同行の基礎を確固ならしむる所以なるを以て速に臺灣の金融機關に對する資金融通に關する法律に依り資金を融通して之れが返濟を爲さしむるは最も必要なる處置と認む

第六　臺灣銀行券保證發行については其準備を一層健實ならしむるの要ありと認む

第七　臺灣銀行に關する金融制度上の改正については金融制度調査會の調査に待つを以て適當なりと認む

尙ほ同整理案は十九日の閣議に於て原案通り可決された。

臺灣民報島内發行許可さる

臺灣民報は從來島内にて發行することを許されなかつたが、總督府に於ては時勢の變遷と島内の實情とを考慮し、七月十六日附を以て同紙の島内發行を許可した。

樟腦値下斷行

專賣局に於ては七月二十一日樟腦の値下を決定し二十二日より之を實施することゝなつた。卽ち今回の値下は

米國賣（百封度に付）先物四十四弗　現物四十六弗
歐洲賣（百封度に付）先物九磅一志　現物九磅三志
國内賣（百斤當神戸渡）九十九圓

であつて、從來に比し米國賣は七弗四十仙、歐洲賣は三十志六片、國内賣は二十圓の値下であると。

知事局長異動

臺灣總督府人事の異動は七月二十七日の閣議にて決定し、同夜總督官邸に於て左の如く發表された。

任臺灣總督府内務局長　樺太廳長官　豐田勝藏
任樺太廳長官　臺南州知事　喜多孝治
任臺南州知事　臺灣總督府殖産局長　片山三郎
任臺北州知事　臺中州知事　三浦碌郎
任臺灣總督府殖産局長　高雄州知事　高橋親吉
任臺中州知事　臺灣總督府事務官　佐藤續
任高雄州知事　臺灣總督府州理事官　太田吾一
依願免本官

（以下任命欄）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那ノ優生學的考察

恒春園主人

（ウイルヘルム、マイヤー氏「遺傳ト淘汰」ニ「最古キ現存文化國民ニ就キテノ考察」ト題スル一章アリ、此ノ考察ハ優生學民族衛生學見地ヨリスル趣味アルモノト認メ、之ヲ嘗テ臺北歷史研究會席上ニ紹介セルヲ更ニ要約シ、之ニ私見ヲ加ヘテ此ノ稿ヲ草セルモノナリ。）

支那人は希臘羅馬人が尚未開人たりし時に既に文化の甚だ進める民族なり。而も希臘羅馬の文化は一千年の間も之を持續するを得ざりしが故に其の文化は長き生存能力を有せりと云ふを得ず。然るに支那は約四千五百年の間其の民族の力を持續し今日に於て尚其の國家と文化とを保有す夫の滿洲人が支那を主宰するに至れる後も、尚其の國家的社會的組織は古來の體制と風習とを保持す、即ち征服者は古來の支那文化を踏襲せるのみならず其の言語をも持續す。支那は特に近代に於て人口の密度大に加はり他の何れの國も之に及ぶ能はざる狀況に在り、且亦其の永續性に於ても之に比類するものなく、今日に於て全世界の約四分の一の人口を有してしかも其の生活力は聊かの退歩の痕を有せずして古代祖先の美しき文化財を領有す。彼の進歩は極めて遲々たりと稱すべきも、幾多の世代を通じて偉大なる文化財を保有することが即ち彼の文化的稟性を先有する證據にして從來論議せられたる文化進むときは其の民族能力は減退すと云ふ假定と相反す。若し此の假定にして眞ならば、支那人は既に久しく退化して其の國家も其の道德的文化も之を今日迄持續するを得可らざりしなるべし。斯く考へ來らば支那民族は實に精

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

神的身體的民族能力に於て優越すと云ふを得べし

如斯支那の文化、國家及民族の健全狀態の永續が他に比類を見出し得ざる特異性を有するは果して何によりて然る乎、是大に研究に値すと云ふべし乃ち之を次に敍述せん。

一、支那人の出產の淘汰

支那人は既に數千年の古より今日に至る迄一門の基礎一家の永續を理想とし、從て成る可く多くの男兒を擧ぐることを第一の生活目的なりとせり。然るに他の西洋文化圏に於ては特に上流階級に於て故意に出產を制限せんとする傾向を有す。支那に於ては之に反し上流者下流者を通じて古來子孫崇拜、祖先崇拜と云ふ冒す可らざる道德を保有し、最有力なる生殖の動機を造れり、此の動機は西洋の何れの民族にも之を見出すを得ず。支那文化の此の特徵は家長の愛と權力と責任と相結んで依然として永く保持せられ從て一家一門擧て子孫崇拜の結果として大なる發展をなせり。此の子孫崇拜は祖先崇拜によりて貫徹せらる祖先崇拜の主なる戒律は家族の血統を永續す可きことと是なり從て子孫の數多ければ一家の繼續益々確實なり。彼等は獨り此の理由によりて子を欲する事にあらずして老後に於て尊敬を得んが爲なり。然るに西洋に於て教養ある者は多數の子を擧ぐることを生活目的とせず寧ろ家族なくして護らる可き最大の幸福を欲求す又西洋に於ては子は親に對し物質的に報ゆる所なく又子の多き親は子を有せざる者又は子の寡き親よりも却て老後に於て尊敬せらるゝことなし。反之支那の人生最高の幸福は常に家族生活と結合し最低階級者より最高階級者に至る迄凡て人間最大の幸福は數多き子孫を有することと是なり。然らば支那と西洋との人生觀の根本的差別は古今を通じ家族の評價の相異に存すと云ふを得べし。

爾來又將來に於ても支那人が永續し繁榮するは實に支那獨特の家族の評價によるとすべし。彼等の社會は之によりて質的方面に於ても量的方面に於ても榮えたり、彼等の出產は增大し而も教養ある階級者は他の階級者よりも其の出產率大なり、支那人にありては子孫の多きは贅澤には非ずして寧ろ彼等の最高生活目的たり、卽支那の上層者が下層者よりも子の多きは之が爲なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那人は概して早婚にして上層者富者は下層者、貧者よりも常に早婚なり、而して夫婦は悉く兩親の家に居住するが故に結婚の爲めに多くの獨立の所得を要することなし。又故意に婚せざる者は殆ど寡く婚せざる者は非行なりと認めらる只貧窮者にして餘儀なく婚するを得ざる者なきに非るも富者にして婚せざる者は鮮し、尙且富者は畜妾を習慣とするに至れるは如上の生活目的の特異性に發源す。又支那の貧者は常に哺乳するに拘らず其の子の死亡率は富者のそれよりも遙かに大なり。故に支那の上級者は下級者よりも增殖率遙かに大なり。

如斯支那人口增殖に關する心理的種族能力が保持せられ向上せらるゝこと及古來下級者が上級者に成り上がること容易にして、他國に其の類を見ざるデモクラチックなること甚有意義なりと云ふを得べし、子孫崇拜祖先崇拜によりて生ずる旺盛なる生殖欲は實に支那人の獨占なり。然るに他の文化國にありては徒らに量的にのみ增殖して質的に退化し、文化の主宰者たる上級者が出產を故意に制限して種類を退化しつゝあり。

支那の家族の結合は世界無比と云ふべく其の家長は一門一家に無上の權力を有し又子の親に對する義務も亦比類を見ず親に對する不孝は何れの罪よりも重し、父母夫死するや喪に居ること二十七ヶ月、兄弟婦死するや十二ヶ月其の喪に服し布片を以て之を表示するに止まらず父母の死に遭ふや三年官職に就かず尙且離婚は甚少し。

是等は主として孔子の教に基ける道德にして支那人が社會的に永續し繁榮するは之によるもの甚多しと云ふべし。

二、結婚による淘汰と生活による淘汰

儒教の生殖に關する關係概ね前述の如し。尙此の他に支那の文化的社會的特徵としては結婚と生存上の淘汰是れり。

支那人の結婚にありては婦女子は持參金を要せずこれ女子は親の遺產を享くることなく男子のみ之を享くるによる、男子中長男は其の兄弟と平等に遺產を分配すこれ西洋と大に異なる所なり又古來同姓娶らず、之によりて同族結婚による危險を避け得たり支那の姓の數は約五百ありと云ふ。

支那は西洋と異なり母健全なれば永く子を哺乳す。西洋人は上流者に於て哺乳せず下層者主として哺孔して育兒をなす、これ

甚に東西生活條件の大なる異點なり、從て東西に於ける子の死亡率に大なる相違を有す。且支那は古來强大なる人口增殖力を有するが故に其の大部分は生活甚困難にして淘汰從て激烈なり。特に下層者の兒童幼兒に於て然り洪水、旱魃等によりて屢々起る饑饉の年に於て特に激甚なり。

三、稠密なる人口に對する農政

前述の如く支那人は强大なる生殖力に驅られて人口益々增殖するが、之に對し適切なる社會經濟的の發達なかりせば如何とも爲すべからざる窮地に陷る可きは當然なり。支那の土地は最集約的に利用せられ小分せられ曾て大地主あるを見ず古來支那は民間に大なる土地の所有を禁じ各戶六七町步以上に上るを得ずして此の使用權は世襲なり、其の所有權は國家にあり、使用權を有するも其の土地を使用せざる者は其の權利を失ふ夫故に一定の土地に於て出來得る限りの收穫を得ることを案出す。

四、病毒中毒の少きこと

支那人の健康體なること就中酒精中毒の尠きことは顯著なる事實なり。酒精中毒阿片中毒に對しては如何に熱心に之を防止せんとしたるかは歷史の事實之を證す阿片戰爭の如き其の一例なり。

花柳病に至ては港、大都會には之を觀るも田舍に於ては甚少し、支那は都會と田舍とを問はず概して早婚にして且家庭生活は極めて內的なるが故に花柳病は極めて局限せらる、西洋人は貿易の增進に伴ひ該病に罹るもの益多し。

以上述べたる所より支那人の生殖が量的及質的に繁榮する所以、即ち支那の文化的發達社會的發達は西洋のそれよりも優越せる道程を有することを知る可し。就中最重要なる點は支那文化は生殖の動機を作り之によりて人口は增殖し而も之に對して良好なる淘汰の行はれたること是なり。支那の畜妾は其の數多からず從て人口全體に影響する所大ならざるが故に支那も西洋も同じく一夫一婦として之を考察するときは支那は上級者の出產率高きに反し西洋は上流者の出產率甚低し、兩者の子孫の質

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

的差別は當然なり。獨逸に於ても何時かは一夫多妻或は畜妾の行はれて獨逸民族の一層健全なる發達を見るに至るなきを保せず。

五、身體より見たる支那人の種族能力

支那人は健康なる抵抗力を有すること世界無比なるのみならず、體力を用ゆる作業に於て最大の實行力を有することは凡て觀察者の一致する所也。支那文化は永續して而も身體の惡化を生せず、又如何なる生活難も亦多數民衆の甚だ下賤なる生活法も彼等の身體を退化することなし。

六、支那人の知力並に性格の素質

(一)知力　百八個の支那人の頭蓋を檢せるに千三百立方センチメーター以上の者九二%ありき、獨逸人三百八十七人に就て檢せるに同じく一三〇〇(ccm)の者七十五%なりき、又千二百(ccm)以下の者支那人は二%獨逸人は八%なりき。固より數學上の此の大小は個人と個人との比較には正確なりと云ふを得ざるも多數の個體群を比較するに當りては之を標準として兩者の精神的素質を表はすものと云ふを得べし。

(二)性格極端なる保守主義は文化の進歩には宜しからず、然れども急速に文化の進歩するは社會組織の力と永續性とを危險に陷らしむること古來の民族史に於て悉く然らざるはなし、支那に於ては他の保守的ならざる民族と異なりて民族の力を弱むるが如き直觀及道德の變化を受けずして泰然自若たる觀あり。吾人が從來支那文化は停止せり凝固せりと考へたるは大なる誤謬なり、この誤謬は要するに彼の文化の發達の本性を知らざるが爲なり。彼は獨人の如く急速なる歩調を以てせず遲々として而も全然停止することをなさず。十七世紀の中頃は支那は六千二百萬の人口を有せしに百年を經ずして約三倍になり今や四億以上となれり。此の現象は要するに農業の根強き力と社會組織の大成によらざればあり得べからざる事項なり。支那の文化の發達は悠々と深く且つ廣く流れ進めり、彼は西洋の歴史以前既に久しく發達せり存立せり。白人は黄色人より進歩的なる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

何物をも有せざりしなり。

支那人が商人とし將た起業家として外國に發展して到らざる所なきを見れば從來獨人の支那民族性格の觀察の誤りなりしを證明し得べし。若し支那人の精神が鈍なりとせば世界的發展はあり得べからず又現今に於ける支那の改革運動もあり得べからず、其の偉大なる能力は從來白人のみが文化的稟性を有せりとする多數學者の見解の大に誤なるを證す又適應能力に於ては日本に劣らず。

社會的に之を觀るときは支那の發達せる文化の創造と其の保持と現時の改革運動とを以て支那民族が甚しく文化的稟性を有すと所定せざる可らず。彼の知的素質よりするも性格上の素質よりするも之を證すと云ふを得べし。

七、道德的文化

道德的文化は支那の美點なり。儒教による支那の道德は西洋の道德の及ぶ能はざる所なり、親を尊敬すること、一家一門親戚の結合すること老を尊ぶこと、家屋を大切にすること、法律を尊ぶこと、輿論を尊ぶこと、汎く友情の及ぶこと、業務の正確なること、甚禮義正しく優雅なること、出精なること等は顯著なる事實なり。又名譽心は最下層の者に至る迄甚しく發達せり。又自己を犧牲にすること英雄を崇拜することも獨逸人に劣らず。或學者が支那の淘汰發達は苦力根性に始まると云へるは大なる誤なり、苦力根性は獨逸に於てこそ大に足を伸ばせり其の出産率は獨逸に於ては平均以上なり、支那に於ては平均以下なり、元來支那の如く高き文化を保有し又他の何れの文化民族よりも優りて幾千年の間生存力を保持する者が苦力根性より始まると考ふることあり得べき理なきにあらずや。

或論者は支那人は戰を好まずと稱するも、彼の種族精神より考察せば之を首肯するを得ず。支那の兵士は歐洲の教養せられたる兵士日本兵士に劣ることなし、之をよく訓練し教養し、適切に之を指導するに於ては支那軍は實に絶大の事業を成遂け得べし。彼等は素質に於てあらゆる困難に耐ぇ且極めて冷靜にして勇敢死を恐るゝことなし。

一國道德の文化は其の性格上の素質の有爲なると有爲ならざるとによりて大に異なり、此内的要素は最重要なり。外界要素

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

道德律敎育の感化社會の體制等は一見注意を惹易きは事實なるも其重要さは遙に內的素質に及ばず。又個人が社會的に出世するに方りては知的素質よりも寧ろ他の性格上の素質卽名譽心勤勉忍耐克己等を要とす支那に於ては特に然り。反之獨逸にありては如斯要素の所有者が增殖する率は平均以下なり、支那に於ては平均以上なり夫故に支那の出產の淘汰現象は適當なる道德的種族能力を育成せり又育成しつゝありと云ふべし。

八、支那民族の將來

白禍は今や黃禍と替はれり。支那は侵略戰を行はずこれ侵略戰は古き根强き文化理想に矛盾するが故なり。然るに日本の帝國主義は支那の軍事能力以上の力を以て白人に對するは看過す可らざる事なりと雖も、支那は日本と大に趣を異にするものあり。東亞特に支那は地球上の凡ての民族の移動植民の生物學的競爭場裡に立ちて少しも障碍を受くることなかる可し。白人は從來の如く出產を制限するあらば此の競爭に打勝つこと能はざる可く、且支那人の移民禁止は永續し得ざる可し。彼等は極寒地たると熱帶地たると溫帶地たるとを問はず到る處普く榮えざるものなし。然らば將來の世界の歷史は西洋人が有らゆる反支那的牆壁によりて支那移民を防止し得るか否かによりて決せらる可し。「支那の先輩、偉大なる立法家、道德學者は旣に數千年前に於て支那國民が永遠に存續し得ることを保證せり。」と云ふべく、吾人は彼等の充實せる生活力を有し偉大なる將來を有するを認めざる可らず。

如斯重要なる意義は要するに彼等の道德觀及人口增殖に對する國家的社會的體制が民族の質的並量的繁榮を確保することに是なり。以上述ぶる所により支那國民の文化國家が比類なく永續性を有する主因を知るに足るべし。

十、私見

ウイルヘルム、マイヤー氏の考察は一々首肯し得べしと認め難き點あるも、舊來短を去り長を採りて以て之を同化し發達せんとせる我國古來の道德宗敎法制が西洋のそれに如何に接近し如何に類化せりと見ゆるに拘はらず、吾々國民の知的並に性格上

の素質が依然として其の優越點を保持して聊かも退歩の痕を有せずと認むるを得ば、又親を尊び子を愛する心の結合の結果忠孝一致と云ふ比類なき美點が聊かも退化の跡を遺せることなしと斷言するを得ば、又從來子多きを以て寶とし之によりて一門一家の繁榮一國の繁榮を招致とせんとせる美風が聊かも停滯を來せることなしと云ふを得ば、吾人は今日の如く食糧問題其の他緊急棄置き難き諸問題換言すれば經濟生活方面にのみ偏する問題の解決に齷齪せざる可らざる所以何處に在り得べきか。大河は幾多の細流を合して遲々として洋々として流れ、大洋は波瀾疊々するも依然として大洋なり。吾國が永遠恒久悠々として進むべき道程には如上支那の考察を參照し深く省るべき諸點を存すと認むべし。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

果物に就て

京都帝國大學理學部教授
理學士 小松 茂

皆様は唯今中村君の專門のお話を承はりまして又引續き私の話と云ふことは御勞かれでございませうがどうか御緩り御聽き取りを願ひます。

私は本日皆様に向ひまして果物のお話をするのは是はしなければならない義務があります如く感ずるのであります。何故と申しますると私の研究の報告を是は博物學會の方々にしなければならない責任を負ふのであります、其理由は私は自分の仕事としまして回顧して見まするど云ふと何となく臺灣に對して私が引付けられるものがあるのであります、大正五年に私が初めて朝比奈君と一所に御當地に參りました時のことを思ひ出すのであります、其當時私は京都の方に歸りまして臺灣の視察談を致しました、其事柄を再び自分が思ひ出すのでございます、私が果物の研究する時には此臺灣を常に思ひ出すのであります、臺灣を思ひ出す度に私は曾て或文學者が申されました文句を思ひ出すのであります、其文句は斯う云ふ文句であります、捕ぐ

ともなき雲が明らかな日に照らされて明るく日が濕つぽい重いやうな空氣が其の絶へ間を漏れる夏の光りに明返されて悶へて居る」と云ふ此文句を私をして常に思ひ出すのであります。

私が十二日に基隆に到着致しました時にまた再び私は、想思樹の搖るぎを再び思ひ出すのであります、その當時私の考へと致しましては植物の生理化學、生物學を研究しなければならないと云ふことを臺灣を旅行した時に著しく私を煽り立てたのであります、其後間もなく私は亞米利加に渡つて亞米利加を北から南に行くに從ひ、南に行けば行く程黑ン坊の殖へると同時に色々の珍らしいもの、果物が食卓に盛られて居る所を見まして故郷を振り返つて幸ひなる我が日本帝國の一住民と致して一科學者と致して研究すべき最大は果物に在りと考へて此果物の研究をすると云ふ決心は初めて臺灣に參りまして付いたのであります、さうして大正九年以來今日まで私は果物の化學と云ふことに粘着力を有つて日々絶へず是に興味を有つて仕事をして居るのであります、それ故に此研究の結果は皆さんに御知せ申上げるとしたら少なくも私の研究結果の報告をすると云ふことでございます、そこで皆さんに聽いて戴きますと云ふことは此上もなき幸ひと思ふのであります。

先きに申上げました如くに我國は實に幸ひなる國であります、斯う私は考へます、果物は非常に澤山有つて居ります、斯んな國は世界廣しと雖も何處の地理を開けて見ましても斯んな幸ひな帝國が何處にあるか、恐らく亞米利加合衆國を除く他に斯んな豊富なる天然物を有つて惠まれて居る國はあるまい、斯う考へて居る、斯んな國に住んで居る各學者が果物の研究せずして何として濟むかと云ふことを考へましたのであります、恐らく御同感であると思ひます、我國位果物の種類の多い國はないと思ひます、文明國はどの文明國を見ましても我國位種類の多い果物を有つて居る國はないと思ひます、御當地のことに付きましては甚だ私は智識がないのでありますけれども先づ本州を中心にして考へて見ますと云ふと秋田に林檎があります、岡山に桃があり梨があります、甲州に葡萄がございます、紀州に蜜柑がございます、丹波に栗がございます、御當地に芭蕉がございます、朝鮮に栗がございます、斯う云ふやうに擧げて來ますと云ふと是程種類の多い國は何處の世界にありませうか、恐らく亞米利加以外にはなからうと思ひます、其產額に於ても決して少ないとは申されませぬ、內地の生產力を調べて見ますと云ふと葡萄が六百萬貫、梨が三千萬貫、林檎が六百萬貫、柑橘一千二百萬貫、桃が一千三百萬貫、栗が三十萬石と云ふことでご

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ざいます、此上に世界の各國の何處を探してもない果物の柿が支那を除いて柿の年額が四五千萬貫を産すると云ふ我國程有難い國はないと考へます、亞米利加が是程澤山な日本に負けない、日本より以上果物を有つて居ると云ふ事柄は其亞米利加の地理的關係が之を然らしむると云ふのでございます、南フロリダから北は加奈陀の界に到るまで北緯二十二度から初まつて五十度の間に跨つて居る亞米利加には色々の果物が産するのであります、併ながら之を世界的に解剖して見ますれば亞米利加とても決して元々斯んな果物はなかつたと思ひます、唯地味の然らしむるところを以て歐羅巴より亞弗利加より南亞米利加から適當な果物を輸入したのであります、我國は矢張り亞米利加に劣らない程地域に付ては廣い國である、北は五十五度五十六分、南臺灣最南端の鵞鑾鼻二十六度四十五分の間に跨つて居ります、我國程世界廣しと雖も是程長い國は又とありません、故に世界に産する所の果物と云ふ果物は我帝國の領土に産するのであります、御當地に於きましても更らにさう云ふ感じを抱かすのであります、溫帶から熱帶に掛けて跨つて居る御當地は寒帶の果物もあるのでございます、例へば新高山を御覽なさい、熱帶から溫帶、寒帶に掛けてのものであります、我國を平面的に見まして或は立體的に考へて見ましても熱帶から寒帶、溫帶を通じて持つて居る國でございます、故に色々の種類の果物が出來ると云ふことが判るのであります、殊に御當地のやうに暑い所の高い一萬尺以上の山を幾つか持つて居る所は誠に變つた氣候の所にあり得るのでありまして自然に色々の果物の出來ると云ふことは生物學の上から考へましても當然でございます、曾て我國に參つて居りました獨逸の學者が申したことがございます、熱帶或は寒帶の土地は一年中通じて氣候の變化がないのである、それ故に周圍の影響を受ける植物には鑄型に嵌まつたやうに種々の移り變のある、所謂我國の如き國に於ては其所に成熟しまする植物は種々の變化を受けて環境の影響の爲めに種々の形に種々の大きさのものが出來て來るのでございます、それ故に種類が澤山有るのみならず量に於ても相當にあると云ふ點が我々の幸福とする點でございます、私は亞米利加に居りました際に實に亞米利加の人程果物を食ふ人間はない、朝起きると朝飯の時に果物を食ふ、夕飯の時に食ふ、新鮮の果物を朝夕に食ふ彼等の申しますに朝の果物は金である、晩の果物は銀である、金のやうに大切である、銀のやうに大切である、斯う云ふことを言つて居る、全く果物を食べまして我々は嫌とは申さないのであります、私は御當地に參りまして朝夕珍らしい果物を頂戴致して實に美味い、そこで此珍らしい果物を出來ると云ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ことを利用致しましたのは私が聞きますには英吉利の政治家と聞いて居ります、英吉利の政治家が英吉利の人をして植民地に興味を有たしたのは植民地から珍らしい果物を持つて來て倫敦其他の所に居ります偉い人の食卓に載せて斯んな美味い立派な果物が南に行けばあるぞと云ふことを聞かす、さうして政治家の心をいさぶつて植民政策に興味を有たしたと云ふことを聞きましたが私は大正五年に御當地に參りました時に成程是れではと思つたのであります、併し其當時は員林の芭蕉位のやうに私は見ました、之を内地に色々の果物を運んで王皇貴族の食卓に之を盛ります時に如何に南洋に向つて我々は發展せむとするかと云ふやうな考へを起すではないかと考へたのであります、偖て亞米利加の人は天の恵を巧みに利用して居るのであります、それは出來ますところの林檎なりを適當な形に直しまして暖い所に運ぶやうな、例へて申しますれば亞米利加に參りますと林檎を材料にして我々に食はすものが澤山有る「ワツプルタン」或は「ワツプルパイ」と云ふやうな手を替へ品を替へて林檎でないやうにして一つの品を出す、さうして我々の食慾の向くやうにして居るのであります、單に食慾を増すばかりでなく、果物の時期と云ふものを擴げて永くすると云ふことであります、或は其他に「ジヤム」を造るとか「ゼリー」を造る砂糖漬をする其他のものを造りまして何時でもそれを利用することが出來るやうにして居るのであります、從つて亞米利加の一年に於きまする年度額の統計を調べて見ますと云ふと金銀の産額よりも果物の産額が多いと云ふ統計になつて居るのであります、そんなら我國でもさう云ふものがあるかと云へば無論私はないと云ふことは申しませぬ、昔から梅干があるのではないか、柿羊羹がある、吊柿がある尤でございます、我國には梅干がなければ戰爭が出來ない程大切のものであります、けれども梅干を除けば後は子供の泣く時に御菓子の代りに呉れる位のもので是は在來の我國に對するものであります、此頃になりますと御當地は勿論であります、京都の到る所果物屋が出來まして中々良い果物を供給して下さる、町と云ふ町に行けば立派に繁昌して居ります店屋は果物屋であります、果物屋の前に立ちまして如何にも美味そうだと云ふ氣を與へる、其果物が年々盛んになりつゝある、併しながら此生の果物を我々に食はすと云ふのみでございます、其時期を過ぎれば果物はないのであります御當地はさうではありませぬが私共の居ります所では矢張り雪の降る時には夏の果物はございません、御當地は時期が何時でも色々の果物がありますからしてさう云ふやうなことは御感じにならぬと思ひますが内地はさうではないのでございます、何故

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に我國は年々果物をそんなに澤山使ひ出したかと云ふ理由を少し考へて見ますと斯う云ふことは生活上に必要なものであるからとは申されないのでございます、又之を果物を食べれば「ハイカラ」と云ふ譯ではありませぬ、そこには相當の理由があると思ひます、其理由と致しまして私は四つばかりに之を分けて見たいと思ひます、一つは色が美しいのであります、第二は味が宜いのであります、第三に臭ひが宜い、又滋養があるのであります、此四つの分けましたと云ふのは果物の特長でございます、斯う云ふやうに何れも特長を有つて居りますけれども果物は年々歳々培養され又それが我々の食卓に運ぶと云ふことでございます、所が此果物の特長と云ふものは決して元々から持つて居るものではないのであります、即ち未熟のものに於てこんな特長はありませぬ、それが成熟するに從つてこんな特長を有つのであります、青い未熟の果物は色が青い、肉が堅い、味が酸い、澁いと云ふやうに迚も食べる氣はしないのであります、所が成熟して參りますと色が付いて參ります、色は黄から赤になります、味が付きます、肉が軟くなります、一種特有の香が出て來るのであります、未熟のものが成熟するに從ひ丁度我々一般幼年から青年になると同じやうな經路を執つて居ると思ふのであります、どう云ふやうに此變化が起るだらうと云ふ研究をしなければ果物を利用すると云ふ點が私は出來なからうと思ふのであります、御當地に於て果物の栽培、果物の賣買と云ふやうな點に付きましては非常に努力を拂はれて居りますが、今後は果物の利用、果物の保存、斯う云ふ問題を先づ目を付けなければならないと思ひます、其爲めには未熟の果物が成熟する間に如何に成分が變化するかと云ふことを研究しなければならないと思ふのでございます、さう云ふやうな立場から致しまして果物と云ふものを前に申上げました四つの點から眺めて參りますれば茲に我々が果物に對しまして更らに興味を以て見ることが出來るだらうと思ふのでございます、私は大正九年以來此點に付きまして少しばかり調べて見たのでございます、それで菫に付きまして少し御話をしたいと思ふのでございます、御當地のものには或は適當しないかも知れませぬ、私の研究しました方法を申上げます、果物にどんな變化があるか、未熟の果物が成熟するとどう云ふ變化があるかと云ふことを研究して見たのであります、柿に付て御話をしたいと思ひます、京都に産します丸柿と云ふものに付て調べて見たのであります、勿論是は時期に依つて相違があります、一個約七十瓦あります、十月の初めに八十七瓦になります、十月中旬には百瓦、十一月の初めに百三十瓦になるのであります、さうしてそれから先きは重さ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は殖へないのであります、果物は生まれて一定の時期に依つて重くなりそれから後は變りませぬ、是は總べての果物が斯ふ云ふことがございます、是は果物ばかりでなく生き物と云ふ生き物は總べてこんな變化があります、一定の時期まで重さが出來ますとそれで止まつてそれから後は殖へないと云ふ狀態であります、是は生物共通でございます、其間に一體どんな變化があるだらうかと云ふことであります、**重さが段々殖へまして一定の點に達するまでの時間と云ふものは果物の種類に依り果物の**在ります場所に依つて相違があり、殆んど斯う云ふ經過を執るものでございます。

次に果物の色が其間にどんなに變るか私共が果物を賞美するものは其色が美しいと云ふことが一つの原因になります、畫家が色を好んで彼等の材題とする、又詩人は又此色を彼等の詩に咏ふのであります、我々が店先きに立ちまして引付けられるのは果物の色でございます、實に果物屋の前に立ちました時は一種の美觀に魅せられる、如何にも天然の妙美に感ぜられるのでありまして美しい色の爲めに我々の食慾を增すのであります、此色は決して元からこんな色はなかつたのでございます、さうして此色は植物の花、或は植物の葉の色と比較對照すべきものがあるのであります、例へば澄み渡る秋空に熟しました柿があると云ふと何とも言へない感じが致すのであります、又荒涼たる冬の景色に配合して居る柑橘の黃色い色、又銀杏が秋の末から黃色になつて居りますとか、紅葉が紅葉して居る等の美しいのは決して譲らないと思ふのであります、此美しい色彩の變化と云ふことに付てどう云ふものかと云ふことを考へて見たいと思ひます、未熟の柿が綠の色を呈して居るのは他の未熟の果物に同じやうに是は「ヨーログッツ」の存在に依るものである、成熟するに從ひまして色彩が變化して行きます、色彩が段々と無くなつて「カロチン」と稱へます黃褐色の色彩が付きまして是に變るのであります、例へば秋になつて銀杏が黃になるのと外觀に於て同一のみならず其化學的に見ましても同一の變化をして居ることが判る次第でございます、又青い苺などが成熟致して赤になつた時は赤色は御承知の通り「アントチアニン」と云ふ色彩があるからであります、此色は丁度牡丹とか或は芍薬の如き濃艶なる色を現はして居るもの、蔦の紅葉して居るもの、是等と同じやうな理に依るのでございまして皆「アントチアン」の存在に依るのであります、所が林檎であるとか葡萄であるとか或は苺の成熟するとは多少其趣きを異にするのであります、即ち此場合に林檎とか葡萄の場合に於ては「カロチン」或は「アントチアン」の色素が出來るのであります、此變化は丁度秋

紅葉が紅葉しますると同じ原因に依るのでございまして斯う云ふことを我々が見まする時に實に自然と云ふものは面白いものだと云ふことが判かるのでございます偖て此色に引付けられまして我々は味の感覺を更に誘ふのでございます、果物の味と云ふものは何とも申されない宜いものであります、私は何時も申します、夕方油濃い御馳走を食べました後で水氣の多い果物を食べました心持は暑い夏の日の夕に涼しい風を受けますとか或は蒸し暑い日に驟雨が來ますと汗が拭はれたやうな感じがします、此爽快の念に我々は興味を有つのみならず熱病に犯されて居る患者が此美味しい味に遭ひますと平素の病氣を忘れ嫌な御飯も頂戴することの爲めに元氣付いて病氣も回復したと云ふことの例は決して珍らしくないと思ひます此果物の役得は俳人盧花の病狀錄を讀みますると到る處に現はれて居ります、私は申しませぬでも所感集なり病情錄を御覽になれば解るのであります、實に果物は之を適度に食しますならば緩和劑となり誠に通じが良くなり淸涼劑として病人の枯渴を癒すると云ふ此味があるのでございます抑々此美味い味が何ものだらうかと云ふことであります、甘いのは砂糖があるからでございます、「スッパイ」のは有機酸があるからであります、澁いのは「タンニン」其他の類似のものがあるからでございます、是が一體成熟するに從ひどうして果物がこんな美味く味が出來るかと云ふ是こそ我々の調べなければならない問題の一つであります、私は又柿を引出して說明致したいと思ふ、柿に澁味がある是は「シブオール」とか「タンニン」のやうなものがあるからと申しました、「シブオール」を有つて居るから澁い、十月の初京都邊では段々甘くなり「シブオール」と云ふものが消へてなくなるのであります、柿の中にはあるのでありますが初め水に溶けるやうな溶解性の性質を有つて居る、「シブオール」が成熟するに從ひ水に溶けない性質が變る、それが爲めに澁味が現はれなくなるのであります、さうして果物の中にありました砂糖が段々と砂糖の量が殖へると同時に砂糖の中には甘蔗糖が大分ございます其甘蔗糖が成熟に從ひまして葡萄糖と果糖とに分解するのであります、其結果甘蔗糖よりも甘い糖が出來るのであります爲めにそこに一層の甘味が出來るのでございます是は柿の場合でございますが蜜柑の場合は是は違ひます、蜜柑の場合は「スッパイ」のは酸のあるのでありまして甘いのは砂糖でございます、成熟するに從ひまして酸味が甘くなり段々酸の量が減じて來ましてさうして砂糖の量が殖へるのでございます、葡萄が甘くなるのは又樣子が違ひます、葡萄の甘くなるのは酸の量が減るのではありませぬ、酸の量は成熟すると共に增加するのですが成熟に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

連れて有量の酸が段々少くなるので醣類に變る、それ故に葡萄は成熟するに從つて變つて來るのであります、御當地の芭蕉の實は士林の方でも御研究になるやうに澱粉が段々砂糖に變化するからでございます、そこで初めて甘味が出て來るのであります、斯やうに水氣の果物が成熟するに從ひまして果物が特有の變化致しましてそこに甘い味が現はれて來るのでございます、茲で面白いと思ひまするのは酸でございます、有機酸でございます、不思議なことがございます、果物の種類に依りまして或有機酸の種類が變つて居ります、果物の種類が變化して果物が冬熟する果物と夏熟する果物に依りましてそこに出來ます酸が變つて居ります、例へて申しますれば林檎の中にございます酸は主として林檎酸でございます、所が林檎は我國で申しますと秋田と云ふやうな北で出來るものであつて南の方は温帶でなければならぬ柑橘類でございますれば枸櫞酸になるのであります、温帶に出來る所の葡萄は酒石酸が主なる者でありまして山桃と云ふ桃がございます、是は夏出來る果物であつて是には枸櫞酸か主であります、蜜柑の樣な冬出來る果物でも熱帶温帶で出來ます果物でありますれば枸櫞酸か多くして一寸是が温帶の氣候で初夏の候成熟致します山桃の中に在る酸と似て居るのであります、不思議の事がございます、冬此寒い所で出來ます果物はどうも林檎酸であるとか或は酒石酸と云ふやうなものでありまするが暖い所で出來ます熱帶地に出來ますものには枸櫞酸が出來緯度の相違或は季節の相違でこんな果物の中に出來ます酸に相違のあるものであることは餘程面白いことでありまして是は砂糖が變化して行くのでございますが砂糖の變化の上に於て非常に面白い研究問題でございますので私は此問題を今尙ほ續けて研究して居るのであります、昨日中澤博士から餘程面白い事柄があることを聽きました、「モロミ」の中の酸が今私の申上げましたやうな關係にある、南の方に行けば行くに從つて北の方に出來る諸味の中の有機酸と違ふと云ふお話を聽きましたが大變面白いやうに私は感じました、何故それが出來るかと云ふ理屈は措きまして更に果物の香と云ふものを考へて見たいと思ひます、一體植物界に於きまして櫻或は李或は薔薇と云ふやうな花であるとか或は花瓣とか葉と云ふやうなものは芳香を有つて居ります、御當地には澤山に芳香のものがあります、此芳香性のものは單に花或は葉ばかりでなく果物に一種特有の香があるのであります、此香は我々敬美せずに見ることの出來ないのであります、果物の風味と申しますが此風味と云ふ字は實に面白い字のやうに思ひます、此果物には風味と云ふて味ばかりでなく風が必要であります香が味を助けるものと思ふ、春の花木、秋

の香ひは「アルクホール」、「アルカヒード」があるのであります、果物の香と云ふものは襲きに申上げました有機酸の「エステル」或は「アルカヒード」が多いのであります、何で此香が出來るかと云ふ問題は又餘程面白いのでございます。

次に我々が、果物が成熟しまして果物が段々と青いものは色付いて來ますと云ふと、氣の付くのは果物が軟かくなることであります、何で軟かくなるか、此軟かになることに關係を有つて居るものが恐らく「ペクチン」だらうと思ふのであります。水氣の果物の中には勿論水分がございますが、成熟するに從ひ水分が殖へるので軟かくなると云ふやうに考へる人もありますが是は恐らく間違ひのやうに思ひます、是を以て見ますと、果物は段々成熟するに從ひ水分は段々に減る、果物ばかりでなく生物と云ふ生き物は段々年を取るに從ひ水分は減るのであります、果物は水分が減つたばかりで軟くなるかと申しますると「ペクチン」の化學的變化に依るのでございます、此「ペクチン」が果物の中に有つて居ることは又果物をして利用されて居る點であります、「ジャム」或は「ゼリー」を造るのは「ペクチン」があるからでありまして「ペクチン」がなければ造ることは出來ませぬ。

偖て斯う云ふやうな色々の變化があると云ふ事柄を我々が少しばかり知りますと云ふと之を元と致しまして果物の利用をすることが出來ると思ふのであります、果物の利用に付て御話をしたいと思ひます、柿の問題でございます、我國に於ては古來吊柿を作りまして柿を保存致すのでありますなぜ吊柿をあんなにして作るかと云ふ問題が起ります、柿の中には砂糖類が普通成熟しまする場合には十パーセントばかり含んで居るのであります、十パーセントの砂糖溶液を空中に放置する、醗酵する、そこで此砂糖液を五十或は四十パーセントに致しますれば醗酵しない、さうしますと云ふと砂糖の水溶液の醗酵させないやうにする爲には濃厚なる溶液を作らなければならないのであります、一體柿には八十パーセントばかりの水分を有つて居るのでございますそこで八十パーセントの溶液、水分を蒸發致しまして二十四パーセントばかりの水分にしますと云ふと僅かに四十パーセント位の砂糖含量のものになるのであります、そこで今吊柿を作ると云ふことは當然此所にあると思ひます、十パーセントの砂糖を四十パーセントの砂糖液に變へる、言葉を換へて申しますと八十パーセントの水を二十四パーセントに蒸發加工すると云ふ方法であります、此方法を執る爲めにどう云ふ方法をするならば合理的であるかと云ふことが問題になります、我々

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の祖先は知らず〳〵多年の經驗に依つて吊柿にする方法を案出して居るのであります吊柿に致して柿の表面にある皮を取ります、爲めに自然に蒸發が盛になるのでありますそれなら火に掛けて炙つたらどうか、乾燥したらどうかと云ふことでありますさう云ふ方法であると云ふと成分の變化が出來まして味が保てませぬ、美味い味を殘して水分が蒸發する爲めに外から皮を除くと云ふのが一つの方法になります、皮を除くと傷を付けるさうすると「バクテリヤ」が浸入して來ます、其浸入を防ぐ爲めに澁が表面に現はれて來まして皮膜を作る其皮膜を通じて水分が蒸發する、其爲めに秋の變りになつて南に吊して吊柿を造る之も合理的に考へたものであります、唯此時に考へなければならぬのは乾燥しつゝある間に呼吸はして居りますが其爲めに更らに含まれて居る砂糖が炭酸瓦斯と水に分解されて砂糖分が減るそれ故に適當なる方法を講じなければならないと云ふことになるのであります、緩りして置けば腐敗する或は醱酵が遲い、卓子の上に柿其他の果物を置いて御覧なさい、醱酵する酒臭くなる、それ故に適當に保存するとしたら吊柿であれば其時に水分二十四パーセント以内にしましたら吊柿は不味い、二十四パーセント以上にならぬと不味い、試みに一つの柿を採つて來まして其水分を計つて見ますと二十四パーセント以上であります、果物の味と云ふものは其中に含まれて居る水分の量が非常に關係するのであります、唯に果物ばかりでありませぬ、我々の食物と云ふ食物から此水分を取り去つた、時には味にならないと思ふのであります、是は食物の中に水分の量と云ふものは味の上に於て輕々しく見られないと思ひます。

偖て面白い話は柿を吊柿にすると其表面に白い粉が吹くのであります、其粉を調べて見ますと葡萄糖と果糖とが含んで居ります葡萄糖と果糖との割合は九對一と云ふ割合であります、此柿の中の成分を調べて見ますと葡萄糖と果糖との割合が面白いことには五と四の割合でございます、或は五對五と云ふ割合になつてございます、それは何で柿の白い粉が外に出て來るか、何で九對一の割合に變るか分からない、此話を中澤博士に話しました所が中澤氏は面白いことが解つて居る、大連で某氏が柿の白い粉の吹いて居る表面の一種の酵母と云ふものがあつて、其酵母が葡萄糖、甘蔗糖を消費する力がある、酵母があるかと調べて見ますと成程あります、さうすると私は斯う考へた、其酵母が五對四と云ふ割合に砂糖の中に果糖だけ餘計にあります結果葡萄糖と果糖との割合が九對一になつて居るのではないかと考へたのであります、それ以上のことは知りませぬ後は中澤

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

博士に敎へて戴きたいと思ひます、兎に角面白い事柄が此吊柿により行はれて居ります、さやう致しまして我々の祖先の仕來つて居る所の事柄を精細に觀察しますと云ふとそこに面白い結果が得られるのでありまして結局第一步に祖先の殘された文明を今日の化學を以て說明するのであると考へます、殊に我國は天候の關係上、黴「バクテリヤ」が世界に稀なる繁殖する國であります、此世界に稀なる所を利用致しまして果物の副產物の利用の方面に向けてはどうかと考へるのでございますが、是も亦中澤博士に敎へを受けなければならないかと思ふて居ります、さう云ふやうな意味に於きまして例へば果物の中に於ける成分に對する種々の黴「バクテリヤ」を詳細に研究しそれ等の智識を臺灣に於ける果物の利用と云ふことを考へたならば今後面白い結果が得られはしないかと考へたのでありまして最近の報告に依りますと云ふと芭蕉の中に「ビタミン」のBがないから癌の細胞を增殖する事に對して働かないと云ふ樣な事で芭蕉の實が中々良いと云ふ話もあるのでございますから兎に角果物が我々の食ひ物となるは少くないのでありまするが營養物は少ないのであります、嗜好品と致して充分價値のあるものは他に類のないのでございます私は今の化學が進步したと雖も之を利用するに至らないのであります、此天の惠を我々が嗜好品と致しまして朝夕食用に供して我々の健康を保つに必要なるものと致しまして之を用ひることは宜いのでございます。或は此果物をして英吉利の政治家の如く植民地政策をやるのも一つの方法であります、斯う云ふことは人々の共人に依つての用ひ樣でございますが之を有效に用ゆると云ふことに對しましては果物に於ける成分が如何に變化するかと云ふことを研究すると云ふことでございます、卽ち果物の生物化學と云ふ事柄が必要なる問題と思ふのでございます、勿論果物の果樹、色々の果樹の栽培であるとか品種の改良と云ふやうな園藝上の問題でございます、園藝上の問題と相俟つて化學的の變化を研究することは等閑に附すべきものでないことを私は申上げて置きたいと思ひます、御同感の御方がございまして斯う云ふやうな研究して下さるならば唯に學術の進步のみならず我國の國產の增殖と云ふ問題に關係を致しまして誠に幸ひと存ずるのであります、私の少しばかり研究致しましたる事を御專門の方々の前で臆面もなく申上げて御批評を仰ぐ次第でございます、終りに私は此果物の研究するに就きまして研究費は文部省の方から頂戴してやつたのでございまして此席で文部省から戴いたと云ふことに對しまして御禮を申上げたいと思ひます、本日は御天氣の惡いにも拘はりませず私共の一行の爲めに斯く御集まり下され御淸聽を煩はしたることは誠に私共の光榮とする所でございます又會長には態々私共をして斯う云ふ機會を御與へ下されましたことは誠に一身の光榮と致しまして厚く御禮を申上げる次第であります。（終り）（文責在記者）

綠風抄

石川欽一郎

◆風流心

風雅とか風流とか云ふものは日本人だけが持ち又た日本人だけに解せられる或る種の審美心で、他の東洋人又た勿論西洋人には通用せぬものであると思ふ。日本人の座敷へ西洋人が這入つて宛るで空家の如うだと驚けば、西洋人の座敷へ日本人が這入つて宛るで道具屋の如うだと驚く。日本人の裝飾は總て風流から割出して遣るがそれが西洋人には通用しない我々の所謂風流なるもの丶要領は省略にある。何故省略をするかと云へば、その殘されたものに依つて省かれたものまで想像させやうと云ふ意匠である。

眞の風流は自然味の發露であるが、それを人爲に扱つて風流を得やうとすれば往々形式に墮ちる。月並的の風流よりも野人の俗の方が自然のまゝで遙かに風流であると言はれるのはこれである。

自然味と云ふものは日本人以外の他の外國人にも解かることは勿論で、これは人間の天性である、ただ日本人に限つてこの自然味を整理する一種の意匠を持つのが我々の風流心である。他の外國人は敢へて整理しやうとはせずに自然を自然の儘に置く。偶々意匠を加へるとなれば遂に道具屋の店の如うなものが現はれる。

日本人が自然に整理を加へやうとする風流は、一つにはその性來の潔癖からも來ること丶思はれる。日本人の裝飾の意匠には物を片付けると云ふ考へも可なり含まれて居るが、他の國の人々のそれには片付けるよりも寧ろ取り出して並べ立てる考へが多く働く。餘り省略と云ふことを考へない。

最も美化された省略は最早それよりも殖すことも出來ず又減らすことも出來ない。ただその儘に完全なるものである

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私が京都桂の離宮を拜観した時に御玄關前の敷石の配ばり方に此活例を見たのである。桂の離宮は秀吉の命を受けた小堀遠州が設計したものであるが、御玄關前の敷石の配ばり方は遠州自身が、手を下して配置したものであると言はれる。實際その石の配り方を見れば釣合と對照と變化との總べて構圖上の美が極めて完全に現はれて居て、最早一石を加へることも減らすことも出來ねばかりで無く、その一つを僅に動かしても直ぐに全體の整備を破るまでに意匠の微妙な働きが現はれて居る。

これほどまでに巧まく配置された敷石は、その上を歩くよりも立つて見て居た方が遙かに愉快であると思はれるほどに洗錬されたる日本人の風流味が躍如する。

◆西洋建築

日本に建てられた西洋館の沿革を考ることも亦た一興であらう。異人館と唱へられた初期時代の西洋造は外國人の建築家が西洋其儘のものを建てた。それで和蘭陀人は和蘭陀風の家を建て伊太利人は伊太利風の家を建て英吉利人は英吉利風の家を建てた。その次ぎには日本人にも西洋風の建築家が出るやうになつて、西洋に在る美術的の建築をそのまゝ模倣したものを建てるやうになつた。つまり西洋人の手を借りずに日本人にも西洋建築が建てられるやうになつた。その次ぎには日本人の西洋建築家が西洋の模倣で無く日本人の設計に成つた西洋建築を建てるやうになつた。現代もこの傾向で進んで行つて居るが、その一方に面白いことは、西洋人の建築家が日本風の意匠を元として設計したものを建てるやうになつた、以前大阪心齋橋通の大丸の店は日本に居住する或る米國人の建築家が設計したもので日本風の意匠が却々よく出て居た。更らに日本風の意匠としてはライト氏の設計に係はる東京の帝國ホテルの建築などそれである。あれだけに日本味のあるものを西洋人が設計すると云ふことは西洋人に取つては却々の大事業であらうが、實は日本人から見ればあたり前のもので珍しくも無い。あれなら態々西洋人の建築家を累らわさずとも最初から日本の大工に圖を引かせてそれを煉瓦で積み上げれば一層面白いものが出來たらうと思はれる位であるが、たゞあれまでに日本風を取り入れたと云ふことが西洋人としては大したことであつたと思ふだけである。尤も日本風と言つても我々から見ればあの建物はまた純粋な日本とまではなつて居ないで、朝鮮あたりで停まつて居るとしか思はれないが。

それにしても、以前には日本人の建築家が西洋風そのまゝ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のものを設計して得意で居たのと恰度反對に西洋人の建築家が今は日本風のものを模倣しだしたのは面白い。

併し風流心の相違からその建築物の氣持ちに爭はれぬ點が見へる。例へば日本人が設計すれば西洋館でも何處となく細部分まで所謂造作を氣にして居るやうな趣きが見へ、西洋人が遣れば日本風の建物でも何處となく大まかで細部分など素ほかしたやうな處も出る。つまり日本人は大括りに不得意が見へ西洋人は細部分の整理に不得意が窺はれる。

これは恰度、西洋人か食麵麭の一片にナイフでバタを無雜作に塗り付けるのと日本人か漣の如うに美しく並列する刺身を手際よく他を壞はさぬやうに一切れ狹み取るのと同じ關係に依る心の働き方である。

◆喇叭の音

西洋の街は元より香港あたりでも彼處の英國兵が喇叭を吹いて市中を通ほるその堂々と立派な響には感心させられて、流石に西洋の兵隊は第一體軀が大きい者又た體力も強いからそれであんなに喇叭の音が大きい、日本の兵隊の吹く喇叭はあれに比べては子供の遊戯位にしか聞かれぬと初めて外國の土地で外國の兵隊の吹く喇叭の音を聞く時我々は皆この感を同じくせざるを得ぬ次第であるが、併し臺北の停車場から表町の通りを博物館の方へ向つて兵隊が喇叭を吹きつゝ行進するその音を聞く時、なに日本の兵隊でも却々西洋の兵隊に負けぬ位の立派な音を出して喇叭を吹くことが出來るのを今更らのやうに感じる。それで思ふに、西洋の街は兩側に煉瓦造や石造の家が高く並び道路も混擬土や石で固めてある、其處で吹く喇叭の音は周圍の反響に依つて堂々と鳴り渡る。一つには其場所の關係にも依ることは、臺北の主なる街を通ほる日本の兵隊の喇叭の音を聽いても解かるのである。日本の市街も家屋の建築や路面が追々西洋風になつて來れば兵隊の喇叭までも西洋並みに響いてくることは面白い對照である。まだ臺北の家並は西洋の家並ほどに頑丈に出來ては居ない、又た路面もアスファルトであるから倫敦の路面ほどに固く無いことは勿論であるが、若し日本の兵隊に倫敦の市中で喇叭を吹かせたならば日本で聽くよりも遙かに立派に響き渡るに違ひ無いことが察せられる。世の中は何にでも背景の影響は重大であるが兵隊の喇叭の響にもそれが適切に感ぜられるのは面白い。

◆六根清淨

登山の時期になれば臺灣をはじめ日本と言はず世界到る處に登山者が動き初める。殊に我が臺灣では近來素晴らしい勢で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

山の征服が行はれる。一體、日本の山登りは信心から初まつたものであるから、最初お山は山伏や行者連に依つて開拓された。清き白衣に澄む鈴の音には清淨さが流る。併し今では信心よりも研究的又體育的の目的で登る人の方が多いやうになつた。臺灣の山登りは內地のそれに比べては初めから信心主義から開拓されたものでは無く、專ら探險的に行はれた從つてまだ臺灣の山には白衣の姿も鈴の音も山伏行者の連中も見かけない、第一拜むべき神社佛閣も無い、この點は西洋の山によく似て居る。瑞西あたりの登山者は信心で登る人は無く。專ら興味中心である。高い山を片端から平らげるその壯圖に對する快感が主なるものである。先づ名山を公園化する考案が主であるから昔でこそ靈地など丶眞面目に考へられたものが今の分では場合によつては酒歌の境ともなりかねぬ勢ひであるのが山岳界の趨勢であらう。それ迄は無いとしても山登りから信心氣を取り去ることが將來にどんな結果を來たすであらうかは興味ある問題である。

ラフカヂオ、ハーン氏がその隨筆アンファミリヤ、ジャパンと中に、何處かの神社の前で、其處へ參詣に來た女が、懇意な女に出逢つて、幾度も挨拶を交はしながら連りに饒舌つた揚句、おもひ出したやうに社殿に進んで簡單にお詣りを濟ませてから又た前の續きを饒舌つて居るのを見て大に感心した。そして日本人のやうに淡泊な信心氣は他に見られない。「自分が拵しらへた神を大して怖がらぬ國民ほど幸福なものは無い」と感想を述べて居るが、成程言はれて見れば我々の所謂信心氣にはさう云つた趣きもある。六根清淨〳〵で富士のお山へ登つた連中が、降りて來た御殿場の宿で精進落しと云ふことをやる。それでお山の期間に遊廓が出張して店を開く。これは先年、冬の富士を描きに御殿場へ出かけた時、町端れに堂々たる幾棟かの空家があるのを見て土地の人に尋ねたら、これが出張遊廓であると敎へられて異樣の感がした。そして、ハーン氏の見た女の參詣者の心持に似たものがあるのを面白く思つた。

信心でお山へ上がるのは參詣の爲めであらうが、それが濟めば直ぐに精進落しと來るのは餘りに淡泊過ぎる。しかしこれが自分の造つた神を強いておそれぬ日本人の美質と見れば良い點もある。いまのところ臺灣での山登りには六根清淨も無い代はりに精進落しの必要も無いのが幸福であるとも言はれやう。精進落しなど丶云ふことは誰が思ひ付いたものか知らぬが、その考への中にはハーン氏の見た女の參詣者の如うに淡泊な罪の無い處も一方にあるが、又た一方には山登り

を民衆化するに就ての考慮にもよることであらう。臺灣に於ける山登りは未だ民衆化するまでにはなつて居ない。娯樂で無く眞面目の目的に依つて行はれて居る現在の狀態であるが、是は何處までもこの儘續かせ度い。神社佛閣を態々お山に拵しらへてまでお山を清淨化することも無用のやうに思はれるが內地の場合に就て考へれば、昔から幾多の宗教家が難行苦行の目的でお山を開いたのが最初で、追々民衆化するやうになつたが、臺灣ではこの關係が違ふ。聞く處に依れば蕃人は皆高山に對して信心氣を湛へて居ると云ふが、蕃人以外には、外國人の宣教師などが探險的に登山したのが起りのやうであるから、宗教と云ふものから離れて居るのが臺灣の高山の特色で現在では主に學者や學生が開拓者になつて居る形ちであるから、將來は益々この方面に學術的の探究や開發を見ることかと思はれる。これはなまじ宗教を標榜して追々精進落しなどが現はれるよりも反つて清淨の氣がする。

◆クールベー提督の墓

英國宣教師キャンベル氏の臺灣隨筆の中に、澎湖島は馬公城外の草原に在る佛國クールベー提督の墓に就ての記事がある。私も嘗て同地へ寫生行の折に、計らずもこの墓の前を通り合はせて拜を捧げた因緣があるが、茲に永く同島の歷史的名勝の中に遺るべきものであらう。キャンベル氏は二十年ほど前の六月の半ばの頃、この墓前に立つた。周圍には土地の人々が大勢集まつて來た。その中の年長者はいろ〳〵と當時の模樣をキャンベル氏に話しかけた。「此人は非常に强つた」「この人は却々嚴格であつた」「此人は憐な者をよくいたはつた」。と故提督の勇敢正義愛憐に就て交々語つたが。それを聽いたキャンベル氏は、クールベー提督が征服者としての地位に立ち乍らかくまで賞讃の辭を里人に湛へられることは方さにその至德の現證とも見るべく、眞の武人の譽はこれに上越すものは無からう。併かも集まれる者一人として帽子を取らぬ者は無い有樣であつたと述べて居る。この記事を讀む時あの提督の墓に對する感慨は更らに深いものがある。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

産業資金需要見込額調

財務局金融課

＝本稿は本島産業の開拓及集約的經營並新規產業資金の需要見込額に關する財務局の調査に係るものにして本誌本年一月號所載、中田榮次郎氏の「臺灣に於ける長期金融機關整備の必要」と題したる論文中の產業所要資金概算の內譯なり。編者記＝

産業資金需要見込額

一	灌漑及排水工事に要する資金	五〇、二四五、三〇〇圓
二	廢川敷地の開拓に要する資金	四、四五〇、〇〇〇
三	豫約賣渡許可地貸渡許可地開拓資金	七、〇三九、〇〇〇
四	水產業資金	一七、三四五、〇〇〇
五	干拓及魚塭築造資金	五、七五〇、〇〇〇

六	鳳梨事業資金	一三、一九五、〇〇〇
七	養豚事業資金	一三、〇六二、五〇〇
八	農耕牛購入資金	二、九〇〇、〇〇〇
九	施肥量増加に伴ふ肥料購入資金	九、七七三、〇〇〇
十	籾摺工場施設改善資金	一、五八五、〇〇〇
十一	茶業資金	二、〇〇〇、〇〇〇
十二	林業資金	五、六七七、〇〇〇
十三	蕃界開拓資金	二〇、六〇〇、〇〇〇
十四	自作農助成資金	九五、五九三、〇〇〇
十五	島内各銀行（勸銀關係を除く）不動産擔保貸肩替	一八、三七八、〇〇〇
	合計	二六七、五九二、八〇〇

〇灌漑及排水工事に要する資金見込額　（五〇、二四五、三〇〇圓）

内務局土木課の調査に依れば（一）昭和二年より十ヶ年間に於て水利組合の新設若は擴張に依り實行せらるべき灌漑排水工事に要する工費概算は別記の如く五八、一〇九、〇〇〇圓（新設一二二組合、既設七二組合施工面積二四五、〇〇〇甲）右に依り收穫増加見込米一、六四三、〇〇〇石にして（二）河川工事の施工に伴ひ實行せらるべき灌漑工事に要する工事費概算は一三、六七〇、〇〇〇圓（新設五七組合、既設八組合、施工面積七七、七〇〇甲）右に依る收穫増加見込米六三〇、〇〇〇石(三)以上合計工事費七一、七七九、〇〇〇圓の見込なるを以て右七千百七十七萬九千圓の七〇％を貸付するものとして本項所要資金を計上することとせり以上の資金を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

投じ工事完成の曉は收穫米二、二七三、〇〇〇石此の價格五千四百五十五萬二千圓（一石當平均二十四圓にて換算）の增產を見るべき豫定なり。

水利組合新設見込調

一　昭和二年度より十ヶ年間に實行見込のもの

一區域ノ面積	排水灌漑別	組合數		面積	工事費	收穫增加見込高	備考
五百甲歩以上	排水	新設	四	甲 五〇,〇〇〇	圓 一四,〇〇〇,〇〇〇	石 二〇〇,〇〇〇	
同	同	既設	九				
同	灌漑	新設	一八	六二,五〇〇	二七,九八〇,〇〇〇	七八〇,〇〇〇	
同	同	既設	四二	一二四,〇〇〇	九,四二九,〇〇〇	三七〇,〇〇〇	
計		新設 既設	三三 五一	二三六,五〇〇	五一,四〇九,〇〇〇	一,三五〇,〇〇〇	
五百甲歩未滿	灌漑	新設	一〇〇	一五,五〇〇	五,四六〇,〇〇〇	二七〇,〇〇〇	
同	同	既設	三一	三,〇〇〇	一,二四〇,〇〇〇	二三,〇〇〇	
計		新設 既設	一〇〇 三一	一八,五〇〇	六,七〇〇,〇〇〇	二九三,〇〇〇	
合計		新設 既設	一三三 七三	二四五,〇〇〇	五八,一〇九,〇〇〇	一,六四三,〇〇〇	

二　河川工事の施工に伴ひ實行見込のもの

一區域ノ面積	排水灌漑別	組合數		面積	工事費	收穫增加見込	備考
五百甲歩以上	灌漑	新設	六	甲 二八,七〇〇	圓 五,三二〇,〇〇〇	石 三五〇,〇〇〇	
同	同	既設	八	四〇,〇〇〇	六,二四〇,〇〇〇	一四〇,〇〇〇	

計		新設 既設	六 八	六八、七〇〇	一二、四五〇、〇〇〇	四九〇、〇〇〇
五百甲歩未滿	同	新設	五一	九、〇〇〇	一、二三〇、〇〇〇	一四〇、〇〇〇
合計		新設 既設	五七 八	七七、七〇〇	一三、六七〇、〇〇〇	六三〇、〇〇〇

三　以上一、二合計額

組合數　二六〇（新設組合一七九　既設組合八一）

面積　三二二、七〇〇甲歩

工事費　七一、七七九、〇〇〇圓

收穫增加見込　二、二七三、〇〇〇石

此の價格　五四、五五二、〇〇〇圓（一石平均二四圓にて換算）

備考

一　本表は內務局土木課に於て最近に調査せる資料に依る

一　組合數中に既設とあるは既設組合を改良擴張し新區域に灌漑又は排水を行はむとするものなり

一　耕地整理事業は本島に於ては水利組合の事業として之を行ふことゝなり居り本表水利組合新設見込調中に包含するを以て別に耕地整理事業として計畫せるものなし

一　本表以外に於て地方廳より起業計畫を報告し來る居るもの大正十五年度工事費一、七〇六、〇〇〇圓を算するも少額に付本所要資金中には之を算入せざることとせり

○廢川敷地の開拓に要する資金見込額　（四、四五〇、〇〇〇圓）

廢川敷地其の他の荒蕪地中差當り開拓可能と認めらるるものは一區域百甲步以上のもの別記の通り九千二百五十六甲步にして開拓所要資金四百四十五萬圓を要する見込なり。(本件は便宜上特掲することゝせり)

右は開墾後五ヶ年を經過するときは田畑共凡て熟成の豫定にして六年目よりは投下資金に對し最小一割三分三厘最高二割四分五厘利廻の小作料收入を穫得し得べき見込なるを以て平均一割八分八十萬一千圓の小作料收入を得るものとし之を年九分利廻り還元するときは五ヶ年後に於ける開拓地價格は八百九十萬圓となるべし又小作料は收穫高に對し普通田五〇%畑三〇%內外なるを以て小作料收入見込年額八十萬一千圓を四〇%にて還元するときは本開拓地より生ずる一ヶ年の總收益額は約二百萬圓となる勘定なり原地の價格は一甲步平均百圓內外の見込にして前述の如く收益確實なるものと認めらるゝを以て開拓所要資金に對しては大體其全額を貸付することゝするも差支なきものと思惟せらる。

廢川敷地其他荒蕪地開墾費調

番號	地所	開墾目的	開墾地面積	創業費 一甲當	創業費 總金額	一甲當經常費	一甲當小作料收入金	利廻六年目
二	新竹州頭前溪	二期作田	一〇四甲	七七〇圓	八〇、〇八〇圓	二八圓	一五〇圓	〇、一五八
三	同 後龍溪	同	一二八	七一〇	九〇、八八〇	二八	一五〇	〇、一五八
四	同 大安溪	二期作田 三六〇甲	三三四	七六〇	二五三、八四〇	二八	二〇〇	〇、二三六
五	臺中州大安溪	一期作田 四三〇甲	四一八	六〇〇	二五〇、八〇〇	一八	一〇〇	〇、一三六
	同 濁水溪	二期作田二、〇〇〇甲	一、七六〇	七〇〇	一、二三二、〇〇〇	二八	二〇〇	〇、二四五
七	同 同	一期作田二、〇〇〇甲	一、八六〇	五九〇	一、〇九七、四〇〇	一八	一〇〇	〇、一三八
	同 同	畑 七九九甲	七四三	二〇五	一五二、三一五	二	五〇	〇、一九〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

八	臺南州新虎尾溪	畑	二、一九七	一七五	三八四、四七五	一〇	四〇	〇、一七六
九	高雄州下淡水溪	二期作田 四七〇甲	三〇七	五七〇	一七四、九九〇	一六	一七〇	〇、二四九
	同 同	一期作田 二七七甲	一八九	五〇〇	九四、五〇〇	一八	一〇〇	〇、一六四
一〇	高雄州林邊溪	一期作田	五二八	五五〇	二九〇、四〇〇	一七	一〇〇	〇、一五〇
一一	臺北州大南灣	二期作田 五〇〇甲	三二五	七八〇	二五三、五〇〇	一六	一五〇	〇、一五六
	同 同	畑 五〇〇甲	三二五	三〇〇	九七、五〇〇	一〇	五〇	〇、一三三
	計		九、二〇八		四、四五〇、〇〇〇			

（七、〇三九、〇〇〇）

○豫約賣渡許可地開拓資金所要見込額

首標に屬する田畑開拓見込地の面積は別記の如く大約賃渡許可地六、二七五甲豫約賣渡許可地二三、三六九甲歩合計二九、六四四甲歩にして此の內五〇％一四、八二二甲歩（田成五割畑成五割）に對し今後十ヶ年間に於て開拓資金の供給を要するものと假定し開墾費用一甲歩當り田七〇〇圓畑二五〇圓を要するものとせば左記內譯の通り七、〇三九、〇〇〇圓の資金を要する勘定なり。

內譯			
田	七、四一一甲歩	開墾費 七〇〇圓	五、一八七、〇〇〇圓
畑	七、四一一甲步	同 二五〇圓	一、八五二、〇〇〇圓
計	一四、八二二甲步		（七、〇三九、〇〇〇圓）

（參考）今後耕地として開拓し得べき見込の土地調（拔）

三、貸渡許可地

内務局地方課地理係の調査に依れば官有地中耕作又は植林用として貸渡せる土地は大正十二年末現在二四、五〇九甲步にして内三、五九一甲步（廢川敷地）は臺中州に貸與中にして之を差引くときは二〇、九一八甲步となる計算なり此の内開墾適地何程なるや又既に開墾を了せる土地何程なるや等に付ては何等調査せしものなきも同局係員の推測に依れば三〇％位が耕地適地にて他は植林地ならむとのことに付假に右の推測に從ふときは六、二七五甲步を以て耕地適地なりと見ることを得べし。

因に貸渡許可地は從來の取扱に依れば貸渡期間の滿了と共に官租地に組入れられ居れり。

四、豫約賣渡許可地

開墾又は植林の目的を以て一定期間内に事業の成功を條件として民間に拂下ぐる土地を豫約賣渡許可地と稱す主管局の調査に依れは大正十二年末現在七七、八九七甲步にして（三）項は例に依り此の三割を耕地適地と看做すときは二三、三六九甲步となる。

○水產業資金所要見込額　（一七、三四五、〇〇〇圓）

本島に於て今後十ヶ年間に水產業資金として供給を要する金額は別項に詳述せるが如く二〇、九四五〇〇〇圓（需要總額四一、八九〇、〇〇〇圓）の豫定なるが本資金の供給に依り直接增加を來すべき一ヶ年の水產額を概算すれば（一）漁業資金の供給に依り五七、六〇〇、〇〇〇圓（底曳網漁業一隻の漁獲十五萬圓二〇〇隻にて三千萬圓、鰹釣同八萬圓一〇〇隻にて八百萬圓、鮪旗魚同六萬圓五〇隻にて三百萬圓、鰹巾着同八萬圓五〇隻にて四百萬圓、定置同十二萬圓三〇統にて三百六十萬圓、在來同三千圓三千隻にて九百萬圓（二）養殖

業資金の供給に依り四、三二〇、〇〇〇圓（魚塩一甲當一二〇圓三萬五千甲にて四百二十萬圓、養蝦一甲當六十圓二千甲にて十二萬圓）（三）鰹節製造工場の資金の供給に依り一、二五〇、〇〇〇圓（増産額二百五十萬圓）の内半額は原魚として（一）に算入）

合計　六三、一七〇、〇〇〇圓となる勘定なり。

一、漁業資金　一四、二〇〇、〇〇〇圓

暖流の影響に依り本島沿岸は一般に各種の魚族豊富にして一面近く南支南洋方面に絶大なる鰹鮪鯵等の各種底魚族を産する好漁場を控ふるを以て今後十ヶ年に於て之が開發に要する資金を左の如く推算し此の二分一に相當する金額を貸付するものとし所要金額を頭書の通り計上せり。

資金内譯

種目	一隻當單價	一ヶ年見込額		十ヶ年見込額		備考
一、機船底曳網漁業	五〇,〇〇〇圓	二十隻	一,〇〇〇,〇〇〇圓	二〇〇隻	一〇,〇〇〇,〇〇〇圓	一隻建造費三萬圓八〇噸、運轉費（一隻ニ二萬圓ノ割）一〇〇馬力
二、鰹釣漁業	五〇,〇〇〇	十隻	五〇〇,〇〇〇	一〇〇隻	五,〇〇〇,〇〇〇	一隻三萬圓 運轉費二萬圓
三、鮪旗魚漁業	四〇,〇〇〇	五隻	二〇〇,〇〇〇	五〇隻	二,〇〇〇,〇〇〇	一隻三萬圓 運轉費一萬圓
四、鰹巾着網漁業	六〇,〇〇〇	同	三〇〇,〇〇〇	五〇隻	三,〇〇〇,〇〇〇	一隻三萬圓 網代一萬圓 運轉費二萬圓
五、定置漁業	一ヶ所 八〇,〇〇〇	三統	二四〇,〇〇〇	三〇統	二,四〇〇,〇〇〇	網代六萬圓、運轉費二萬圓
六、在來漁業者ニシテ資金ヲ要スル者	一隻當 二,〇〇〇	三〇〇隻	六〇〇,〇〇〇	三〇〇〇隻	六,〇〇〇,〇〇〇	在來ノ竹筏ニ依ル業漁ニシテ小型ノ發動機船ニ改ムルモノ
計			二,八四〇,〇〇〇		二八,四〇〇,〇〇〇	

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二、漁業組合其他水産團體事業資金　一、三〇〇、〇〇〇圓

本島に漁業法及關係法規の施行せられたるは大正十三年二月にして施行後日尚淺く爲めに現在に於ては漁業組合二十一に過ぎざるも目下計畫中のものを合するときは百以上となるべく而して漁業組合及其他の團體は規模の大小あるも人工漁礁の築設、魚附林の設置、漁港貯藏場設置、共同販賣購入及運搬等漁村の共同施設事項を目的とするものにして事業遂行上要する資金として頭書の金額を見込めり。

資金算出基礎

漁業組合所要總額　一、〇〇〇、〇〇〇圓（十ヶ年所要額）

年額　一〇〇、〇〇〇圓

其他の團體の所要總額　三〇〇、〇〇〇圓（十ヶ年所要額）

年額　三〇、〇〇〇圓

三、水産冷藏事業資金　一、一八五、〇〇〇圓

冷藏業は國民の保健衛生上よりするも産業開發の見地よりするも頗る重大なる使命を有するものなるが就中本島の如き熱帶地而かも絶海の離島に於ける水産業の進歩發達を期せむには缺くべからざるの施設なり。即本施設に依り島内に於ける鮮魚の需給調節販路の擴張は元より更に進むで之が島外搬出を圖り以て有望なる本島水産業の堅實なる發達を助長せむとし之に要する資金を算出し其の半額を貸付するものとすれば頭書の如き金額となる。

而して冷藏設備としては主要漁業根據地五ヶ所に（基隆、高雄、蘇澳、馬公、新港）毎年一ヶ所宛相當大規模の冷藏庫を新設し主要漁業地六ヶ所に（淡水、舊港、鹿港、東石、頂茄萣、東港）毎年一ヶ所宛氷庫を新設し主要漁

費地(臺北、臺中、臺南外九ヶ所)に十ヶ年計畫を以て各冷藏設備を新設する豫定とし倘冷藏運搬船建造費としては內臺間運搬用として鐵船四隻を毎年一隻宛新造し島內廻り用として木船六隻を毎年一隻宛新造する豫定として其の所要資金を算出すること次の如し。

所要資金算出基礎

區分	種類	員數	單價	價格	備考
陸上設備	冷藏庫	五箇所	一四四、〇〇〇圓	七二〇、〇〇〇圓	
	貯氷庫	六	八、五〇〇	五一、〇〇〇	
	消費地冷藏庫	三	三六、五〇〇	四三八、〇〇〇	
計				一、二〇九、〇〇〇	
運搬船	鐵船(二百噸三百馬力)	四隻	二七〇、〇〇〇	一、〇八〇、〇〇〇	
	木造船(二十五噸四十馬力)	六	一三、八〇〇	八二、八〇〇	
計				一、一六二、八〇〇	
合計				二、三七一、八〇〇	

四、鰹節製造業資金　六六〇、〇〇〇圓

本島に於ける鰹節製造業の現況は眞鰹節工場十五、惣田鰹節工場三十五合計五十工場年生産額二百五十萬圓にして今後十ヶ年を期して尠くとも工場數生産額共に倍加すべき豫定なるが故に之に要する資金を推算し其の半額を貸付するものとし頭書の通り計上することとせり。

工場增加の豫定數に付ては眞鰹節工場は第五年目迄は毎年二工場其の後は一工場宛增加するものとし惣田鰹節工場は第五年目迄は毎年四工場其の後は三工場宛增加するものと看做し之を計上せり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

所要資金算出の基礎

種別	工場數	一工場當建設資金金額		一工場宛運轉資金金額		合計所要資金	備考
眞鰹節工場	新設 一五 既設 一五	二〇、〇〇〇圓	三〇〇、〇〇〇圓	二〇、〇〇〇圓	六〇〇、〇〇〇圓	九〇〇、〇〇〇圓	既設工場ノ運轉資金ハ比較的高率ナルガ故ニ經營ヲ容易ナラシムル爲借替シムルコトトシ本表運轉資金中ニ加算セリ
惣田鰹節工場	新設 三五 既設 三五	六、〇〇〇	二一〇、〇〇〇	三、〇〇〇	二一〇、〇〇〇	四二〇、〇〇〇	
計						一、三二〇、〇〇〇	

○干拓及魚塭築造資金所要見込額　（五、七五〇、〇〇〇圓）

(1)現在の魚塭二萬二千甲の内嘉南大圳區域に屬するもの及び山間に存するもの等を除き一萬五千百甲歩を十年間に干拓して耕地となし(2)干拓に因り失はれたる魚塭を補ふ爲め干潟地八萬甲及養魚適地たる瀕海荒蕪地二萬甲合計十萬甲歩の内三萬甲此を十ヶ年間に魚塭となし(3)池沼灘溉溜池にして養魚に適するもの五千歩を十年間に補修して魚塭となす計畫にして(1)に對しては一甲歩當五百圓一萬五百甲分五、二五〇、〇〇〇圓(2)に對しては一甲歩當二百圓三萬甲分六、〇〇〇、〇〇〇圓(3)に對しては一甲歩當五十圓五千甲分二五〇、〇〇〇圓(2)に對しては一甲歩當二百圓三萬甲分六、〇〇〇、〇〇〇圓(3)に對しては一甲歩當五十圓五千甲分二五〇、〇〇〇圓、合計一一、五〇〇、〇〇〇圓の資金を要する見込なるを以て此の半額を貸付するものと看做し要資金五、七五〇、〇〇〇圓を計上することとせり。

本資金の供給に依り直接增加を來すべき一ヶ年の生產見込額は(1)に依り二、〇一六、〇〇〇圓（魚塭一〇、五〇〇甲に依り失はるべき金額一甲當平均六十圓とし六三〇、〇〇〇圓耕地一〇、五〇〇甲に依り生產せらるべき金額一甲當平均二百五十二圓として二、六四六、〇〇〇圓差引二、〇一六、〇〇〇圓但し本魚塭は概ね海に遠く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

收獲少き場所に付新設魚塭收獲高の半額に見積りたり又耕地は一甲當り平均價格千四百圓のものを完成するものと看做し小作料を九分利廻り百二十六圓收獲高を其の二倍として推算せり(2)に依り三、六〇〇、〇〇〇圓(魚塭三〇、〇〇〇甲歩に對し一甲歩當り年收獲百二十圓にて算出)(3)に依り三〇〇、〇〇〇圓(五、〇〇〇甲歩に對し一甲歩當り年收獲六十圓にて算出)合計五、九一六、〇〇〇圓の豫定なり。

(一三、一九五、〇〇〇圓)

○鳳梨事業資金所要見込額

本件に關しては先づ殖産局斯道専門家の調査を摘錄せんに之に依れば本島に於ける鳳梨栽培適地は七萬二千餘甲の多きに上ると雖も當局の獎勵面積の算定は一萬六千甲にして内十年後に於てエステート組織(經營者が大區域の栽培地を所有經營する組織)の下に經營せらるべき面積を一萬甲歩とし罐詰工場一ライン經營所要面積を三百五十甲として建設見込工場數二十八ヶ所其の一工場所要資金百二十三萬九千六百六十圓の内開拓資金貸付の對象となるものは建物建設費、敷地、機械、什器購入費、土地贌耕料、耕作管理費、種苗購入費一ヶ所分九十四萬二千五百圓(別記算出基礎參照)なるを以て合計二千六百三十九萬圓の資金を十ヶ年間に需要すべき見込なりとの事なり而して一工場の生產能力は一分間七十五罐の豫定にして運轉期間及原料供給期間を三ヶ月と假定し其の内一ヶ月を盛期とし此の一日の平均作業時間十時間其の他の二ヶ月間を一日平均八時間宛作業するものとして計算するときは一ヶ年一工場の運轉時間は七百八十時間なるを以て三百五十一萬罐(一四六、二五〇箱)の鳳梨罐詰を生產する勘定となり十ヶ年後即所定計畫の工場完成の曉には一ヶ年四百九萬五千箱を生產するに至るべきを以て一箱の賣價八圓とすれば實に三千二百七十六萬圓の年產額を算することとなるべし他面世界の鳳梨罐詰生產額を見るに最近の調査に依れば一千萬箱(二打入一箱)にして内六百五十萬箱は布哇より產出し新嘉坡其の他の各地にて三百五十萬箱を生產し居り本島に於ては僅に在來

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

種二十五萬箱（總産額ニ對シ二、五%）二百萬圓を産するに過ぎず現狀に於ては極めて微微たるものなりと雖も外國種栽培試驗の結果布哇品に比し毫も遜色なきものを生産し得ること確實となり且生産費に於ても優勝の地位に立ち得るの見込確實なりと謂ふ。

次に鳳梨罐詰の消費地は現今の處主として歐米にして就中米國は布哇産額の八十%五百二十萬箱を消費し殘額二十%百三十萬箱を英國其他に向け輸出しつゝあるが（現在臺灣の生産品は主として內地需要に過ぎず）年々消費の增加を見つゝあるを以て今後十年後に於ては世界に於ける現産額の二倍二千萬箱を消費するは必しも至難ならざる見込にして且外國品價格は現今一箱六弗（約十三圓）內外なるが本島に於ては原價六圓五十錢以內にて充分生産し得る見込なるが故に假に八圓にて賣却するとするも賣上高に對し二割の純益を見る計算にして前途極めて有望なる事業なり云々。

以上述ぶる處に依り本事業が有望なることは了解に難からず而して十年後に於ける世界總生産高二千萬箱の內本島に於て其の約五分の一强に相當する四百九萬五千箱を生産し得るものと豫想するは必すしも失當ならざるを以て此の生産規模に要する資金二六、三九〇、〇〇〇圓に對し其の半額の貸與するものとし一三、一九五、〇〇〇圓を所要資金に計上することとせり。

算出基礎

一、一工場建設經營に要する資金左の如し

建物建設費	四八、二〇〇圓
敷地購入費	四、五〇〇圓

機械購入費		一〇〇、九〇〇圓
什器購入費		一、四〇〇圓
土地贌耕料 甲當五十圓（既墾畑豫定）		一七、五〇〇圓
耕作及管理費（甲當四〇〇圓）中耕、除草、摘芽、收穫、肥料代、農具費、雜費		一四〇、〇〇〇圓
種苗購入費 六百三十萬本 一甲當一八、〇〇〇本植 一本十錢		六三〇、〇〇〇圓
	計	九四二、五〇〇圓
運轉資金		一九一、五〇〇圓
人件費		八五、六六〇圓
其他		二〇、〇〇〇圓
	計	二九七、一六〇圓
合計		一、二三九、六六〇圓

一、鳳梨栽培適地面積

七萬二千甲の所在

臺北州	六四一、八甲
新竹州	三、一〇〇、〇
臺中州	一八、七五〇、〇
臺南州	二六、一九三、〇
高雄州	一〇、二〇〇、〇

臺東廳	九、六〇〇、〇
花蓮港廳	四、二五六、〇
計	七二、七四〇、八

○養豚事業資金所要見込額

（一二三、〇六二、五〇〇圓）　（內譯下記の通）

養豚は本島一般農家の副業にして之等農家に子豚購入資金を融通するは最も斯業の爲必要事に屬す且養豚業の發達と共に豚の採肥と衞生を完全ならしめ飼育經濟の向上を圖り得べき改良豚舍の建設普及益々其の必要の度を加へ來るの外近時バークシャー種の飼育旺盛となりたる結果之が消化の爲ハム工場設立の機運熟せり卽ち之等に要する資金として頭書の金額を計上せるものなり。

大正十四年末に於ける本島現在の豚頭數は百三十五萬頭（內地は五十五萬頭）にして右百三十萬頭の元豚に對して一ヶ年に八十八萬頭の肉豚を生産しつゝあるも其の品種を改め飼育方法を改善するに於ては元豚と同數の肉豚を年產することは極めて容易なり。

更に現在本島に於ける農家戶數は四十萬戶一戶平均三頭强の元豚を有する勘定なるも是亦相當保護奬勵を加ふるに於ては一戶平均一頭の飼育頭數を增加せしむること容易なるか故に今後十ヶ年以內に於て元豚數を百七十萬頭に增加せしめ肉豚百七十萬頭年產せしむること又困難ならざる見込なり而して現今島內に於て食用に供せらるる豚頭數九十萬頭內外なるが故に叙上の如く百七十萬頭に增產したる養豚中より年年ハム原料として十五萬頭を供給する事は極めて易易たる業なりと云ふを得べし本養豚事業資金の供給に依り豫定の如く生產を增加するものとして其の際に於ける增產價格を概算するに十年後においては每年豚の增產頭數六七

〇、〇〇〇頭(ハム材料豚を除く)となる勘定なるが故に一頭平均四十五圓として三〇、一五〇、〇〇〇圓ハム賣上額一七、六四〇、〇〇〇圓(詳細下記の通)合計四七、七九〇、〇〇〇圓の生産を増加することとなるべし。

一、ハム工場資金　二、六五〇、〇〇〇圓

一工場企業所要經費としては工場設備費二三〇、〇〇〇圓事業費三〇〇、〇〇〇圓一工場分合計五三〇、〇〇〇圓を要するものなるが本調査に於ては其の半額を借入するものとして十工場の分合計二、六五〇、〇〇〇圓を所要資金として計上せり但毎年一工場宛建設事業開始を爲し十ヶ年間を以て豫定工場の建設業務開始を了するの見込なり(殖産局の計畫は原料豚一工場當十四萬頭を要する工場五ヶ所を設置する事となり居たるも見積過大に失すると認めたるを以て一工場當り原料豚一萬五千頭を要する工場十ヶ所を設置する事に之を査定せり)現今に於けるハムの生産地は丁抹にして年年二億圓内外の粗製ハムを英國市場に送り同地にて精製の上歐米市場の需要に應じ居れるが本島製品生産の上は其の品質及價格の點に於て充分に丁抹産に對抗し歐米市場に販路を求むること容易なる見込なり因に最近に於ける南支南洋各地に於けるハム其の他豚肉加工品輸入年額は六、三六〇、四九二圓なり本計畫に依りハム原料として一ヶ年間に消費する豚頭數は一五〇、〇〇〇頭にして其の製品賣上見込金額は一七、六四〇、〇〇〇圓(一頭當七八圓四〇)の豫定なり猶一工場當り工場建設費は二三〇、〇〇〇圓事業費は三〇〇、〇〇〇圓なり(但し原料豚購入資金を包含せず)

二、改良豚舍建設資金　七、二〇〇、〇〇〇圓

今後十ヶ年間建設見込棟數三六〇、〇〇〇棟此建設費一八、〇〇〇、〇〇〇圓(一棟五〇圓)の五分の二即ち七、二〇〇、〇〇〇圓を借入るるものとして計算せり。

三、子豚購入資金　三、二一二、五〇〇圓

本島に於ける子豚の賣買頭數は一ヶ年八十八萬頭内外にして之が購買資金に付ては多くは豚仲買金貸業者信用組合等より融通を受け居れるが將來一街庄單位の養豚組合を組織せしめ金融の便宜を圖り一般農家に奬勵を試むるに於ては、ハム工業の發達と相俟つて相當飼育頭數の激增を來すべき見込にして既述の如く十ヶ年後に百七十萬頭程度に達せしむること容易なるべし依つて年年九萬頭宛生產高を增加するものとして之を計算するときは十ヶ年の子豚生產高は一二、八五〇、〇〇〇頭となる勘定にして此の十分の一即ち、一、二八五、〇〇〇頭の半數六四二、五〇〇頭に對し資金の融通を要するものとし賣買價格（一頭平均十圓）の半額を貸付することゝして計算せり。

○農耕牛購入資金需要見込額

（二、九〇〇、〇〇〇圓）

本島一般細農は農繁期に農耕牛を購入し農閑期に之を賣却しつゝあるが之等に要する資金は現在主として金貸業者に依り相當高利に供給され居れるも將來業佃會產業組合等を通しなるべく低利の資金を供給して細農の農業經營を有利に導くの要あるを以て頭書の金額を見込むこととせり。

最近數ヶ年間に於ける農耕牛賣買頭數は一ヶ年一〇七、〇〇〇頭にして毎年二%宛增加するものとして十ヶ年間の賣買頭數を計算するときは一、一六〇、〇〇〇頭となる勘定にして資金の融通を要する頭數を此の十分の一即ち一一六、〇〇〇頭の半數五八、〇〇〇頭とし一頭平均購入價格百圓の半額を貸付することとして本所要資金を計算せり。

○施肥量の增加に伴ふ資金需要見込額

（九、七七三、〇〇〇圓）

内地種米增殖に伴ふ肥料資金增加見込額　四、五八七、〇〇〇圓

大正十三年に於ける水稻作付地に對する施肥料金額は金肥五、三八六、四四七圓、自給肥八、二六六、八九〇

圓合計一三、六六五、三三七圓なるが今後十ヶ年に於て内地種米作付地は尙六〇％方增加の見込にして内地種米の作付地は在來種米の作付地に比して平均七割方施肥量の增加を要する見込なるを以て五、七三四、〇〇〇圓を增加する勘定となり此の內八〇％は金肥を要するものと看做し四、五八七、〇〇〇圓の購買資金を要することとなる。

蔗園施肥料增加に伴ふ資金需要見込額　四、一八六、〇〇〇圓

大正十二年及大正十三年に於ける蔗園施肥料一甲步當り平均額は製糖會社自作地十二年一六二圓六二、十三年一六三圓八二、一般蔗作地十二年七八圓三八、十三年九〇圓一八にして製糖會社自作地に對しては現今以上の增加は其の必要を見ざるも一般蔗作地に付ては今後十ヶ年間に於て尙六割見當一甲步當平均五十五圓の增加を來す見込なるを以て大正十三年の一般蔗作地一〇四、六七八甲步に對し五、二三二、〇〇〇圓の增加を見る豫定なり而して其の八〇％を金肥と看做すときは結局所要資金四、一八六、〇〇〇圓を要する勘定となる

芭蕉、柑橘其の他の農作物に對する肥料資金增加見込額　一、〇〇〇、〇〇〇圓

米、甘蔗以外の作物に對しても近時充分施肥を行ひ增收を期せむとするもの多き傾向なるを以て標記に關しても尠くとも今後十ヶ年間に於て新に百萬圓程度の資金供給は之を要すべきものと思惟せらる。

○籾摺工場施設改善資金所要見込額　一、五八五、〇〇〇圓

本島產米は最近其の量を著しく增加し品質も亦米種改良の結果甚だ向上せるに拘はらず其聲價比較的上らずして往々事故米等を生ずるは主として籾摺工場の在來の施設不完全にして完全なる乾燥調製をなし得ざるに起因するものなり卽ち今後十ヶ年間に於て既設籾摺工場數六三四に對し一工場五千圓の改善費を要し其半額を貸付するものとして本改善資金所要額を頭書の通り計上せり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○茶業資金所要見込額　二、〇〇〇、〇〇〇圓

本島に於ける既設茶園の改良並に製茶工場建設の目的を以て臺北新竹の各州下に各五ヶ所宛計十ヶ所（一ヶ所に付茶園五百甲）の改良茶園及製茶工場を一ヶ年一ヶ所宛向ふ十ヶ年間に設置の豫定にして一ヶ所所要資金四十萬圓の半額を貸付するものとして頭書の金額を計上せるものなり。

尙之が算出の根據は別記の通にして本計畫完成の曉は年產額百八十萬圓の生產增加を見るべき豫定なり。

既設茶園エステート改造投資內譯　（一ヶ所五百甲）

茶園買收費	一甲四百圓	二〇〇、〇〇〇圓
工場機械		一二〇、〇〇〇圓
事務所宿舍倉庫		三〇、〇〇〇圓
事業資金		五〇、〇〇〇圓
計		四〇〇、〇〇〇圓

一ヶ年收支見込額

收入（製茶三十萬斤 百斤六十圓）	一八〇、〇〇〇圓
支出（箱詰製造 百斤三十五圓）	一〇五、〇〇〇圓

○林業資金所要見込額　（五、六七七、〇〇〇圓）

一、造林資金所要額　三、〇四〇、〇〇〇圓
（造林及斫伐共官營に屬するものを除く）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本島に於ける民有林は成林地を除き未立木原野約十萬甲尙造林の爲の許可地約十五萬甲あるを以て將來造林をなし得べき面積に就ては充分の餘裕あるものと考へて差支なからむ而して既往五ヶ年間に於ける一ヶ年平均造林面積約七千甲歩にして施業費一甲當八十圓とし一ヶ年總額五十六萬圓の投資額となる割合なり然れども此の植栽面積の約六割は純民有地にして年年斫伐跡地の更新せらるるものに屬し多くは伐採收入の運轉によりて植栽費を支辨するものなれば別に新に資金の需要を見ざる性質を有す他の四割は一種の企業的組織の下に行はるるものにして目下尙ほ投資時代に屬するもの多く他より資金の融通を仰ぐべきものと考へらるるものなり而して本事業資金に對し年八－九%の金利にて貸付の便を得ば之が爲に更に從來に比し一層その投資を促進するの形勢を見るべく造林の規模組織等にも相當の發達を來すべく思料せらる而も之が事業能力には勞力關係等自ら制限あるを免れざるにより今後十年間を一期とし此の間に於ける造林資金の貸付見込額は大體次の如く算定するを妥當とすべきが如し。

一ヶ年平均額

一、既往五ヶ年間ニ於ケル平均一ヶ年造林面積七千甲ノ内貸付ヲ受クベキモノヲ其ノ四割トシ	二、八〇〇甲	甲當施業費八〇圓	二二四、〇〇〇圓
二、(一)以外に於ける新規企業增加見込	一、〇〇〇甲	同	八〇、〇〇〇圓
計	三、八〇〇甲		三〇四、〇〇〇圓
十ヶ年貸付總額	三八、〇〇〇甲		三〇、四〇、〇〇〇圓

(註) 樹本を除きたる山林の一甲歩當り平均價格は三十圓を下らざる見込に付造林事業資金全部を貸付するも差支なきものと認め造林事業資金の全額を所要資金と看做すこととせり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二、斫伐資金所要額　二、六三七、八三二圓

既往五ヶ年間に於ける一ヶ年平均斫伐材積は國有林民有林を合はせて二二六、〇〇〇石にして一石當り斫伐所要金額五圓九五五に當る而して年伐材積は之れ以上に特に増加すへき形勢なき見込にして從來は原始的斫伐方法によるもの多かりしも今後は國有林に於ける施業案の實施と共に漸次資本主義的の經營に推移するの形勢に在るを以て此の點を考慮し固定、流動兩資本を合して大體三、七六八、三三〇圓を要するものとし其の七〇%を貸付するものと豫定することを得べし。

其の算出內容左の如し

向後十ヶ年間を通し要すへき斫伐資金見込額

實際の所要額　二、六三七、八三二圓（斫伐資金總額の七〇%）

斫伐資金總額　三、七六八、三三〇圓

內　譯

（イ）流動資金　一、〇七六、六六四圓

伐木、造材運材賃　八四二、八一六圓

拂下代金　二三三、八四八圓

（ロ）固定資金　二、六九一、六六〇圓

（說明）

(A) 年伐材積　二二六、〇〇〇石

但し　自大正九年至大正十三年　五ヶ年平均材積

(B) 一石の斫伐所要資金　四圓九二

但シ立木一石ニ要スル斫伐、造材運材費
及固定資金ヲ含ム

(C) 一ヶ年拂下見込價格　二三三、八四八圓
　但し　自大正九年至大正十三年　五ヶ年拂下代の年平均額

(D) 一石平均拂下代金　一圓〇三五

(E) 一石平均流動固定資金所要額　五圓九五五

5.圓955×226.000石＝1.345.830圓　一ヶ年の流動及固定資金所要額（拂下代を含む）

1.345.830圓×0.2＝269.166圓　固定資金所要額

269.166圓×10＝2.691.660圓　十ヶ年固定資金

1.345.830圓－(269.166圓＋233.848圓)＝842.816圓　伐木造材運材費
　　　　　　　（固定　　拂下代）

○蕃界開拓可能地面積並開拓資金所要見込額　（二〇、六〇〇、〇〇〇圓）

蕃界開拓可能地面積が何程なるかに付ては蕃務當局に於ても從來調査したるものなく推定困難なるが警務局理蕃課に於て大正十一年十一月蕃人耕作地の概況を取調たるものに依れば別表の通り田三七一甲歩、畑現耕地二九、六一八甲歩、休耕地（輪作の爲一時耕作を休止し居る土地）七〇、九二二甲歩總面積一〇〇、五四〇甲歩なるが中田理蕃課長の談に依れば蕃界は極めて平地に乏しきを以て田に開拓し得べき見込の土地は僅少なるべく恐くは一千甲歩を超ゆることなかるべし又畑に開拓し得る土地に付ても推定甚困難なる現在する畑地（現耕地休耕地共）の約五割五萬甲歩位と見れば略妥當なるべきかとの事なり、右に依り假りに田の開拓費一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

甲步當り平均六百圓を要するものとすれば之に對し資金六十萬圓を要し畑の開拓費一甲步當り平均を二百圓とすれば之に對して壹千萬圓を要すべく別に現在畑約十萬甲步に對し一甲步當り百圓の改善費を見込むときは一千萬圓合計二千六十萬圓の資金を要する勘定なり然れども蕃地を開拓するには地元蕃人に授產の方法を講ずるの要あり且交通不便の傾斜地多きを以て資金を投するも平地の如く大なる收益を收穫し得ることは之を期待し難かるべし云々。

右は概畧なる推算にして他の產業資金所要額調に比し杜撰の嫌ありと雖も蕃界に關しては此の外何等の資料之なきを以て暫く本推算額を以て所要資金の見込額と看做することとせり。

尙臺北州文山郡ウライ附近、新竹州大溪郡角板山附近等の蕃地を三井合名會社其の他に對し豫約賣渡中の土地は總面積一〇、八九六甲步此の開拓目的別面積田二四九甲步畑三、四八一甲步茶畑五二二一甲步宅地、二二一甲步樟想思樹其の他の造林地等六、六二四甲步なり。

各州廳管内蕃人耕作地概況調査表

州廳別	戶數	人口	耕作地 區別	耕作地 畑	耕作地 田	畑ノ一戶平均	森林	係爭地又ハ共同狩獵地	備考
				甲	甲	甲	方里	方里	
臺北	一、一四三	五、四二七	現	一、六二〇	八	一、四	三	三〇〇	
			休	三、一二九	—	二、七			
新竹	二、三三三	一一、二二〇	現	四、七四四	一五二	二、一	五	九七	
			休	一四、一九七	—	六、三			
臺中	二、八三三	一五、九二七	現	五、〇八五	一七	一、九	一三六	三五	
			休	一八、〇六八	—	六、八			
臺南	一二七	一、三四五	現	三六六	三六	二、七	二〇	五〇	
			休	五、六三	—	四、一			

高雄	五、六九八	六、七一二	現	一三、八九六	六八	三、三	六三	四八	
			休	三三、一二四	—	四、〇			
台東	一、九六二	一〇、七〇一	現	一、八〇八	一五	〇、九	七	一	紅頭嶼シナクン卑南蕃ノ耕地ハ計上シアラズ
			休	四、八七三	—	二、四			
花蓮港	二、〇七〇	二、一一九	現	三、一〇五	二五	一、五	一七九	八五	
			休	六、九六五	—	三、三			
計	一五、八六五	八四、四七〇	現	二九、六一八	三七一	一、八	四一九	六一五	
			休	七〇、九九三		四、三			

備考

一、本調査は理蕃課の調査に係り大正十一年十一月の現在に依る

一、面積州廳別内容と合計と符合せざるは甲未滿を四捨五入せるに依る

一、森林面積は蕃社附近に在り蕃人の利用し居るものを示せり

一、戸數人口は大正十年末蕃社戸口調に依る

○自作農助成貸出金所要見込額

（九五、五九三、〇〇〇圓）

本島に於ては農民の自覺未だ著しく進まず隨つて小作爭議等の頻出を見るに至らずと雖も別表所揭の如く田畑共に小作に付せる土地の割合極めて多く且近時農作物の增收價格の昇騰に依り農民の懷合良好となり土地所有の欲求極めて旺盛となれるを以て（他面大地主は好況時代に於ける株式投機其他の思惑に依る創痍に依り整理中のもの尠からず賣り出されたる賣物相當にあり）旁々適當の資金を貸付け小作民若は自作兼小作民等の小農者をして可成土地を所有せしむることに之を導くことは統治政策上必要事と認められる、現在に於ける自作地と小作地との割合を見るに田は自作地三一％小作地六九％畑は自作地五二％小作地四八％なるが今假

に田畑自作地を六〇%程度迄地方小農者に所有せしむることとすれば新規購入面積は田九八、三四四甲步、畑二七、一五九甲步となる勘定なるが勸業銀行の大正十三年八月調査に依る全島平均田畑賣買價格は田一甲步一、四六九圓畑一甲步五四七圓なるを以て右に依り算出するときは之が買收所要金額田一四四、四六七、〇〇〇圓畑一四、八五五、〇〇〇圓合計一五九、三二二、〇〇〇圓となり此の半額を自作農助成資金として今後十ヶ年間に貸付することとせば七九、六六一、〇〇〇圓の資金を要する勘定なり。

然れども右勸業銀行の土地賣買價格は大正十三年八月の調査にして其後農村景氣の勃興に伴ひ田畑價格著しく騰貴し大正十三年に比し地價四五割方騰貴せる旨を稱ふる向尠からざるも呼値としては兎も角實際に行はるる賣買に付ては其の騰貴率二割見當の見込なるを以て貸付所要見込額は前記算出額七九、六六一、〇〇〇圓に對し二〇%を加算せる九五、五九三、〇〇〇圓程度を以て妥當なる推算なりと謂ふことを得べし。

自作及小作地 （面積單位甲）

州廳別	自作 田	自作 畑	自作 計	小作 田	小作 畑	小作 計	合計 田	合計 畑	合計 計
臺北	一四、一四五	一四、八四三	二八、九八八	三七、一六五	一七、〇九七	五四、二六二	五一、三一一	三一、九四〇	八三、二五一
新竹	一六、〇四二	一八、四〇四	三四、四四六	五〇、四六四	三一、四七一	八一、九三五	六六、五〇六	四九、八七五	一一六、三八一
臺中	二〇、六三五	二三、二七六	四三、九一一	六二、〇七〇	二三、六四四	八五、七一四	八二、七〇五	四六、九二〇	一二九、六二五
臺南	二七、二四四	八二、五九六	一〇九、八四〇	五〇、三六〇	六八、四四五	一一八、八〇五	七七、六〇四	一五一、〇四一	二二八、六四五
高雄	一九、三三三	三一、五〇六	五〇、八三九	三一、四二〇	二四、四五三	五五、八七三	五〇、七五三	五五、九五九	一〇六、七一二
臺東	三、〇六〇	七、二七〇	一〇、三三〇	五二五	四三二	九五七	三、五八五	七、七〇二	一一、二八七
花蓮港	三、八八二	七、〇八〇	一〇、九六二	一、四四二	三、〇六八	四、五一〇	五、三二五	一〇、一四九	一五、四七四
計	一〇四、三四一	一八四、九七五	二八九、三一七	二三三、四六六	一六八、五八〇	四〇二、〇四六	三三七、八一〇	三五三、五五七	六九一、三六七

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

自作及小作地百分率

州廳別	田 自作	田 小作	畑 自作	畑 小作	合計 自作	合計 小作
臺北	二七、五六	七二、四四	四六、四九	五三、五三	三四、八六	六五、一四
新竹	二四、一二	七五、八八	三六、九〇	六三、一〇	二九、六〇	七〇、四〇
臺中	二四、九五	七五、〇五	四九、六一	五〇、三九	三三、八八	六六、一二
臺南	三五、一〇	六四、九〇	五四、七〇	四五、三〇	四八、〇四	五一、九六
高雄	三八、〇九	六一、九一	五六、三〇	四三、七〇	四七、六四	五二、三六
臺東	八五、三六	一四、六四	九四、五一	五、四九	九一、六〇	八、四〇
花蓮港	七二、九二	二七、〇八	六九、七七	三〇、二三	七〇、八五	二九、一五
計	三〇、八八	六九、一二	五二、三二	四七、六八	四一、八四	五八、一六

○島内各銀行不動産擔保貸出金の肩替見込額　一八、三七八、〇〇〇圓

島内各銀行信用組合其の他の金融業者が不動産を擔保として放資せる金額は大正十三年六月末現在に於て不動産價格一五六、三三〇、七七一圓貸出金額八七、七六〇、〇四〇圓の見込なり而して此の内日本勸業銀行臺北支店の貸付、臺灣銀行の勸業銀行代理貸付に付ては之が肩替の必要なく又信用組合其の他の貸出に付ては擔保に對する貸出步合の關係等に依り直に之を見込み難しと雖も其の他の各銀行貸出金に付ては債務者銀行側共に之が借替を希望すと認めらるるを以て長期金融機關にして整備するに於ては今後十ヶ年間に於ては尠くとも各銀行貸出金三六、七五六、二一七圓の五割に相當する一八、三七八、〇〇〇圓の肩替を見るに至るものと推測するも敢て不當ならずと思惟せらる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

自然的現象としての現今に於ける和蘭の植民政策

山岸祐一譯

蘭領印度在住の和蘭人間には吾が軟弱なる植民地統治、吾が統治下にある熱帶國民を不自然に且つ急速に向上せしめんとする方針並に其の他の所謂病的論理の發露とも見做される總ての處置に對し、猛烈な不贊成論が擡頭して居る。

悲觀論者は之を以つて植民國としての和蘭の沒落が手近に迫つて居る前徴であると爲し、倫理哲學者は急速に進歩向上した熱帶國民は軈て總ての外人の指導を必要とせないに至るであらうと云つて居る。

斯る悲觀的の觀察を爲さしめるに至つた責任は多數の現代著述家にあるのであつて、彼等は歐洲國民の沒落が間近に迫つて居る徴候を特に力強く指摘して居り特に米國の著述家に於てそうである。

エム・グラント氏(M. Grant)、オスボーン氏(Osborne)等の學者連、殊にエル・ストッダルト氏(L. Stoddard)の如きは之の悲觀論者と同一の所論を抱つて居る。是等の學者連は最近の歐洲大戰に於て何等理由の無い爭をして相互に破壞し合つて居る、即ち一般歐人の立場から見る時は大規模の自殺としか見えない白人の內論戰爭を目の前に見せ付けられたのである。

其の背後には、生活程度の低い、播殖力の旺盛な、一大集團を爲して居る亞細亞が頭を擡げて居る。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此の兩者を秤に衡る時は、現時に於ては悲觀論の方が優勢な地位を占めて居るのである。

吾人は、其の政策及び實際統治に於て至高至美の思想に捉はれ、猶益々理想に進んで極端に走らうとして居る一歐洲政府があるのを見る。

又一方に、年を經過するにつれて其の學校敎育に於ては勿論進步を示めして居ると云ふことが出來るが、生活の實際に於て殆んど其の結果が現はれて居ないところの被統治熱帶國民があるのを見る。

而して、彼等の胸には根强よい猜疑の念が巢くふて居り、且つ彼等は日と供に益々多くの不合理な要求を叫んで居るのである。殊に西歐人が新たに物質的成功を收めることに對して猛烈なる嫉妬を起し、其都度、之は單に歐人が彼等の支配者としての地位を保持して居る結果であるとなし、其が持つて居るより多くの智識及びエネルギーの結果であるとは見ないのである。

兩者の關係は逐次斯の樣になつてしまつた。而して極端に不快な感情が、殊に最近に於て激しく蘭領印度在住の殆んど全蘭人間に、政府の植民地統治策に對して湧醸されつゝあることは否定することの出來ない事實である。

それにも拘らず吾が統治制度が、如何に其の實際に於て果ない美名の下に運用されて居るかを見る時は、多くの者は落膽せざるを得ないのである。

故に、各種の問題に就て冷靜に且つ客觀的に討議する必要があるのであつて、吾人は是等のものを人氣或はセンセーションとかインシーデントとかと云ふことから離れて、大局的に且つ論理的現象として考察して見たいと思ふのである。

統治者、被統治者間の關係は、特に和蘭に於ける見政に依つて決定せられ、此の熱帶國民中の者に依つて

は極く僅かであるが、現在の關係に於ける是等の者の勢力は余り過大に見積られて居るのである。

東洋の覺醒として吾々が見るものゝ大部分は、統治者の沒落と云ふよりも寧ろ外國政府の支配下にあつた國民の擡頭である。

日本に對する露西亞の敗北は、全亞細亞を刺戟して覺醒せしめるに至つたが、此の具體的結果を決定せんとするものは、日本を熱帶國民の内に加入することが出來ないと同樣に、露國をも亦純粹の歐洲國民と見做すことが出來ない事を思出すであらう。

故に吾人は、吾人の考察を單に蘭印群島に存在する熱帶國民に就てのみ爲する事に限定し、亞細亞全般に亘つて爲すことを避けたいと思ふ。

吾が植民政策は對本國關係に基いて居るものであつて、和蘭に於ける意見に依つて左右されて居り、云はば彼地に理想に生きて居るものゝ、卽ち、惡く言へば亦彼地に於ける熱情の投影であるのである。善惡、强弱及び吾が植民政策を構成して居る是等の總ての要素は、和蘭に於て其の源を發生して居るのである。

而して、若し、之の政策が、長年の間過度の倫理的精神及び軟弱にして且つ老朽と云ふことに依つて特徵付けられて居る事實の說明を探める時は、和蘭に於ける如何なる現象が之に說明を與へることが出來るかを先づ以つて知らねばならない。

斯の如く、現在の悲觀主義には根據があり、斯の如く、熱帶地に於ける吾が現今の地位の近き將來に於ける喪失に備ふべき健全なる植民制度の實施に必要缺くべからざる特性の決定的喪失に依り、事實和蘭國民は旣に此の苦い運命に寧ろ甘んじて服從しなければならない程に沒落の道に迷込んで居いはしまいかと恐れる理由があるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

余は嘗つて本問題に關し、生物學研究の泰斗であつて、歐人及び被統治熱帶國民間の關係に就いて科學的根據に基いて其の意見を發表して居る客觀的學者某と會談したことがある。

が然し、彼は和蘭人の素質が下落したと云ふこと以外には何等結論を下すことが出來ず、それも單に我國民の或階級に就いてのことのみであつた。

此の事實は吾が國に限られて居る現象ではなく、他の幾多の歐洲諸國も亦斯る下落の歴然たる徵候を示して居るのである。而して本徵候の見受けられるものは、主として是等諸國人中の高地位にあるもの及び指導階級であつて、豐富な智識及び有力な經濟的地位を占めて居る本階級は、彼等の政府部内に多大の勢力を持つて居る故に、一般政策は明確に斯る下落の徵を帶びて居るのである。

英國は彼の植民地統治に於て、外國人をして屢々「英國の恥晒しだ」と云はしめる程軟弱な且つ不定見の政治を施して居り、亦他の諸國も極端な讓步及び弛緩を立證するに足る政策を實施して居るのである。

斯る、並に此に類似して居る他の現象に於ては、各國民の指導階級の變移が之れを説明して居り、之が一般的根原は、永續的安寧の結果に依る弛緩及びエネルギー喪失及び之に伴ふ子供數の激減にあるのである。

斯る現象は幾多の國に於て見受けられる。

米國に於ては、該國文明の基礎を築いた階級の急速な衰退に就いては殆んど絶望とされて居り、彼等の間には子供の出生率が非常に尠ないのである。

此は即ち、世の中が太平となり、社會が永く安寧であつた結果である。當國の青年期に於ては嘗つて大家族時代があつたが、當時に於ては子供が各自親の勞働を援助すると云ふ利益があつたからである。

然し乍ら現在に於ては、メジソン・グラント(Madison Grant)氏が書いて居る樣に、二百年間も引續いた政治的

發達及び物質的繁榮は斯る狀態及び子供を惡化し、子供達は耕作及び養牧上の財產であつたものに反し、負債となつてしまつた。現在に於ては彼等は彼等の兩親に生活、教育及び資產の讓與を仰ぐに至り、大家族なるものは、或者にとつては社會競爭上の大障害となつてしまつた。

獨逸に於ても——此の方面に戰爭が好影響を與へた傾向が見受けられる否やは猶確言することが出來ないが——狀態は之と殆んど同一でなつて、指導階級の衰退は判然と見受けられる。

其の有名な特性に依つて、常に其の大部分が有力な經濟的地位を占めて居るエスライル人に就いて見るも此の徵候が現はれて居り、タイルハーベル氏(Theilhaber)は其の著書「獨逸ジユー人の衰退」(Untergang der Deutsch en Juden) 中に本現象に就いて述べて居る。

何れの國民と雖も一國民の或階級と同樣に、軈ては精神的並に經濟的或は其他の方面に於て生活上の犧牲を受けぬものは無く、是等は進步向上に必要欠くべからざるものである。

不斷の繁榮に醉ふて居る時は、必ず惰落現象を示すものである。

獨逸に於ける有名なる學者の多數は牧師の家庭に生れた者であることは注意すべき事實であつて、之は即ち教養ある家庭は彼等の兒童に善良なる教育を施すことが出來るが、一般に彼等は財政的に豐かではなく、從つて一生懸命で努力することを余儀なくされるからである。

繁榮の內に宴樂することの出來る指導階級の衰退及び之が全國民に對する意識に就いて、余の會談せる某は、「一九一八年に於ける敗戰は獨逸國民の生命を一世紀間くせしめた」と逆說的の説を稱えて居る。事實獨逸に於ては、現今凡ゆる方面に苦境を打開すべき新進氣鋭の努力が見受けられる。打擊も亦國民に欠くべからざるものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其他此處に、それに間接に關係があると云ふ理由の下に其の片割と見らされる多くの現象がある。

例へば、婦人は其の自然的役割である母性を忘れ、自我の念にかられ、即ち自己自身の教養を爲すことにのみ努めて居るが、斯る人生觀に於ける兒童に對する領分は遂次消滅しつゝあるのである。斯の如くースペングラー氏は此に就いて、彼の著書 Untergang des Abendlandes (第二卷一二四頁)中に興味ある考察を爲して居る―單に生活上の友であるに過ぎないかの如き現象を呈して居る婦人は、恰も兒童の母と云ふ天命が解除されて居るかの樣な觀を呈するに至つたのである。

此は、西歐諸國に於ける裕福な有閑階級の惰落を指摘する多くの徵候の一つである。

彼等の間には、安寧を暴り、勞働又は之に類似する總てのことを嫌惡する傾向が深く根生えて居り、勞働を以つて野鄙となして居るのである。又自分の身の廻りの滿足を得ることにのみ汲々として居り、之は優秀民族であると云ふ意識と相容れないものである。

世人は自然淘汰の法則を無視し、總てのものを貯藏し、最も不幸なもの及び最も價値の尠ないものまでも最大の人道を標謗して救はんとして居るのである。

社會は、比喩的にも字義的にも療養所、養育院、精神病院及び刑務所等に蠢いて居る悲慘な生命を蒸して居る驚くべき大規模の人工保育器となつて居るのである。

亦植民政策をも支配し得る道德的價値を釀成するものは、歐洲に於て今日猶指導的地位を占めて居る本階級を循る芬圍氣である。

世人は、本政策を以つて惰落現象であると限定する權利を持つて居らない。此は單に全々自然的の即ち理論的要素に依つて左右されるところの、永劫に續く思想の變異に因つてのみ定められるものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此の變異は、時としては國民を鋭氣潑溂たらしめ或は意義を消沈せしめることがある。後者の場合は前後數世紀間に亘ることがあり、各國民の歷史は、旭日昇天の如き隆興期及び時としては慘憺たる沒落の時代があつたことを吾人に示して居る。

吾が植民地統治の歷史は、徹頭徹尾盛衰興亡の歷史である。

此れに依つて結論を下さんとする者にとつては、吾が國民間には猶如何なる力が潛在して居るか或は吾々は革新を覺悟せねばならないかと云ふことは、重要な問題である。而して一體そこには悲觀又は樂觀すべき何等かの動機があるのであらうか。

之に關して吾人は、是等の現象及び植民地社會に表はれて居る現象相互間の關係を說明する側ら次に論じて見たいと思ふ。

歐人社會の特定階級に於て見受けられる現在の惰落、及び植民政策が軟弱にして且つ無氣力であると云ふ印章が捺されて居ると云ふことは、現在に於ける悲觀主義の動機と見做らさねばならないか否かの問題に就いて、科學者某は、是等は、何等其の動機となるものではないと云つて居る。

第一に、前記の徵候は單に吾が社會の特定階級に於て見受けられるのみであつて、其の上若し或種の壓迫を蒙るか或は彼等の立場が不利に陷らうとする時は、直に本心に立歸る可能性があるのである。一般に歐人は、其の一部に於ては其の徵が無いではないが未だ隋落の淵に陷つては居ないのである。

和蘭國民に就いて見るに、彼等は生物學上に於て健康である。卽ち强壯な婦人を有し、健全なる子供を充分に產んで居る。而して如何なる專門家でも斯の樣な結論に到達せねばならず、斯の如く我が國民間には力があるのであつて、それに依つて事態を改善することが出來るのである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

故に、和蘭國民に就いては近き將來を憂慮する必要がないのである。和蘭國民も他の國民と同樣に——英國も亦——衰退期なるものがある。然し乍ら和蘭國民には必ず到來する甦生に必要な素質が自から備はつて居るのである。

此の甦生には內憂外患等の强烈なる刺戟が必要であつて、且つ衰退期が長引けば長引く程此の刺戟もより强くなければならないが、和蘭國民の如き生物學的に健康な國民は、時期が熟すれば狀態を再び改善するに至るであらうと惟はれる。

而して、旣に精神的地平線上には、樂觀的氣分を表徵する現象が現はれて居る。

今上述の次第を植民地に適用して見る時は、吾人は次の樣な事實を見る。

此の熱帶地方に住居する民族は、相互間に其の素質及び特性に於て甚だしい相違がある。彼等の間には、過去に於て比較的高程度の文明時代があつた民族、現今よりも良い境遇にあつて嘗つて蘭印群島の大半を征服したことのある鬪爭民族、鬪士としての特性を殆んど欠き單に其の數に於て勝利を占めることの出來る民族、經濟思想に富み非常に勤儉節約を旨とする民族、及び、經濟的觀念なく無暗に金錢を浪費する民族等がある。

是等民族は甚だ區々の狀態を表はして居り、其の最下等のものは殆んど石器時代と同樣の生活を爲し、單に歐人統治者の保護的干涉に據つて生命を維持して居るに過ぎないのである。

植民地に於ける、東西兩民族間の將來に於ける關係如何との質問に對し返答を爲さうとする時は、單にあり得る和蘭の衰退と云ふ一時的の現象に就いてのみ考慮參酌すべきではなく、印度民族が多くの者に依つて殊の外高く評價され近き將來に於て現在の關係に於ける彼等の地位を激變する樣な大變化が行はれるであらう

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

か否かの此の第二の要素に就いても亦深甚の考慮を拂はねばならない。

此の間に關しては次の樣な返答を爲すことが出來る。即ち各民族に於ては遺傳的變化は非常に尠ないものである。

本變化は、單に、今日迄之れが行はれて居ない場所に强烈な淘汰現象が起る場合に於てのみ可能であると云ふことが出來るであらう。

熱帶地方に於ては、自然淘汰が余り多く行はれて居ない。本地方の氣候は懶惰者を滅亡せしめる樣な氣候ではなく亦多額の金錢即ち多くの勞働を必要とする人造氣候（屋内或は衣服等に依る）の製造を强制する樣な氣候でもない。

又本地方は「懶惰者は亡びる」と云ふ威赫の下に激しい勞働を强制する樣な人口過剩に苦められて居ない。

余は屢々モルッカス群島及び蘭印群島の最東部を旅行し其の都度、サーゴ椰子の育つ地方にあり得るところの極端に簡單な生活狀態を見た。

サーゴ椰子は淘汰上の大障害であると云ふことが出來る、此の地方に於ては、數日間の勞働で三ヶ月間の食料を得ることが出來、激しい勞働を爲さしめる樣な刺戟は全くないのである。

其の他此の意味に於て、反淘汰的のものと見做られる多くの熱帶農作物がある。

然し乍ら、如何なる國民と雖も境遇の强制及び運命の打擊なくして向上發達したものはない。ゲーテが彼の著書 Wahrheit und Dichtung の卷頭に掲げて居る格言は常に正當であつて、單に鞭打されたものゝみが、良く健全に發育するのである。

印度の氣溫を十度許り低くする時は、今とは異つた民族を得るであらうと馬鹿氣たことを敢て云ふものが

あるが、事實氣候問題の中には、非常に重大な意義を持つて居る要素が含まれて居るのである。一般に、寒氣は非常に淘汰作用を良く行ふものであると云ふことが出來る。

日本及び北支那の住民と、南支那、安南、暹羅等の住民との相違を觀るが良い。之は一般に到る處に見受けることの出來るものと同一の現象であることを雄辯に物語つて居る。

勿論、之は如何ともすることが出來ないが、そこには、熱帶國民にも亦、他の方法による淘汰の可能性があるのである。然らば如何方法に基いてかと云ふに、即ち遺傳的特性の變化は單に淘汰の行程に沿ふてのみ行はれるものであると云ふことに基づいてである。

此の事實は絕對に打消すことの出來ないものである。

而して、その敎導的並に倫理的根本主義が實際と懸離れて居る植民地統治は、失敗に終るのみである。而し乍ら此の樣な事も、亦失敗は成功の基と云ふ見地からして必要のものである。

被統治熱帶國民は、若し彼等が歐洲人に依つて現今に於ける彼等の實力以上に評價される時は、此の歐人の言を滿足に解釋することが出來ない事は明らかである。

彼等は之を以つて、彼等東洋人が進歩向上した結果として歐人が永遠の軟弱現象を示すに至つたものであると解し、斯る洞察は兩者間の關係の健全なる意識及び本體の根本主義を逐次消失せしめるものである。

即ち被統治東洋民族に就いて見る時は、彼等は彼等自身を非常に偉い者として自惚れて居り、彼等の目には沒落しかけて居ると見える西洋人を甚だ輕蔑して居るのである。

而して其處には間斷なき確執不信不滿があるのである。

否兩者に對する不滿があるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

世人は常に、歴史的に發達した現今の關係にありながら猶其の内にあつて彼等の役割を演じやうとする被統治國民の不滿が增加しつゝあることを云々して居るが、此處に最も重要視せねばならないことは、其の最善の意味及び其れに基く運動が常に否認せられる場合に於ける、此の歐人社會を壓倒して居る、日と共に强くなりつゝある、不平不滿の感情の成行きである。

之は、余が既に前に述べたところの卽ち和蘭の思想が堅實なる實在及び精神的革新の方向に變異しつゝあることを指示する徵候の一つである。

何故なれば、現總督の如き高德の人物の着任早々起つた十一月事件の如き、及び他の不祥事件の數々は、勢止むを得ず勃發したものであるかも知れないが、是等の事件は特に本國に大反響を與へ且、苦い經驗を嘗めさせたのである。

若し和蘭に於て、是等の體驗に基いて何等從來の態度が改められないか或は和親を表徵する各行爲を信用出來ないものであるとなして之れを拒避する樣なことがあつたならば本民族は歐人間に反動を起すに至るであらう。

余は過日、スラバヤ郊外に於て多數の當路者の意見を聞く機會を得たことがあつた。

彼等は、十一月事件に依つて、印度に於ける全歐人間に起つた猛烈な反動を指摘して居る。以前に於ては非常に民主的であり且つ道德的であつた和蘭人の心情は、殆んど想像し難い程激甚な變化を來して居る。土人の友として自から任じて居た者は突然其の態度を變更し、且つ大部分は今までとは全く反對の傾向を示すに至り、標語となつた「やつつけろー」を叫ぶに至つた。

斯は、土人指導者が最も反省せねばならないところの徵候である。

吾人は、今漸く改造への道の第一歩にあるのである。

現今、漸く其の終を告げんとして居る極端な道徳主義時代に續いて、歐洲に於て見受けられる樣な殊に自然的、一時的の衰退現象に根生えて居る時代は猶多くの假面を取去らねばならない。

若し、彼等の態度を根本的に變更せねばならないと云ふことを早く覺らない時は、それは土人指導者の愚鈍さを證明するものであつたであらう。勿論余は、吾等と共に建設事業に努力して居る多くの土人有識者——一般に吾が土人官吏、首領及び其の他の多くの者——は之れを除外して言つて居るのである。

此處に云はふとするものは、特に、何等の思慮もなく彼等の僞の標語を以つて事を爲し彼等には其の約束履行の責任がないと云ふので無闇に臣民に幸福を増進することを約し、卽ち徒らに煽動して大衆を動かして居る政治的先導者に就いてのことである。

そこで彼等に歐人が覺醒して居ると云ふことを示す必要がある。卽ち歐人は、一方に吾が道徳的の美しい植民地統治を又地方には此に對する被統治國民の之れに對する不協調を掲げてそのバランスを作りつゝある事實を。

而して之は、其の結果に於て最も眞面目であらねばならない反動を起さしめるものである。

吾々歐人は、將來に於ては、或墮落現象も自然無くなるものと見て樂觀して可なりである。吾が國家の沒落と云ふ樣な危機は、今のところないのである。

將來に於ては、和蘭魂は自から禦向となるであらうと期待されて居り、且つ總てが、現在吾々が甦生への道に立つて居ることを物語つて居る。

事實吾が今日の植民政策は之を自然的現象として見なければならず、他の各國民の歷史に於て見受けられ

る如く我今日の植民政策は現在丁度國家の衰退期にあるのである。

而し乍ら甦生の日は手近に迫つて居るのである。

土人の政治運動が現在の狀態を以て進む時は、早晩彼等を總て不利な狀態に陥れやうとする方針に激發した歐人の心的狀態と相對するに至るであらう。

諸種の事件は、論理の法則に據り、歷史の書物中に掲げてある經路と同一行程を辿つて勃發するものであると思ふ。吾々人間はそれに對してはどこまでも無中のものである。

又各個人がより善良なる觀察を爲すことが必要である。

歐人社會に於ける反動は、印度をして、運命づけられたものと見做さるべき狀態及び關係に立歸らしめないことは確であらう、甦生の歐人社會はより有力な純化された歐人社會となるべく且つ彼等の支配下にある國民を最も良く導いて行くであらう。

而し乍ら、「最も善く」と云ふのはそれに理想をも加味せねばならない健全なる實在に根生えて居る所の、の道に導くことである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

内地人臺灣渡歸航者

松浦義一

昭和元年（大正十五年、昭和元年ノ略稱、以下同ジ）中に於ける内地人の臺灣渡航者は四萬五千九百一人にして内、東京府の四千七百三人最も多く、大阪府の三千九百七十人、沖繩縣の二千六百六十人、鹿兒島縣の二千五百二十五人、熊本縣の二千三百七十二人、福岡縣の二千二百六十一人、兵庫縣の二千六十九人等順次之に亞ぎ岩手縣は僅かに二百四十九人なり。同じく歸航者は三萬九千二百五十四人にして内、東京府の四千百二十七人最も多く、大阪府の三千五百十二人、鹿兒島縣の二千四百三十七人、熊本縣の二千百五十六人、沖繩縣の一千九百三十八人福岡縣の一千八百二十三人、兵庫縣の一千四百七十八人等順次之に亞ぎ富山縣は僅かに百八十三人なり。

是を前年と比較するに、渡航者に於て五千七百四十七人を歸航者に於て八千二百十人を增加せり。

渡歸航者の權衡を觀るに、渡航者は四萬五千九百一人、歸航者は三萬九千二百五十四人にして、其の差六千六百四十七人を算し、渡航者の一割四分に當り、之を最近六ヶ年間に就て觀るに、平均一割八分を示せり。則ち渡航者の一割八分中幾分は島外に轉出すべきも、其の大部分は本島に殘留するものなり。

渡歸航者を通じて無職業者最も多く、其の三割乃至四割に當り、商業、公務及自由業等之に亞ぎ鑛業最も少し。

内地人臺灣渡歸航者（昭和元年）

區分	本籍	北海道
渡航者	農業	五
	水産業	七
	鑛業	三
	工業	一五
	商業	一二八
	交通業	六
	公務自由業	四三
	其ノ他ノ有業者	八三
	家事使用人	一
	無職業	九六
	計	三八六
歸航者	農業	二
	水産業	六
	鑛業	一
	工業	一四
	商業	一二〇
	交通業	三
	公務自由業	三七
	其ノ他ノ有業者	五二
	家事使用人	七
	無職業	九六
	計	三三八

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

青森	二	二	一	四	六一	三	五七	五八	—	一〇二	二九〇	一	二	—	五	四九	一	二〇	二五	—	八五	一八八
岩手	五	一	一	三	五四	—	六三	三九	—	八三	二四九	—	二	—	一	六五	—	五〇	四九	—	五三	二三〇
宮城	二四	五	—	三	一二九	五	一八七	八〇	—	一四五	五七八	七	三	—	—	一二二	六	一四三	七七	—	一五七	五〇五
秋田	五	四	—	七	一二六	六	八〇	二九	—	七七	三三四	—	六	二	一	五三	一	四八	四三	一	八八	二四三
山形	六	二	一	三	一〇〇	三	一〇三	六四	—	一一二	三九四	四	一	—	—	一〇八	四	四六	六二	—	七二	二九七
福島	六	八	一	六	一四〇	二	七六	六二	—	一三三	四三四	五	一	—	一	九八	三	八七	五七	—	一二五	三七七
茨城	二	—	二	七	一二一	四	一〇七	七四	—	一二四	四三一	二	四	—	一	一三一	九	八六	五五	二	九七	三八七
栃木	二	—	—	四	一四二	三	九九	六八	—	一六一	四七九	七	—	—	一二	一七九	一	一一〇	一〇七	一	一九二	六〇九
群馬	四	二	—	四	一一八	五	八八	三二	—	一一三	三七五	五	二	—	一	一二六	三	三九	二五	一	一一八	三二〇
埼玉	七	一	—	九	一一六	三	九五	七五	—	一四九	四五五	三	四	—	五	一一七	二	五二	六六	—	一一〇	三五九
千葉	四	三	四	五	一四六	四	一〇二	五七	—	一〇八	四三三	五	六	一	七	一四三	五	八七	四〇	—	一三二	四二六
東京	一八	二七	七	六八	一,二〇六	五〇	一,〇七五	八六八	三	一,三八一	四,七〇二	二	一二	九	一五三	一,二六三	五五	六八七	七〇八	六	一,二三二	四,一一七
神奈川	六	二	一	一四	二一六	一六	一三三	一四一	—	二二三	七五二	—	五	—	八	二四五	五	六六	六七	—	二二八	六二四
新潟	一三	一〇	—	二四	二六四	九	一五一	一七一	三	一七一	八三三	八	一五	六	二二	二三一	—	一三〇	一一一	—	一九四	七〇七
富山	二	二	—	一	一一二	七	五一	七六	一	八三	三三五	一	六	—	一	六六	七	一六	三三	—	五三	一八三
石川	一	四	—	四	八九	四	四九	四八	二	一〇九	三一〇	三	二	—	一	八〇	四	三九	四九	—	九五	二七三
福井	二	二	—	八	一一〇	一	六一	六五	—	八四	三三三	—	一	—	五	一〇六	六	四六	五四	—	九一	三〇九
山梨	四	一	一	三	一〇四	一	四九	七二	—	八七	三二二	一	—	—	二	七七	一	七一	二五	—	七七	二五四
長野	四	一	—	三	一四四	七	一二一	七六	—	一二七	四七三	五	六	一	三	一四九	三	九八	五四	一	一七六	四九六
岐阜	八	一	二	四	一五〇	三	九四	八七	—	一五〇	四九六	八	—	二	三九	一〇三	八	四一	四三	一	一一四	三六〇
静岡	二〇	八	八	一二	二〇〇	一	一〇五	七三	—	一一一	五四六	五	九	—	一〇	一六九	—	一〇三	六三	一	一四三	六〇三
愛知	一五	三六	—	一三	二三八	九	一四九	一四七	—	二八〇	九八五	四	五	一	八	二二七	九	八八	九二	二	二三六	六七二
三重	七	五	一	一四	一二一	六	八二	七四	—	一五五	四六五	三	一〇	—	六	一三九	二	七五	六二	—	一二八	四二五
滋賀	四	二	—	三	一六七	三	五四	七九	—	一一六	四二八	—	七	—	三	一二八	一	二五	五七	—	八一	三〇〇
京都	四	四	一	一一	四七八	一〇	二六一	一七〇	—	三六二	一,〇〇一	五	一八	—	一九	四一五	一四	一三七	一四九	一	三七一	一,一二九

臺灣人內地渡歸航者

大阪	九	七	八	一〇一	一、六五五	三六	四五三	六七五	八四	九四二	三、九七〇	一七	七一	二	一二〇	一、四四二	三〇	二六八	七三六	六	八二〇	三、五一二
兵庫	一六	二一	—	四一	四〇七	七五	二九五	二八五	一九	六二〇	二、〇六九	六	四三	—	一八	四七七	三四	一一九	二二八	—	五五五	一、四七八
奈良	二	一五	二	六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	二	[illegible]	[illegible]	一	二	—	三	[illegible]	二	三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
和歌山	[illegible]	六	一	六	一六〇	二	一一三	八〇	—	一一	五一八	—	二	—	三	[illegible]	五	七	[illegible]	一	[illegible]	[illegible]
鳥取	七	四	—	七	一四五	一	四三	一五	一	八八	三二一	五	三一	—	一	七七	二	四五	四〇	—	六一	二六二
島根	一三	一三	—	一四	一二一	—	八九	五九	—	一五九	四六七	三	五二	—	四	九九	四	六〇	二九	—	一二五	三五六
岡山	一〇	五	一	一六	二九五	七	一九七	一四五	—	三一三	九八九	五	二五	—	一〇	二三八	一五	一六一	一一七	—	二三二	八〇三
廣島	一四	四二	一	二六	四二一	四五	二〇六	一六八	一	四七一	一、三八五	一七	七九	—	八	三三九	一七	一七〇	一五九	一	三七四	一、一六四
山口	一七	四六	六	一四	二八七	一三	一八一	一七一	—	四二三	一、一五七	一一	一六三	—	七	三三三	一九	一二三	二〇〇	一六	三二三	一、一九五
德島	一五	四四	—	一	一一〇	二	四四	三五	—	八七	三三六	七	一一七	—	—	一二七	二	二〇	四六	—	八六	四一五
香川	六	四六	—	二一	一五五	一	四二	一〇二	—	一三一	四九四	一〇	六三	一	七	一一一	五	三四	六〇	—	一五五	四四七
愛媛	一二	二六三	三	三一	二四五	一四	一〇二	九六	—	二九〇	一、〇五六	七	四〇八	一	二九	一四四	一〇	五七	八五	—	二三三	九六四
高知	九一	一七六	一	六	一一六	一〇	八八	八三	—	一九三	七六四	八	一六九	一	七	一一一	四	三一	六六	—	一九四	六〇一
福岡	四八	一三	四	六七	四八二	一三	三八二	三八二	一三	八四八	二、二六一	三七	七四	五	三九	四二六	二二	三二一	二九三	五	七〇四	一、八二三
佐賀	二九	一六	二	四二	三三四	一五	二八〇	一九八	一	四六八	一、三八五	二八	二九	四	二	一九四	九	一六一	一一〇	一	三七一	九二八
長崎	一六	一五七	二	三六	三五四	一八	二一五	二四二	—	四九五	一、五四五	一四	一〇六	—	一七	二七八	一七	一二六	一四二	二〇	三九九	一、一一九
熊本	八九	五四	二	四六	五〇八	二〇	五三四	三三一	—	七八八	二、三七二	五三	八七	二	二七	五八一	八	三五八	二四四	二	七九四	二、一五六
大分	三二	一四二	二	三三	二三七	四	一四七	一〇四	—	三二三	一、〇一五	二八	二五五	—	八	二二八	一五	一二三	一三四	一	三五三	一、一四五
宮崎	二九	二三二	二	七五	一六九	一一	一〇九	八三	—	二五三	九五一	二八	三〇七	—	八	二三一	二	一四二	七九	一	二三八	一、〇三六
鹿兒島	八九	九四	—	三四	五四二	二〇	三九一	三七九	—	九七六	二、五二五	六二	一二三	二	二七	五六八	四四	三四七	三六七	四	八八三	二、四三七
沖縄	八七	六四三	八	三八	五七一	一〇	一五五	三六五	—	七八三	二、六六〇	四八	三五五	一〇	二七	五四九	二二	一〇三	二八一	四	五四二	一、九三八
計	八三五	二、一五九	七九	八九〇	一二、八七二	五一〇	七、六八四	六、九三一	一四八	一三、七九三	四五、九〇一	四八一	二、六九一	五二	七〇九	一一、五一四	四三七	五、二〇七	五、七五五	八七	一二、三二一	三〇、二五四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

昭和元年中に於ける本島人の內地渡航者は、四千二百四十二人、同歸航者は四千八百九十二人にして、渡航者よりも歸航者六百五十人多し、然れども最近六ヶ年間に於ける渡歸航者を觀るに、大正十二年を除く外は孰れも渡航者は歸航者よりも多數にして、大正十二年を除きたる最近五ヶ年間に於ける平均超過率は、渡航者の二割四分に當れり。

今是を本居地別に觀るに、渡歸航者を通じて臺北州最多數を占め、臺中、臺南、新竹、高雄、花蓮港及臺東の順序を以て之に亞ぎ、澎湖は僅かに渡航者一人のみなり（但し澎湖は大正十五年七月以降の事實とす）。

次に前年と比較するに、渡航者に於て六百八十二人を、歸航者に於て二千五百二十三人を増加せり。

渡歸航者を通じて無職業者最も多く總數の五割に當り商業其の他の有業者公務及自由業等之に亞ぐ。

本島人內地渡歸航者 （昭和元年）

渡航者

本居地	農業	水產業	鑛業	工業	商業	交通業	公務自由業	其ノ他有業者	家事使用人	無職業	計
臺北州	三二	六	五	二七	五六三	四〇	八六	一七一	—	六五〇	一,五八〇
新竹州	二〇	八	—	一	一七〇	二	二六	六〇	—	二四六	五三三
臺中州	二八	—	—	一一	二二五	五	三六	八一	—	五七一	九五七
臺南州	九	—	—	六	一三八	五	一八	六四	六	四六六	七一二
高雄州	二四	一	—	一	七六	二	一八	四四	二	二〇三	三七一
臺東廳	一	—	—	—	一二	—	七	六	—	一八	四四
花蓮港廳	五	—	—	—	一五	—	—	—	—	二四	四四
澎湖廳	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	一
總計	一一九	一五	五	四六	一,一九九	五四	一九二	四二六	八	二,一七八	四,二四二

歸航者

本居地	農業	水產業	鑛業	工業	商業	交通業	公務自由業	其ノ他有業者	家事使用人	無職業	計
臺北州	一三	三九	二四	三九	四八二	二二	七九	一四〇	—	七五二	一,五九〇
新竹州	二九	—	—	六	一三九	四	二九	六四	—	三一三	五八四
臺中州	五四	五	—	五	二二四	—	五三	八三	—	七一一	一,一三五
臺南州	一三	一〇	—	三	一六〇	—	三五	八四	—	六〇九	九一四
高雄州	二一	一四	—	—	八〇	二	二一	四四	—	三六一	五四三
臺東廳	一	一	—	—	二四	—	—	七	—	一二	四五
花蓮港廳	一	一	—	一	一八	—	三	八	—	四九	八一
澎湖廳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
總計	一三二	七〇	二四	五四	一,一二七	二八	二二〇	四三〇	—	二,八〇七	四,八九二

備考

其の他の有業者とは日傭、其他の雜業を謂ふ。

無職業者とは、小作料、地代、家賃、有價證券、恩給年金其の他の收入に依る者、準世帶（寄宿舍、下宿屋等）に在る學生、精神病院、感化院、慈善病院に在る者、官公又は慈善團體等の救助を受くる者在監者其の他を謂ふ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島情

臺灣貿易統計（昭和二年六月）

臺灣總督府稅關

◈貿易額比較

外國貿易	二年六月	十五年六月	二年累計	十五年累計	增減（・）
輸出	四、五七三、九四七円	四、五九八、三八八円	二〇、〇九六、三五八円	二三、一九七、六六六円	・三、一〇一、三〇八円
輸入	四、二八四、三〇四	四、四四七、三六三	三六、八〇六、九〇四	三四、三六三、八四七	二、四四三、〇五七
輸出入計	八、八五八、二五一	九、〇四五、七五一	五六、九〇三、二六二	五七、五六一、五一三	・六五八、二五一
超過	二八九、六四三	一五一、〇二五	（入）一六、七一〇、五四六	（入）一一、一六六、一八一	—

内地貿易	二年六月	十五年六月	二年累計	十五年累計	增減（・）
移出	八、八三五、八六七円	一一、五六七、七九八円	三八、八七三、二七〇円	四四、〇九三、五六七円	・五、二二〇、二九七円
移入	九、六一五、八七二	一〇、一三八、六〇四	五五、六七七、四二七	五八、九六一、〇一九	・三、二八三、五九二
移出入計	一八、四五一、七三九	二一、七〇六、四〇二	九四、五五〇、六九七	一〇三、〇五四、五八六	・八、五〇三、八八九
超過	（入）七八〇、〇〇五	一、四二九、一九四	七三、一九五、八四三	七五、一三三、五四八	—

◈輸出

品目	六月 數量	六月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減（・） 數量	增減（・） 價額
石炭 噸	六三、〇二九	七三一、三二八円	三二一、八七九	三、五八五、三五九円	四一〇、四六四	四、六四七、四四三円	・八八、五八五	・一、〇六二、〇八四円
包種茶 斤	一、一八七、七二一	八八三、九一四	三、五三五、四二〇	二、六三〇、九四二	三、九五九、五七六	三、〇七八、〇八〇	・四二四、一五六	・四四七、一三八

品目	単位	六月 数量	六月 価額	二年累計 数量	二年累計 価額	十五年累計 数量	十五年累計 価額	増減(●) 数量	増減(●) 価額
烏龍茶	同	八五七,四八七	五一三,五三六	九四〇,九九三	五六〇,七三六	五六三,四六五	三五六,七五〇	七七,五五七	二〇三,九八六
綿織物	碼	一,五四八,三〇五	三一九,五八七	六,八六〇,五八六	一,四〇四,七一八	九,六九三,四六五	二,五五三,四九六	●二,八三三,八七九	●一,一二八,七七六
鹹魚及乾魚	斤	一,四一四,〇六六	二四九,四四八	一,六四九,〇六五	一,七三七,一〇七	二,四六四,八五〇	七三四,三三四	一三,〇二五,二一五	一,〇〇二,七七三
砂糖	同	二,〇八〇,六七三	二四〇,三六四	一四,四〇三,一九八	一,九五一,五八四	一六,三五〇,〇六八	二,三七六,三五三	●一,八四六,八七〇	●三四七,七六九
酒精	升	三四六,〇八七	一二一,九八六	三,三〇九,八四七	一,〇五三,〇五五	二,八七八,一八〇	九七〇,九九〇	四三一,六六七	八一,四六五
樟腦	斤	八六,五〇〇	一三七,四九	六〇八,八〇〇	七九八,八六七	六三六,六三三	一,一一一,六八七	●二七,八三三	●三一三,一八〇
錫	同	二七七,八九九	一二三,〇九九	二,〇〇六,七一七	八一〇,六〇三	四,六二〇,七三四	一,三八〇,〇八三	●二,六一四,〇一七	●五六九,四八〇
セメント	同	四,八六五,三五八	九三,一六八	三一,九九一,〇七〇	六四六,一一七	四九,五六九,六三四	一,〇五七,四八七	●一六,五七八,五五四	●四一一,三七〇
絹及絹綿織物	碼	二六七,一〇七	一七八,五七四	七三五,八七五	四五六,八八三	四六九,四七二	二九三,五九六	二六六,四〇三	一六四,二八七
貝杜	斤	一〇〇,七八一	一三三,八五六	二,一五〇,〇二〇	三六七,五五七	三六六,〇六六	三四一,三三三	●四八〇,四六六	●七一,七七五
苧麻	同	三二〇,七八一	八三,六五八	七七〇,八二一	二七六,九三三	五九五,三三三	三三八,五四三	一七五,五八六	四八,三九一
紙	同	一七二,七七四	一八,一六五	一,六七九,七七四	一五一,三六四	三,二〇一,九九八	二七七,九九四	●一,五四四,二六四	●一三六,九九〇
芭蕉實	同	六四一,一六八	一五,二五二	三,一九五,〇六一	九七,八二一	四,〇三六,八一八	三三六,四三三	●一,八四一,七五七	●一三八,六二一
其他諸品		—	七八五,二三三	—	三,六一七,七四三	—	三,六七四,五二七	—	●五六,七九五
計		—	四,五七三,九四七	—	一三,〇九六,三五八	—	一三,一九七,六六六	—	●三,一〇一,三〇八

◈輸入

品目	単位	六月 数量	六月 価額 円	二年累計 数量	二年累計 価額 円	十五年累計 数量	十五年累計 価額 円	増減(●) 数量	増減(●) 価額 円
大豆油粕	斤	一八,二三〇,六〇〇	八一九,六三二	一四八,〇六〇,六六一	六,三三〇,六六八	一四五,〇〇三,九八二	七,六六八,三三二	三,〇五六,六八〇	●一,三九八,六六四
米(粳共)	同	二〇,〇四九,七六七	一,五八三,五九六	一六一,九七三,八一四	一三,六八三,六〇三	六七,三四一,四六二	六,三四〇,七六八	九五,七三三,三五二	六,三四一,八一四
硫酸アンモニウム	同	一七一,三四八	一三,五六八	三三,三四六,一一六	二,六六九,五一〇	二五,三〇一,七九四	二,五六一,三四九	七,九四四,三二二	一六七,六六一
砂糖	同	—	—	二九,九五九,四九七	二,七九四,三一〇	三五,三三五,三一〇	三,一五二,三〇〇	四,六三四,一八七	●三五八,〇九〇
大豆	同	五,九四五,四八〇	三五九,七一八	二一,七九七,四七六	一,三七七,〇四六	二四,五九五,二三八	一,七〇二,三六四	●二,七九七,七六二	●四六六,三一八

ガンニー嚢	個	三六六,四〇〇	一六六,〇五八	一,九八六,〇八九	九六九,九一二	二,〇三九,七九九	一,四七九,八一八	四三,七一〇	五〇九,九〇七
木材	立方尺	二六九,七四〇	一九一,七八四	二,〇九七,七四九	一,四二一,〇六八	一,四九二,〇七四	九九四,七四七	六〇五,六七五	四二六,三二一
煙油	ガロン	九,九五〇	六,三一六	一,五二七,七六九	六八四,七五七	一,〇七七,八七九	五五六,四〇〇	四四九,八九〇	一三八,三五七
鹹魚	斤	六,四二四	九八一	一,二七五,七三七	九三,九五五	一〇,八六七,〇〇〇	七五八,八八〇	九,五九一,二六三	六六四,九二五
小麥	同	二七一,一三一	一九,〇二三	一〇,〇二三,八八四	六八六,〇八六	六,六〇三,七九七	五九二,六八四	三,四〇九,〇八七	九三,四〇二
阿片	同	—	—	一三,五〇〇	二七,〇〇〇	三三,二三三	八七六,二九五	二〇,七二三	六五九,二九五
包蓆	枚	一〇九,六〇〇	一四,一二〇	二,二〇〇,七四〇	二八〇,七六八	二,五四九,三三〇	四八九,六四三	二四八,五八〇	二〇八,八七五
葉煙草	斤	—	—	一,六四三,〇五八	六二一,六七五	一,〇五七,八六二	五五一,七八一	五八五,一九六	五九,八九四
鐵	同	一,〇一〇,八〇〇	一二九,〇六二	三,五五四,四二五	三三六,六二〇	四,一五五,二二五	四〇二,五〇五	六〇〇,七八〇	六五,八八五
綵綿	同	七,四二七	三,四五〇	二四五,八五八	一〇一,三〇三	三七〇,四三五	一九〇,一〇四	一二四,五七七	八八,八〇一
黄麻	同	二,一七八	三〇七	七四,一三九	八,七五四	二,三九五,八七二	四一九,二四九	二,三二一,七三三	四一〇,四九五
禮拜紙	同	一〇六,六〇六	二五,三〇四	九七五,七二六	二三六,三二七	八八,四三七	二五二,六九九	九〇,二八九	二六,三七二
石炭	噸	四,三二〇	一〇二,一二〇	一〇,一四九	一八四,六四一	四,五〇〇	五二,五五〇	五,六四九	一三,〇九一
苧麻布	方碼	二六五,〇九二	五三,七九六	七八〇,四五八	一七八,三三〇	一,〇三三,五四五	二六五,一二〇	二四三,〇八七	八六,八九〇
毛織物	同	七,二九八	八,八二二	一三七,〇六七	一六〇,七一九	一六六,三七八	二三三,五八三	二九,三二一	七二,八六四
綿織物	同	七,九三七	五,五三八	三四六,三四一	三三一,四三三	三四〇,八七六	二六七,八三〇	五,四六五	三六,四〇八
陶磁器	同	—	二四,八三九	—	二一,一八〇	—	一六八,一五二	—	五六,九七三
原油及重油	ガロン	二八〇,八〇三	五六,四六六	八三四,三一四	一六七,八三四	六三五,二四三	一四三,七九六	二〇九,〇七一	二四,〇六八
揮發油	同	一九,九一〇	一八,六五九	九五,八五二	八六,八五六	一二九,三七〇	一三九,三一八	二三,四一八	四二,四六三
唐紙	斤	一三一,三八四	九,一三六	九四四,七〇〇	七九,五三三	一,五〇一,五八二	一五〇,四三三	五五六,八〇二	七〇,九一一
綠豆	同	二四,八六六	一五,五一三	一,七〇七,四六四	一〇九,六一〇	一,四六六,五一六	一三三,二七四	二四〇,九四八	一三,六六四
錫	同	九,九〇〇	一七,一〇三	七七,一九五	一三七,八四五	六四,九二三	一二六,九九〇	一二,二七三	二〇,八五五
豆素麵	同	五七,四五九	一四,五八〇	二八一,四三七	七七,二九六	二六六,六三三	九〇,七七四	五,一九五	一三,四七八
胡麻子	同	七,八八九	一,六八二	三六七,七五一	六四,五三一	二七一,三三四	六五,二五一	三,五八三	七三〇
パラフイン、ワックス	同	一二,八九七	三,三三一	一三七,五六一	二九,七六二	二二一,一七二	五五,八四〇	七四,六一一	二六,〇七八

品目		六月 數量	六月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
其他諸品		—	六八〇、六七〇	—	三、八三六、一八六	—	三、五五〇、二〇八	—	二八五、九七八
計		—	四、二八四、三〇四	—	三六、八〇六、九〇四	—	三四、三六三、八四七	—	二、四四三、〇五七

◆移出

品目		六月 數量	六月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
砂糖	斤	二〇、一三三、五四五	二、九八〇、六九七円	六三三、二四〇、八二一	八八、五七九、七二一円	七一六、一五九、六〇三	九三、九七八、九九九円	•八二、九一八、七八二	•五、三九九、二七八円
米	同	一六、〇六五、八七八	一、六四四、四二六	二〇五、二九九、九九七	二一、〇六二、三三四	一七六、六七〇、五八〇	一九、六六四、八三三	二八、六二九、四一七	一、三九七、四二一
芭蕉實	同	二三、〇四九、八七九	一、四三七、三四二	八四、八九八、四一九	五、〇九七、四七一	八六、五六六、九〇〇	五、三八五、八〇四	•一、六六八、四八一	•二八八、三三三
酒精	升	五九五、〇四〇	三一三、七六三	三、六三五、八五〇	一、九二一、〇六九	四、六六〇、二六〇	二、五〇六、八六五	•一、〇二四、四一〇	•五九四、七九六
木材	立方尺	七四、三八二	一九三、七二七	六四三、二七七	一、四二三、三九八	七二〇、七四三	一、七四八、八七五	•七七、四六六	•三二五、四七七
樟腦油	斤	三〇七、六四五	一一七、六九四	二、五七六、九五九	九七八、二三〇	三、一六一、九六七	一、六一七、二八〇	•五八五、〇〇八	•六三九、〇五〇
鰹節	同	二六三、九四五	二一六、三〇一	四三三、一六四	三七一、五六八	六六四、六六九	六七九、三五六	•二三一、五〇五	•三〇七、七八八
檳造パナマ帽子	箇	二一七、二〇〇	八九、二三〇	一、一一二、二三〇	五〇一、二九〇	二、二二七、八〇〇	七五一、〇二五	•一、一一五、五八〇	•二四九、七三五
鳳梨罐詰	打	七〇、二二四	二八四、〇七六	三四六、四八六	一、三五二、六五六	二〇九、五四二	七七〇、五七七	一三六、九四四	五八二、〇七九
樟腦	斤	八五、四二八	一三〇、九〇〇	三三七、八四二	五一四、六〇三	六四九、一〇三	一、二三七、五四八	•三一一、二六〇	•七二三、九四六
鑛	同	九、三三一、九六三	一五三、八七五	五〇、四〇二、八八四	七三三、三九三	二九、五三三、七一四	六二〇、二三〇	二〇、八七九、一七〇	一一三、一六三
石炭	噸	一三、六〇三	一八五、八二七	六七、四四九	七一六、八二七	七六、〇〇三	七一三、七三一	•七、五五四	三、〇九六
食鹽	斤	七、九三三、四〇〇	八三、〇九五	三九、九三三、〇七〇	三七〇、五五五	五六、二一〇、三〇〇	四四一、一八八	•一六、二七七、二三〇	•七〇、六三三
鮮魚介	同	一八、八〇〇	三、七八四	二、七三四、〇四五	八一〇、〇五〇	一、九〇三、五四八	五八一、四三〇	八三〇、四九七	二二八、六二〇
切乾薯	同	一〇、一六三、六七〇	四〇九、四五七	二〇、二五六、一五〇	八三八、五四三	一、〇四三、五八〇	四二、七〇七	一九、二一二、五七〇	七九五、八三六
其他諸品		—	五九一、六八三	—	三、六二〇、八〇三	—	三、三五三、一四〇	—	二六七、六六三
計		—	八、八三五、八六七	—	二三八、八七三、二七〇	—	二三四、〇九三、五六七	—	•五、二二〇、二九七

◆移入

品目		六月 數量	六月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
綿及絹織物		—	一,一〇三,五一四	—	六,八〇四,五五八	—	九,四三三,七六八	—	•二,六二九,二一〇
鐵類	斤	九,三四六,七三〇	九四〇,七六七	三八,八七七,七五九	三,八七八,三四三	三〇,三〇七,八三七	三,四七八,九三一	八,五六九,九二二	三九九,四一二
鹹乾魚	同	二,〇五六,八四一	三四三,九七四	二三,四四四,七九五	二,一八三,七九五	一二,三九八,六〇六	二,三九八,八九六	二六,一八六,一八九	八〇三,八九九
肥料	同	六,五九二,八七三	四一三,六一〇	三八,五〇七,一四八	一,七七八,三七〇	三九,七六三,四〇一	二,〇〇三,五六六	•一,二五六,二五三	•二二五,一九六
小麥粉	同	一,七〇八,四三六	二〇四,三七六	一三,三八〇,一三五	一,五五〇,三九五	一六,五八五,〇七三	二,〇三七,八〇六	•三,二〇四,九七七	•四八七,四一一
木材	立方尺	三五八,三六〇	四〇九,六八四	一,五五九,〇五四	一,七七三,三三四	一,三五三,四〇一	一,六七〇,一三七	二〇五,六五三	一〇三,一九七
紙		—	二四三,三四一	—	一,四五九,九八〇	—	一,六一九,九八三	—	•一六〇,〇〇三
錫	斤	一八六,〇九〇	六八,七七一	二,一四七,一八九	八八四,五五九	五,八一五,六六五	一,六七九,九七一	•三,六六八,四七六	•七九五,四一二
鐵製品		—	二七四,三三四	—	一,五三九,三三一	—	一,三七四,六一八	—	一六四,七一三
麥酒	打	六六,六四八	二四四,四七一	三三〇,一八六	一,六三一,八七三	三八一,三五九	一,三三八,六〇〇	三八,九二七	二九三,二七三
紙卷煙草	千箇	六八,八〇〇	一五八,六三四	三九〇,〇〇〇	九〇三,五六八	四五一,三〇〇	一,〇六三,一五三	•六一,三〇〇	•一五九,五八五
絲類		—	一三八,三八五	—	八一〇,一九四	—	一,二一一,六六〇	—	•四〇一,四六六
各種ノ罐詰		—	一八五,四六九	—	一,〇一七,四四七	—	九六九,八六九	—	四七,五七八
ガンニー袋	箇	三六八,一〇〇	一六一,五四四	一,二五九,六五〇	四七八,八〇一	一,三九三,三五〇	八四九,〇八四	•一三三,七〇〇	•三七〇,二八三
清酒	打	五,三〇〇	四八,〇九六	七〇,八九六	六四八,一九〇	五六,四八〇	五二一,九七二	一四,四一六	一二六,二一八
メリヤス肌衣		—	九,七八三	—	三六四,七九六	—	三九一,五三三	—	•二六,七三七
自轉車同部分品及附屬品		—	九七,六一七	—	七〇七,三九四	—	七九六,三三三	—	•八八,九一八
毛織物		—	一四,〇三三	—	二八九,〇九九	—	三五一,九五二	—	•六二,八五三
燐寸	哥	一七四,三七四	一三六,五八三	七八八,五七五	五七二,四七六	七四三,七九七	五七四,一五一	•四四,七七八	•一,六七五
菓子類		—	五三,五三三	—	四五五,四一五	—	五三五,八〇六	—	•八〇,三九一
麥	石	七,八四八	一五四,七一七	一四,九九三	三九七,六八五	一六,五三三	三七九,八九四	•一,五九九	•八二,二〇九
製絹原料		—	九〇,七一五	—	三八八,九九一	—	四八四,一五四	—	•一九五,一六三
米	石	一,〇二六	四四,三二五	一〇,三三六	三四五,三二九	一五,五一六	五六三,五三五	•五,一八〇	•二一八,二〇六

陶磁器		—	一三三、九一六	—	四五九、二七〇	—	四三七、五七八	—	三一、六九二
砂糖	斤	二六八、五九〇	四九、八九七	一、一四一、三八七	二七三、〇七五	一、一〇七、二四二	二六二、三三三	三四、〇四五	一〇、七四二
石鹸		—	五四、六四四	—	三八九、一八一	—	四〇六、七〇六	—	・一七、五二五
醤油	石	九六五	五六、五九五	五、九八一	三五一、八一八	五、五三七	二四三、八五一	四四四	七、九六七
揮発油及軽油	ガロン	一三一、七〇〇	五九、二七〇	七三五、三四五	三五四、九一三	八五五、七七〇	四五四、五九八	・一二〇、四二五	九九、六八六
仕組板		—	四七、八七七	—	三三三、一九八	—	四六三、四四五	—	・一四〇、三四七
自動車同部分品及附属品		—	九〇、〇一九	—	三九四、五三九	—	二八〇、七八二	—	一一三、七四七
其他諸品		—	三、四九五、六四〇	—	二、五七一、〇八一	—	二、一〇三、四七七	—	五五八、六〇四
計		—	九、六一五、八七三	—	五五、六七七、四三七	—	五八、九六二、〇一九	—	・三二八三、五九三

◈港別貿易額

港別	輸出	輸入	計	二年累計	十五年累計	増減(・)	移出	移入	計	二年累計	十五年累計	増減(・)
基隆	二、六七八、二六四円	二、七八六、六四九円	五、四六四、九一三円	三三、六五二、二六七円	三一、三六七、五六六円	二、二八四、七〇一円	三、一一三、〇九六円	六、九四三、〇三七円	一〇、〇五六、一三三円	八一、八五〇、〇六三円	八五、六七七、九八六円	・三、八二七、九二三円
臺北	一、四〇四、七九七	七二、六四九	一、四七七、四四六	四、四九二、六七七	四、八三五、九六八	・三四三、二九一	—	—	—	—	—	—
淡水	七九、一四五	一五五、二九九	二三四、四四四	一、八八八、二八四	一、六六〇、三九〇	二二七、八九四	—	—	—	三、〇〇〇	六、〇〇〇	・三、〇〇〇
安平	—	九二、七〇六	九二、七〇六	九四三、五四五	一、〇〇三、六一三	・六〇、〇六八	五七、九五七	六四五、五一三	七〇三、四七〇	五、五三六、〇三四	六、九七九、七二七	・一、四四三、六九三
高雄	三七三、三七六	一、〇八六、七九一	一、四六〇、一六七	一五、二二四、六九八	一七、九五四、六六〇	・二、七二九、九六二	五、五三七、二六四	一、九八一、一六七	七、五一八、四三一	九六、三〇五、〇八七	九九、四五七、三三六	・三、一五二、二四九
其他諸港	三八、三六五	九〇、二一〇	一二八、五七五	七〇一、八九一	七三九、三一六	三七、四二五	一二八、五五〇	四五、一五五	一七三、七〇五	八五六、五一三	九三三、五三七	七七、〇二四
計	四、五七三、九四七	四、二八四、三〇四	八、八五八、二五一	五六、九〇三、三六二	五七、五六一、五一三	六五八、一五一	八、八三六、八六七	九、六一五、八七二	一八、四五一、七三九	一八四、五五〇、六九七	一九三、〇五四、五八六	・八、五〇三、八八九

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

金融統計

財務局金融課

◈銀行預金貸出金殘高表

昭和二年五月末島内各銀行預金貸出金殘高左の如し

種類	金額	種類	金額	種類	金額	種類	金額
公金預金	三六七八、九九九円	預金手形	一、八四五、九二一円	證書貸付	三五、〇九六、五五四円	買入外國爲替	四九〇、四四四円
當座預金	一二、五一六、五六五	日本銀行預金	二〇、八一九、七三三	手形貸付	四四、六七四、九四四	日本勸業銀行貸付	四六、九三五、五八四
特別當座預金	四二、二三七、五九六	貯蓄預金	五、九三四、八二七	當座貸越	三、二七四、三一三	貯蓄銀行貸付	八九五、七一九
通知預金	九八八、〇八二	合計	一二三、二四三、九一六	割引手形	一〇四、五八〇、二六二	合計	二五六、七七三、七〇三
定期預金	二三、三七二、四九二	前月	一〇一、九五一、八〇八	荷付爲替手形	二〇、七四一、〇七二	前月	二六四、九一一、〇〇七
別段預金	一、八四九、七三一	前年同月	九七、〇三〇、一七九	利付爲替手形	八四、八二一	前年同月	二四一、八九五、二一七

備考　日本勸業銀行貸付には臺灣銀行取扱の代理貸付を含む

之を地方別に示せば左の如し

州廳別	預金	貸出金	州廳別	預金	貸出金
臺北州	六八、九二〇、三二八円	一三五、四二三、六七七円	澎湖廳	四三四、八三三円	一四五、七六四円
新竹州	四、四一三、九三三	二〇、二六〇、四四二	臺東廳	四〇〇、九六五	二、八二四、六六七
臺中州	一三、三四二、六六七	三四、四五五、八五〇	花蓮港廳	一、〇四八、七一五	一、一九八、八六〇
臺南州	一七、四七六、五六一	四四、六八五、二六八	合計	一二三、二四三、九一六	二五六、七七三、七〇三
高雄州	六、二〇五、九一六	一七、七七九、一七五			

市街地信用組合事業一覽表（昭和二年五月末日現在）

（其ノ一）

州廳別＼種別	組合數	組合員數	出資口數	資産：未拂込出資金	貸付金	土地建物什器	有價證券	預ケ金	假拂金	手形割引	其他	現金	計
臺北	九	六,一八〇	四六,〇九四	八一,三四一円	五,〇九〇,六六八円	一四二,六五六円	七四九,八〇八円	一,四三七,二九三円	一七,九八二円	一三四,六九九円	一三五,一一〇円	四七,四三五円	七,八〇六,九四七円
新竹	二	一,一三三	一〇,三七五	六,六〇六	八六〇,九〇〇	二〇,八七九	五〇	四八五,七八一	一,〇一七	—	—	五,四二八	一,三八〇,六六四
臺中	二	一,二一〇	四,七三三	一,一三七	六八四,七六三	一三,一九九	一八,四四六	三八九,一〇〇	二,四七五	—	一,一〇三	二,六〇〇	一,二三一,五六六
臺南	六	三,一六一	二一,七三八	一三〇,三六〇	二,一七〇,〇一九	五九,三五九	一二七,五五五	四九五,二二二	七,二三〇	四六八,六五五	二一,三八五	三八,二八八	三,四九八,〇七九
高雄	一	三二九	一,二一七	九二〇	二六八,四三三	三一,六七八	一四,五六一	六三,二九〇	—	—	六一六	二八三	三七九,七八三
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一	一九五	四,四三五	—	二九五,一六四	四,三一七	—	一六,七八三	一,四四九	四〇,二八〇	—	一,一四八	三五九,一五三
合計	二一	一三,一〇八	八八,五九二	二三〇,三六五	九,三七九,九一〇	二六八,一〇〇	九一〇,四〇二	二,八七七,五〇二	三〇,一二五	六三三,六三六	一三八,三一六	九四,八八三	一四,五五七,一五三
前月末合計	二一	一二,九七一	八八,三四〇	二〇五,五八五	九,二六六,四二八	二七九,四五六	九一八,八九〇	二,五三五,三五五	一六,八五一	六四八,五〇〇	一三八,九六七	一三八,五九八	一四,一三八,六六四
△は減	—	一三七	二二二	二四,七八〇	一一三,四八二	一一,三五六	△八,四八八	三五二,一四七	一三,二七四	△一四,八六四	△七五〇	△四三,七一四	四一八,五一八

（其ノ二）

州廳別＼種別	負債：出資金	貯金	準備金	各種積立金	未拂配當金	借入金	假受入金	其他	剩餘金	計
臺北	一,五〇一,三七〇円	五,〇〇四,二四一円	五六一,九四四円	一六四,五〇八円	二三,三六七円	三四六,三〇五円	八,四三〇円	九六,九七一円	一八一,七五八円	七,八〇六,九四七
新竹	二〇六,九五〇	九四八,八二四	一二二,〇三〇	七六,六九九	一,六一〇	—	五,九一九	二,六〇八	一六,〇三三	一,三八〇,六六四

臺中	二三七,六五〇	六五八,三三一	三三一,〇五五	六七,八九九	三,〇五五	—	七三	二,一四〇	三三,六七九	一,一三三,五六六
臺南	八一四,九四〇	二,一五六,七九九	三七五,〇四〇	七三七,九三一	三,〇七〇	一五,六三六	七,三六一	三一,五〇四	一一〇,一〇一	三,四九八,〇七九
高雄	六〇,八五〇	三一三,七〇六	三一	—	—	五,〇〇〇	—	—	—	三七九,七八一
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	八八,五〇〇	一七三,三七一	四七,三三〇	二〇,七八一	—	一九,〇〇〇	一,一九五	三,六八〇	五,四〇一	三五九,一五一
合計	二,九一〇,三六〇	九二五,六二五	一,二三六,六四五	四〇一,六四一	二〇,〇〇四	三八五,九二一	二三,八八〇	七五,九一〇	二四九,六六四	一四,五五七,一五五
前月末合計	二,九〇八,八八五	八七一,三五六三	一,二三六,四八四	四〇二,一一八	二一,一六九	五三二,六二五	二〇,八八四	八九,五四一	二三三,三三一	一四,一三八,六六四
△は減	一,四七五	五四,二六二	一六一	五〇四	△一,一六五	△一三六,七〇四	一,九九五	△一三,六三一	一六,三三三	四一八,四九一

（其ノ三）

州廳別 ＼ 種別	貯金内譯 組合員貯金	第一條第三項貯金	第一條第四項貯金	計	貸付金利率 最高	普通	最低	貯金利率 最高	普通	最低	借入金利率 最高	普通	最低	預ヶ金利率 最高	普通	最低	手形割引歩合 最高	普通	最低
臺北	一,七四五,六〇九円	一,八六九,三〇二円	一,八九四,四八円	五,〇〇四,三四一円	三六厘	三五厘	三五厘	二〇厘	一六厘	七厘	三三厘	三三厘	一八厘	二一厘	一三厘	七厘	三六厘	三四厘	三三厘
新竹	三六六,三三六	四二一,八六八	一五〇,七七八	九四八,八八四	二七	三三	三〇	二〇	一六	一〇	—	—	—	一七	一四	八	—	—	—
臺中	一五二,一四二	四四七,五五七	三九五,六六一	六三九,三三一	二六	二四	一八	二一	一三	七	—	—	—	二〇	一三	七	—	—	—
臺南	九六七,四四二	九一八,五四〇	二七〇,八四五	二,一五六,七九九	四五	二五	一八	二五	一七	一〇	二三	二三	二三	二〇	一三	七	二七	二五	二三
高雄	一八五,二一五	一七六,九九五	五二,〇九五	三一三,七〇六	四六	四六	二五	二三	一八	一八	二〇	二〇	二〇	二〇	一三	七	—	—	—
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	八三,四六六	四三,一一六	四六,七八八	一七三,三七一	二七	二七	二五	二三	一八	一八	二四	二三	二三	二七	二七	一四	二七	二七	二五
合計	三,五五〇,〇〇五	三,七六六,六三三	一,八六九,五九七	九,二五六,三三五	四六	二七	二五	三〇	一八	七	二三	二三	一八	二一	一三	七	二七	二四	二三
前月末合計	三,四〇一,六〇九	三,四七〇,五五九	一,八四一,四一四	八,七一三,五六三	四六	二七	二一	三〇	一八	七	二三	二三	一八	二〇	一四	六	二七	二四	二三
△は減	一八三,五九五	二九六,〇七二	二八,一八三	五四二,六六二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	△一	一	—	—	—

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◆臺北物價指數表（昭和二年六月末）

品目		本月	前月	前年同月
白米	(十)	二四四·一八	二四一·二七	二五八·七二
玄米	(一)	一七三·六八	一七七·一九	二三三·三九
清酒		三二一·四三	三二一·四三	三二一·四三
參酒		三三三·三三	三三三·三三	三三三·三三
紅酒		一七二·〇〇	一七二·〇〇	一七二·〇〇
澤庵漬		三三三·三三	三三三·三三	三三三·六七
小麥粉		一六三·一七	一六三·一七	一五八·四九
砂糖	(十)	一四九·三〇	一三五·七九	一三九·三〇
鰹節	(十)	二〇七·八一	一九七·四三	二〇七·八一
味噌	(十)	一四一·五三	一三八·四六	一五八·四六
醬油		一五六·八一	一五六·八一	一六五·九〇
鷄卵	(十)	二〇〇·〇〇	二一一·四三	二八八·七七
火油		一五五·八九	一五五·八九	一五六·四一
鹽		一四〇·九一	一四〇·九一	一四〇·九一
煙草		一八〇·〇〇	一八〇·〇〇	一八〇·〇〇
烏龍茶		七九·九〇	七九·九〇	九一·〇八
包種茶	(十)	一三一·〇四	一二四·一三	一二七·二四
白木綿	(十)	一四三·〇六	一三八·八八	一七八·七七

品目		本月	前月	前年同月
綿布		一三六·五〇	一三六·五〇	一四五·七八
洋紙		一六九·五六	一六九·五六	一八二·五〇
日本紙		二三八·八八	二三九·八八	二二三·三三
杉板		一六六·六六	一六六·六六	一九四·四四
杉材		一五五·〇〇	一五五·〇〇	一八七·五〇
洋鐵		一四七·五六	一四七·五六	一七七·九八
鉛	(一)	一三七·五〇	一五〇·〇〇	一五六·二五
銅		一三八·七七	一三八·七七	一三三·六五
煉瓦	(十)	二〇六·〇八	二〇八·七〇	二〇八·七〇
日本瓦		一〇〇·〇〇	一〇〇·〇〇	一〇〇·〇〇
板硝子		一二三·五〇	一二三·五〇	一二七·九〇
セメント	(一)	一五六·四七	一八五·九九	一五六·四七
燐寸		二一三·二四	二一三·二四	二二七·五六
石油	(十)	一五〇·〇〇	一四八·八六	一四一·八一
石炭		一七〇·〇〇	一七〇·〇〇	一五〇·〇〇
木炭		二五三·三三	二五三·三三	二五三·三三
薪		二五七·一四	二五七·一四	二七一·四三
平均	(十)	一七八·七七	一七七·六四	一八九·六〇

備考　本表は大正三年七月の物價を一〇〇として計算せり（十）印は騰貴（一）印は下落を示す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□平均指數五箇年對照表

月次	昭和二年	昭和元年 大正十五年	十四年	十三年	十二年
一月	一七八・四〇	一九〇・七九	二〇三・一三	一九一・八一	一九一・六四
二月	一七八・八三	一九〇・九五	二〇二・三〇	一九一・九四	一九五・一三
三月	一七八・三九	一八八・三一	二〇〇・六〇	一九一・一三	一九六・〇六
四月	一七七・三七	一八八・二五	二〇〇・一三	一九一・五九	一九六・〇一
五月	一七七・六四	一八六・〇二	一九二・五〇	一九四・一六	一九五・二七
六月	一七八・二七	一八五・二〇	一九二・八七	一九二・七六	一九五・〇七
七月	―	一八五・一二	一八五・一〇	一九一・六一	一九〇・八六
八月	―	一八四・六六	一九五・二七	一九三・九二	一九〇・五六
九月	―	一八三・二五	一九五・〇三	一九八・三〇	一九二・〇四
十月	―	一八二・五四	一九二・三八	二〇二・四一	一九〇・一三
十一月	―	一八一・五九	一九三・一六	二〇五・〇三	一九二・三八
十二月	―	一八〇・〇七	一八九・七四	二〇三・一三	一九二・六六

□各年月ヲ一〇〇トセル本月平均指數

基礎年月	二年五月	十五年六月	十四年六月	十三年六月	十二年六月
本月平均	一〇〇・三五	九六・二五	九二・四三	九二・六九	九一・三八

漢詩

謁臺灣神社　　椿園　玉木懿夫

鬱々氣佳哉。山秋四望開。金技傷瘴癘。玉殿倚崔嵬。
潭古劍光迸。天高鶴唳來。英靈凜如在。千載鎮三臺。

國姓爺（父芝龍 母田川氏）

偉矣國姓爺。懷哉鄭成功。滿身渾是膽。生於東海東。
明社將傾覆。慨然出從戎。賜姓誓恢復。投身鋒鏑中。
空擊祖逖楫。厓山恨不窮。父甘衣胡服。兒豈受秦封。
率衆據海島。一戰走瑪瞳。劉家兒豚犬。艸木偃北風。
三世鄭克塽降于清。島民長懷德。造廟深尊崇。田氏亦享饗。
不肯祀芝龍。朱火三百年。國破出英雄。身傳日本血。
赤心見孤忠。山河歸王土。如今車書同。我來臺灣府。
薦蘋開山宮。英魂地下瞑。腥羶一掃空。

上阿里山

鐵路度崔嵬。山蛇出穴來。一峯三匝上。萬壑四方開。
崖削石將墜。棧危車欲摧。振衣千仞上。脚下有輕雷。

梅莊上山總督招飲席上次韵奉呈

節旄臨海島。露冕察民情。杜石勞三吐。乾坤歸一清。
秋深甘露下。雲碧客星橫。公退斟杯酒。詩成共眼明。

啖木瓜

臺島時珍風味甘。香蕉綠橘又黃柑。荔枝何及木瓜美。不讓東坡在嶺南。

時事有感　　鳳菴　猪口安喜

葛藤欲斷肯居中。玉敦金盤效寸衷。使仰昭和天子聖。會盟寧間不全功。

次藤田錫亭訪呈淨山師三首

彌勒徑前別有天。箇中參破上乘禪。高僧日課無多事。對石跏趺對石眠。

大灘幾々直射天。高僧此處欲談禪。他時獅吼雷霆激。疊破業思長夜眠。

水流大地月懸天。夜深尤宜獨坐禪。萬籟無聲方出定。雲根祇有白雲眠。

送刀水將軍之任下關要塞

大樹風標玉樹詞。銜恩直向馬關行。黑潮流駛好風送。紫石山崇四月征。眼底烟波皆要害。胸中韜略是干城。一方保障資儒將。備禦何須十萬兵。

田邊碧堂詞宗歡迎宴集詩

九皐　稲田　建

厭倦樓春白雪吟。老來翰墨亦千金。莫使世人容錯認。詩名或被畫名侵。

消夏雜詠

隨意炎涼變市烟。黑甜夢覺思悠然。臥看床上綠陰畫。抽讀籬中白雲篇。拾句時尋賈島僊。點茶自擬趙州禪。平生難得此清興。賜暇三旬日若年。

六十自壽

日夕諳書師聖賢。豈言門下及三千。菁莪餘事風騷足。馬齒今迎六十年。

栽竹

移運移栽淵竹青。解竿拔地勢亭々。可憐且日主人興。醉與此君猶未醒。

石言二章

壺溪　伊藤賢道

球明合浦染圖。物各有歸須適湖。欲詢靈石石無言。怪底無由人不言。

君子人兮貴至誠。堅貞溫潤石不凡。紅絲鵲尾稱珍異。終讓端溪有水巖。

俳句

亭江選

晝顔の太き根蔓や草いきれ　花吾
芝踏めば生るゝ蟻あり夏の月　同
金魚見ることにあきたる恙かな　同
判官の聞き流し居る扇かな　瓦全城
冷奴箸を落ちたる膝がしら　同
油虫棚の裏に廻りたる　同
釣忍水からくりの豆太鼓　兆田
女生徒の白鉢卷や登山路　同
頂上に張れる團旗を見て登る　同
山谷の橋に迫りて夕立ちけり　素山
夕立の鐵線橋を渡りけり　同
炎天や埠頭苦力の暑埃り　緑泉
足露にぬれて水牛其處に居り　同
がじまるの雨後の牢や葉鷄頭　玄德
日盛や砂に錆吐く大錨　同
夏の月臺灣芝居いつまでも　南山
檳榔の影地に曳いて夏の月　同
波の音とゞく蚊帳に覺めゐたり　夕果
蕃山を旱の村に下りけり　同

夕立にしたゝか濡れて下りけり　石舟
ぞろ〳〵と流し元なる油虫　同
朝露を踏んで勇まし登山隊　球川
ゆるやかの流れにまかし納涼船　同
釣忍すだれの外に揺らぎ居る　南竹
登山道左は雲の地獄谿　同
先生を先頭にして登山隊　介月
一文字の紅提灯や納涼船　同
紅提灯ともしつらねて納涼船　蛉山
納涼船灯もともさず下りゆく　同
古庭に並び出りたる葱かな　石骨
軋りゆく牛車の音や夏野道　卦字樓
べちやんこになつて死にけり油虫　小笑子
夏霧や河原に立てる投網打ち　眞砂
旱魃の埃かぶりて榕樹かな　無幻
夏野原水牛二三草食める　霜風
日盛りもやうやく過ぎし人通り　亭江
病葉の折ふし落つる榕樹かな　同

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣日誌

自六月十六日
至七月二十日

六月

▼十六日
・警務局飛行班東部飛行を終り屏東へ歸還
▼十七日
・臺灣始政記念日臺灣神社に於て記念祭執行
・臺北州勤續者表彰式を行ふ
▼十九日
・臺北實業野球リーグ戰開始
▼二十日
・臺北市學事講習會を行ふ
▼二十一日
・新竹州湖口農民組合發會
▼二十二日
・臺北州郡市事務監査開始
・臺北市小公學校職員體育會を行ふ
▼二十三日
・全島社會事業打合會議を開く
▼二十四日
・臺北市協議會を開く
▼二十五日
・臺中在鄕軍人警護會發會式を行ふ
▼二十六日
・高雄州國語演習會屏東に開催
▼二十七日
・臺北州國語デー擧行
・各地警察幹部衛生講習會を行ふ
▼二十八日
・法院長、檢察官長會議開催
・高雄州視學會議を行ふ
▼二十九日
・海軍飛行機、佐世保發沖繩經由にて基隆到着
▼三十日
・公學校教科書審査會を行ふ
・新竹州協議員會を行ふ
・海軍飛行機馬公へ向ふ

七月

▼一日
・臺北州消防會議開催
・臺南州水産會評議會を行ふ
・海軍飛行機馬公着
・警官練習所三十年記念式擧行
▼二日
・臺北市印刷職工罷業を行ふ
・臺北州視學會議開催
▼三日
・海軍飛行機內地へ歸還
▼四日
・田中軍司令官臺南部隊檢閲
▼五日
・全島税務會議開かる
・肥料取締規則發布
▼十日
・臺灣民衆黨發會式擧行
・臺南商工協議會發會
▼十一日
・臺南州實業教育講習會を開く
▼十四日
・文教局中學入學試驗問題研究會を行ふ
・基隆郡製茶品評會を行ふ
▼十五日
・臺北各小學校臨海學校開始
▼十六日
・全島警察官武道講習大會を開く
・臺南州水産總代會をなす
・臺灣民報島內發行を許可さる
▼十七日
・彰化神社鎮座式擧行
・木下交通局總長南部視察
▼十八日

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

・鳳梨罐詰同業組合創立總會開催

▼二十日

・文教局主催學校教練講習會開催

人事消息

根井臺北第二師範學校長　六月二十七日著臺
和田府事務官　六月三十日歸臺
鎌田正威氏　同上
L・ノレザー氏（米國東洋總領事）七月二日來臺
坂本彥之助氏　七月四日來臺
阿部高商教授　同日著臺
幣原坦氏　七月六日上京
上山總督　七月七日歸臺
竹尾秘書官　同上
津久井誠一郎氏　七月十日南支方面へ出發
原口統計官　七月十日南洋視察の爲出發
鈴木重臣氏　七月十二日歸臺
梁川遞信部長　七月十三日內地へ
片山殖産部長　七月十六日上京
栗山府技師　七月十六日在外研究より歸臺
三澤高等學校長　七月十七日歸臺
石田中研技師　七月二十一日內地へ
一色中研技師　七月二十三日內地へ
須田交通局參事　同上
井村大吉氏　七月八日鄉里に於て逝去
並河圖書館長　七月九日逝去

任命

昭和二年府報自第百三十七號至第百六十二號

○六月二十三日

臺灣總督府中央研究所技師　金平　亮三
中央研究所林業部長ヲ命ス

臺灣總督府中央研究所技師　福本　林作
中央研究所林業部長心得ヲ免ス

○六月二十三日

臺灣總督府法院檢察官　上內恒三郎
歸任ノ途次大阪府下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府臺北高等農林學校教授　加納　瓦全
東京、京都、奈良、愛知、長崎、秋田、青森、ノ二府五縣下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府專賣局參事　川村　直岡
東京、大阪、兵庫ノ各府縣下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府臺南高等商業學校教授　川田長兵衛
東京、大阪、愛知、滋賀、ノ二府二縣下へ出張ヲ命ス

六月二十四日

臺灣總督府地方理事官　三輪　幸助
（各通）

臺灣總督府師範學校教諭　石井　權三
教科書調查會委員ヲ命ス
（各通）臺灣總督府州事務官　赤堀　鐵吉

臺灣總督府師範學校教諭　關野　榮
教科書調查會委員ヲ免ス

臺灣總督府師範學校教諭　石井　權三
教科書調查會臨時委員ヲ免ス

六月二十五日

臺灣公立高等女學校長　篠崎　正
東京、茨城、長野、靜岡、愛知ノ各府縣下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府技師　坂本　登
支那厦門へ出張ヲ命ス

六月二十七日

臺灣總督府臺北高等商業學校教授　淺香　末起
支那上海、青島、天津並南滿洲、關東州及朝鮮へ出張ヲ命ス

臺灣總督府臺北高等商業學校教授　佐藤　佐
支那上海へ出張ヲ命ス

六月二十七日

任臺灣總督府醫院醫長　加藤　豐彥

任臺灣總督府醫院醫長　緒方　周一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

任臺灣總督府臺南高等商業學校敎授　末武文重

六月二十五日

願ニ依リ新竹州協議會員ヲ免ス　鄭肇基

六月二十七日

臺灣總督府醫院醫長　加藤豐彥

臺中醫院勤務ヲ命ス

臺灣總督府醫院醫長　緒方周一

臺南醫院勤務ヲ命ス

六月二十八日

（各通）　臺中州警察醫　江口巖

安倍貞次

臺灣衛生技師ニ任ス

公立中學校長　近藤壽治

任臺灣總督府臺北高等學校敎授

六月二十八日

臺灣衛生技師　江口巖

臺中州衛生技師ニ補ス

臺灣衛生技師　安倍貞次

臺南州衛生技師ニ補ス

六月二十九日

臺灣公立中學校敎諭　堀　再平

東京、京都、福岡、熊本ノ二府二縣下ヘ出張ヲ命ス

六月三十日

臺灣總督府技師　板谷孫市

依願免本官

六月二十八日

臺灣總督府臺北高等學校敎授　近藤壽治

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

九箇月間英、獨、米ノ三箇國ニ在留スヘシ

六月二十九日

臺灣總督府交通局參事　藤田光夫

名古屋遞信局管内ヘ出張ヲ命ス

六月三十日

臺灣總督府事務官　中田榮次郎

東京ヨリ栃木縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府視學官　土性善九郎

上京ヲ命ス

七月一日

臺灣總督府統計官　原口竹次郎

英領香港、比律賓、英領北ボルネオ、サラワク王國、海峽殖民地、馬來聯邦州、馬來非聯邦州ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府臺南高等商業學校敎授　末武文重

支那廈門、汕頭、廣東及英領香港ヘ出張ヲ命ス

七月四日

臺灣總督府事務官　野口敏治

東京、宮城、長野ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

七月五日

臺灣總督府師範學校長　根井久吾

敎科書調査委員ヲ命ス

臺灣總督府師範學校敎諭　渡邊節治

敎科書調査會臨時委員ヲ命ス

七月五日

臺灣公立高等女學校敎諭　吉島虎一

文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス

七月六日

臺灣總督府法院判官　望月恒遣

退職ヲ命ス

七月六日

岐阜高等農林學校敎授　奧田彧

任臺灣總督府臺北高等農林學校敎授

七月五日

臺灣總督府臺北醫學專門學校敎授　大内基

東京、大阪、宮城ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

七月六日

臺灣總督府地方技師　鈴木外男

上京ヲ命ス

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣公立高等女學校教諭　井上重人
東京、大阪、京都、奈良、三重、滋賀、愛知、神奈川、栃木、兵庫、廣島、福岡、大分ノ三府十縣下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府臺北高等商業學校教授　江幡義雄
和歌山、滋賀、兵庫、愛知、香川ノ五縣下へ出張ヲ命ス

七月六日

臺灣總督府事務官　坂口主稅
文教局學務課長野口敏治不在中代理ヲ命ス

七月八日

臺灣公立中學校長　高橋隆
東京、京都、宮城、靜岡、福岡ノ二府三縣下へ出張ヲ命ス

七月九日

臺灣總督府交通局副參事　分島薰
東京、大阪、兵庫、廣島、福岡、熊本、鹿兒島、沖繩ノ二府六縣下へ出張ヲ命ス

七月十日

臺灣總督府法院判官　姉齒松平
兼補高等法院上告部判官
(各通)

臺灣總督府法院判官　堀田眞猿
同　有水常次郎
補臺北地方法院合議部部長兼臺北地方法院單獨部判官

臺灣總督府法院判官　犬飼吉備雄
補臺北地方法院合議部判官兼高等法院覆審部判官
(各通)

臺灣總督府法院判官　神尾寅之助
同　下瀨芳太郎
補臺北地方法院合議部判官兼臺北地方法院單獨部判官
(各通)

臺灣總督府法院判官　石崎皆市郎
同　小野祐三郎
補臺北地方法院單獨部判官兼臺北地方法院合議部判官

臺灣總督府法院判官　高嶺方美
補臺北地方法院合議部判官
豫審係ヲ命ス

臺灣總督府法院判官　鮫澤榮三郎
補臺北地方法院新竹支部合議部部長兼臺北地方法院新竹支部單獨部判官豫審係ヲ命ス

臺灣總督府法院判官　佐藤遁
補臺北地方法院新竹支部單獨部判官兼臺北地方法院新竹支部合議部判官

臺灣總督府法院判官　余繩章
補臺北地方法院宜蘭支部單獨部判官兼臺北地方法院宜蘭支部合議部判官豫審係ヲ命ス

臺灣總督府法院判官　高橋喜又
補臺中地方法院合議部部長兼臺中地方法院單獨部判官

臺灣總督府法院判官　古賀岩藏
補臺中地方法院合議部判官兼臺中地方法院單獨部判官
(各通)

臺灣總督府法院判官　松田宏一
同　島田義三
補臺中地方法院單獨部判官兼臺中地方法院合議部判官

臺灣總督府法院判官　矢田精一郎
補臺中地方法院合議部判官兼臺中地方法院單獨部判官
豫審係ヲ命ス

臺灣總督府法院判官　上田貞藏
補臺南地方法院合議部部長兼臺南地方法院單獨部判官
(各通)

臺灣總督府法院判官　上田幸冶
同　二反田眞一
補臺南地方法院合議部判官兼臺南地方法院單獨部判官
(各通)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣總督府法院判官　高橋服膺
同　本田能喜
同　花城長昱
補臺南地方法院單獨部判官兼臺南地方法院合議部判官
臺灣總督府法院判官　永井敬一郎
補臺南地方法院合議部判官兼臺南地方法院單獨部判官
豫審係ヲ命ス
臺灣總督府法院判官　山本二郎
補臺南地方法院嘉義支部合議部部長兼臺南地方法院嘉義支部單獨部判官
臺灣總督府法院判官　山中榮
補臺南地方法院嘉義支部單獨部判官兼臺南地方法院嘉義支部合議部判官
臺灣總督府法院判官　豐川善賁
補臺南地方法院嘉義支部合議部判官兼臺南地方法院嘉義支部單獨部判官
豫審係ヲ命ス
（各通）
臺灣總督府法院判官　宇野庄吉
同　金子保次郎
同　山田示元
臺灣總督府法院檢察官　上内恒三郎
公證人懲戒委員ヲ命ス
（各通）
臺灣總督府法院判官　伴野喜四郎
同　鈴木英男
臺灣總督府法院檢察官　帶金悅之助
公證人豫備懲戒委員ヲ命ス

○七月十二日

臺灣總督府臺北高等學校教授　小山捨男
東京、長野ノ各府縣下及北海道廳下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府臺北高等學校教授　神谷辰三郎
東京、京都、大阪、宮城、兵庫、廣島、福岡、長崎ノ三府五縣ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府臺北高等學校教授　伊藤愼吾
東京、京都、大阪ノ三府下及兵庫縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府臺北高等學校教授　大浦精一
京都、大阪、兵庫、岡山、廣島ノ二府三縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府臺北高等學校教授　春田重之
東京、京都、大阪、廣島、高知ノ三府二縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府中央研究所技師　石田昌人
東京、宮城、鹿兒島、沖繩ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府交通局參事　深川繁治
上京ヲ命ス
臺灣公立實業學校教諭　西田辰海
福岡、宮崎ノ二縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣公立中學校教諭　美間正道
東京、京都、大阪、茨城、山口ノ三府二縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣產業技師　鳥居武男
英領香港、馬來聯邦州、馬來非聯邦州、海峽殖民地、サラワク王國及蘭領東印度ヘ出張ヲ命ス

七月十三日

臺灣總督府文教局長　石黑英彥
東京、大阪、茨城、群馬、長野、岡山ノ二府四縣下ヘ出張ヲ命ス
（各通）
大坪與一
黑田秀博
高雄州協議會員ヲ命ス

七月五日

臺灣總督府技師　小野勇五郎
殖產局附屬肥料檢查所長兼殖產局農務課勤務ヲ命ス
臺灣總督府技師　小野勇五郎
肥料檢查員ヲ命ス

七月六日

臺灣總督府臺北高等農林學校教授　奧田順

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス
一年六箇月間獨、佛、英、米ノ各國及英領加奈陀ニ在留スヘシ

七月九日
臺灣總督府視學官　若槻道隆
圖書館長事務取扱ヲ命ス

七月十四日
臺灣總督府事務官　杉本良
滯米中米國各地及加奈陀へ出張ヲ命ス

臺灣總督府法院判官　高嶺方美
兼補臺北地方法院單獨部判官

臺灣總督府交通局副參事　白井泉藏
臺灣總督府遞信職員共濟組合審査會委員ニ指定ス

臺灣總督府交通局副參事　樋口憲
臺灣總督府遞信職員共濟組合審査會委員ヲ免ス

七月十四日
臺灣總督府中央研究所技手　高松基成
任臺灣總督府中央研究所技師

七月十二日
臺灣公立中學校敎諭　本山鐵雄
熊本縣下へ出張ヲ命ス

七月十五日
臺灣總督府法院檢察官　武井羽二郎
東京、栃木、富山、愛知、石川ノ各府縣下へ出張ヲ命ス

七月十六日
臺灣總督府事務官　坂口主稅
文敎局長石黑英彥不在中代理ヲ命ス

七月十六日
臺灣總督府事務官　今川淵
殖產局片山三郎不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府殖產局長　片山三郎
上京ヲ命ス

七月十八日
臺灣總督府中央研究所技師　一色周知
東京、宮城ノ各府縣下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府中央研究所技師　金子昌太郎
群馬縣下ヨリ福岡、大分ノ二縣下へ出張ヲ命ス

七月十九日
臺灣總督府地方技師　白倉好夫
任臺灣總督府技師

臺灣土木技師　白倉好夫
願ニ依リ本職ヲ免ス

七月十九日
臺灣總督府技師　白倉好夫
總督官房會計課勤務ヲ命ス

臺灣總督府地方理事官　政所重三郎
東京府下ヨリ三重、島根、大分ノ三縣下へ出張ヲ命ス

臺灣公立高等女學校敎諭　吉中吾郎一
廣島縣下ヨリ上京ヲ命ス

七月二十日
第二高等學校敎授　楠井隆三
任臺灣總督府臺北高等學校敎授

休職臺灣總督府醫院醫官　古市虎熊
依願免本官

七月二十一日
臺灣總督府臺南高等商業學校敎授　尾古祿爾
東京、大阪、神奈川、兵庫ノ二府二縣下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府師範學校敎諭　段證外吉
上京ヲ命ス

七月二十一日
臺灣總督府臺南高等商業學校長　加藤正生
上京ヲ命ス

臺灣公立中學校敎諭　鹽塚勝之
大阪府下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府技師　石井信太郎
一時歸府ヲ命ス

七月二十二日

（各通）

臺灣總督府交通局參事　須田一二三

臺灣總督府交通局技師　海野斐雄

東京、仙臺ノ兩鐵道局管內ヘ出張ヲ命ス

七月二十三日

九州帝國大學助敎授　津野田誠吾

任臺灣總督府醫院醫長

貝山好美

臺灣産業主事ニ任ス

臺灣總督府醫院醫長　津野田誠吾

臺中醫院長ヲ命ス

臺灣産業主事　貝山好美

臺北州産業主事ニ補ス

臺灣總督府醫院醫官　國友眞茂

臺中醫院長津野田誠吾不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府醫院醫官　國友眞茂

臺中醫院長事務取扱ヲ免ス

七月二十日

臺灣總督府臺北高等學校敎授　楠井隆三

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

二箇年間獨、佛、墺、英、ノ四箇國ニ在留スヘシ

七月二十七日

臺灣總督府交通局參事　深川繁治

歐米各地竝土耳其、英領印度及海峽殖民地ヘ出張ヲ命ス

七月二十七日

任臺灣總督府內務局長　樺太廳長官　豐田勝藏

任樺太廳長官　臺南州知事　喜多孝治

任臺南州知事　臺灣總督府殖産局長　片山三郎

任臺北州知事　臺中州知事　三浦碌郎

任臺灣總督府殖産局長　高雄州知事　高橋親吉

任臺灣總督府事務官　臺灣總督府稅關長　伊藤兼吉

任臺中州知事　臺灣總督府事務官　佐藤續

任高雄州知事　臺灣總督府地方理事官　太田吾一

兼任臺灣總督府交通局理事　臺灣總督府事務官　水越幸一

任臺灣總督府地方理事官　臺灣總督府州事務官　田端幸三郎

任臺灣總督府稅關長　臺灣總督府州事務官　大竹勇

任臺灣總督府州事務官　臺灣總督府稅關事務官　酒井雪介

臺灣總督府州事務官　角田廣次

任臺灣總督府事務官

臺灣總督府中央研究所事務官兼臺灣總督府事務官　岩滿重

任臺灣總督府稅關事務官

臺灣總督府地方理事官　川副龍雄

任臺灣總督府州事務官

休職地方事務官　尾佐竹堅

任臺灣總督府警察官及司獄官練習所敎官兼臺灣總督府事務官

臺灣總督府地方理事官　石井龍猪

任臺灣總督府州事務官

臺灣總督府專賣局參事　渡邊廣

任臺灣總督府事務官

臺灣總督府地方理事官　奧田達郎

任臺灣總督府州事務官

臺灣總督府地方警視　鶴友彥

任臺灣總督府地方理事官

臺灣總督府地方警視　猪俣一郎

任臺灣總督府事務官

（各通）

臺灣總督府專賣局副參事　本多保太郎

同　平輝雄

（各通）

任臺灣總督府專賣局參事

臺灣總督府地方理事官　森田俊介

臺灣總督府屬　小林六之助

任臺灣總督府地方警視

（各通）

臺灣總督府屬 鈴木重男

臺灣總督府屬 瀬戸山兼城

兼任臺灣總督府地方理事官

（各通）

臺灣總督府屬 古澤勝之

同 池田城

同 岩崎眞次郎

同 玉手亮一

任臺灣總督府地方理事官

臺灣總督府屬 本田忠男

任臺灣總督府中央研究所事務官

臺灣總督府專賣局書記 高原逸人

任臺灣總督府專賣局副參事

（各通）

臺北州知事 吉岡荒造

臺灣總督府事務官 皷包美

依願免本官

○七月二十七日

臺灣總督府事務官 伊藤兼吉

總督官房審議室勤務ヲ命ス

臺灣總督府地方理事官 田端幸三郎

補臺北市尹

臺灣總督府州事務官 酒井雪介

補臺北州內務部長

臺灣總督府事務官 角田廣次

警務局警務課長兼警務局衛生課長ヲ命ス

臺灣總督府州事務官 岩滿重

補臺中州內務部長

臺灣總督府事務官 尾佐竹堅

警務局勤務ヲ命ス

臺灣總督府州事務官 石井龍猪

補臺南州警務部長

臺灣總督府事務官 渡邊廣

營林所庶務課長ヲ命ス

臺灣總督府州事務官 奥田達郎

補高雄州警務部長

臺灣總督府地方長官 鶴友彦

臺北州勤務ヲ命ス

臺灣總督府事務官 猪俣一郎

內務局土木課勤務ヲ命ス

臺灣總督府地方警視 森田俊介

臺北州勤務ヲ命ス

（各通）

臺灣總督府地方理事官 鈴木重男

同 瀬戸山兼城

臺北州勤務ヲ命ス

臺灣總督府地方理事官 古澤勝之

臺中市助役ヲ命ス

臺灣總督府地方理事官 池田城

高雄州旗山郡守ヲ命ス

臺灣總督府地方理事官 岩崎眞次郎

高雄州勤務ヲ命ス

臺灣總督府中央研究所事務官 本田忠男

庶務課長ヲ命ス

臺灣總督府地方理事官 玉手亮一

臺中州大屯郡守ヲ命ス

臺灣總督府地方警視 小林六之助

臺南州勤務ヲ命ス

臺灣總督府技師 色部米作

殖産局農務課長事務取扱ヲ命ス

臺灣總督府州事務官 猪股松之助

補臺南州內務部長

臺灣總督府州事務官 赤堀鐵吉

補高雄州內務部長

臺灣總督府地方理事官 政所重三郎

高雄州勤務ヲ命ス

臺灣總督府地方理事官 名和仁一

臺北州勤務ヲ命ス

臺灣總督府地方理事官 石川定俊

新竹州勤務ヲ命ス

臺灣總督府地方理事官 長谷川錄郎

臺北市助役ヲ命ス

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣總督府地方理事官　廣谷致員
高雄州勤務ヲ命ス
　臺灣總督府地方理事官　小林章
臺南州北門郡守ヲ命ス
　臺灣總督府地方理事官　酒井正之
臺南州新營郡守ヲ命ス
　臺灣總督府事務官　淺野安吉
殖産局商工課長横光吉規不在中代理ヲ命ス
　臺灣總督府交通局總長　木下信
內務局長事務取扱ヲ免ス
　臺灣總督府事務官　淺野安吉
營林所庶務課長兼務ヲ免ス
（各通）
　臺灣總督府事務官　城岡恒人
　臺灣總督府事務官　今川淵
　臺灣總督府地方理事官　圖部薫
文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス

支那及南洋情報

臺灣總督官房調查課

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

支那

漢口英租界第三特別區市政局章程……一

中國現在の勞資問題……七

香港

一九二七―二八年度の香港植民地評定價格……一四

一九二六年に於ける香港々灣の趨勢……一五

比律賓

比島最近の政界……一七

ダヴアオ黄禍の烽火あがる……一八

比島に於ける税金一覽表……一九

佛領印度支那

一九二五年の印度支那鑛業(三)……二七

暹羅

チーク以外の木材輸出表……四九

英領馬來

一九二六年度ブルネイの概況……五一

馬來半島のガッタ・パーチャに就て(續)……五三

蘭領東印度

蘭領印度に於ける石油政策……五五

爪哇マヅラに於ける主要土人農産物……五九

セレベス島ミナハサ地方の現況……六三

英領印度

緬甸の油田……七三

其他

護謨生産及消費高豫想……七六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

情報

支那

□漢口英租界第三特別區市政局章程

三月四日中央政治會議の議決通過に係る特別區市政局章程の內容要點と內容全部とは左の如し。

（第一）章程內容の要點　本章程は國民政府の法律にして、國民政府より頒布の後、更に英國當局に函送す。（二）本章程は漢口第一特別區管理局章程を以て根據と爲す。協定內曾て此項の規定ありしに因りてなり。（三）本區特別の情形を參酌し酌量變通す。例二あり。（甲）本年度の董事は時間切迫に因り選擧を擧行するに及ばざれば、暫く双方より派充す。（乙）外人の董事は僅に英人あるのみ。本區內の居民中其他外國人甚だ少きに因りてなり。（四）本區の管理權は完全に我が方に在りて掌握す。例二あり。（甲）董事會の董事は中英各三人とす。而して董事長は外交部選派の局長より充任す。董事双方投票相等しき時は決を董事長に取る。（乙）決して外國顧問の本區內の行政に參預することなし。（五）本章程は臨時性質に係屬し、漢口佛日兩租界を收回する後を俟ち卽ち廢止す。

（第二）漢口第三特別區市政局章程は左の如し。

第一章　總　則

第一條　漢口第三特別區の管轄境域を本章程効力の及ぶ所のものとし、從前稱する所の英租界原有の區域に限られ漢水の畔揚子江畔の淤洲を包括す。

第二條　漢口第三特別區に市政局を設け、（第二章を參閱せよ）本章程の規定に依りて之を管理す。

第三條　凡そ本區內不動產の賣買永代借地事務は、須く交附濟の後六十日以內に於て双方當事者或は其代理人より局に來りて執照の發給を聲請して營業に便すべし。もし抵當に係らば須く双方當事者或は其代表人より抵當成立後三十日內に於て、親しく自から、或は代表に委託してか局に來り註册立案を聲請すべし。

第四條　領事裁判權あるの外國人民が、本區內に在りて房地を承租せんと欲する者は、須く其本管領事或は總領事に向ひて其保證書を取り、該領事或は總領事より承租人に對し、本章程及其施行細則規定する所の各項事宜を執行することを擔保すべし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第五條　個人產權及個人產權の性質を含有せる他項の權利は槪して與ふるに承認を以てす。故に現有の河通り碼頭の地位の執照は繼續して有効なり。此後該項の執照は仍ほ市政機關より常に照して發給せんとす。執照期滿の後は持照人は繼續の請求を爲すべし。以後河通り碼頭の地位は常に首として先づ英國及中國の商行に給與すべし。

第二章　市政局

第六條　市政局には局長一人を設け、外交部長より選派し、同時に國民政府に呈准す。局長は區内一切の事務を執行し、並に第七條の規定に依り董事會董事長と爲る。

第七條　本局には董事會を組織し董事七人を設け、局長を以て董事長と爲すを除くの外、其餘六人は常年大會の時（第三十條を參閱せよ）に於て投票、中國人三名英國人三名を選出して之に充つ、凡そ被選擧人は少くとも須く二票權を有し（第三十八條を參閱せよ）方に能く董事に充當すべし。民國十六年（一九二七年）度の中華董事は中英の當局より分別派充し、以後は當に本章程に按照して選擧す。民國十六年（一九二七年）度董事中もし職に供する能はず、或は病を患ひ、或は死亡により缺員となるときは、當に中英當局より原任董事を選派する辦法に按照して分別選任補充すべし。此後董事中空位に逢ふ毎に、當に本章程に依り選擧補充すべし。

第八條　本局には主任一人を設け局長に秉承し、所有職員を率同し全局の事務を辦理す。

第九條　本局には副主任一人を設け、主任に帮同して全局の事務を辦理す。

第十條　本局は事務の繁簡に視て秘書・局員・事務員を設け、局長に秉承し並に主任の指揮監督を受け、指派の職務を分別辦理するを得。

第十一條　本局には警察長一人を設け、局長に秉承し主任に秉承し、巡官警長を督率し本區内一切の警察事務を管理す。

第十二條　本局主任は局長より董事會に提交し過半數を以て通過の後、外交部長に呈請して派充し、副主任及警察長は局長より選定す。亦須らく董事會の過半數を以て通過するを經べし。其餘職員の任免は局長より主持し、其人數は應用に敷くに適するを限と爲し、多きに過ぎ少きに過ぐるを得ず。所有薪餉は如何に論なく其總數は常年大會の豫算を超過するを得ず。本局の職員は等級に論なく若し相當の原因なくんば停職・減薪・扣餉を得ず。本局所有職員は應に局長より國民政府外交部に呈報して、案に備ふべし。

第十三條　本區内各項の特稅は未だ常年大會の稅則を改定せざる以前は、市政局より暫く現行章程に照して之を征收す。中國政府の地稅を除くの外、本區内の不動產は本章程の許可せる以外の如何なる稅項の征收をも受けず。

第十四條　本局は應に每年々終に於て本區内の各地面房屋を估價す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ること一回、十二月十四日以前に於て估する所の價を各地主及屋主に通告し、もし意に滿たざるものあらば通告を受取りし後一個月内に市政局長に向ひ申訴し、局長より法を設け切實に解決すべし。

第十五條　本局は規定の税則に根據し、行政處分を以て各項の欠欵罰款を追償せしむるを得。此事一たび裁決を經ば卽ち須く認めて終結と爲すべし。領事裁判權あるの外國人の拖欠せる税銀罰款は該管領事に請ひ之を勒追するを得。

第十六條　本局の管理區内一切の財政、所有收入は必ず須く悉くを董事會指定の銀行に渡して預金し、所有支拂は本區の事務に用ふるを限とし、渡金は概して支拂票を用ひ、主任より繕具し、局長の捺印と兩董字の副署を要し、其中須く一の英國人あるを要す。以前英の市政機關にて納税人が授權行爲を按照して締結せる各項の債務は本局より承認して之を償還せんに、本局は應に前年度決算表を先づ二人の會計師に渡し（一は華人一は英人）合同して淸査せしめ、然る後本年度豫算表と共に本區納税人常年大會に渡し核銷核准せしむべし。

第三章　董事會

第十七條　董事會董事は常年大會を開く後に於て卽ち就職を行ふ其任期は次年の常年大會に至るまでとす。

第十八條　凡そ本章程第四十二條を按照し、曾て市政局に在りて登記せる有選擧權者は毎年二月分下半月に二人毎に被選資格を有する人の中に於て一人或は數人を推選して候補董事と爲すべし。ただ推選する所の人數は多くとも中英國人各三名を超過すべからず。被選人は須く選擧票上に親筆をもて名を書け印章を押捺し、候補當選人の服務志願書と共に市政局に送るべし。所有候補當選の人名は應に三月一日より起り市政局に懸示し、常年大會の時を俟ち會場に在りて衆人の前に誦朗すべし。若し候補當選人數適に中國人三名英國人三名ならば、此六名悉く當選せられて董事とならん。若し擧ぐる所の人數六名を超過せば大會當日選擧人中に於て六名を選出して董事に充當すべし、此六董事中少くとも須く中國人三名、英國人三名あるべし。もし擧ぐる所中國人三名。英國人三名に足らざるか或は總數六名に足らざるときは原任董事會向一年連任するを得。

第十九條　董事會の任期は定めて一年と爲し、常年大會開會の後卽ち就職す。董事中もし願はず、或は就職する能はず或は任期内に在りて辭職・患病或は死亡者あるときは、局長は前回大會に在りて註冊したる選擧資格を有し、しかも仍は漢口に在りて居住する者に就いて之に選充すべし。若し董事の缺員三名を超過するか、或は局長選ぶ所の人が、未だ其餘董事過半數の同意を得ざるか、或は前回大會註冊の選擧資格を有し、しかも仍ほ漢口に在りて居住三分の一以上の人數が抗議を提出するに因るときは、局長は本章

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

程第二十八條の規定を按照し、特別大會を召集して補充董事を選擧するを得。此種補充董事選出の後應に局長より國民政府外交部に呈報して案に備ふべし。

第二十條　董事會毎次の開會には局長より董事長主席を兼ぬ。局長若し臨時に事に因りて會に到る能はざるときは代表を派して主席とするを得。

第二十一條　董事會毎時の開會には主任より局長を稟承して董事長を兼ね文書を通じて召集す。文書中並に須く應に議すべきの事項を叙明すべし。若し董事二人よりの提議ならば、局長は董事長を兼ね亦召集開會すべし。

第二十二條　董事會毎次の開會には董事長を合せ少くとも須く五人の出席ありて當に法定人數に足れりとすべし。議する所の事件は過半數を以て決を取る。もし贊否の人數相等しきときは董事長より之を決定す。

第二十三條　董事會の應に討論し並に議決すべき本區管理に關する一切の事項・所有議決案は應に局長より執行すべし。若し局長認めて中國の主權・中國の習慣に支障ありと爲すか、或は本章程各項の規定に違反するを以て執行する能はざる時は、執行停止の權あり同時に應に立ちどころに卽ち該項議決案件を國民政府外交部に送呈して査核せしめ、同時に最後の決定を爲さしむべし。たゞ外交部未だ最後決定を爲さゞる前に於ては須く董事會に相當機會を與へて意見を陳述せしめ、並に此種意見に考慮を加へしむべし。

第二十四條　董事會の董事は應に互に推薦して財政・警察・工程・衛生公益・水料各項事務に分任し、以て改良方法を考察及研究するの責任を分擔するに便すべし。各董事は分任する所の職務用に於て局長に委員を指派し委員會或は分委員會を組織して進行を協助せんことを請ふを得。

第二十五條　董事會董事は本章程に依據して職權を行使するときは、個人は責任を負担せず。

第四章　常年及特別大會

第二十六條　市政局々長は應に後列の章程を按じ、毎年三月に於て常年大會を召集すべし。並に未だ開會せざる前一週間に大會應に議すべき事務を各選擧人に通知すべし。納税人は常年大會に在りて議案を條陳するの權あり。但し少くとも會期前三日に書面を以て提出し親しく、自ら署名すべく並に附議者の親筆副署を請ひ市政局主任に交由して査收せしむべし。但し署名及副署者は均しく須く投票權ある人(卽ち住册選擧)にして方に有効と爲すべし。

第二十七條　常年大會は一切の提議されたる各案を討論し及解決するの權あり。たゞ少くとも須く三分の一の註册選擧人の出席ありて方に法定人數に足れりとすべし。

第二十八條　特別大會。若し局長認めて必要と爲すの時は隨時に召集するを得。但し局長或は兩董事の請求に因るか、或は前項の大會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に在りて註册せる選擧人にして漢口に在りて居住するものの三分の一以上の人數の請求に因れば亦臨時に召集すべし。其開會日期及其議程は須く十四日以前に於て豫め先づ通知すべし。開會の時は局長或は其代表より主席となる。

第二十九條　特別大會は須く前回大會に在りて註册せる選擧人にして仍ほ漢口に在りて居住する者の過半數以上の出席あるときは方に法定人數に足れりとすべし。若し常年或は特別大會が法定人數に足らざるに因りて未だ開會する能はざるときは、局長應に一週間内に再び第二回大會を召集すべし。該會の列席人數は多寡に論なく其會議は應に有効と爲すべし。

第三十條　常年大會は（一）市政局前年度の帳目を討論し及通過し。（二）各項の捐税を議決し及更改し、（三）本區名義を以て抵借を爲すの行爲を允准し、（四）區内の市政及公共衞生及本區行政に關する他項事宜を設法し及決定整理し、（五）本年度收支豫算を核准し（六）同時に董事會董事六人を選出するの權あり。

第三十一條　大會にて議する所の事件は第三十二條の規定を除くの外過半數を以て決を取り、若し贊否の票數相等しきときは主席より之を決定す。

第三十二條　不動産の承買・收支豫算・借債擔保に關する各議案は、須く出席者數三分の二の同意を經れば方に能く決定すべし。

第三十三條　凡そ常年大會或は特別大會に議決の案は應に市政局より執行すべし。其の中外條約に關係するものあらば、應に湖北交渉署に鈔送して案に備ふべし。若し中國を支那と定むる所の條約に違背し、及中國の法律習慣に妨碍あり、並に中國の主權を損害するものあらば、特に湖北交渉員を派し、特別區市政局長の暫く緩に執行せんことを請ひ、並に國民政府外交部に最後の決定を爲さんことを呈請するを得。

第五章　選擧

第三十四條　凡そ中國の人民及中國と條約ある國家の外人及會社・團體公司は本區の地段業主或は永租人或は租戸として每年完納せる各種捐銀（地捐及房捐）の二十五兩以上に在るものは均しく選擧權あり。

第三十五條　凡そ未成年の人は監護人或は保佐人より代表して出席選擧するを得。

第三十六條　社會・團體・公司は全權を委託し代表して會に與るを得。たゞ委託者は須く市政局の審査核准を經べし。

第三十七條　大會を開く時に當り、選擧人若し漢口に在らず、或は病に因りて出席する能はざるときは、委託書を用ひて全權を委託し代表して出席選擧するを得。但し須く大會章程に遵照して辦理すべし。且つ此項の代表姓名は少くとも須く會期前三日に於て本局に呈送して審査核准せしむべし。

第三十八條　大會に參與せる選擧人得る所の票權は下の如し。凡そ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本區註册の地段業主・或は永租人は投票前の地屏估價に照して計算し、毎月繳納せる地房捐銀二十五兩以上にあるものは二票を投ずるの權あり。一百五十兩以上に在るものは二票を投ずるの權あり。以後七十五兩に滿つる毎に一票を增加するの權あり。但し毎人多くとも十二票權に過ぐるを得ず。凡そ地段業主・或は永租人に非るも、もし選擧註册以前に在りて本區に在りて居住すること少くとも已に一年に滿ち、しかも能く上節述ぶる所の地段業主或は永租人の納稅價目に按照して房捐を繳納する者は同等の票權を享くるを得。凡そ數人同居し、毎年上述の定章に照し房捐せば、たゞ一人註册選擧するを許す。たゞ須く同居許可の憑證を呈驗せしむべし。

第三十九條何人に論なく、他人の委託せる投票權を合して、多くとも十二票に過ぐるを得ず。(第三十五條より第三十七條までを參閱せよ)

第四十條　下列人等は註册して大會に出席するの選擧人と爲るを得ず。(一)凡そ正式機關に在りて服務するもの、(二)凡そ市政警察署に在りて服務するもの、(三)凡そ法律上認めて瘋狂聾啞と爲し或は其の各本國の法律を按ずるに認めて選擧權なしとするもの、

第四十一條　下列人等は其の常年大會に列席し投票選擧するの、權を喪失す。(一)凡そ人に刑事案件を以て法庭に在りて告訴せられ、該項案件若し果して證實せば、其の公權の全部或は一部を剝奪せられたるもの、(二)凡そ刑事犯の判決處罰の執行中に在るもの。該項人等處罰執行期滿の後三年以内は仍ほ選擧權あるを得ず。(三)凡そ本市政局の捐稅を拖欠し未だ清償せざるもの、(四)凡そ破產を宣告せられて後、尙ほ未だ其債務を清償せざるもの。

第四十二條　市政局は毎年十二月十五日以前に須く本埠中英報紙に三日間の通告を發すべし。凡そ本區に選擧權ありて本章程第三十八條の規定に照し局に向つて登記するを願ふものは、應に十二月三十一日以前に市政局に在りて志願書を領收し塡寫し市政局主任に送交して查收せしめ、局より加ふるに審查を以てし、若し合格せざるときは、當に書面を用ひて理由を申叙して本人に通知すべし。本區地段業主及永租人若し果して選擧資格が本章程と完全に符合するものは市政局當に其姓名を選擧册に列入すべく、別に志願書を塡寫するを須つなし。凡そ大會に在りて選擧權あるものは市政局より毎年一月十五日以前に於て名簿及其選擧票權數目を開列して門口に在りて懸示し、並に各選擧人に分送す。

第四十三條　選擧人若し名簿に對し異議あらば二月一日以前に於て書面を用ひ市政局々長に申訴すべし。局長より考慮査明し二月十五日以前に於て最後の決定を爲し、並に同時に市政局より該選擧人に通知すべし。

第四十四條　選擧名簿更正の後は再び增加あるを得ず。凡そ大會以前に在りて選擧權を喪失するものは該會に參與するを得ず。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第六章　細　則

第四十五條　市政局は各項事務を管轄する範圍の内に對し、本章程の目的を達到せんが爲め、各項細則を規定し本章程第四十六條を按照して實行するの權あり。若し違背するものあらば、本區警察事務處より或は各該管領事に請ひ、加ふるに相當の處分を以てするを得。前英工部局章程にて第二十五・第四十八・第四十九・第五十二及第五十四の各條を除くの外は繼續して有効とし、直に該項章程が本章程を按照して修改する後に至るまでとす。

第四十六條　凡そ市政局の擬する所の各項細則は須く大會に提交して通過し、市政局々長より國民政府外交部に呈請して核准施行すべし。

第四十七條　市政局は建築細則を施行せんが爲め企畫し、凡そ建築修繕を呈請するものあるときは、應に其圖樣を市政局に呈核せしむべし。若し認めて本章程及建築細則に違背すと爲すときは、其已に成り或は未だ成らざる建築物を必ず遷移・改造或は拆毀せしむるを得。

第四十八條　本局の公文用字は中英文を以て準と爲す。

第七章　附　則

第四十九條　本章程若し未だ盡さゞる事宜あらば、常年大會出席人數三分の二より提議修正し、國民政府外交部の核准を呈請するを得。

第五十條　本章程は△△日より施行す。

（三月四日—漢口消息）

□中國現在の勞資問題

現今吾が國（中國）に於いて最も重大なる問題は、勞資問題に過ぐるもの無し。共産黨は徒らに勞働者の境遇を改善せんと欲し、階級的爭鬪を惹起せしむるにあらざれば、不可なりと爲せども、其實吾が國（中國）に於ける勞働者の生活情態は、固より甚だ憐むべきものなれども、而かも資本家の情態も亦必ずしも、喜ぶべきにあらざるなり。吾が國（中國）の最大なる實業は、常に紡績業なるべく、民國八九年頃は、歐洲大戰の影響を受け、（外國に於ける工場は、多く戰時品の製造場に改められ、綿糸の製造の如き著しく減少せり。）營業は極端に發達し、各工場は何れも大利益を收めたり。但し現在は、富者も轉じて窮困者となりたるのみならず、且つ負債は山積し、支持するに由無き情態なり。故に現在の計を爲すには、勞働者の生活情態は固より改善すべきにして、吾人は力を竭して勞働團の合法的行動を援助すべきなれども、而かも資本家の種々困難なる事情に對しても、亦大いに注意を拂ふべきなり。吾が國（中國）に於ける實業

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の不振なる所以は、外國の經濟的侵略により、勞資兩者の共に其累を受けたる結果なれば、先づ勞資の兩者をして團結せしめ、共に外侮に抗せしむべきなり。

現今の共産黨黨員は、多く二十餘歲の青年にして、其領袖たるものも、亦多くは學說に盲從せる輩に屬し、斯く冒險的行動に出づる所以は、只潮流に迎合せんと欲するが爲めなるのみなり。若し其親露なるにより、之れを賣國奴視するは、卽ち甚だ偏なるものにあらずや。余の意見を以てすれば、共産と非共産との問題を研究せんと欲しなば、兩派(共産派と非共産派)の學者をして詳細に討論せしめ、外に在りては歐米の學識を採り、內に在りては國內の情態を察し、著書に說を立て、相互に辯論せしめ、以て眞理を求め、而して誤解を免るべし。

余の觀察に據れば、中國の勞働者は或種の方法によりて之れを保護し、而して資本家の困難も亦或方法に依りて除去するに若くは無し。頭腦の頑固なる輩は、吾が國(中國)に於ける勞働者の能力は、比較的小なるを以て、勞働時間を八時間に制限するは宜しからずと稱し、或は勞働者の能力は旣に小なるを以て、其工賃を增加するが如きは又宜しからずと云ふ。然れども凡て此種の語は、皆不注意なる話と云ふべく、殊に現今の工場に在る勞働者の境遇と舊式工場に在る勞働者の境遇との間に、大差あるを知らざるものと云ふべし。以下先づ新式工場と舊式工場とに在る勞働者の情態を比較し、以て勞働者保護の必要を記述すべし。

吾人は此種問題の眞相を明瞭にすべく、先づ中國に在る舊式生産事業より記述せん。中國の舊式生産事業は、皆一種の家庭制度を擴張せるものにして、此種の制度は、中國經濟の中心をなし、歐洲の資本主義の未だ侵入せざりし以前、中國は歷代此制度を傳へ、各地方に於いても亦皆此種の情態なりき。此れは一種の小規模なる生産業にして、今此種の制度の特徵を記述すれば、左に示すが如し。

(1) 親密　中國の舊式工場內に在りては、絕對に資本家と勞働者との區別無く、作業に從事するものは、皆工場主の親戚・朋友なることは、世人の熟知せるが如くにして、一切の事件は、皆感情によりて解決せらるる關係上、階級的思想の如き更らに無し。故に舊式工場は家庭制度の擴大せられたるものと云ふべし。

(2) 平等　第二の特徵は、主人と傭人と一樣に作業に從事することにして、卽ち勞働者の多忙なる時は、主人も亦親しく自から手を働かすなり。譬へば仕立屋の如きにして、主人自から仕立に從事し傭人の仕事に從事するは勿論なれども、甚だしきは老人婦女も亦作業に從事することとなり。又食事の時は、家內一同一個の棹子を圍みて食事するを以て、其間の區別は更らに無しと稱し得べし。

故に第二の特徵は平等なることにして、工場主或は店主と手代との地位の不等なることは、恰かも一家內の人々の如く、毫も其間に隔り無し。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（3）溫和　第三の特徴は、卽ち工場主の同じき作業に從事するものゝ待遇は、非常に溫和なることなり。作業は朝より夕に至ると雖但し其間に於ける休息時間は甚だ多く、勞働者は何等倦怠を覺ゆるが如きこと無し。時に一同全部の作業に從事中、外部に賑しきこと起りなば、一同は一齊に走り出でて之れを見物する有樣なり。平常休息の時間には、一同集合して雜談に耽り、茶を吃して興味起りなば、一齊に唱ひ、眞に一團の和氣を出現す。故に工場主は、何事に對しても和氣藹々裏に處置するものと云ふべし。但し學徒（見習職工）間の性質の異なれることは、一概には論ずること能はざるなり。

（4）休日　第四の特徴は、卽ち普通勞働者は、公休日となるや、作業を停止し、主人と共に一團となりて快樂を貪ることなり。平常勞働者にして病氣或は事情により、作業に從事すること能はざる時は、工場主は敢へて工賃を差引せず、其休暇の要求を許し或は至急の事故の爲め、休暇を請ふこと能はずして工場を離れたるものに對しても、主人は亦之れを責めざるなり。

（5）工賃の低廉　第五の特徴は、勞働者の工賃の甚だ低廉なることなり。卽ち此種の工場店舖は、小規模の生産事業なるにより、收入は多からず。從ひて工賃も多額に支出すること能はざるなり。

（6）滿足　第六の特徴は、卽ち一般勞働者は、甚だ良好なる待遇を受け居るを以て、何れも頗る滿足せることなり。中國の舊社會に在りては、慾望多からず。而して得る所の工賃は、已に彼等の生活を維持するに足れるを以て、其心中には不滿の點あること無し。況んや待遇の平等なるに於いては、何ぞ怨懟を抱き得べき。

（7）改善の慾望皆無　勞働者は旣に滿足せるを以て、工賃の增加せらるゝ希望ある以外、他に要求すべきもの無し。

（8）女工皆無　此一點は、生産事業の規模小なるにより、男工にて已に足り、女工を用ふるに至らざるなり。尙中國の舊社會に在りては、女子は正式に作業に從事せざりしなり。

（9）夜業皆無　舊社會に在りては、需要少なかりしを以て、生産品も自然多からず、至急を要する生産品を除きなば、平常は夜業無し。

（10）危險皆無　舊式工場は、機械の設備無きを以て、危險は現在の工場に比して甚だ少く、且つ工場内の設備は又甚だ簡單なるを以て、賠償或は保險を附すが如き事件無し。

（11）勞働者の希望　舊式生産事業は、組織簡單にして、普通の勞働者は、一の工場に十數年勤務する關係上、一切の方法に經驗上精通するを以て、自身にて經營すべき希望を有するもの甚だ多し。例へば、甲なるもの見習工として工場に三年間勤務し、職工頭に昇進し、更らに支配人に進み、十數年の後には、相當の貯蓄を有するに至るを以て、自身にて一の工場を開始するなり。故に舊式工場中の勞働者は、各自共將來工場主たらんとの希望を有するなり。

以上記述せる所は、中國に於ける舊式の家庭制度的生産機關にして、西洋の影響を受けたるが如き情態無し。更らに左の三點は、吾

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人の特に注意を拂ふべき所なり。

(甲) 此種の家庭制度は永久に此の如きにして、外面より新潮流の侵入無き時は、絶對に變化を來さず、靜的なるべし。

(乙) 此種の制度下に在りては、既に大資本家無く、又勞働問題無く、更らに所謂階級思想の如きも無し。故に經濟組織方面には、協調的作用あり。

(丙) 此種の制度は家庭一般と著しく睦じく、又頗る團結強きを以て、如何なる缺裂たも生ぜざるべく、此れ中國四千年來の社會的産物にして、極めて中國の實情に合致せり。工場主と勞働者とは、好く團結し、好く共同す。卽ち言葉を換へて說けば、社會は堅實性を有するなり。斯くの如きを以て、中國社會の團結して散ぜざるは、誠に故無きにあらざるなり。

以下更らに中國に於ける家庭制度の經濟組織を記述すべきも、西洋方面に於ける資本主義の影響を受けたる結果、現在は先づ中國の新式工場の性質を記述すべし。

(1) 友誼心の缺乏　大規模の資本組織は、人を用ふること極めて多く、往々にして彼等相互間に全然認識せざることあるを以て、友誼心の如きも從ひて生ぜざるなり。

(2) 限界の劃分　吾が國(中國)に於ける資本家の生活は、人間の幸福を盡く享けたりと說き難きも、而かも勞働者に比較しなば、總じて多少とも良好なり。然るに勞働者の苦境に對しては、彼等資本家は吾れ關せずとの態度を持せるを以て、勞働者と資本家との間には、一條の深溝を生ぜり。

(3) 不平等　資本家は勞働者との親密なる交際を欲せず、勞働者も敢へて資本家に接近せざるを以て、兩者間の地位の隔りは著しく、勞働者對資本家間は、只職工頭によりて間接に連絡せらるに過ぎず。

(4) 虐待　勞資間には既に劃然たる深き隔りあるを以て、勞働者の生活苦境は、往々資本家の諒解し得る所とならず、爲めに職工頭の勞働者に對する待遇は、殆んど一般に牛馬と異なる所無く、職工頭は往々勞働者の工賃より其若干を差し引き、これを承知せざる勞働者は、卽ち其地位を保持し難き情態なり。

(5) 家庭式生産制度の漸滅　資本組織は既に中國に輸入せられしを以て、家庭工業は工場内の一部作業として奪はれ、生活は日一日と困難を告げ、勞働者は皆職工頭の大都市に吸收し去る所となり、其結果家庭制度は漸次消滅せり。

(6) 勞働者の利用　新式工場は只作業を多くなし、生産品の增加を計るのみなれば、往々にして勞働者の利益を顧みず、只彼等を利用し、彼等を蹂躙すること頗る甚だし。故に極めて惡しき工場の如きは、毎日十二時間の久しきに亘り、勞働を要求することあり。

(7) 生活苦の漸增　勞働者の收入は甚だ少額なるに拘はらず、家賃は甚だ多額なるを以て、其支持困難となり、往々衣服を節約し、食を減縮するが如きは、眞に憐むべきなり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(8) 女工及び幼年工　生活は既に斯く困難なるを以て、一個の男子のみ外に在りて勞働に從事するも、其收入のみにては命支持容易ならざるなり。故に他に適法無き時は、女子も外に出でて作業に從事し、時には幼年も又作業に加はることあり。幼年工は外國に在りては既に嚴禁し、中國に在りても官廳より命令を以てこれを禁止せり。但し陽にこれを奉ずれども、陰に違犯せるなり。

(9) 夜業　時に作業を晝夜の二班に分つことあり。夜業に從事する勞働者は、筋肉勞働の爲め殆んど疲勞し盡せども、更らに日光を見ること無く、又冷食を吃せざるを得ざるが如きは、實に憫むべきなり。

(10) 危險　現在の工場内に在りては、輪轉機の廻轉恰かも飛ぶが如く、勞働者は偶然の不注意より、往々にして重傷を受くることあり。然れども資本家は只利益を得ることのみ理解し、安全機の如きは更に裝置せざるを以て、勞働者の廢殘者となるもの甚だ多きなり又或工場に在りては、化學的毒瓦斯を使用するを以て、勞働者は此れにより傷を受け、時に之れが爲め、竟に死亡することあり。

(11) 希望皆無　現在の大規模なる工場は、皆分業制を用ふるを以て、一個の勞働者は、其一生を通じ、只一の作業にのみ從事するものなり。例へば鋸挽工は一世鋸挽にして、別の作業は一切知る所とならざるを以て、自身工場主たらんとの希望は生ずべくも無し。

(12) 舊式工場は家庭と異なる所無く、喜色滿つれども、新式工場は監獄と異なる所無く、人をして受け難からしめ、且つ隨意に工場を離れ得ざらしめり。現在の上海に於ける勞働者の情態を一例となし、右に記述せる數條を說明すれば、吾人の知れるが如く、上海の勞働者は、遠隔の地或は近郷より來れるものにして、彼等は如何なる理由によりて來れるものなりやを見るに、(1) 水難、(2) 旱災、(3) 内亂等により、彼等の田地の破壞せられたる結果、彼等は生計を誤るべく、別に良法無きを以て、只仕事を得べく上海に來れるものなり。而して彼等は鄉黨朋友の互助を離れ、食を求むべく上海に來れるものなれば、上海に來れる後と雖、彼等の尋ぬべき親戚は一軒も無き情態なり。吾人の知れるが如く、上海の商業は、大部分租界に於いて行はるゝを以て、租界の土地は狹きに拘はらず、在住者の數甚だ多く、尺地も黃金の價値を生じ、從ひて家賃の如きは甚だ高價なり。故に田舍人は上海に來るも、直ちに生活に逼迫を來し、勞働を求めざるを得ざる苦境に陷るなり。而かも工場を尋ね來るもの甚だ多數なるを以て、工場に於いては憚る所無く、多くの仕事を行ふも、其得る所の工賃は少額なりとの條件を提出し、且つ勞働者間に何等組織無きを知り、彼等を壓迫するなり。故に其勞働者にして該工場の條件を承認し得難き時は、卽ち乙工場を尋ぬれども、斯くの如き勞働者は多數にはあらざるべし　他の一面勞働者は家主のの強迫を被り、妻子は又食を求むるを以て、斯くなりては他に方法無く、彼等は工場の苛酷なる要求をも順應するを得ず、全然氣を忍

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

び涙を呑み、工場の條件を承知するものにして、斯くて勞働者にして一度工場に入りなば、如何にするも逃れ去るもの無し。勞働者の家族多きものも、其得る所の工賃は多からざるを以て、彼等の妻子も亦勞働に出で、多少なりとも收入の增加を謀らざるを得ざるなり。故に早朝より多くは一齊に床を離れ、工場に行きて作業に從事し、夕方に至り始めて歸宅すれども、時には夜業をも命ぜられ、夜半に及び、追々歸宅するものなれば、精神は著しく疲勞し、歸途の如き蹣跚として歩み、跌き倒れては又起ちて歩む有樣なり。尙女工及び幼年工に至りては、更に危險なり。故に上海の夜間は工場附近に於て、自動車に快速力を出さしめざることとなれるものにして、卽ち是等疲勞せる勞働者、女工及び幼年工を撞き倒す恐れあるが爲めなり。彼等の家庭に至りては、更らに困苦を極めたるものにして家賃の高き爲め、一つの小家屋内に、十數組の家族たる男女老幼居住し、其食糧及び衣服の如きは、記述するだに堪へざるものあり。

但し吾人は、吾が國(中國)に於いては、從來勞資問題の皆無なりしを知れり。現在各大開港場に於ける勞働者の生活の苦境に陷れるは、卽ち新式工場の設立されたる結果醸されたるものにして、現在の工場は、著しく我が舊制度を破壞する傾向を有し、並びに且つ勞働運動を誘發するに至り、卽ち勞働者は其勢力薄弱なるにより、彼等は工會(勞働者の組合)を組織し、合力して資本家に對抗するに至れるなり。從前の勞働者は一般に散在的なりしを以て、甘じて工場の壓迫を受けたりしが、今や彼等勞働者は聯合して起ち、組合を組織し、正式に資本家と同等に對立し、大いに奮鬪せるなり。吾人にして公平に論ずれば、資本主義の下に在りては、勞働者は實に工會を組織する必要あるべく、卽ち吾が國(中國)に於いては未だ勞働者の保護及び資本家の非法行爲を取締るべき法律の制定無きを以て、勞働者は自由と幸福を保護する見地より、實際工會を設くる必要あるべし。

資本家は既に資本を集合して會社を組織せるを以て、卽ち勞働者も亦同志を集合して工會を組織するに何ぞ異議あらんや、現在南京政府は工會に對する勞工法(勞働法)無しと雖、但し其工會組織の權利を認め、只北京政府は猶之れを認めざるのみ。最近聞く所に據れば、武漢軍政家も亦爲る處あるに過ぎずと云ふ。純粹なる舊式工場中の勞働者は、階級的思想無きを以て、強ひて工會を組織し、以て主人に抵抗する必要無きものゝ如く、況んや工場主と勞働者間は、從來より所謂勞資の區別無く、感情も亦甚だ良好なるに於て、何ぞ此離間法を行ふ必要あらんや。

以上記述せる所は、專ら新舊兩式工場間に於ける不同なる點に對し、言及せるなり。吾人は大いに勞働者待遇の改善方法を研究すべきなれども、但し勞働者の待遇は既に相等改善せられたれば、資本家の困苦も亦法律を設け、之れを除去すべきなり。然るに尙從らに勞資間の調停にのみ從事し、資本家の缺損を除去すべく顧慮せざれ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ば、即ち勞働者の前途は荊棘のみ多く、勢ひ必ず兩者は共に敗れ傷付くに至るべし。即ち現今武漢軍政家の向勞働者の改善にのみ力を注ぎ、資本家の困窮せる狀態を忘却せるは、實に一方に偏せる惡しき考なり。次は專ら資本家方面の情態を論ずべし。

中國の資本家にして、經營せる工場は紡績工場等の如き、最近皆營業不振に陷り、甚だしきものは全然失敗に歸せり。之れ國家は完全に勞働者を扶助すれども、資本家を壓迫するを以て、好結果を得ること能はざるなり。近年資本家の不利に陷りし原因は、大概職員の使用問題に起因せり。即ち某資本家の一工場を創設するや一般に其親戚同鄉者・朋友等は、皆各自に其知人を推薦するを以て、該資本家は、情宜上之れを拒絕すること能はず、多數の冗員を使用せざるを得ざるに至り、而かも此種の人員は作業に從事すること能はざるなり。然るに人員の關係上熟練工の使用は反りて甚だ少きを以て、製品も自然良好なるを得ざるなり。製品を輸送するや、又釐金等の雜稅を課せらるゝを以て、阻害せらるること甚だしく、加ふるに內亂紛起せるを以て、鐵道はあれども貨車無く石炭も亦無く、原料の如きも容易に得難き情態なれば、豈に工場の倒產せざる道理あらんや。此數年來資本家は又非常に事業を起すに至り、譬へば北京の電車公司の如し。該會社は其營業情態甚だ良好なれども、而かも無賃乘車者甚だ多く、使用人員も亦甚だ多數に上り、而して無賃乘車者の大半は有力者の恣に無賃乘車券を使用するものなれども、會社は情宜上之れを禁止すること能はざるなり。故に會社は營業情態の良好なるに拘はらず、利益を得ること容易ならざるなり。上海の商務印書館は使用人員の甚だ多きに拘はらず、冗員を淘汰し得ざるは、勞働運動の釀成せらるゝを恐れし結果にして、營業の不振(內亂の影響を受けたる結果)なるに拘はらず、此多數の人員を使用せざるを得ざるなり。況んや成績の劣等なるものにして、既に淘汰すること能はざれば、即ち多才なるものも亦聘すること能はざるなり。此の情態なるを以て、書籍の品質は粗惡となり、營業成績も從ひて大いに減退せり。今日の銀行は亦業務の經營すべきもの無きにより、只收縮あるのみとなれり。故に棉業銀行、新亨銀行等は、共に營業の停止を議決し、天津、上海等の紡績工場は、多くは日本人の買收する所となれり。凡そ此等は皆吾が國(中國)の資本家の已に日暮れ途に窮せる情態を證明するものなり。加ふるに關稅の自主ならざるにより、外國品は盛に輸入せらるれども、國產品は之れと競爭すること能はず、最も惡しき釐金は、又直ちに廢止すること能はざるにより、國產品は國內に於いても販路を擴張すること能はず、金融界は時に恐慌を來せども、利息は引下ぐるに法無く、而して巨額の關鹽兩稅金は又外國銀行に預入せらるゝを以て、國內の金融は益々逼迫し、且つ民國以來連年に亘り戰爭絕えざるを以て、民は生に聊せず、人民の購買力減少せるを以て、生產品の販路は自から絕へたり。譬へば今日の湖南の如き、從來は米の產出を以て聞へ、又黑白鉛礦及び安知母

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

尼鎭も湖南の特産なりしが、兵燹の爲め、米は輸送を阻害せられ、商業は爲めに衰頽し、即ち多量の産出ありし米も之れを問ふ人無く其他各省の情態も、亦大同小異なり。若し此上に逃走兵の奪掠・軍閥の强請、官廳の寄附强要及び地方の義務的分擔を加ふれば、更らに資本家の手を束ねて斃を待つを見るに足るべし。

以上記述せる種々なる點は、外國に於ける資本家に取りては、不可思議なる害に見ゆれども、而かも中國に在る資本家は、即ち此の害を受くるも忍ばざるを得ざるものにして、眞に啞の黄蓮（非常に苦き藥草）を吃する苦痛に等し。而して一般の青年は、之れを察せず、徒らに外國の一時的行動に倣ひ、勞働者を結合して資本家を打ち倒さんと欲すれども、而かも何等英米資本家の打ち倒さるべき理由あるを知らざるなり。而して中國の資本家は、即ち打破せらると否とに拘はらず、打破せらるれば、直ちに倒れ、打破せられざるも亦倒るに外無し。

以上記述せる所に據り、今日の勞資問題は、專ら勞働者のみを目標と爲すは宜しからず、而して理想的解決は、宜しく統一的に計畫し、勞資兩者の苦痛をして同時に解除せしむべきなり。

（上海總商會月報民國十六年四月號）

香港

□一九二七―二八年度の香港植民地評定價格

一九一八―一九年度より一九二七―二八年度に至る十ヶ年間に、香港植民地課税評定價格は、一三、三七七、七〇三弗即八五・五四％の增加をなしてゐる。

此の計算書は植民地財務局長兼評定官たるメッサー氏によつて作成された、一九二七―二八年度の評價に關する報告中に發表されたものである。該報告によれば、總督閣下の命により新しき全植民地の評價がなされ、それによる課税評定額は二七、九九八、二三七弗より二九、〇一六、四三九弗即一、〇一八、二〇二弗（三・六四％）の增加を示してゐる。

次表は一九二六―二七年及一九二七―二八年度に對する評定價格の比較を示せるものである。

（單位弗）

地方	一九二六―二七年	一九二七―二八年	增加	減少	率％
ビクトリア市	二〇、三二五、九三三	二一、三三八、三四三	一、〇一三、四一〇	―	五・〇三
丘陵地方	四九七、六七五	五〇二、〇八五	四、四一〇	―	―

筲箕灣、西灣河、石切灣	五六四、七九八	五七七、四〇三	一二、六〇五	—	—
香港島諸村落	九七八、九九六	一、一一〇、二六六	一三一、二七〇	—	—
小計	二、〇四一、四六九	二、一八九、七五四	一四八、二八五	—	七・二六
九龍角	一、四二〇、四九一	一、三六六、二三〇	—	五四、二六一	—
油麻地	一、六一八、五三〇	一、五六三、〇七二	—	五五、四五八	—
芒角嘴	一、〇五四、〇二五	一、〇六二、六一五	八、五九〇	—	—
紅磡、鶴園	六三一、七五〇	五五七、八一〇	—	七三、九四〇	—
九龍諸村落	二一七、九三二	一八七、八四二	—	三〇、〇九〇	—
新九龍	六九八、一一八	七五〇、六七四	五二、五五六	—	—
小計	五、六四〇、八四六	五、四八八、三四三	—	一五二、五〇三	二・七〇
	—	—	一五二、五〇三	—	—
合計	二七、九九八、二三七	二九、〇一六、四三九	一、一七〇、七〇五	一五二、五〇三	—
定評額	二七、九九八、二三七	二九、〇一六、四三九	一、〇一八、二〇二	—	增加 三・六四

空貸家の數は每月平均四四五であつて昨年は二〇九であつた。

次表は一九一八/一九年より一九二七-二八年に至る十年間の香港植民地の評定價格を示す比較表である(單位弗)。

年次	評定價格	前年度に對する增加額	前年度に對する增加率%
一九一八-一九	一五、六三八、七三六	一、三三八、五八三	八・五二
一九一九-二〇	一六、三〇四、八〇一	六六六、〇六五	四・二五
一九二〇-二一	一七、四〇八、九五九	一、一〇四、一八五	六・七七
一九二一-二二	一八、六九六、六六九	一、二八七、七〇一	七・四〇
一九二二-二三	一九、八〇五、九三九	一、一〇九、二六九	五・九一
一九二三-二四	二一、〇五九、七〇〇	一、二五三、七七一	六・三三
一九二四-二五	二三、一四七、九五一	一、〇八八、二五一	五・一六
一九二五-二六	二七、二八七、八六三	五、一三九、九一二	二二・二〇
一九二六-二七	二七、九九八、二三七	七一〇、三七九	二・六
一九二七-二八	二九、〇一六、四三九	一、〇一八、二〇二	三・六四

(香港デイリープレス六月廿四日)

□一九二六年に於ける香港々灣の趨勢

ボイコットが香港に及した影響は、一九二六年度の港務部長の報告を見れば瞭然たるものがある。又一方英國に反感を懐く支那人又は他の共產主義の連中で、香港は今や凋落の道程に在りとの幻想を持つてゐる者があるとしても、是等數字を仔細に研究するならば其の然らざる事を見出すであらう。昨年度の出港噸數は若干の低落を示し、最高年度に比べたならば二〇、〇〇〇、〇〇〇噸も下にあるけれども、戰前の平均數に比すれば可成り優つてゐる。

以下港務部長の報告を簡單に記する。

一九二六年中香港植民地の諸港に出入したる船舶合計は

一九二五年　三九、一六七隻　四一、四六九、五六四噸

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二六年	三〇、三六二隻	三六、八二一、三六四噸
増減	六、八〇六隻減	四、六四八、三三〇噸減

右の内外國貿易に從事せるものは

一九二五年	四一、三三六隻	三二、一七九、〇五三噸
一九二六年	三〇、三三一隻	二八、三七一、一〇四噸
増減	一一、〇〇五隻減	三、八〇七、九四九噸減

遠洋航路に從事せる英國船は五一五隻、六〇九、四〇三噸、其の他外國船は一、二九五隻、一、七二九、六七五噸共に減少してゐるが、此は大部分支那に於けるボイコットに禍されたものである。

渕江英國汽船は、昨年中に再び廣東及西方諸川に渕江を開始した爲め二一八隻、一八、三一四噸の増加をしてゐるが、外國汽船は昨年の終り迄就航せず爲に一、〇三六隻、三四五、一四三噸の減少を來してゐる。

外國貿易に從事する六〇噸を越えざる汽船は二、五五七隻、七八、一六七噸の減少をなしてゐるが、此もボイコットの反映である。

昨年入港せる歐羅巴製船舶は、遠洋航路船三、九三〇隻、渕江用汽船二、二四四隻及六〇噸未滿の汽船一、三九九隻で、毎日に平均すれば二〇、八隻となり、前年一九二五年は二八・九隻、一九二四年は四一・二隻であつた。

外國貿易に從事するジャンクもボイコットが因となつて五、二九〇隻、一、〇六三、八七五噸減少し、內國貿易（香港植民地の港間の貿易）に從事する小蒸汽船も、ストライキとボイコットの爲に一二六、〇二四隻、二、一五一、七四三噸減少してゐる。然るに內國貿易に從事せるジャンクは三、三〇一隻、二三五、五九六噸の増加を示してゐるが、此は主として一九二五年のボイコットの時廣東其他に抑制されてゐたジャンクが解放されて香港水道に集り、其處で內國貿易に從事したに依るものである。

次に財政方面を見るに、一九二六年の收入合計八二〇、八八八弗三仙で、此を前年一九二五年の八七八、一一八弗八三仙に比すれば五七、二三〇弗四四仙即六・九七％の減少である。

左に主要項目に就き收入額を示せば次の通りである。

増加之部

支那旅客船鑑札	二一〇弗〇〇仙
漁獵用目標杭及鑑札	一九七弗七〇仙
ジャンク鑑札	五七七弗七五仙
移民體格檢査料	四七、九八三弗八〇仙
船舶檢査料	五四三弗五〇仙

減少之部

烟草税	一六、五六九弗八四仙
烟草附加税	一〇、六七五弗〇四仙
ボート鑑札	三、七四六弗九〇仙
海員の雇傭及解雇	三、八三三弗四〇仙

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

政府所有ブイの使用料……一八、〇七五弗八一仙
日曬荷役手數料……三九、二二五弗〇〇仙
小蒸汽船鑑札……一、九三四弗七五仙
船長其他試驗料……一、六七七弗五〇仙
火藥倉敷料……三、一五三弗五九仙
官廳署名料……一、〇七六弗〇〇仙
登錄料……五、〇四五弗一三仙

支出は特別支出を除き五三、四六七五弗九一仙であつて、前年支出四五一、三九六弗〇五仙に比し八三、二七九弗八六仙の增加である。此の增加は警察、衞生、收入及郵便の諸局から讓受けたランチに對する職員の增加、石炭及燃料油の增加及修繕設備品の增加に基くものである。

一九二六年十二月卅一日現在、港灣に使用されてゐた小蒸汽船の數は、鑑札を受けた一三〇隻の發動機船を入れて四六三隻であつた。此の內四〇六隻は旅客輸送の免許を受けたものであつた。

昨年中香港を去つた移民の合計は二一六、五二七人で、一九二五年の一四〇、五三四人に對し七五、九九三人の激增である。而して此の內一三一、六五六人は英國船に八四、八七一人は其の他の外國船で送られた。

昨年中香港に歸還した移民の數は一二八、六六一人で內七六、一四七人は英國船に殘の五二、五一四人は外國船によつて運ばれた。

昨年中海商條例の規定に基いて登錄された船舶は一三隻で、二六隻の登錄證明が取消された。

又同年海事裁判に附せられたもの三九三件に達し、一九二五年の三〇八件に比し八五件多く、海事審判所を煩したものが四件あつた。

海員署及船舶に乘船した海員合計三二、九八二人、下船三〇、九二九人で、一九二五年は三九、八四六人の乘船、三六、五二〇人の下船者があつた。

比律賓

□比島最近の政界

ウッド總督の歸米後前號の本誌に述べた樣に重大なる政策上の變更及任命等は與へられない協定があつたので、事實注目する樣な出來事はなかつたが、唯明年行はるべき上院議員の選擧戰の前哨戰とも稱せらるべきものが、パナイ島を中心として行はれた。之は比島政界に興味を有する人にとつては實に重大なるポイントとなるものであの理由として

一、前述の如き前哨戰なれば、此の選擧戰如何によつて明年行はる

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

べき選擧の際の民心輿論の趨く所を知り得る事。

二、此の選擧は合同國民黨に籍を置いた前任者アロイヨ氏の補選であつて、曩に申合せたる紳士協約を破棄してまでも民主黨が爭はんとした其の眞意。

三、合同國民黨の立候補がイロイロ州知事レデスマ氏なるに對し、民主黨では其黨主モンチノーリ氏を押したる所作。

等を擧げ得る。

民主黨では此の選擧をば重大視してゐたのは事實であつて、現在上院議員廿三名中民主黨は十名を占めてゐるから、若し此の戰にて勝つ場合には十一名の上院議員を得、之に力を得て又明年の四名の議員が再選し、更に約一二名を增加する際には從來の合同國民黨の位置を轉換するに至り、現議長ケソン氏の勢力失墜を來すの形勢を誘致するからである。

然し事實は今同國民黨の勝利となつてレデスコ氏は選擧せられた。之によつて民主黨は勢力作興の機會を逸したと見るのを至當とすべく、又中央に於ける兩黨の提携を破棄せしむるに至つたのは當然の成行としなければなるまい（比律賓ヘラルド六月二十九日參照）。

□ダヴアオ黄禍の烽火あがる

ダヴアオに於て麻山及古々椰子園を經營してゐるイニゴーといふ比島人が、六月中旬馬尼剌に商用で赴いた際に、ヘラルド記者に次の聞き逃せない會話をした（六月十六日比律賓ヘラルド）。

「日本人勞働者は節儉、勤勉を旨とし、比島人に模倣を許さない二美點を有してゐるために、彼等は久しからずして自力を以て栽培を開始するに至り、比律賓人が日本人土地所有者の膝下に完全に服從させられてしまふ時が遠からずして至るであらう。」

イニーゴーは、ダヴアオに於ける日本人數を增加せしめる重大なる要素である、日本人の流人を妨げる法律のないのを非常に遺憾としてゐたのであつた。兎に角く日本人の御蔭でダヴアオは此れ迄になつたのであるが、日本人の存在は比律賓勞働者の障碍とならざるを得ないのである、と云ふのである。

□比島に於ける稅金一覽表

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

税金の種類	税率	摘要
賣上税 (Percentage Tax)	賣上高の一歩五厘	左記の各項に該當するものを除きたる商品賣上に對しては、其の個人たると會社組織たるとを問はず一様に年四回卽ち一月、四月、七月、十月の二十日迄（遠隔の地は三十日迄）に賣上税納入の必要あり。 一、公設市場に於て魚肉野菜等小賣をなすものにして、三ヶ月間の總賣上高貳百比に滿たざるもの 二、一定の賣場に於て果物飲食物等の小賣をなすものにして、一日の賣上參比に滿たず其の仕入れを二十四時間に一回以上なさゞるもの 三、自家にありて家族の各員によりて生産さるゝ物品にして一日の生産高一人當り壹比を超過せざるもの 四、特殊税 (Specific Tax) を課せらるゝもの 五、農産物にして生産者自身又は生産物を得たる土地の所有者により賣却せられたる場合 運搬業者 一定の料金を得て、旅客又は貨物の運搬を業となすものは、其の總收入の一歩の Percentage Tax 納税の必要あり。
酒税 (Wine License)	一	酒に對しては Specific Tax を納税すべきものにつき、賣上税納入の必要なきも左記の營業税を課せらる 納税期日は一月、四月、七月、十月の十日迄に向ふ三ヶ月分前納すべきものとす。小賣納税額左の加し 小賣の部

酒の種類	營業税	ダバオ郡附加税	ギヤンガ郡附加税
洋酒	年 六〇比	ク 四五〇比	ク 一三〇比
ビール	三〇比	四五〇比	七〇比
比島酒	三比	（洋酒に含まる）	一三〇比
ドバ酒	一〇比	一三〇比	一〇〇比

卸賣の部

酒の種類	國税	ダバオ郡附加税	ギヤンガ郡附加税
洋酒	年 一三〇比	ク 一四〇〇比	ク 二六〇比
ビール	一三〇比	（洋酒に含まる）	一六〇比
比島酒	（洋酒に含まる）	（同右）	（洋酒に含まる）

一口に五リツトル以上の酒を賣る場合は、卸賣のライセンスを申請すべきものとす。

煙草税 (Tabacco dealers License)	八比	煙草の販賣には、酒同樣 Percentage Tax 納税の必要なきも年に營業税として八比を課せらる但し郡税なし
集金税 (Collection License)	八〇比	ダバオ郡税として年八十比を課せらる
商業仲買人	三二〇比	營業税四八〇比、郡税八〇比の外にPercentage Tax として、一期卽ち三ヶ月間の Commission 五百比以上の場合はその超過額に對して四歩を課税さる。
鍛冶業 (Black-smith)	八〇比	郡税六〇比の外に賣上に對して一歩を課せらる。
タンク製造業 (Tank-maknr)	二四比	郡税二十四比の外に賣上に對して一歩を課せらる。

味噌製造業	一〇〇比	郡税六〇比の外に賣上の一歩を課せらる。
製麺業	一〇〇比	郡税六〇比の外に賣上の一歩を課せらる。
伐木税 (Forest Charges)	—	伐木に對しては、國税として木材の種類により、一立方米につき左の如く課税さる。尚此外賣上に對しては賣上税を支拂ふものとす。 一等材（一立方米につき貳比五拾仙） Akle, Ipil, Molave, Narra, Tindalo, Yakal 二等材（一立方米につき壹比五拾仙） Guijo Kolamantanai, Manggachapui 三等材（一立方米につき壹比） Apitong, Lumbayan, Pagatpat, Palosapit, Tangile Red lauan 四等材（一立方米につき五拾仙） Almon, White lauan 五薪用材 Bacayan Tangile（一立方米につき貳拾仙） 其他（一立方米につき 拾仙）
アルマンガ採集税	一キロ貳仙五厘	上記の外賣上に對しては賣上税を支拂ふものとす、
ピナオ採集税	一キロ壹仙	上記の外賣上に對しては賣上税を支拂ふものとす。
ピフコ採集税	一キロ貳仙	右同

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

度量衡税 (Weight measure)

秤 (Scale) は年六拾仙
臺秤 (Platform Scale) は年一比二十仙

所得税

會社 (Corpoation) は純益の三歩
個人の場合は累進税にして、壹萬比迄は三歩それ以上は左の如き超加價累進税を附加さる。

壹萬比以上貳萬比迄	〇・五%
貳萬比以上參萬比迄	一・〇%
參萬比以上四萬比迄	一・五%
四萬比以上五萬比迄	二・〇%
拾萬比以上貳拾萬比迄	五・〇%
五百萬比以上	二・〇%

毎年三月一日迄に前年度所得の報告を提出し、然る後税務局よりの告知書に依り、六月十五日迄に納税すべきものとす。

不動産税 (Real Property Tax)

所有土地家屋等に對し、政府評價格の一・一二五%の税金を毎年五月三十一日迄に今年度分を納税すべきものとす。而して昨年度より(大正十五年度)實施せられたる政府評價表左の如し。

ダバオ郡の部

一、椰子畑 (生産畑地一町歩の評價格)

	A級	B級	C級		
一等畑	二〇〇比	一六〇比	一三〇比	平均一本よりの平收	八〇果以上
二等畑	一七〇比	一三〇比	九〇比	同	四〇果以上

三等畑	一四〇比	一〇〇比	六〇比	同　四〇果以上

二、椰子畑（未生産畑地一町歩の評價格）

	A級	B級	C級	
一等畑	九〇比	八〇比	七〇比	七年以内に成熟期に達すべき畑地
二等畑	八〇比	七〇比	六〇比	八年乃至九年後に成熟期に達すべき椰子畑
三等畑	七〇比	六〇比	五〇比	十年以上を經過せざれば成熟期に達せざる椰子畑

三、椰子樹一本の評價左の如し

	A級	B級	C級	
一等樹	一〇比	九比	八比	年收八〇果以上のもの
二等同	九比	八比	七比	同　六〇果より八〇果迄のもの
三等同	八比	七比	五比	同　四〇果より六〇果迄のもの
四等同	七比	六比	三比	同　二〇果より四〇果迄のもの
五等同	五比	三比	一比	同　二〇果より以下のもの

四、麻畑地（生産畑地一町歩の評價）

	A級	B級	C級	
一等畑	一八〇比	一四〇比	一〇〇比	年收一町歩十五擔以上
二等同	一五〇比	一二〇比	七〇比	同　六擔より十五擔迄
三等同	一三〇比	八〇比	四〇比	同　六擔以下

五、麻畑地（未生産畑地一町歩の評價）

A級　B級　C級

一等畑	九〇比	八〇比	七〇比	成育狀態年數十五擔以上
二等同	八〇比	七〇比	六〇比	同 六擔より十五擔迄
三等同	七〇比	六〇比	五〇比	同 六擔以下

六、麻　株　（一町步卽ち約千株の評價）

	A級	B級	C級	
一等麻株	三〇〇比	二五〇比	二〇〇比	年收一町步十五擔以上
二等同	二五〇比	二〇〇比	一五〇比	同 六擔より十五擔迄
三等同	一六〇比	一三〇比	八〇比	同 六擔以下

七、ココン畑　一町步八〇比

八、森林帶　同　八〇比

九、ニッパ畑　同　三五比

十、宅　地　（商業用）一平方米評價

一等地　二比

二等地　一比七十仙

三等地　一比四〇仙

四等地　九〇仙

五等地　七〇仙

十一、住　宅　（商業用）一平方米評價

一等地　二比

二等地　一比七〇仙

三等地　一比四〇仙

四等地	九〇仙
五等地	七〇仙

十一、(住宅)一平方米評價

一等地	一比七〇仙
二等地	一比四〇仙
三等地	一比一〇仙
四等地	八〇仙
五等地	六〇仙
六等地	四〇仙
七等地	三〇仙

ギャンガ郡の部

一、麻畑地(生産畑地一町歩の評價)

	A級	B級	C級	
一等畑	一九〇比	一五〇比	一二〇比	年收一町歩十五擔以上
二等地	一六〇比	一四〇比	一〇〇比	同 六擔より十五擔迄
三等地	一三〇比	九〇比	五〇比	同 六擔以下

二、麻畑地(生産畑地一町歩の評價)

	A級	B級	C級	
一等畑	八〇比	七〇比	六〇比	成育狀態年收十五擔以上
二等畑	七〇比	六〇比	五〇比	同 六擔以上十五擔以下
三等地	六〇比	五〇比	四〇比	同 六擔以下

三、麻　株（一町歩即ち約千株につきての評價）

	A級	B級	C級	
一等麻株	二八〇比	二三〇比	一八〇比	年收一町歩十五擔以上
二等同	二三〇比	一八〇比	一三〇比	同　六擔より十五擔迄
三等同	一八〇比	一三〇比	八〇比	同　六擔以下

四、椰　子　樹　一本の評價左の如し

	A級	B級	C級	
一等樹	九比	八比	七比	年收八〇果以上
二等同	八比	七比	六比	同　六〇果以上八〇果迄
三等同	七比	六比	五比	同　四〇果以上六〇果迄
四等同	六比	五比	四比	同　二〇果以上四〇果迄
五等同	五比	四比	三比	同　二〇果以下

五、コゴン畑　二〇比

六、森林帶

A　二五比　B　二〇比　C　一〇　比

〔註〕畑地のA、B級等の區別は該畑地の位置即ち交通の便不便により區別されるものにして、此の規定は單に椰子畑のみならず麻畑甘庶畑カヽオ畑等全部に適用せらるゝものとす。

A　級畑とは畑地より一キロ以内に部落舟等の便利ある河川、カルトンの通じ得る道路又海岸地を有するものを云ふ。

B　一　三キロ

租借料
—

C　ABいづれにも該當せざるものを云ふ。

公有地の租借料は政府評價（土地局の評價にして不動產稅に對する評價に非ず、普通ダヴァオ州方面の土地は一町步二十比乃至二十五比の土地評價である）の三步とす。土地のみならず地上物に對しても土地局評價の三步を課せらる。尤も地上物にして水上にあるものゝ如きは其評價格の一步にて可なり。

佛領印度支那

□一九二五年の印度支那鑛業（三）

第四節　亞鉛鑛

連年印度支那亞鉛鑛生產額

年次	金貨千法	千ピアストル
一九〇六年	二七〇	九九
一九〇七年	六八二	二四五
一九〇八年	一、一七五	四七七
一九〇九年	二、二八七	九五六
一九一〇年	二、七三〇	一、一八二
一九一一年	三、三六〇	一、四七三
一九一二年	三、六六六	一、四七二
一九一三年	三、三一八	一、三二一
一九一四年	二、八四三	一、二九〇
一九一五年	四、九三〇	二、四六五
一九一六年	一一、八三三	四、四五二
一九一七年	八、九〇〇	二、七〇二
一九一八年	四、九〇八	一、二五五
一九一九年	三、三六八	七二三
一九二〇年	八七七	二一〇
一九二一年	七六四	二八八
一九二二年	一、八八六	六六六
一九二三年	三、二九〇	一、二三九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二四年	四、五一〇	一、六六八
一九二五年	七、三三六	二、五一九

連年印度支那亞鉛鑛生産高及輸出高表（單位噸）

年次	總生産高	印度支那鑛業及冶金工業會社産高	總輸出高
一九〇六年	二、四六一	—	一、九六八
一九〇七年	六、〇二〇	—	四、九二〇
一九〇八年	一一、八三〇	—	九、五六一
一九〇九年	一五、五〇〇	—	一三、二〇〇
一九一〇年	三三、七五一	—	不明
一九一一年	二八、〇〇〇	—	不明
一九一二年	二八、三八七	—	三五、一七三
一九一三年	三三、四三八	—	二九、九九五
一九一四年	三一、五〇〇	一、九〇〇	一九、三三〇
一九一五年	三四、三〇〇	八、六〇〇	三四、三〇〇
一九一六年	四八、八二五	一三、二〇〇	三八、一九〇
一九一七年	四三、五五三	一六、〇〇〇	一九、九五〇
一九一八年	二八、〇五二	二一、〇〇〇	一五、〇三〇
一九一九年	一五、九三四	九、四九七	一、〇〇〇
一九二〇年	七、一九八	二、一六三	四一、〇一四
一九二一年	二一、〇九一	三、四七七	二六、二五三
一九二二年	三〇、九三六	九、〇七七	二三、五九七
一九二三年	三〇、五〇〇	一七、四四〇	三一、五九二
一九二四年	四二、四五一	二四、八〇三	三五、二七一
一九二五年	五二、八六九	二八、三一九	五〇、〇一九

次表は各種金屬相場の中最も著しき品騰を示した亞鉛の相場を明示したものでる。

金屬亞鉛及亞鉛鑛の各年平均相場表

年次	金屬亞鉛		カラミン（四〇%）		方亞鉛鑛（四五%）	
	（註一）法	ピアストル	（註二）紙幣法	ピアストル	（註二）紙幣法	ピアストル
一九一三年	三三・七五	二三七	—	—	—	—
一九一九年	四三・八八	二〇六	—	—	—	—
一九二〇年	四四・二七	二〇三	—	—	—	—
一九二一年	三五・八四	一九五	—	—	—	—
一九二二年	三〇・〇〇	二三九	一六〇	二三・八〇	一八〇	二六・八〇
一九二三年	三三・七五	二六九	三五二・四〇	四一・八〇	三五五・五〇	四一・九〇
一九二四年	三三・七五	二八一	五五七・六〇	五五・二〇	五〇〇・八〇	四九・五〇
一九二五年	三八・八四	三〇九	七七四	六四・八〇	七四九・二〇	六二・七〇
二一（第一四半期	三六・七三	三二〇	六三九	五九・九〇	六六二	六三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二五年 第二四半期	三四・三四	二九三	六三五	五七・三〇	六六四	五九・八〇
第三四半期	三六・三四	三〇五	八四〇	六九・四〇	七八〇	六四・四〇
第四四半期	三九・一三	三三九	九九二	七〇・三〇	八八八	六二・九〇

註一、本數字は紐育發行の Engineering and journal Mining press に據り、倫敦に於ける一・〇一六基瓦噸の英噸相場

註二、本數字は Echo des mines de la Métallurgie に據る。アルジェリー及チュニス產鑛の、地中海沿岸各港甲板渡しに於ける米突噸相場

戰前に於て歐洲は世界亞鑛產高の過半を使用したるも、戰後は米國が世界產高の約半分を使用してゐる。又獨逸白耳義の如き嘗て輸出國たりし國が戰後は輸入國に墜ちてゐる。一九二五年の當初以來、歐洲が北米合衆國より買入れる亞鉛は、月平均八千噸と見られてゐる。但し歐洲は世界に於ける亞鉛生產の地位を再び戰前の狀態に復歸しつゝある傾向がある。

白耳義の亞鉛生產高は、一九二四年に於ては既に急速に增加し、戰前の八〇%に復歸してゐることは注目に値する事實であらう。けれども同國の各工場は現在粗鑛仕入の上に於て各種の困難に遭遇してゐる事は著しいものである。依て一九二五年には、粗鑛買入の使節を墨西哥に派遣してゐる樣な狀態である。

然而佛蘭西は如何といふに、佛の金屬亞鉛生產高は依然として年々急速な增加を示してゐる。卽ち次表により明かであらう、單位は米突噸である。

年次	生產高	輸入高	合計（生產及輸入高）	輸出高	消費高
一九一五年	一九、一八〇	三四、九〇〇	五四、〇八〇	二、〇五三	五二、〇二七
一九一六年	二〇、三五八	六三、一〇六	八三、四六四	三、六一八	七九、八四六
一九一七年	二二、九二九	七二、九〇九	九五、八三八	三、一五四	九二、六八四
一九一八年	一八、三四九	四五、五七七	六三、九二六	二、五一七	六一、四〇九
一九一九年	一〇、八〇〇	三八、二七六	四九、〇七六	三、四四六	四五、六三〇
一九二〇年	二〇、〇八五	三一、〇二四	五一、一〇九	五、九五九	四五、一五〇
一九二一年	二四、一六八	一二、七二六	三六、八九四	四、九一三	三一、九八一
一九二二年	三九、七一六	三六、五一四	七六、二三〇	五、二二八	七一、〇〇二
一九二三年	四九、三三四	四三、八一一	九三、一四五	五、六三一	八七、五一四
一九二四年	五五、六〇〇	六一、〇六七	一一六、六六七	二、九一一	一一三、七五六

前表は一九二四年の Year Book of the American Bureau of Metal Statistics に據る。

而して現在佛蘭西に輸入されてゐる亞鉛は、その三分の二は白耳義產のものである。

次に東洋に於て著しく亞鉛の產額增した所は濠洲である。一九二四年に於ける生產高は四七、三六〇噸である。之を一九一三年の單に四、一八七噸に比すれば實に隔世の感がある。次に戰時中一躍金屬亞

鉛の大生産者となつた日本は（一九一七年には五四、七一八噸）その後頗る貧弱な生産者となつた。卽一九二四年に於ける生産高は、一四、〇〇〇噸と見積られてゐる。

東京に於ける亞鉛鑛の生産高及輸出高

市場の活況により、東京の亞鉛鑛生産高は、次表に示す通り急速な發展を示してゐる。次表には亦この生産物の捌口の分類をも示してゐる。次表により讀者は白耳義及佛蘭西が戰後東京產亞鉛鑛の輸入者として第一位の位置を再び奪回しつゝあることが明かに認められるであらう。

（單位噸）

	生産高	輸出地別 佛蘭西	白耳義	獨逸	英國	他の歐洲諸國	北米合衆國	日本	香港	輸出高合計	輸出鑛物の平均含有率
一九一三年	三三、四三八	一二、九三六	一三、七六六	一、〇二二	—	—	—	—	九	二七、七三三	四六%
一九一四年	三一、五〇〇	六、二六〇	一二、二〇四	—	—	—	—	—	一	一八、四六一	四七%
一九一五年	三四、三〇〇	一六、九二〇・六	—	—	一、〇〇〇	—	七、八二五	六、八三八・六	五一七・八	三三、一〇二	五〇%
一九一六年	三四、三〇〇	—	—	—	四、〇三〇	—	三、二〇〇	二七、七八〇・四	三、三三四・三	三八、三三四・七	四七%
一九一七年	四八、八二五	—	—	—	二、〇二七・二	—	—	二二、五九五・二	五	二四、六二七・四	四六%
一九一八年	二八、〇五三	—	—	—	—	—	—	一三、五三二・二	—	一三、五三二・二	四五%
一九一九年	一五、九一三	一、〇〇〇	—	—	—	—	—	七、六九九・二	—	八、六九九・二	四七%
一九二〇年	七、一九八	二六、五〇三	一四、三二五	—	—	—	—	—	—	四〇、八二八	四七%
一九二一年	一一、〇三三	一〇、〇五〇・四	一三、六七二・一	—	—	二、九六一・六	—	三、三〇〇	—	二八、九八四・一	四四%
一九二二年	二〇、九三六	一、二〇〇	二〇、〇〇三・三	六、四七七	—	—	—	一〇	—	二七、六九〇・三	三八%
一九二三年	三〇、五〇〇	五、一八八	二四、八三八	二、五〇〇	—	—	—	—	一七六	三二、七〇二	四二%
一九二四年	四二、四五一	七、〇九二	一七、六七二	—	—	七、一五〇	—	四、二〇〇	三七九	三六、四九三	四〇%
一九二五年	五二、六六九	一三、三一〇	三一、二五七	—	—	—	—	五、三八九	—	四九、九〇六	四〇%

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

註一、本表の輸出數字は、印度支那稅關の統計を借用したものである。

註二、印度支那鑛業及冶金工業會社（Cie Minière et Métallurgique de l'Indochine）のカン・エンの亞鉛熔鑛工場は亞鉛塊九二五噸を輸出してゐる。その內譯は佛本國へ四五〇噸白耳義へ二五四噸、日本へ二〇三噸、他の東洋諸國へ一八噸となる。

亞鉛鑛山の發達狀況

印度支那鑛業及冶金工業會社

頗る豐富な鑛脈の集團が目下ステラ（Stella）採掘許可地に於て研究されてゐる。是等の層はサン・タン（Xan-Tinh）パン・シエイ（Pen-Chai）及カオ・パン（Kao-Pinh）の三つの名が冠され、埋藏量は實に四十萬噸と評價されてゐる。然し本集團は玆數年間は實際採掘に着手しないであらう。何故ならそれ迄に採掘物の新排泄方法を構じなければならないからである。殊に三基米突の鐵條工事が必要である。是等の事は現在研究中であるが、實際に事業に着手するのは一九二九年からと豫定されてゐる。

ステラからバン・テイ（Ban-Thi）へ連絡する鐵道の地上工事は、殆んど事實上出來上つてゐる。この沿線にある百米突乃至百五十米突の隧道五つの中僅か一を除き他は全部開鑿濟みである。

一時間に廿五噸を送る大鋼條索電環は一九二六年の一月に設置された。二百馬力の水力電氣の中央動力所も同樣に施設された。又豫定されてゐる三洗鑛場の設置の中、一は既にその作業が進捗中である。更に又新式加熱爐十六の設置も。（その大部は粉炭燃燒）四爐は目下作業進捗中である。

バン・テイ（Ban-Thi）からナドン（Nadon）への鐵道輸送も、現在の一米突當り九基瓦五〇〇の軌條から一二米突四〇〇軌條に更換をする事によつて著しく改良されるのであらう。又この更換によつて從事の多くの變態軌道即ち特殊の或曲線等も改良されるであらう。この作業は殆んど決定の事項がある。

ナドンから海防への採掘物輸送に就ては新設の何等著しきものはない。乾季になると、採掘物の過半をヴイエトリ（Viétri）海防線の鐵路によつて輸送せらるゝことが屢であつたが、サウヴージユ（Sauvage）商會との新契約によつて鐵道の荷物輸送は將來舊に復することゝなるであらう。

カン・エンの冶金工場も、平均含有率四二・五一%のカラミン鑛三、二三三・七噸を處理してゐる。又これから抽出される金屬亞鉛の量は一・一五八・五噸で、成分九八・六〇%を有してゐるが、これは粗鑛中に含有される金屬の八三%の價格に相合ふものである。これ等の生產物は、實に唯一の爐に依つて生產されてゐるのであるが、これは印度支那にて生產される爐としては唯一のものである。本工場には現在活動してある一爐と共に六爐備付けらるゝ筈であるが、他の五

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

爐は現在規則的に据付中である。新五爐は一九二六年から動かされる樣になるであらう。

更に印度支那鑛業及冶金工業會社は、バッカン（Backan）の西方一五基米突の處に在るカム・ヒ（Kim-Hi）鑛區に於ける採鑛をも行つてゐる。同地は元支那人の採掘してゐた舊鑛で、カラミン鑛床が露出してゐる。

尙亦本社はヴィエトリの上流三〇基米突の處、ノアール河岸のラン・ティエン（Lang-Tieng）の方亞鉛鑛脈に目を着けてゐる。この鑛脈は一九二六年を通じて研究されてゐる處である。

トランダ鑛業會社（Société des Mines de Trang-Da）

本社の採鑛物は、單にトラン・ダ鑛よりのみ採掘される處である。本社はバ・ニュン（Bac-Nhung）及ニヨア・ルウ（Ngoi-Lou）鑛山の採掘は之を中止した。又カン・トン（Quang-Tong）（上ディDay谿谷）及ヤン・タン（Yen-Thing）（ショ・ディエン鑛の南方十五基米突の處）鑛區の採鑛とも中止したのである。けれどもこの探鑛によつて興味ある報告が齎されてゐる。特にカン・トンの豊富なるカラミン鑛山の發見に、ナ・カ（Na-Quat）からヤン・タンの南部にかけて走る長さ四〇米突、厚み〇・八〇米突の大方亞鉛鑛脈の發見は興味深いものである。

エン・ラン鑛山會社（Société minière de Yen-Linh）

本社の採掘物の著しく增大した事は（前年の報告に比し一六六％の增加）本洗鑛場に依而含有亞鉛率二〇％のカラミン三萬噸と評定されてゐる所のストックをも利用する一洗鑛場が目下作業を開始したことによつて首肯し得る所である。

本洗鑛場は、カグリアリ（Cagliari伊太利のSardaigne島の主都）のマンデツゾニ（Mandezzoni）商會の式に倣つて設立されたものである。而して本洗鑛場は一時間に五噸乃至八噸の粗土を處理す。而して最後の分類は、四組の槽及水力分類機によつて爲され、殘物の仕上行程は四個のフエラリ（Ferraris）式盤上に於て爲されるのである使用される動力は貧弱なガス・モウター一基によつて爲されるが、之は三五馬力である。

本社の採鑛作業は、本年度中に、モ・バ（Mo-Bac）の採掘許可地一帶に於て計畫された。そこには支那人の舊坑を發見したのである。

ショドン鑛業會社（Société des Mines de Chodon）

本社はその尙採鑛物排泄路の研究を續けてゐる。而してその採用された結論は、ショウディエンからバン・カオ（Ban-Khao）村迄の鐵路と本鑛山とを接續せしむることである。この接續は次の方法によつて實現されるだらう。

一、鑛山の採掘物全部を道路運搬により、バン・ラ（Ban-Lac）村に集中すること、而して其處には將來若干の燒鑛爐が設置されるだらう。

二、ノ・ティ（No-Tip）の峽路は、長さ七〇〇乃至八〇〇米突の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

架空索條によつて通過する。

三、前記架空線の終點から、エン・タン（Yen-Tinh）谿谷を經てバンカオに至る迄の鑛物運送は、道路運送による。（多分貨物自動車を使用するであらう）。

次に鑛脈の採鑛作業は有望な結果を齎してゐる。又スプラン（Severin）鑛山に全力を集中してゐたが、今度サーンタアントアーヌ（Saint-Antonine）鑛山に新作業場を設くる爲めに道路の開設を初めてゐる。更に亦探鑛の結果、マリアヌ（Mariane）鑛山のカオ・ポ・ポ（Kao-Po-Po）に於ては、勞働力の供給を得るや否や直ちに起業を爲さんとしつゝある。同處は言ひ傳へに依れば、昔時支那人が含銀鉛鑛を得んとして盛んに採掘した處で、その證跡として多くの舊坑や採掘殘の堆積を見る。

第五節　鉛　鑛

イ、金屬鉛の相場及生産高

一九二五年の十月迄は著しく高値を呼んでゐた鉛の相場は、その後稍低下してゐる。而して現在（一九二六年二月）に於ける金屬鉛の價格は、三四磅英貨の邊を動いてゐる。因みに一九一三年の平均價格は一九磅に達しなかつた。

次に連年の金屬鉛の平均相場を揭ぐ。

連年金屬鉛の平均相場（一・〇一六基の英國噸當り）

年次（註）	英貨磅	ピアストル
一九一三年	一八・七四	一八七・四〇
一九一九年	二八・五九	二三七・二〇
一九二〇年	三七・八三	一七二・五〇
一九二一年	二二・七五	一六九・〇〇
一九二二年	二四・〇九	一九二・〇〇
一九二三年	二七・一四	二三八・〇〇
一九二四年	三四・四二	三三〇・〇〇
一九二五年	三六・四二	三〇七・二七
一九二五年の第一回半期	三八・七三	三二八・〇〇
一九二五年の第二回半期	三二・八五	二八〇・〇〇
一九二五年の第三回半期	三七・二五	三一二・〇〇
一九二五年の第四回半期	三六・八四	三〇九・〇〇

註 The Engineering and Mining Journal press に據る倫敦相場

この非常に好望なる相場は、印度支那に於ける含鉛鑛脈の研究を力附けるものであるが、現在印度支那に於ける方鉛鑛の採掘地とし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ては、北部安南のニエ・アン（Ngh-An）州下に唯一ヶ所存在するに過ぎない。それはスペアンザ（Spéanza）鑛で、河内パン沿線のホアンメイ（Hoang-Mai）驛から一基米突の處に所在す。一九二五年の採掘高は、方鉛鑛七〇噸であつた。而して前年は五五噸であつた。

次表は印度支那に於ける鉛鑛の生産高を表示したものである。（單位噸）

年次＼含鉛原鑛	スペアンザ鑛山產白鉛鑛及方鉛鑛	各亞鉛鑛山產の方鉛鑛	合計	鉛鑛及亞鉛鑛中に含有される金屬鉛（註）
一九一八年	—	六〇〇	六〇〇	三三〇
一九一九―一九二〇	—	—	—	—
一九二一年	—	五六	五六	三〇
一九二二年	—	一五五	一五五	八四
一九二三年	—	二八	二八	一五
一九二四年	五五	三一・八	八六・八	三三
一九二五年	七〇	八七・四	一五七・四	三七〇

註 Lang-Hit 產の方亞鉛鑛よりは平均鉛一二%を抽出し得

ロ、探　鑛

トラン・ダ鑛業會社

本社はニャン・ソン（Ngan-Son）の含銀鉛鑛脈の探鑛を一九二五年に中止したが、近頃ホ・レイ・ミ（Bo-Lai-Mi）に豐富な脈を打ち當てんとして再び採鑛作業を開始した。本鑛區は、一九一四年に於て次の事實によつて識られてゐる、卽ち大さ一二米突に〇・四の米突厚み〇・二〇米突の純方鉛鑛床が存在し、鉛の含有率五〇%、原鑛一噸當りの含銀有量五基瓦なることが發見されてゐる。

印度支那業鑛及冶金工業會社

本社はトン・フエイ（Tong-Phai）（Hagiang州）ユオン・ソン（Huong-Son州）（Thai-Nguyên）及プウ・ホ（Pou-Bo）（Backan州）の各鑛に續けてゐる。今日迄に得た情報は頗る有望である。殊にトン・フエイでは、その場で厚み一米突以上の方鉛鑛床を採掘し得ることが確められた。

探鑛及採掘會社（La Compagnie de r.cherches et d' exploitations Minières）

本社はラン・ナ（Lang-Nac）鑛脈の研究を續けてゐる。長さ七〇米突、深さ一〇〇米突の横層は近く截られるであらうが、この層の上には鐵が大きな帽子形となつて覆ひ、それが山巓に露出してゐる。

白金工業會社（La Compagnie industrielle du platine）

本社は金屬鑛脈に關する數多の探鑛の中特に鉛及亞鉛に關する探鑛を選んだ。多分その研究は一九二六年から開始せらるゝであらう。東京の一探險者は、安南のバン・ダン（Binh-Dinh）州に於て、片麻岩の間に挾る石英質の母岩を有する方鉛鑛脈の探鑛を爲さんがために來安した。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第六節 錫及タングステン鑛

イ、世界市場の狀況

一九二三年以來高値を續けて來た錫相場は、亞鉛相場と同樣に近頃著しき好況を示してゐる。次表に據りて明かである。

金屬錫の各年平均相場表　（英噸當り）

年次	英貨磅（註）	ピアストル
一九一三年	二〇一・六一	二、〇一六
一九二一年	一六五・二六	一、二四九
一九二二年	一五九・四五	一、二八四
一九二三年	二〇二・一四	一、七七九
一九二四年	二四八・七三	二、〇七四
一九二五年	二五八・八二	二、二〇七

註　紐育發刊の Engineering and Mining Journal Press に據る倫敦相場

一九二五年每月金屬錫平均相場表　（英噸當り）

年次	英貨磅（註）	ピアストル
一月	二六五・五六	二、二七六
二月	二六二・一八	二、二一九
三月	二四五・六八	二、〇六七
四月	二三七・〇〇	二、〇二三
五月	二四五・四七	二、〇九一
六月	二五二・四七	二、一六〇
七月	二五八・四三	二、二一〇
八月	二五八・五三	二、二二〇
九月	二五九・一八	二、二一七
十月	二七七・七二	二、三三五
十一月	二八四・五〇	二、四二九
十二月	二八四・九二	二、三五六

註　Engineeringand Mining Journal Press に據る倫敦相場

次に大戰後より暴落したウォルフラムの相場は、一九二五年の當初迄續いたが、其後に於て著しく高値を示して來た。これは恐らくタングステン鑛の世界産額の過半を供給する支那〔註〕に於ける近時の騷動に基くものであらう。次表はウォルフラム（六五％のもの）の各年平均相場表である（タングステン酸の單位當り）。

註　一九二二年に於ける支那の産高は、ウォルフラム七、〇〇〇噸を示す。而して世界總生産高は一〇、二八五噸である。（Quin's Métal Handbook and Statistic, 1925に據る）

年次	英（註）貨志	ピアストル
一九二二年	一〇・二〇	五・一五
一九二三年	一三・四二	五・九八
一九二四年	一一・四四	四・八五
一九二五年	一七・二一	七・四〇
一九二五年の第一四半期	一三・九二	六・〇〇
一九二五年の第二四半期	一五・一〇	六・四五
一九二五年の第三四半期	一九・三三	八・二五
一九二五年の第四四半期	二〇・五〇	八・九〇

註　Echo des Mines et de la Métallurgie に發表せられたる倫敦相場

錫の世界年產高は九〇、〇〇〇噸乃至一三五、〇〇〇噸の間を動いてゐる。

馬來半島及其附近蘭領印度及暹羅が世界生產高の過半を占め、ボリビアが同四分の一　他は支那、ニジエリア、英國（Cornouills）及濠洲より產す。

現在世界錫市場の特徵を擧げるなれば、世界ストック高の減少した事を擧げ得る。卽一九二一年末現在に於て五萬噸（註一）からのストックを有して居たものが、一九二五年末には一八、〇〇〇噸にしか達して居ない。（南支南洋情報大正十五年五月號三九頁參照）

而して市場は米國の需要關係によつて屢々支配されるが、一九二五年の米國需要高は七六、四五五噸（註二）で、一九一三年に於ける彼の需要高に比較すれば七〇％の增加である。反對に歐洲に於ける消費高は、一九二五年に於て約五〇、〇〇〇噸で、戰前の數字に比較すれば尙九％の減少である。英國は歐洲に於ける大消費者である。（一九二五年には約一九、〇〇〇噸）

支那の雲南省は一九二五年に東京へ八、九一八噸の錫を輸出した。（一九二四年七・〇四一噸、（註三）一九二三年七・七四八噸　註三））本省に生產される錫はすべて、海防雲南府鐵道の蒙自驛に接續する箇舊鑛山より採掘されたものである。

註一、一、〇一六基瓦噸

註二、一九二六年一月十六日の Engineering and Mining Press に據る。

註三、雲南から東京へ送られる錫の統計は印度支那稅關によつて作られた數字に據る。

ロ、印度支那錫鑛山の生產高及輸出高

未だ微弱な生產高を擧げてゐるに過ぎないが、それでも規則的に增加を示してゐる。一九二五年の金屬錫生產高は五八七噸で、前年

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の四七二噸に比すれば二一%の増加である。

次表は錫及タングステン鑛の連年生産高及輸出高を表示したものである。（單位噸）

年次	粗鑛總生産高	粗鑛總輸出高	金屬錫の總輸出高
一九〇六年	二四	一九	—
一九〇七年	三〇	九八	—
一九〇八年	一六四	一五九	—
一九〇九年	二五五	二二三	—
一九一〇年	三三五	不明	—
一九一一年	二〇〇	同	—
一九一二年	二五二	二五二	—
一九一三年	一九七	一八二	—
一九一四年	三一〇	一九九	—
一九一五年	四三三	三八〇	—
一九一六年	四三二	四二九	—
一九一七年	五一九	四五〇	三
一九一八年	六〇四	二八四	六〇
一九一九年	四二九	一八六	八二
一九二〇年	四三八	三二六	七八
一九二一年	六〇三	一七五	一七四
一九二二年	七〇八	二一六	二五〇
一九二三年	六七七	二四七	三〇一
一九二四年	八五三	三九〇	三一七
一九二五年	一、〇六一	五五三	三三五

次に更に錫及タングステン鑛の生産額及輸出高を分類して表示す。（單位噸）

生産高

	錫石	ウオルフラム	混合鑛	金屬錫（ファクトリー工場の生産高）	粗鑛に含有する金屬錫の量	金屬錫總産高（粗鑛に含むものを加ふ）
一九一九年	二一八	一三三	一六八	六八	六六	一三四
一九二〇年	二一〇	七二	一五五	九六	七〇	一六六
一九二一年	三七九	三七	一八六	一七五	一三二	三〇七
一九二二年	三五五	三〇	一五三	二四七	一六五	四一二
一九二三年	四五一	二八	一七五	三〇七	一五八	三六五
一九二四年	六二〇	二四	一九八	三三四	一三八	四七二
一九二五年	八〇六	七四	一八〇	三三七	二六〇	五八七

輸出高

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

	錫石	ウォルフラム	混合鑛	金屬錫（ハーソン工場産錫の輸出量）	輸出されたる粗鑛中に含む金屬錫	金屬錫總輸出高（粗鑛に含む物を加ふ）
一九一九年	—	四〇	一四〇	八二	四四	一二五
一九二〇年	—	五〇	一七五	七八	六三	一四〇
一九二一年	—	—	一七五	一七四	六一	二三五
一九二二年	—	一五〇	一四六	二五〇	四四	二九四
一九二三年	一三	一四九	一七六	三〇一	七九	三八〇
一九二四年	一四〇	六〇	一九三	三一七	一三六	四五三
一九二五年	三三	七〇	一六〇	三三四	二五七	五九一

次に連年の錫及タングステン鑛の生産價額を表示すれば

年次	千金貨法	千ピアストル
一九〇六年	五〇	一八
一九〇七年	二七四	九八
一九〇八年	三〇四	一二三
一九〇九年	五一五	二一五
一九一〇年	四五〇	一九五
一九一一年	四〇〇	一七五
一九一二年	四七九	一九二
一九一三年	三三八	一三四
一九一四年	六八九	三一三
一九一五年	一、二一一	六〇五
一九一六年	一、六〇九	六〇五
一九一七年	二、五五〇	七七七
一九一八年	二、六九六	六九〇
一九一九年	一、一〇六	二三七
一九二〇年	一、二三三	二九五
一九二一年	九九三	三七四
一九二二年	一、五四八	五四七
一九二三年	一、七五〇	六五九
一九二四年	二、四一八	八九四
一九二五年	三、五一一	一、二〇六

八、印度支那に於ける錫鑛山の發達狀況

東京錫及ウォルフラム會社 (Société des étains et Wolfram du Tonkin)

一九二五年のセーンタレクザンドル鑛山の生産高は、一九二四年に比し二五％方の増産を示してゐる。

タン・トュツ (Tinh-Tuc) 沖積層の錫採掘高は、一九二四年と全く大差が無い。この露出坑の作業は一九二五年五月の大氾濫に妨げられることが甚だしかつた。これに次で同年九月末以後の旱魃に依つ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ても亦洗鑛場の作業が著しく阻害され産高を減少せしめたのであるが、この樣な不都合を除く爲めに。當事者は其の救濟手段として、重油發動機を使用するか若しくば水力電氣の新式工場を設けるかの何れかを施設せんと熟考中である。

又二洗鑛場はハンコック式水槽と共に既に設置されてゐる。更に第三工場も現在建設中であるが、是等各工場は一日に沖積層土五〇〇米突立方を處理し得る處のものである。

上東京錫鑛山會社 (Seciété des Mines d'étain du Haut-Tonkin)

本社は一九二五年九月にマリー (Marie) 鑛山を獲得した。本鑛山は含錫沖積層の豐富なる鑛區として知られてゐるボーシート (Beausite) 採掘地の北西部に位してゐる。

印度支那鑛業調査採鑛會社 (Société d'études et dexploitation Minières de l'Indochine) 老撾パ・ハン・ブン (Pak-Hin-Boun) 採掘地

一九二五年に於ける本社は、採掘上より見た外的施設の研究に一年を過した。本社は採掘地から洗鑛場迄鑛物の輸送水道を引かんと計畫してゐるもので即ち一九二六年に於てソラン・ジュ (Solange) 鑛山圓丘の坂上の二水平地にウエイヤー及リッチモンド (Weyer et Richmond) 式ポンプを施設せんとするのである。前記洗鑛場は毎月當り錫含有六三%のもの一二乃至四〇噸を生産せんとするものである。更に又本機は、ハーディング (Harding) 式粉碎機及サイルフレイ (Wilfley) 若しくはジェームス (James) 式盤との間に一組の水力分類機を設置することによつて改革されるであらう。又一九二六年の三月に建設される計畫の一洗鑛場により、混合物及殘物の處理は完全に行はれる樣になるであらう。而して、この洗鑛場には水力分類機及盤の如きものも併せ設置されるに至るであらう。一方錫の溶鑛場はタツケ (Thakhet) に近き將來設置されやうとしてゐる。

更に又一九二五年に於ては本社のために八つの新採鑛許可が設定されてゐる。

採鑛作業

東京の採鑛者ドュウボスト (Dubost) 氏は、ナム・パテーヌ (Nam-Patène) 低地に於ける採鑛に就て多くの聲明を發表した。而してボ・ナン (Bo-Neng) の如き主要鑛脈の採掘作業は既に企業されてゐる。ドュボスト氏も、その生産期は雨季に入らんとする頃から始まるものと見てゐる。錫は大きさ三米突長さ一〇〇米突の木樋により處理し得るであらう。事實この木樋はナム・パテーヌに近き鑛脈附近に設置された。

第七節 其他の鑛物

一 金

パ・ラン鑛區

本社は河内のジーン・ドュプユーイ (rue Jean Dupuis) 街六四に所在するパ・ラン (Pae-Lang) 金山會社は一九二五年末資本金二五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

〇、〇〇〇法を以て組織された。本資本は今後五、〇〇〇、〇〇〇法迄は擴張し得るものである。現在の事業は、バ・カン（Bac-Kan）からカオ・バンへの通路より鑛脈へ連絡する道路の敷設である。

本路は鑛山に設立豫定の十個の工場の建設材料を當處迄運ぶのに是非共なくてはならぬものである。

最近行はれた採鑛の結果マヌー（Manou）鑛區の發見を齎した。本鑛區はクエイ・パ・ラン（Kouei-Pac-Lang）の右岸にあり、未だ一度も採掘されてゐない含金石英脈である。

ハウル・ソンナンの沖積層（Alluvions du Haul Song Nang）

東京錫及ウオルフラム採鑛會社の子會社の關係にあるバ・マン（Bac-Man）鑛山會社は本層の採掘を目的として設立されたが本層は今の處未だ研究期にある。

マン・リユオン（Minh-Luong）**に於ける採鑛**

採鑛作業がマン・リユオンに於て續けられてゐる。同地はエン・ベイ（Yen-Bay）州下にあつて、バオ・ハ（Bao-Ha）の南西四十基米突の處に所在す。本地は非常に重要な昔時採掘の遺跡が發見された處で、その遺跡の面積は數百エクタールに涉つてゐる。

二、アンチモニー

東京及北部安南地方には、アンチモニー鑛脈頗る豐富に所在するにも不拘、之れを採掘しやうとするものは無い。アンチモニー相場は一九二五年の當初以來著しく高値を呼んでゐるが次表により之を伺ひ知ることが出來る。

佛蘭西のアンチモニー平均相場表

年次	紙幣法	ピアストル
一九二二年	一、八一〇	二七〇
一九二三年	二、三五〇	二七七
一九二四年	三、三五二	三三三
一九二五年	六、四六六	五四一

探鑛 印度支那鑛業及冶金業會社はシエム・ホア（Chiem-Hoa）の北方二五基米突の處に所在するプー・ボ（Pou-Bo）鑛山の南部に於ける含金銀輝安鑛脈の採鑛を一九二五年に企畫した。

鑛物採鑛及採掘會社は鴻基の北方に在るドン・モ（Dong-Mo）のアンチモニー鑛脈を選び出した。又印度支那銀行は、安南のヴアンVinh）州下のテイ・バオ（Tai-Bao）鑛山の含金アンチモニー鑛脈に注目してゐる。

三、黑鉛

結晶黑鉛の相場は一九二五年中に於て著しく改新された。Echo de Mines et de la Métallurgie によつて發表された報告に據れば八五%の黑鉛の、一九二四年十二月に於ける馬耳塞港運賃保險料込價格噸當り八五〇法（八四・四〇ピアストル）である。次表により更に明か

であらう。

マダガスカル産黒鉛（八五％）の平均相場（噸當り馬耳塞港運賃保險料込價格……Echo des Mines et de la Métallurgie に據る

年次	紙幣法	ピアストル
一九二三年	六八〇	八〇・二
一九二四年	七七七	七七
一九二五年	一、二二五	一〇二・五
一九二五年の上半期	九九三	九二
一九二五年の下半期	一、四五八	一二一

一九二五年に於ける黒鉛（九〇％）タマターブ港甲板渡し平均相場表 Bulletin des Mines de Madagascar に據る。（單位噸）

月次	紙幣法	ピアストル
一月	一、一五〇	一一二
二月	一、二五〇	一一九
三月	一、三〇〇	一二〇
四月	一、四〇〇	一三〇
五月	一、六〇〇	一四六
六月	一、六〇〇	一三九
七月	一、七〇〇	一四二
八月	一、八〇〇	一四八
九月	二、一〇〇	一七二
十月	二、〇〇〇	一四一
十一月	二、四〇〇	一六九
十二月	二、五〇〇	一六二

註　十二月の相場は黒鉛八五％のものによつて立てられた相場

黒鉛印度支那會社 (Société indochinoise des Graphites)

本社は資本金百萬法を以て印度支那黒鉛會社 (Société des Graphites de l' Indochine) の後繼者として一九二五年四月十六日設立されたものである。本社はその處理工場の改良、殊に粉碎機裝置に施行せられた改良の結果、一九二六年正月に於ける生産高は三五噸に達してゐる。而して尚若干の改造を加へたならば月當り四十噸位の產額を擧げ得るであらう。

一九二五年中に於て本社の代表監理者ドュモント (Dumont) 氏は黒鉛粗鑛の價値を高める行程に就て、特許を與へられた。その特徵は次の通りである。

一、粉碎機一基

二、特殊仕上管による濕式粉碎機一基

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三、浮式篩分けによる分類機一基
四、優良黒鉛の分類に當てるFlotage一基

エン・ベイに於ける黒鉛區域の探査の結果、厚さ十米突の黒鉛脈を發見した。同脈は幾多の分脈を含有し、炭化黒鉛六〇及至八〇%の含有率を有してゐる。

四、燐酸鑛

粗燐酸鑛の一九二五年度生產高は一九二四年のそれより一四七%の増產を示してゐる。又產出されたる燐酸鑛の機械に掛けられたる高は四一%の増加となり。賣上高は亦三八%の増加を示めしてゐる。

次表は東京燐酸鑛會社(Société des phosphates du Tonkin)の生產高及賣却高の分類を一九二二年乃至一九二五年に亘り表示したものである。(單位噸)

	一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年
(採掘高) タン・モア(東京) Thank-Moi	七、〇〇〇	九、七九三	九、二八一	一五、二七四
タン・ホア(安南) Thank-Hoa	六〇〇	五四	三、一八〇	一四、九六二
計	七、六〇〇	九、八四七	一二、四六一	三〇、二三六
機械に掛けられたるもの(紛末燐酸鑛の賣上高)	七、六〇〇	九、三一七	一〇、二三九	一四、四七四
東京及北部安南	六、二七九	九、〇七九	七、七一六	八、二七七
交趾支那	九二五	一、二三八	二、〇六八	五、二七四
輸出高	九三	三五	一	四三
賣上合計	七、二九七	一〇、三五二	九、七八四	一三、五九四

紛末燐酸の賣價は前年と大差がない。海防に於ける一噸當り價格は二〇ピアストルである。

五、寶石

パイラン(Pailin)地方の青玉(Saphir)產額は、一九二四年度の四、一六八カラットに對し、一九二五年は五、二四〇カラットの產額を見た。又その生產物の價格は前年の四四、二七二ピアストルに比し一九二五年は五二、八七一ピアストルを示してゐる。尙亦同年中賣却された寶石數は四三五個でその一個平均量目は一二カラット(二四瓦)に當る。同年十月採收された寶石は、四三個で一個當平均一九カラットといふ良好な收穫を擧げてゐる。

次に石の個數から言へば、同年採掘されたる數は前年に比し減少してゐる。卽一九二四年の五三三個に對し一九二五年は三七一個である。勞働者數に於ても同樣前年は八五〇人であつたものが一九二五年は五二〇人に減少してゐる。

第四章 勞働

第一節 勞力の分類

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

次表は一九一四年以降に於ける印度支那各鑛山使用勞働者數を表示したものである。

年次	勞働者數	年次	勞働者數
一九一四年	一四、九二〇	一九二〇年	一二、一三〇
一九一五年	一三、七〇〇	一九二一年	一五、六三〇
一九一六年	一七、一五〇	一九二二年	二〇、一一〇
一九一七年	一六、八五〇	一九二三年	二一、五九〇
一九一八年	一六、一〇〇	一九二四年	二八、三四〇
一九一九年	一一、八四〇	一九二五年	三五、〇〇〇

次に更に之を各鑛山別に一日當りより見た勞働者の一年の延人數を擧ぐれば次の通りである。

炭鑛

年次	坑內勞働者	露出坑勞働者	坑外施設勞働者
一九一四年	五一〇、〇〇〇	一、三八〇、〇〇〇	八七〇、〇〇〇
一九一五年	五〇〇、〇〇〇	一、三五〇、〇〇〇	九二〇、〇〇〇
一九一六年	七三〇、〇〇〇	一、一三〇、〇〇〇	九六〇、〇〇〇
一九一七年	八一〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	九六三、〇〇〇
一九一八年	六六〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇九八、〇〇〇
一九一九年	八一〇、〇〇〇	九九〇、〇〇〇	八七〇、〇〇〇
一九二〇年	九〇〇、〇〇〇	一、〇九〇、〇〇〇	九九〇、〇〇〇
一九二一年	一、二六〇、〇〇〇	一、三五〇、〇〇〇	一、二三〇、〇〇〇
一九二二年	一、五九〇、〇〇〇	一、七〇〇、〇〇〇	一、四一〇、〇〇〇
一九二三年	一、七九七、〇〇〇	一、三五〇、〇〇〇	一、六五九、〇〇〇
一九二四年	一、七七〇、〇〇〇	二、八三五、〇〇〇	一、四八五、〇〇〇
一九二五年	二、一〇九、〇〇〇	三、一一七、〇〇〇	二、四五七、〇〇〇

金屬鑛山

年次	採堀鑛夫	鑛外施設勞働者
一九一四年	一、一四〇、〇〇〇	五七六、〇〇〇
一九一五年	九六〇、〇〇〇	四八〇、〇〇〇
一九一六年	一、六五五、〇〇〇	七八〇、〇〇〇
一九一七年	一、五三三、〇〇〇	七五〇、〇〇〇
一九一八年	一、三九八、〇〇〇	六九〇、〇〇〇
一九一九年	四七一、〇〇〇	四一一、〇〇〇
一九二〇年	四三二、〇〇〇	二〇四、〇〇〇
一九二一年	五一三、〇〇〇	二七六、〇〇〇
一九二二年	七二〇、〇〇〇	三九〇、〇〇〇
一九二三年	八五八、〇〇〇	六六九、〇〇〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二四年	八八八、〇〇〇	一、〇〇五、〇〇〇
一九二五年	九三三、九〇〇	一、〇九二、〇〇〇

其他の鑛山

年次	採掘鑛夫	鑛外施設勞働者	總計
一九一四年	—	—	
一九一五年	—	—	
一九一六年	—	—	
一九一七年	—	—	
一九一八年	—	—	
一九一九年	—	—	
一九二〇年	四二、〇〇〇	一八、〇〇〇	
一九二一年	四二、〇〇〇	一八、〇〇〇	
一九二二年	九〇、〇〇〇	六三、〇〇〇	
一九二三年	七二、〇〇〇	七二、〇〇〇	
一九二四年	一三二、〇〇〇	三八七、〇〇〇	
一九二五年	五四〇、〇〇〇	二四九、六〇〇	

年次	勞働者數	年次	勞働者數
一九一四年	四、四七六、〇〇〇	一九二〇年	三、六三六、〇〇〇
一九一五年	四、一一〇、〇〇〇	一九二一年	四、六八九、〇〇〇
一九一六年	五、一四五、〇〇〇	一九二二年	六、〇三三、〇〇〇
一九一七年	五、〇五五、〇〇〇	一九二三年	六、四七七、〇〇〇
一九一八年	四、八三〇、〇〇〇	一九二四年	八、五〇三、〇〇〇
一九一九年	三、五五三、〇〇〇	一九二五年	一〇、五〇〇、〇〇〇

東京に於ける鑛業の如何に重要なる位置に在るかは次の數字により分明するであらう。卽ち東京各種工業を通じての勞働者總計は一九二五年に於て五六、五〇〇人を數ふるも、其中鑛山に働く者は三三、〇六〇人卽全體の五八%に該當してゐるのである。

次に鑛山に使用されてゐる勞働者總數の中、婦女及子供勞働者は約七%に當る。婦女及子供勞働者は露天掘及鑛外施設の方に働いてゐる。殊に篩分工場に使用されてゐるが、又鑛内に於て石炭或は鑛物の運送に從事してゐるのもある。これを他國に比較すれば、佛蘭西に於ては鑛山に働く者の八%が婦女及子供に當り、一九二二年英領印度に於ては二三%に該當す。(一九二四年)

第二節 勞　賃

一九二五年に於ける鑛山に使用される主人、勞働者、監督者、使用

人）の平均日給は〇・六二ピアストルである。同年東京に於ける頁賃鑛夫の日給は〇・四〇—〇・五〇ピアストル、苦力は〇・二五—〇・三五ピアストル、婦女は〇・二〇—〇・二五ピアストル、子供は〇・一五—〇・二五ピアストルである。

老撾に於ける勞賃は頗る高く、苦力は〇・五〇—〇・六〇ピアストル、婦女は〇・四〇ピアストル、子供は〇・二五—〇・三五ピアストルを得てゐる。土人監督者及使用人を除く勞働者の平均日給は、主會要社により與へられた數字に據れば、〇・四〇から〇・四五ピアストルの間にある。

第三節 事故

次表は一九二五年に於ける各鑛山の事故發生數及犧牲者數を示したものである。

			炭鑛山	亞鉛鑛山	燐酸鑛山	錫及タングステン鑛山	寶石山	黑鉛鑛山	合計
勞働者總數			二五、六二三	四、八三五	一、九七一	一、九三〇	五三〇	一四三	三五、〇〇〇
事故發生數	坑內		一八	二	—	—	—	—	二〇
	坑外		二七	八	—	六	—	—	四一
犧牲者數	坑內	死者	一七	二	—	—	—	—	一九
		傷者	九	—	—	—	—	—	九
	坑外	死者	二五	六	—	六	—	—	三七
		傷者	七	三	—	—	—	—	一〇
	合計	死者	四二	八	—	六	—	—	五六
		傷者	一六	三	—	—	—	—	一九

更に次表は、事故發生原因別により、勞働者一萬人に對する事故發生率及犧牲者率を表示したものである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

事故種別	炭鑛 事故發生率	炭鑛 死者	炭鑛 傷者	其他の鑛山 事故發生率	其他の鑛山 死者	其他の鑛山 傷者
土砂崩壞	四・三	四・三	〇・八	九・五	八・五	一・〇三
鐵路敷設事業に際し 坑内	七・〇	七・〇	〇・八	五・三	五・三	一・〇三
鐵路敷設事業に際し 坑外	〇・八	〇・八	—			
壁落	一・九	一・五	〇・四	一・二	一・二	—
爆發	一・三	〇・八	一・五	—	—	—
岩石其他の落下	〇・八	〇・八	—	—	—	—
炭化水素、瓦斯	〇・八	—	三・三	—	—	—
窒息	〇・四	〇・八	—	—	—	—
鑛物の機械運搬に際し	〇・四	〇・四	〇・四	二	—	一・〇三
合計	一七・四	一七・三	六・三	一・七〇	一・九九	三・〇九

る即ち印度支那に於ける各鑛山の使用勞働者總數を通じて一萬人に對する死者數は、前年一九二四年の一三、八に對し、一九二五年は一六の割合となる。（終）

暹羅

一 チーク以外の木材輸出表

仕向先	二四六六（一九二三―二四） 數量（噸）	二四六六（一九二三―二四） 價格（銖）	二四六七（一九二四―二五） 數量（噸）	二四六七（一九二四―二五） 價格（銖）	二四六八（一九二五―二六） 數量（噸）	二四六八（一九二五―二六） 價格（銖）
（一）Yau材（Dipterocarpus Spp.）						
新嘉坡	一七・三	一、二〇五	二〇・〇九	一、三〇八	—	—
香港	七七・三	七、一六五	一三〇・一七	一一、一九四	五〇・〇〇	四、〇〇〇
錫蘭	六七八・一〇	五六、四六七	一、三〇〇・四九	六二、四九四	七五〇・〇八	四一、三六八
丁抹	九一・三一	六、六〇四	八九・四一	七、〇四九	七三・〇三	六、六〇五

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英本國	五五·〇三	三、七九一	二五·〇〇	二、一九六	一〇五·〇〇	一〇〇、二六六
印度	一、三三三·〇四	八一、五六五	八四〇·四六	五一、七五八	一、八五一·三三	二二四、一六六
南阿聯邦	五·〇三	五五〇	三三·〇三	一、〇一九	五·〇六	四二
日本	—	—	三〇·一九	一、四八八	—	—
佛國	一九·一六	一、三六八	三〇·〇〇	一、五〇〇	一六〇·〇五	九、八九六
獨逸	—	—	三一·三三	二、九七三	四五·三六	四、三〇六
米國	—	—	—	—	八三·四六	六、七二二
計	三、三六七·二二	一五八、六一五	二、三九一·一五	一四一、八七八	三、一三三·〇三	一九七、七三三
(二)Tab c材(Lagerstroemia Tomentosa and Lag. Calycilata)						
新嘉坡	—	—	三·〇〇	四三	—	—
香港	一·〇〇	七五	—	—	—	—
日本	一八·〇八	一、四一五	—	—	—	—
計	一九·〇八	一、四九〇	三·〇〇	四三	—	—
(三) Yom Hom材(Cedrela Toona)						
日本	五·二五	六六〇	—	—	—	—
香港	—	—	一·二六	四八	—	—
南阿聯邦	—	—	三〇·〇八	二、〇七四	—	—

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

計	五·三五	六六〇	二〇·三四	三·一三三	—	—
(四) Pradu 材 (Pterocarpus Spp.)						
新嘉坡	—	—	—	—	※一·〇四	六五
香港	※二、六一三·四〇	一一〇、六九四	※一、八四七·九〇	一二四、五六八	※三、八四七·九〇	一一〇、〇三五
支那	※七九·七六	三、七五八	※五九·五二	二、四九〇	※四二·二五	一、五二三
日本	※七九六·七八	三五、七五六	※一、五三〇·五三	七一、〇四八	※三、三四六·九〇	一二三、七四八
丁抹	—	—	※〇·三〇	一五	—	—
計	三、四八九·九四	一五〇、二〇八	四、五七〇·七七	一九八、一二一	五、二三八·〇九	二三五、三七一
(五) Phayung 材 (Dalbergia Latifolia)						
新嘉坡	—	—	※〇·二四	二四	—	—
香港	※五、四九六·九六	五六七、三二四	※五、六三四·一七	六〇三、五二〇	※三、九一三·二八	四一二、六八二
日本	※四五七·二〇	五八、二一三	※一、〇〇四·八八	九二、三二六	※五七三·九三	七六、六九九
支那	—	—	※五九·五二	四、〇〇〇	※二九·七六	三、〇〇〇
錫蘭	—	—	※八·九三	一、五〇〇	—	—
印度支那	—	—	—	—	※〇·一三	八
計	五、九五四·一六	六二五、五三七	六、七〇七·七四	七〇一、三七〇	四、五一七·一〇	四九二、三八九
(六) Makleua 材 (Diospyros Mollis Griff)						
香港	※七四一·五五	六九、〇六四	※八〇三·三八	五四、六〇〇	※三〇四·四六	二三、三〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那	※・四二	三五	—	—	※五・九五	五〇〇
日本	※四八・二一	四、六八八	—	—	※七七・八九	五、七九八
小計	七九〇・一八	七三、七八七	六〇二・三八	五四、六〇〇	三八八・三〇	二九、五九八
(七) Phut 材						
香港		A	※一六・五五	七〇六	※八・九二	二二五
日本			※四四七・四七	三〇、四六六	※一〇〇・二三	五、六七三
小計			四六四・〇二	三一、一七二	一〇九・一五	五、八九八
(八) Chingchan 材						
香港		A	※三七五・三三	三一、〇三三	※三三一・二五	二三、八八五
日本			※九・一七	九二四	※四八・六九	五、〇九四
小計			三八四・五〇	三一、九五七	三七九・九四	二七、九七九
其他ノ材						
新嘉坡		三、四七五		二、二〇一		三、七六六
香港		七一、四二六		一七、二三三		三〇、六二三
日本		九四、一八二		一九、一八五		一〇、〇〇一
支那		一、七八二		二、四六〇		二、六八二
印度		三、〇〇〇		一〇		—

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

錫倫		二〇、六五〇		四、八九一		一、二四六
印度支那		—		五〇		一、〇四〇
馬來半島		三		五〇		—
丁抹		五七九		一、〇〇〇		一、二〇八
伊太利		—		一五		一〇
米合衆國		—		—		—
和蘭		—		—		一〇〇
南阿聯邦		—		—		五
蘭領東印度		—		—		三〇
英本國		四二〇		—		—
コー・コン島		—		—		一六五
小計		二九五、三二六		四七、〇九五		五一、一六五
總計		一、三一五、八一三		一、二七〇、六六七		一、〇三〇、一三四
輸出チーク材總計		六、一九六、五九七		六、六九六、〇一五		五、六三六、六六一
輸出木材總計		七、五二二、四一〇		七、九六六、六八二		六、六六六、七九五

備考　※印は二、二四〇封度噸、殘余は五〇立方呎噸。Aは其他の材に含まる。

(The Record, No. 13, 17, 23.)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

英領馬來

□一九二六年度ブルネイの概況

ブルネイ英國駐在理事官代理オー・イー・ヴイネーブルズ（O. E. Venables）の一九二六年度報告を略述すれば次の様である。

同年度の財政は歳入三六七、三四四弗、歳出二九七、八九四弗、差引六九、四五〇弗の超過であつて、前年即ち一九二五年に比較すると五二、〇八三弗の超過で、其の主なものは關税の増收である。反對に地代は非常な減少で、前年度の歳入はブルネイ市の或店舗割宛地の賣買收益金によつて相殺された。同じく歳費の超過額は五八、〇〇八弗で、主要なるものは雜支出と土木事業費とである。

同年末に於ける資産の負債に對する剩余額は二六二、七三六弗であつた。

一九二六年末の償還貸付金總額は四二四、五〇〇弗であつて、是等の整理に對する手續は既に了してゐる爲め、資産負債明細表には記錄されてゐない。

主なる商品の輸出價額は約三、二七六、五七三弗で、一九二五年には二、八七三、一五四弗であつた。

ラブアンとの交通は小型のランチで適當に行はれてゐる。

輸出の中最も増加したものにジエルトンと乾蝦とがある。栽培ゴムの輸出數量は増加したが、一九二五年度に比較して、相場低落の爲め輸出價額は減少した。サゴ粉、原料サゴの輸出は著しく減退した。而して玆にジエルトンが好い相場を得たのはサゴ加工の事面倒なのに比較してジエルトンの採取業は採算有利であること、作業の容易である結果である。又カッチの輸出量及び價額は非常に減少をした。是れは充分且つ定まつて原料を得るに適當な勞働者を傭入れること困難な爲めであつた。

輸入の方面は機械及び鹽を除いて總て増大したが、此の中の主なものは煙草、食料品と石油である。

同年關税收入は一七七、四六三弗で、一九二五年は一三二、六八二弗であつた。

アイランド・トレーディング會社の輸出せる內皮エキストラクトは、一九二五年の二、六〇〇屯、價額二三四、〇〇〇弗に比較して、本年は一、八九二屯、一八九、二〇〇弗である。此の商品は直接市場を控へてゐるけれども、適當なる原料の供給を得るには――例へばマングローヴ表皮――勞働者の過少なると又信賴し得ざる理由との爲め、非常な困難を感じて居る。雇傭する勞働者は仕事に慣熟せる

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

馬來人であるが、多くの馬來人勞働者の如く、信頼することが出來ない。加ふるに、強壯且つ進取的な勞働者は土地を買入れて河川の生活を棄却する樣になつた。

英・馬石油會社は大々的に事業を繼行してゐるが、成功の報導を得ないのは遺憾である。該事業は同社幹部間に發病者あり、其の上火災によつて動搾起重機一臺を燒毀して、一時ドリリング中止となれる爲め相當の遲延を見たのである

ブルネイ河に沿ふブラムパン島のサラワク土王コンセツシヨンから重油が四 四〇〇ガロン程輸出された。

又栽培ゴムは六五〇屯以上輸出されて、一方數量は增加したが他方價額は少しく減少してゐる。茲に着目すべき點は、即ち歐人所有の護謨園の利益が同國全歲入の概ね半分に等しいことである。

米作を各部長の報告によつて綜合すれば總計四四〇・〇〇〇ガンタンとなる。其の大部分は高地に栽培されてゐる。併し乍ら、何等信憑すべき栽植面積の記錄もなく、又收穫量も一向確實なものとは云へない。

同年輸出されたジエルトン護謨の一千屯余は大抵ベライト部の産で、勞働者の殆んど全部はダヤク人である。

新嘉坡の相場は擔當り二二乃至二八弗(一三三 一ー三封度)で、最高相場は多年引續いたのである。

近來土地に對する需要は依然として強く、永久作物栽培の有利なることは日に增し認めらるる樣になつた。恐らく是れは同年中の最も慶賀すべき特長であつて、今後も此の強氣を以て押通すであらうと見られてゐる。

同年間讓渡された國有地は五・二八九英反で、中三・〇七三英反は護謨栽培用地として拂下げられたものである。

此の他二千英反は、カツチ製造に供するガムビアの栽培を目的とするアイランド・トレーディング會社に讓渡された。既述の通り、カツチ製造用マングローヴ表皮は勞働者の傭入れ困難なる爲め、供給減少となり其の結果連續的に供給を得ることが必要事とされてゐる。依つて、目下地方勞働者のみに依賴することを避ける爲め、印度人勞働者をガムビアの栽培苦力として募入する計劃である。

而も尚依然として同國には勞働者大不足である。ブルネイ聯合栽培會社及び英・馬石油會社は引續き印度人勞働者の應募を得て事業行つてゐて、其の指導方法は他の歐人護謨園の遣り方によつてゐる。其の結果は誠に好成績であつた。從つて、印度人勞働者又は其の傭人連から少しも不平の聲を聞かない。

同年死亡率は一九二五年千人當り三〇・六八に對して二八・二九であつて、同じく幼児の死亡率は一九二五年千人當り三一四・二に對する二三・五四である。此の幼児死亡率に對して出産率は一に對する四・二五の割合である。

出産率は千人に付き四〇・一五である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

要するに一九二六年度ブルネイの一般狀況は平穩裡に終始せるも將來は有望と惟はれる。

(Singapore Free Press July 6, 1927)

馬來半島のガッタ・パーチャに就いて(續)

第四章 收穫

第一節 在來法

土人の扱ふ舊式方法では、先づ木を倒し、枝を切放ち、一呎乃至其以上の間隔を置いて内皮を通ずる廣い創口を多數に設けてガッタを蒐集して居つた。此の方法によると倒木によつて或る部分のガッタは無駄となり、或るものは其の下部におかれた創口又は容器から集積される。而して大部分は抽出されずに内皮中に殘るのである。

此の方法は最も浪費多く、之れが爲めにガッタ・パーチャ樹の供給は尠からず滅殺されてゐた。此の方法のよい事は、直徑六吋以下の小樹木は採取不可能なる爲めに殘る點である。多年斯かる採取方法は近々讓渡せらるゝ土地を除いて馬來聯邦州では禁止されて居た。併し乍ら、他の地方では盛んに行はれて、現に土人採取家は充分監督ある場合の他多くは此の方法によつて居るのである。舊法によるガッタは屢々他樹の汁液を混入し、又は斂量を増す爲め投ぜられた木條、石又は内皮を含んでゐる。此の方法では新嘉坡に搬入される總てのガッタ製産物を嚴重に檢査する必要が出來、從つて輸出向ガッタの精製加工に基づく大取引が發展して居る。

第二節 タッピング

タッピングには概ね數通りある。其の中普通的に行はれて居る方法は次の通りである。

「一本の梯から出來てゐる梯子が樹幹に懸けられる。創傷は葉全部及び主枝に跨る樹軸に對し四十五度の角度に行はれる。是等の創傷部は縦溝によつて引寄せられる。之れは各個々の樹に對する便宜の爲めである。今日迄樹の兩側八乃至十二吋の間隔に設けられる。創傷部は樹の兩側に汁液せざる内皮を殘す樣に行はれる。是等の各部分は幅四吋である。創傷部は内皮の眞皮組織に行はれねばならぬが、木質部に侵入してはならぬ。創傷の程度に關する規定は内皮の厚さ及び完全な監督不可能の爲め困難である。タッピングは土地に近い部分に制限せられざるを以て、梯子は必要である。普通タッパーには不愉快に緊張した態度で作業する。其れ故創傷部を設けるにも、穿入するにも何れも相當の自由を持たねばならない。汁液の大部分は創傷部に凝固するが、中若干は側面より縦溝の中に流入する、此處で内皮中に挿入された小型の錫製カップによつて集積する。カップ

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は任意な間隔を置いて内皮部に入れられる。P. oblongifolium の場合には直径二吋高さ一吋半のカップで充分である。P. obovatum は前者より自由且つ大量に流れ込むが故にカップは大型なものを必要とする。傷口からガッタを集々する際、タッパーはナイフを以て小量を削り落してボール型にする、此のボールは創口に押込められて、轉碾され、雪玉の様な風に順々にガッタを蒐集して行くのである。數箇の傷口に沿ふて轉々したボールは平面板の様な形態をとり此の際ガッタは先端に集められる。同一面は先端が傷口につめるのに廣くなりすぎる時迄使つた後で始めて新しい板と代る。ガッタは同一傷口のタッピング採取が行はれる。毎回ボール又は板は傷口に沿ふて轉ばされ、ガッタを取除くことにより、汁液筒の傷口端は再度開かれて流れ始めるのである。此の方法は流入作用が止む迄繼續される。タッパーは攀樹の際バスケットを携帶し、此の内部に錫カップ及び集々せるガッタを保有する。

—(省略)—凡そガッタは莖の下底部よりは莖の上部並に枝から豐富に取得することが出來ると云ふことは頗る注目すべき事柄である。

雨天には、汁液は旱天の場合よりもガッタは容易に流出する。早朝又は遲時のタッピングは何れも同樣な效果がある。早朝樹に多量の水分ある時ガッタは流動體となつて出て來る。日中蒸散の盛んとなるに從つて、ガッタは段々と厚く、終に流入は止まつて來る。從つて推測せらるゝ通りに此の流出作用がものうい曇天には遲くまで行はれることは着目すべきである。前述せる所によつて、タッピングは採液者が作業出來得る程度の明るさとなつた時直ちに作業することが必要である。此のタッピングは通常午前十一時に終つて、一端ガッタは倉庫に引取られて、假りに洗淨せられ、各採液者は自分の採取したものに對して責任を負ふものとする。倉庫歸着前、明日採取する樹が選定される、其の時梯子はチャンと準備されてゐる爲め、幾分早朝無駄な時間がセーブせられることゝなる。精洗者はガッタを熱湯中に浸透する、粘着性を帶びるや否や、手を以て作業し此の時内皮と塵埃は除去される。柔軟である間は倉入れをするため都合よき形状に壓縮せられる。本作業によつてガッタは非常によき外見となり、又其の表面が空氣に曝されざる形態に化する利益がある。傷口から摘つた許りの板や屑ガッタを燥に放置すれば、忽ち酸化變敗する虞がある、精洗した屑の最良保存法は水中に藏置することである。(一九一六年ピー・エチ・エノ・バーナード著ガッタ・パーチャに關する記錄拔萃)

梯子は、輕近樹を促へて樂に其の上で立脚し得る簡單な攀登用棒が利用せらるゝ樣になつて、閑却せられてゐる。

斯の如く、採取される數十本の樹は、夫れ〲樹の大きさによつてタッピング一回に付き精洗ガッタ二オンスから三封度以上の收量がある。同じ樹からはタッピングの後復舊するに充分な時間（大抵二年以上）をおけば何回採取することが出來る。併し其の後朽敗が起つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たり、又は表面を通して樹を侵害する白蟻の犠牲となる危險がある。斯かる危險を避ける爲め、譬へ精製ガッタが一等品たりとも尙ほ採集するに最も氣輕な方法を案出する必要に迫られて居る。

第三節　葉の採取

良質のガッタ・パーチャはグッター・タバン・ムラーの葉に生ずるもので、卽ち葉を碎いて、之れに熱湯を以て處理して製造して居る。數年後、爪哇のチプケルに工場が建てられ、其の後新嘉坡、同附近の一島嶼に始められた。最初の工場は栽培地産の樹から採つた葉を、後の二工場は森林で採取したものを購入の上使用してゐる。

一見此の方法は舊法に比較して進歩せる感じがあるが、土人採取人は葉の摘採を容易ならしめる爲め幼樹を切倒し始めた事によつて、元の方法は顧みられなくなつた。過去五年間葉ガッタを摘採する二、三の工場が馬來半島で着手された。其の中最初のはパハン州のクアンタンに在る。此の工場で用ふる葉採取の方法は次の如くである。選擇された樹は稍々圓錐形狀に剪定される、之れは出來る丈け採取される葉の表面を曝す爲めである。摘採した葉の量は仲々多く、摘葉作業は年一回行はれる。其他の二工場はパハン州のクアラ・リピス地方にある。一は馬來人或はサカイ人によつて森林地産の樹から摘採せる葉を使用し、他の一はガッタ・パーチャの大栽培地域にあつて、是等の栽植する樹の葉を使用するもの丶樣である。又ケプチルの原工場の作業狀態は次の樣である。使用材料は葉、小枝及び表皮であつて、期間を置いて、凡そ年四回摘葉に便利な形態及び大きさに剪定しておく。之の作業によつて所要の小枝と內皮が得られる。摘採せらる丶葉は成熟した葉で、最初に乾燥、次に碎かれて細粉とし、次いで何回となく熱湯に滲透する、此處でガッタ・パーチャは冷水中に葉片から分離されて、更に熱湯と機械的處理を以て純粹なるものとなる。此の結果、精製されたものは處理上便宜な塊に轉ばされて壓縮される。製造工場は大規模で、製品の品質も優良である。馬來半島內の一工場もケプチルと殆んど同一なスケールで建築せらる丶樣に思はれる。

將來ガッタ・パーチャ供給の大部分は斯かる工場で行はれる見當である。（未完）

蘭領東印度

□蘭領印度に於ける石油政策

石油工業が蘭領印度にとつて如何に重大なものであるかが、一般に余り知られて居ないと言ふことは實に不思議である。

本工業は、國庫に年々税金及び輸出入税として數百萬盾の收入を齎らすものであり、且つ當領に於ける多數の住民はそれに依つて生活の道を立てゝ居るに拘らず、當領に於ける本工業の狀態及び關係に關する知識は一般に非常に淺薄である。

故に、當領に於ける石油問題の現狀に關し、些か世人を啓發する意味を以て述べて見ると云ふことも、敢て余計のことではあるまい。

其の目的を以てアネタ通信代表員は、石油界の權威者を訪問し、其の會談を次の如く記して居る。

一九二六年七月二十七、八兩日の國民參議院會議に於て、ブンジユ島、アルー灣及びパレンバン、レンバン、スマジン及びマヅラに於ける油田の石油試掘及び採掘に關する法案が審議された。

該法案は、ブンジユ及びアルー灣の油田を蘭領印度礦油會社（N・I・A・M）の地帶に編入し、又他の油田を印度鑛業法第五條に據りネーデルランシエ・コロニアル・ペトロリウム會社と四個の石油試掘並に採掘契約を締結せんとする目的のものであつた。

蘭領印度礦油會社は、政府が一九二一年に、擴大なるジヤンビ油田の開發を行ふ爲にバターフセ石油會社と合同して作つた會社である。

本合同會社の管理はバターフセ石油會社に委任はしてあるが、政府は、其の管理に參與して居ること及び大株主であることに依り、事業遂行上絶大の勢力を握つて居るのである。

即ち蘭領印度石油會社は五人の委員より成る理事會（Raad vanbeheer）に依つて支配されることに規定されて居る。前記委員の内三人は植民大臣に依つて任命され、他の二人はB株の株主會議に依り即ちバターフセ石油會社に依り指名されるのである。

蘭領印度礦油會社の資本金は一〇、〇〇〇、〇〇〇盾で、各一、〇〇〇盾のA種株券五、〇〇〇株及び各一、〇〇〇盾のB種株五、〇〇〇株に別たれて居る。A株の株主は絶對に法人たる蘭領印度に限られ、B株の株主は蘭領印度礦油會社を共に設立した會社である。

理事會は理事長を任命することになつて居るが、初回の理事長は、之れに拘泥せずして、設立定款中に指名された。

何故政府はブンジユ島及びアルー灣の油田を、此の合辦事業の地域に編入したかの理由は次の樣である。

即ち政府は、ブンジユ島に關しては、當地も亦其の附近にあるタラカン油田に於けると同樣に船舶用殊に軍艦用燃料として最も價値ある同種の重油燃料を生産する可能性があることに深甚の考慮を拂つて居たのである。從つて政府は、該油田の採掘作業並に生産品の處分に關しての發言權を保持する必要があると云ふことを認めたのである。

又アルー灣内或はアルー灣に屬する油田地帶に關しても、其の位置の關係上、作業及び生産品の處分に關し政府は絶大の發言權を保持することが必要とされたのである。約一七、六二〇ヘクタールの面

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

積を有する全部は、全くバターフセ石油會社のコンセッション地帶に依つて繞圍され、且つ該會社の有利な事業地であるパンカランスースーの直ぐ附近にあるのである。而して、當地に於ても有利な産物を得ることが出來るであらうと云ふことは殆んど確實である。

以上の如く、政府が何故にブンジュ島及びアルー灣の油田開發に發言權を得んとしたかの理由に關しては相互間に差異があることが判る。即ちブンジュ島は、船舶用殊に軍艦用燃料として好適の重油を生産するであらうと云ふにあるのであるが、アルー灣の油田は利益を多く擧げる事業となるであらふとの見地からである。

之に次いで、前年國民參議院に於て政府がパレンバン州下二ケ所、レンバン、スマラン兩州に亙る一ケ所及びマヅラ州の一ケ所合計四ケ所の油田開發契約を、ネーデルランシエ・コロニアル・ペトロリウム會社と締結せんとする法案が審議された。即ち斯る事件は印度鑛業法の規定に依り法律の批准を得る必要があるからである。

本地帶の地質に關して蘭領印度鑛業部に知れて居るところのものに據れば、本地域に於ける石油の存在は總ての方面よりして確實らしいが、採掘するには莫大の資本を必要とすべく、且つ將來に於て大量の石油を生産することが出來るであらうとの確實性を欠いて居るのである。

據つて政府は、本地帶は石油採掘地として政府が採掘に關して發言權を希望する程重要なものでないと考へて居る側ら、政府としては合同採掘事業に參與して、是が非でも共に大損失を蒙らねばならない様なことを爲さないが得策だと考へられたので居る。

故に、結局本地帶の開發はこれを何人に委すが良いとされて居るのである。

從つて、若しコロニアル石油會社が本地帶の開發を爲す時は、同社は印度鑛業法に依るコンセッション獲得者の地位を占めるに至り、會社は彼の事業遂行並に營業政策に關して何等政府の拘束を受けず、之を自由に行ひ得ることが出來るのである。

和蘭の第二院に於て否決的態度が採られた結果、蘭領印度に於ける石油生産界並に石油販賣界の現狀は何等變化されないであらう。斯は即ち、最近コロニアル會社のパレンバン附近に於ける小面積のコンセッション地域から石油が生産されるに至つたことに因り多少侵害されたとは云ひ、バターフセ石油會社はその獨占的生産を依然として今後も維持するであらうと云ふことを意味して居るものである。

一九二五年に於けるバターフセ石油會社の産額は、ジャンビに於ける合同事業の産額をも加入して石油三、〇四二・一五九噸であるが、同年に於けるコロニアル石油會社の産額は單に一〇・五〇〇噸にしか過ぎなかつた。又同年に於けるバターフセ石油會社の利益は約六一、三〇〇・〇〇〇盾であるが、之に反しコロニアル石油會社は今日まで缺損に缺損を重ねて營業して居るのである。

亦蘭領印度に於ける石油販賣は、其の最大部分はローヤル・ダッチ・アンド・シエル團の掌中にあるのである。

印度新聞紙は、ローヤル・ダッチ・シエル團は米國に於ては完全な石油業を營む機會を持たないであらうと報じたことがあつたが、一九二五年のコーニンクリケ社の營業年報に據るに、同社の關係會社は同地に於て五、六三六・三九九噸の石油を産出して居り、其の間、シエル・ユニオン・オイル・コルポレーションは米國に於て一九二五年に二〇、〇〇〇・〇〇〇弗即ち盾に換算して五〇、〇〇〇・〇〇〇盾の純益を擧げて居るのである。

本報告を見る時は、蘭領印度に於ける石油業は米國に對して實質上の門戸開放政策を採つて居らず且つ機會均等主義を遵奉して居ないと云ふ米國側の擧證は、確に首肯出來るのである。和蘭人管理の下に海牙に設立されて居り、且つ同時にスタンダード又はニュージャーシー會社と密接な關係のある會社として知られて居るネーデルランシエ・コロニアル・ペトロリウム會社は、一九一二年以來印度に於て完全な石油業を營まんと空しく努力して來たのである。採掘價値のある油田を獲得するには、絶對に、尠なくも其の四分の三は和蘭國臣民でなければならない。

政府は、猶年々の貢税及び條件支拂を全部或は其の一部を原油の儘或は全部又は其の一部を該會社の工場で製油する際に出來た最後の産品を以て受取る權利を保留して居るのである。政府は此の産物を單に自身の需要を充す爲にのみ使用することが出來ることになつて居る。

此處に簡單に說明した提案は、政府に依つて國民參議院の討議に附せられ、一九二六年七月二十七日及び八日の兩日に於ける參議院會議の議題として審議された。

本問題に對する議員の興味は差程狂熱ではなかつた。四九名の國民參議院議員の内一五名は出席しなかつた。

此の結果如何を見るに、蘭領印度礦油會社に關する問題即ち合同事業に關する件は、贊成二二票反對一二票を以つて可決され、又ネーデルランシエ・コロニアル・ペトロリウム會社と契約締結に關する件は、反對一九票贊成一五票を以つて否決されたのである。

其の直後和蘭から、印度政府の進言に依り大臣は(植民大臣か?)本兩案を國民參議院に依り否決されたものと含む第二院の議事に上提したと云ふ通知が達した。

第二院に於て如何樣に判決されるかは暫らく待たねばならない。分科會の作成になる決定書は未だ何等聽取されず、公開審議は多分本年末以前には行はれず、來年度の始めに開始されるであらうと思はれる。

若し之れが第二院に依つて否決される樣なことがあつたならば、非常に憂慮すべきことであつて、又印度及び其の住民の利益を甚だ沒却した處置と云はればならない。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

若しそうであつたとしたならば其の結果はどうであらうか。

長年月の間放棄されて居た多量の石油を含む地帯を生産せしめる機會は、國家並に住民の利益に相反して、再び幾年かの間到來せないであらうと思はれる。

世界の各地方に於ては擴大な新油田が發見せられ、鑛脈に依る石油の採集は益々盛んに行はれ、調合油製造及び石炭から液體燃料を製造する問題は既に解決せられたが、コロニアル社は第三者から得た余り價値の無さうな油田に千萬盾以上の金額を空しく費やして居るのである。

若しバターフセ會社が等閑に附して居たコンセッションを讓受けたものが、其後の調査の結果、例へ面積が二四六一「ヘクタール」にしかないとしても非常に價値があるものであることが判明しなかつたならば、同社の運命は全く絶望であつたであらう。

而して、本コンセッションはどの位の間生産を持續するであらうかは誰が言明出來ようか。油田と言ふものは非常に變化し易いものである。而して此の唯一のコンセッションの産出が減退する否や、直に他の新しい鑛區を獲得しない時は、コロニアル社の事業は盡きるのである。

若しも此處に論じた契約が一度コロニアル社と締結される時は、同様の契約を其他の即ちバターフセ社の様なものと締結する様目論まれて居るのである。バターフセ社が、既に彼の希望して居る地帯の全リストを政府に提出したことは周知の事實である。本リストの内容は不明ではあるが、若し本リスト内に殘余の(爾後拂下げらるべき)最も有望な地帯を含んで居るとしたならば、此の要求を容れると云ふことは好ましくないことであることは明らかである。

(Het Nieuws van den Dag June 7, '27)

□爪哇マヅラに於ける主要土人農産物

収穫面積

一九二六年に於ける全爪哇及びマヅラの主要土人農産物の収穫(失敗の部をも含む)面積は一〇、五九一・一六九「バウ」(即ち七、五一六・〇一四「ヘクタール」)であつて、一九二〇—一九二五年の平均より五・三%増加して居る。

次表は各種農産物の明細並に一九二〇—一九二五年の平均に對する収穫(成功せるもののみ)面積の變化を示すものである。

農作物	一九二六年度の収穫面積(失敗の部をも含む)「バウ」	「ヘクタール」	一九二〇—一九二五の平均に對する一九二六年の増減 「バウ」	「ヘクタール」 %

水稲	四一五、四七〇	三九四、八九六	＋	二六、三三一	＋	八三、四八四	＋	二九
陸稲	六八、八七三	四四六、三八七	＋	一〇三、七六九	＋	七三、六四〇	＋	一九八
玉蜀黍	二七六四、〇七三	一九六二、五三三	＋	四〇七、六四五	＋	二八九、二八五	＋	一七三
穀物合計	七、五四八、四一五	五、三五六、七三六	＋	六七七、六〇六	＋	四四五、四〇九	＋	九一
カッサーヴァ	九五七、九七〇	六七九、八三三	−	一〇六、一七〇	−	七五、三四三	−	一〇〇
甘藷	三三九、六三一	一七〇、〇五五	−	三七、五三八	−	一九、五三五	−	一〇三
馬鈴薯	三五、六六三	一八、二三三	＋	三、〇四三	＋	一、四四九	＋	八六
其の他	一七七、四九六	一三五、九六〇	＋	四五、四八六	＋	三三、三七九	＋	三四五
球根作物合計	一、四〇〇、七六二	九九四、〇五〇	−	八六、一七〇	−	六一、一五〇	−	五八
落花生	三七六、一〇〇	一九五、九三四	＋	五、四二一	＋	三、八四〇	＋	三〇
大豆	三四〇、〇五五	一七〇、三五五	＋	三、五九六	＋	二、五五三	＋	一五
其他の被穀作物	二九八、一五三	二一一、五八三	＋	二、五六六	＋	八、一八七	＋	四〇
被穀作物合計	八一四、三〇七	五七七、八七三	＋	三〇、五四三	＋	一四、五七九	＋	三六
主要食料作物合計	九、七六三、四八四	六、九九八、六四八	＋	五六二、〇一九	＋	三九八、八二八	＋	六一
土人煙草	一九七、六六一	一四〇、三七一	＋	一七、八八七	＋	一二、六九二	＋	九九
其他の土人農産物	六三〇、〇三三	四四七、〇九五	−	四九、三六八	−	三四、九七二	−	七三
總計	一〇、五九一、一六九	七、五一六、〇二四	＋	五三〇、六三四	＋	三七六、五九九	＋	五三

月報に依れば一九二六年に於ける水稲は二一〇八・五二〔illegible〕ヘクタール〔illegible〕四七・九七六ヘクタールが失敗した。

月報に依れば失敗の原因は次の様である。

a 疾病及び害虫に依り失敗せるもの九四・一〔illegible〕ヘクタール〔illegible〕六六六・七

八〇ヘクタール）即ち全失敗面積の四五％

b 乾燥に依り失敗せるもの九八、〇六七「バウ」（六九・五九三ヘクタール）即全失敗の四七％

c 洪水及び他の原因に依り失敗せるもの一六、三五〇「バウ」（一一、六〇三ヘクタール）即ち全失敗の八％

一九二〇年以來の本指數は次の如くである。

瓜哇マヅラに於ける全失敗面積（月報に依る）

年次	「バウ」	「ヘクタール」	植付に對する比率
一九二〇年	三二〇、二五〇	二二七、二六五	七・四八％
一九二一年	五八〇、四六六	四一二、九二七	一三・六九％
一九二二年	二〇六、八二七	一四六、七七五	四・六九％
一九二三年	一七九、八〇〇	一二七、六五二	四・一一％
一九二四年	一七三、八六五	一二三、八三三	四・九〇％
一九二五年	二七四、〇五三	一九四、四八一	六・二一％
一九二六年	二〇八、五三〇	一四八、九七六	四・七一％

第二期作の失敗

此の内此處に述べる價値のあるものは單に玉蜀黍及び被殻作物のみである。

	一九二六年			一九二〇—一九二五年の平均		
	「バウ」	「ヘクタール」	總植付に對する％	「バウ」	「ヘクタール」	總植付に對する％
玉蜀黍	六〇、六七七	四三、〇五九	二・一五	三六、九四八	二六、二二〇	一・五四
被殻作物	[illegible]	[illegible]	一・〇七	六四、四四一	[illegible]	[illegible]

水稻の產額

一八、一六〇ヶ所に於ける地租鑑定所の調査に基づいて瓜哇マヅラに於ける行政官吏の報告せるものに據れば、瓜哇マヅラに於ける水稻の總收穫高は一〇四、四一一、七九七擔（六四、四八六、〇八五セントナー（一〇〇瓩）と爲すことが出來、之れは一九二五年の一〇六・四五％及び一九一七—一九二六年の平均收穫高の一〇五・四〇％に當るのである。

一九二六年に於ける成功した單位面積上に於ける收穫は一「バウ」當り乾燥水稻米二五・一二擔で、植付面積一「バウ」當り二三・八八擔である。

米の產額　（一〇〇瓩セントナー單位）

年次	合計	成功せる一「バウ」當り	植付一「バウ」當り
一九一七年	六二、一六一、九〇五	二三・一四	二一・〇六
一九一八年	六二、九七〇、四六七	二一・五三	二〇・〇四
一九一九年	六七、四四八、七一七	二二・五九	二一・五六
一九二〇年	五八、七〇三、四四〇	二〇・三五	一八・六七
一九二一年	五一、〇一八、四五八	一九・一〇	一六・六一
一九二二年	六三、二七三、二八八	二〇・八七	一九・九三
一九二三年	八一、九八〇、四三三	二〇・九七	一九・九〇
一九二四年	六四、一九七、九九九	二一・三九	二〇・三三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二五年	六〇、五七、五四三	二〇・七	一九・三四
一九二六年	六四、四八六、〇八五	三一・八六	二〇・七八

其他の重要な土人農作物

一九二六年度に於ける産額見積は次の樣である

一九二六年

陸稻	八七一三、〇〇〇擔	（五、三八一、〇〇〇セントナー）
脫穀玉蜀黍	三三、二九六、〇〇〇擔	（二〇、五六四、〇〇〇セントナー）
カッサーヴ	八八、一九八、〇〇〇擔	（五四、四七四、〇〇〇セントナー）
甘藷	一七、三三一、〇〇〇擔	（一〇、七〇四、〇〇〇セントナー）
落花生（脫穀）	二、三一七、〇〇〇擔	（一、四三一、〇〇〇セントナー）
大豆（種子）	一、六一七、五〇〇擔	（九九九、〇〇〇セントナー）

・一九二五年

七、四四三、〇〇〇擔	（四、五九七、〇〇〇セントナー）
二六、八六一、〇〇〇擔	（一六、五八九、〇〇〇セントナー）
九二、九二九、〇〇〇擔	（五七、三九四、〇〇〇セントナー）
一五、三四三、〇〇〇擔	（九、四七六、〇〇〇セントナー）
二、一九三、〇〇〇擔	（一、三五四、〇〇〇セントナー）
一、七八〇、〇〇〇擔	（一、〇九九、〇〇〇セントナー）

（Het. Nieuws van den Dag. June 9, '27）

□セレベス島ミナハサ地方の現況

本文は現在セレベス島メナドに在つて、邦家の爲奮鬪の日を送りつゝある某氏より、調査課職員への來翰の一部である。從來彼地方の状況は詳かならざる所なるも本文は彼地現状を知るに適切なる者がある。卽ち玆に摘錄し讀者の參考に資する所以である因に某氏は、東京商大卒業後、久原商事に入り、永年同社甲谷陀及孟買支店長を勤めたるも、數年前同社を辭すると共に、一家を擧げてセレベスに渡航し今日に及んだ人である。

ミナハサの現在は日本の鹿鳴館時代に彷彿

ミナハサ地方は相變らず年を追うて開けて行きます。人口の急激な增加と、生産物の增加は依然として止みませぬ。住民も從て一年一年利巧になつて行きます。教育の盛な土地丈にそして丁度他の國と同じに、少し許り學校教育を受けるともう百姓をいやがります。開けない內は何處でもさうであるから不思議はありませんが、單にそれ許りではなく、こゝにも矢張り土に親しむものには、比較的に物質の惠まれ方は少ないのです。だから昔からの出稼ぎの風は益々著しくなります。丁度昔のアンボン人の樣です。軍人に官吏に、銀

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

行・會社員にと、風畦は勿論マカッサル方面、ボルネオ方面、又は船の上へと向つて行きます。男許りではなく、女も漸く其の風が生じて來てゐます。

六七年前はメナドですらも、洋裝の女は餘り多くはなかつたのですが、今日では殆んど全州到る處に斯んなものです。洋服が流行すると正比例して、出稼ぎする女も殖へて來ます。

生活程度は從て恐ろしく高くなつて來てゐます。其反面には生活難の片影も徐々と濃くなつて來ました。バース・コンツロールといふ樣な事さへ自然に考へて來る程になりました。德川時代の我國などよりも現代に住んで幾分でも世界の風潮を浴びてゐる丈變つた氣持を持たせます。

それから御承知の通り、ミナハサ人は非常に新奇を好む人種ですから、世界の風潮を眞似る事も割合に早いのです。單に產兒制限のみではありませぬ。これは爲政者が、野蕃人であつたアリフールにうまく基督教を教へ込んだが爲めに一層其傾向を著しくした點もあります。何でも和蘭人のすることと言へば直ぐに眞似るのです。

日常に用ふる會話も、此土地位和蘭語が入り込んで來た土地は、蘭領の他の地方には見られませぬ。それに又近年和蘭語の普及した事は驚く程です。白人系の銀行・會社の社員も、仕事の上では全然和蘭語のみを使つて居ります。一寸乘合自動車に乘つても、片言交りにやつて居ます。こんな風ですから、これから渡來する我國の同胞達は、是非共和蘭語を知らねばならぬ樣になります。私自身なども追々土着の支那人の富裕階級や、白人に知己が出來て來るに從て、痛切に其必要を感じて來ました。こんな風で此土地の住民は何でも眞似て居ます。ラードの組織などもどうにか運用して行くし、最近にはノオルクス・ラードに二名の議員を送りました。

日本の明治時代と言ふより所謂鹿鳴館時代もかくやと思はれるのが、現在ミナハサの有樣です。が土地が狹いのに交通が比較的開けて居る丈却て一般的です。やがては日本の樣になると、少しくハイカラな連中は自分の屬する種族に望みをかけて居ますが、果して彼等がこの先とも、吾々が踏んで來たと同じ道を踏んで行けるかどうか覺束ないと思ひます。矢張り其國の永い歷史があり、その永い間に出來上つた何物かゞなくては、そして木皮時代の野蠻から僅に百年でこ〱の間に、無我無中に飛び越して來たのでは誠に危つかしいと思ひます。新しい種族、元氣橫溢の民族として見れば、其將來に大に期待すべきものがあると考へることも又歷史の價値を無視する事も出來ぬことはありませぬが、しかしそれにしても今少しほんとうの人間をめやすにした教育でも施さぬ限り、如何に表面丈が躍進をつゞけても、行きつく先は知れたものと思ひます。併し何れにしても一寸注意と苦心とに値する人種には相違ありませぬ。

そこに行くと所謂イスラム人、即ちイスラム教徒である馬來系の種族は、過去數百年の文明を持つて居るだけ、たとひ等しく和蘭語

ドにあると言ふても違つた處があります。少くとも彼等の氣概は幾分買つてやるだけの値打があります。勿論全體としての彼等は、矢張り、米人の目に見た通りの點が著しく目につきますが、新しい彼等には又別に祖先傳來培ひ來つた一つの氣概が、追々と頭をもたげて來てゐます。只彼等の信ずる宗敎に依て彼等の進路を妨げられては居ました。しかしこれも新しい土耳古が生れかゝつて居る樣に、其他のイスラム敎徒の再生といふことも見逃してはならぬ點であります。かくて和蘭も中々なまやさしい事では、これ迄の夢を續けて行くことは出來兼ねると思ひます。が亦一方、そこは過去三百年間どやされ馴れて來てゐる頭の持主相手の事ですから、案外切り拔けて行ける樣にも思はれますが、この邊は尙充分研究して見る必要があると思ひます。

支那人に至つては全く相違ありません、一寸見ると全くわけのわからぬ人種です。矢張り何だか人の軒を借りて居ると言ふ考が去らぬらしいのです。單に本國產れの支那人ならばまだしもですが、土着の支那人、數代十數代以前に來た支那人でも矢張り同じ樣に借家氣分で居ます。少く共、經濟上の事でない限りは除外例はありますが全く風馬牛です、あきらめがいゝと言はうか實にをかしい樣です。尤も幾代住んで居ても矢張り支那人として特殊の待遇を受けて居る以上、そんな氣持にあるのは無理もないが、さう考へて來ると矢張り和蘭のやり方はうまいと言はねばなりませぬ。

在留支那人の現況

扨此度の支那の動亂……と申しませうか……は遠くにはなれてゐるくに詳報も見る機會がないから、どんなになることかさつぱり見當がつきませぬが、どうも今迄の軍閥の競り合ひとは面目を異にして居る樣に思はれてなりませぬ。何だか今度こそは、ほんとうに新しい支那が產れて來はせぬかと言ふ氣がしてなりませぬ。在留支那人の氣持も、今迄の動亂に對するものとは大分違つて來てゐる樣です。尤も土着の支那人は借家根性のあるくせに、本國の事にはどうも矢張り呑氣で居る樣ですが、本國生れの支那人は確に氣持が餘程緊張して居ます。勿論今度は偶然にほんとうの南北の爭と言ふ形になつて居る上に、南方派が勝に乘じて進出するので氣乘がして來て居る爲めもありませう。作然革命以來十數年の間に、先輩者が色々畫策した効果が、一部分ではあるが確に表はれ來た結果でもあると思ひます。兎に角こう言ふ氣運がつくられ、また南洋在留の支那人が其氣運をのみこんで來たことは間違はありませぬ。日貨排斥とか何とかで所謂大衆運動の手習をやり、其爲めには彼等も少なからざる月謝を拂つてはゐますが、それが今日幾分でも支那人の全體としての運動に統制が保たれる原因にもなつて、今日見る樣に新しい氣分を生じて來たものと思ひます。

本國に於ける此變動が、事實新支那の誕生を將來する事にでもなれば、南洋在留支那人の目のつけ方が一變して來ると思ひます。支

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

那自身内部に此苦しさが出來て來て、國際的にも其位置が變つて來たならば、彼等が依然借家人根性で居るかどうかは確に見物です、只餘し此支那人全體としての運動に對して、障碍となる可きそして可なり有力な故障となる可き色々の條件もありますから假令支那本國がどうなつても、直ちにそれが南洋の天地に反影して來るものとは思はれませぬ、只大體の傾向として變化が豫期せられても、先第一に土着支那人と本國生れの支那人との間の氣持感情の點で中々うまく一致が出來兼ねるものがあるに相違ありませぬ。土着人の全部が本國の言葉を知らず、且つ彼等は稍もすれば新來の同胞を輕蔑する傾向があります。只取引上では餘程充分の了解と連絡がとれて、如何にも同國人としての提携が堅い樣に見えるけれども、それは商賣をやつて居るものは支那人以外には殆んどないと言つてもいゝ位であるから、勢ひさういふ風に見える丈である。假りに日本人で同じ樣にやらうと思へば立派にやつて行ける。卽ち支那人同志と同じ樣に信用もして呉れ、融通もして呉れます。何も變りはありません。一旦彼等が日本人を信用すれば、却て支那人同志よりは以上に信用して呉れ、どんなにでも都合をつけて呉れます。

又福建人と廣東人との間にも、言語の不通と言ふ障壁があります。職業が殆んど別であると言ふ點もあります。かくて御互の間が兎角圓滿を缺くと言ふ位ならばまだしも、丸きり他人です。一方に支那統一と云ふことは、本國の不斷の動亂に懲りてゐる彼等にとつて、望ましき事として祈つて居る點はありますが、是等の障碍を越えて行くと言ふことは、事實問題としては中々困難であらうと思ひます。

支那人と土人の關係・土人に採つて支那人は蛭

偖て今度は支那人と土人との間も考へる値打があると思ひます。言ひふるされて居る樣に、支那人は彼等土人にとつては全く蛭の樣なものかも知れませぬ。これは確に當つては居ますが、この蛭も往々にして失敗する事があります。近頃の土人は昔乍らの土人ではありませぬ。却てあべこべに此蛭の血を吸ふことが少くありませぬ。御承知の通り土人は借金をしたり、物品を掛で買つたりする事が好きですが、近頃は始めから返さぬつもりで借りると言ふ、質のよくない者が段々殖えて來ました。政府としては可なり債權者の保護に注意して居ますが、それでも中々手におへぬ債務者があります。是等の爲に年々少なからざる支那人雜貨商が倒產の危に會ふ事があります。それからこれは特に此地方に著しい例ですが、近年年毎に賣買利益率の低下する事です。一は支那人同志の競爭にもよりますが、土人の買ひ方が益々巧妙になつて來た爲め、止むを不得競爭値段を出さねばならぬ樣になつたのが、最も主要な原因であります。かくて支那人も中々儲つてばかりは參りませぬ。それからまた土人の小商人の增加と言ふ事も中々馬鹿に出來ぬ勢となつて來ました。まだ〳〵今日では實勢力に於ては言ふに足らぬものですが、決して輕視は出來ませぬ。此點は今後我々日本人の南洋に活動する上に於ても、餘

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

程注視して居なければならぬ問題だと思ひます。

大體の傾向が斯樣ではありますが、經濟的勢力の上から見て、未だ支那人の勢力は強大と云ふことが出來ます。とても近き將來これと云ふ變化が來やうとも思はれませぬ。土人からは一般的には嫌はれもし、輕蔑もせられて居ながらも、大磐石の上に立つて居ます。

邦人の無資本渡航は見込みがない當局に於て有力な指導機關の設置が必要

大體こんな工合でと申しても何を書いたか自身ながらはつきりせぬ位ではありますが、兎に角南洋も矢張り年々變りつゝあります。從て此地方を志す吾が同胞も、往時をのみ夢みてはならぬのは勿論でありまして、一攫千金は以ての外、なまやさしいこれ位の決心位ではとてもだめだと思ひます。母國に於ける生活難に對して、中途半端に鬪つて見た揚句、大した決心もなく人並に永住する氣持でやつて來た位で、安々と生活の安定を得る樣な向そんな南洋ではありませぬ。言葉を換へますと、生活戰の落伍者の收容所として取扱つて貰ふ樣な南洋ではありませぬ。成る程母國に於ける生活難が、同胞を驅つて海外移住を企てさすに違ひはありませぬが、少く共其生活難から逃げると言ふ心持でなくて、自分の進む可き路を海外に向つて開いて行くと言ふ意氣であらねばならぬと思ひます。

然し如何に決心しても、現在の南洋に無資本ではうつかり來られませぬ。どうしても、たとひ大資本でなくても少しはまとまつた資力なしでは、何をやるにも困難です。若し無資力の者でも行ける樣にと言ふならば、そこには政府なり、民間に於ける相當有力な指導機關がなくてはなりませぬ。國費多端は、我國の常套語でありますが、只常に國費多端にばかり嫁して逃げられても困ります。又民間の有力者に、單に營利ばかり考へて居て貰つても困ります。少しは社會奉仕的にも働いて貰いたいのですが、然し私は只政府や民間有力者のみに註文を出さうとは思ひませぬ。無資無產で渡航して又は企目する人々にも、餘程の決心を促さればならぬと思ひます。そして茲一何等かの指導機關の出來る曉が生じたとしても、これは餘程其組織に熟考を要しますし、又其實行に際して注意が必要と思ひます。先年私自身補助を願出でやうと思ひましたが、今日となつて見れば誠に無謀な次第だつたと恥入る次第であります。南洋を志すの決心に於ては、私は他の何人にも讓らぬ確信をもつて居ますが、其實行方法に於て到底貴重な國費の補助を得るの資格のなかつた事を思ひます。只今であれば、私は相當の自信を以て御願が出來るとは思ひますが、然し差迫つて左樣な御願をし樣とは思ひませぬ。若しこゝに資金があるとすれば、それを有動にそしてなる可く多くの人々、多くの無資力の人々の活動を助ける事の出來る樣に使用する方法はないかと常に考へて居ます。

中產階級の移住奬勵について、海外移住組合法なるものが發布せられる樣にも聞いて居ますが、果して然りとすれば、最も機宜の處

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

置と政府當局に向て感謝し度いと思ひます。又勿論目指す土地は、ブラジル位なものであらうと思ひますが、南洋も亦全く其恩澤に浴する事がない事もあるまいと信じて居ます。只々聯合組合に主腦となつて仕事をなして下さる人又實地に當つて移民組合を指導する人々に其人を得て充分の効果を擧げていたゞきたいと思つてゐます。

兎に角何等かの方法を以て、同胞の海外發展が指導せられ、奬勵せらるゝものとすれば、吾セレベス島を決して度外視して下さらぬ樣に切に祈る次第です。御承知の通り、本島はマカッサル附近及南ミナハサ地方を除く外は、殆んど未開の狀態と申しても過言ではありません。然も土地肥沃で氣候も適順の地方が多いのです。交通の便は漸く備つて、メナドを中心とし東部・中部・北部地方の航路は近時小汽船又は發動機船の著しい增加の爲に、非常に發展して來まして、月一回の母國からの定期船に連絡することが出來ます。殊に西部モゴンド州は、正に開發の緒について來ました。先年御供をして參つたモトリン(アムランの奥地)から、前面に見えた大傾斜地を通じ、モゴンド州に入つて其首府コタモバグを結ぶ)自動車道路は兩側から各二千人の人夫を督して開發に着手せられて居ます。恐らく來年乾期には完全に開通する事となると思ひます。

有望なる隣州モゴンドウ・事業着手は現在が絶好の時機

例の大傾斜地からモゴンド州に入るあたりは非常な緩傾斜の一平地であつて、數千町歩のまとまつた土地が、何等の障碍なしに開拓されることが出來るのですから、自動車道路の開通と同時に、蘭支人の着目するものが激增する事と思ひますが、御承知の通り我在留同胞は悉く無力であつて、此絶對の機會に乘ずる事は絶對に不可能で、遺憾至極に存ずる次第であります。若しこゝに内地の有力な資本家が、國家民族の將來を慮つて極端な營利觀念からはなれて投資して呉れたならば、將來其事業の進展は勿論、一般同胞の幸福は至大なるものがあると確信して居ます　モゴンド州は蘭支那人により出願せられた(エルフパクト)地點で、懸案中のもの百八十筆を算すると言はれて居ますが、單に兩國人のみならず昨年以來其首府を去る約二十二基米の地點に始まつて、二ヶ所に涉り約三萬ヘクタールの大地積が、米蘭の共同經營として開發せられんとし、既に直接總督府を通じて内許可を得、盛んに實測に從事して居ます。米蘭共同出資と申しても、其大部分の資本が米國資本家に依て投ぜられて居ることは、何人と雖も疑はぬ所であります。

今や開發の機運に向つて居るのは、只にモゴンド州丈けではありませぬ。トミニ灣方面でも、ゴロンタロ、パリギ、ポリを中心として も亦既に機運は動きつゝあります。そして他國人が着々活動を開始せんとするのを目のあたりに眺めながら、之に先んづる事の出來ぬのはまだしも追隨して行くことすら出來ない吾々在留同胞の意氣地なさは、或は内地の人々から見ればはがいゝ樣にあるかも知れませぬが、しかしこれは無理のない事です。腕一本を資本として渡來し

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た吾々に對して、餘りに多くが望める筈はないのであります。しかし在留同胞として、此機運に氣がつかずに居たとしたならば、それこそ如何に非難せられても申譯の言葉がないのでありますが、此無力な在留同胞でも決してさう呑氣ではなりませぬ。他國人と併進出來ないまでも、一足でも隨いて行き度いともがいて居ます。何とかして今少し堅實な足がゝりを將來の爲に築いて置き度いと、出來得る限りの努力は決して惜しんでは居ませぬ。それは近年モゴンド州を志して、ミナハサ地方からの移住が目に立つて増加したのでも知る事が出來ます。單にこつちの地方が不景氣であるから、逃げ出したのだと一口に言つて仕舞ふては、それは餘りに氣の毒です。又一時の流行だと片付けてしまふのも餘りに此人々を見くびり過ぎた言と言はねばなりませぬ。少くとも今日では、昔の樣な腰掛尻で事の成就する事が困難にもなつたからでもありますが、兎に角永遠の安住の地を南洋の天地にもとめる氣持は、確かに昔の人の想像も及ばぬ程に濃くなつて來て居ます。此氣持が、まだ土地に餘裕のある地方地方を探しもとめて、移住して行く樣に仕向けるのです。そして此氣持は明治以來海外開展が高潮せられる樣になつて此方、有識者が聲を枯らしてさけんだ點であります。此氣持が出來たと言ふことは、從て當地方に於ける同胞の根據が、漸を追ふて安定するの基であります。私はこちらに渡つて以來、常に墳墓の地を定めると言ふ事は、會ふ人毎に明言して居ます。最初は一笑に附する者すらありました。否今日でさへほんとに其氣で居るのかと不審に思つて尋ねる人すらあります。其度毎に私は申して居ります、何故そんな事を尋ねるか、折角こゝまでやつて來て中途半端で歸ると言ふことを考へて居る人こそ不思議でならぬと答へて居ます。そして私は私の兩親や母國に居る病弟の事を考へる以前、私の周圍にあるものは皆南洋を中心にして配置して居ます。私は長男も中學を中途で退かせて呼び寄せて居ます。弟達の一擧手一投足も、南洋を目やすにしてやらせて居ます。私は私自身の此決心が決して人々を感化したと申す程、自惚の強い男ではありませぬが、少く共私と親しくして居る人達丈は、今日では全然私の考と同じ考になつて呉れて居るばかりでなく、既に實行に着手して居ます。只口先ばかりで實行の伴はぬのは、私ばかりとなつて仕舞つたので誠に面目次第もないと思つて居ますが、然し私は此有樣を見れば、自身自らの事の樣に悦ばしく思はれます。

モゴンド州に活躍しつゝある邦人

其人々の名前を擧げましても、尊堂には最早御記憶にないかも知れませぬが、第一人者は林商會の老林氏です。(常時ケマ道に借椰子園を經營せし人)最早六十歳を超え、一粒種の嗣子を失つても、尚此意氣のあるは最も尊敬に値します。同氏は既にモゴンド州首府コタモバグの店舖を閉めて、此所から九基米のモダヤクにある假許可を得た百バウ程の土地の近くに移つて居ますし、曾復氏も營業を

やめて、最近に同地に移住しました。同氏も百バウ程の土地を得、（林氏と續きの地）巴商會の一員原氏も、巴商會より分離して只今族裝なとゝのへて居ます。十バウばかりの土地を手に入れて居ます。此外にも四家族程同じモヌヤクに居ます。皆此人達は珈琲栽培が目的であります。植付後三年目から収益の見られる珈琲は、資力の薄い人にとつては最も好都合です。私は若い經驗から確にこれはいゝことゝ信じて居ます。必ず此人々は相當の成績を擧げると思ひます。此他巴商會の他の一員宮井氏もモゴンド州の北海岸に數百バウの出願をし、田中鐵次と言ふ人も二百バウ程出願してあります。不日假許可の來る事と思ひます。また奈良縣出身の上田勝造氏もトモホンで蔬菜栽培で經驗を得、近い將來にモゴンド入りの豫定で、令兄夫妻を呼び寄せ。若い者を二人呼んで居ますが、不幸病氣に襲はれ、目下靜養中であります。が幾分の資産もあり、小作爭議に惱まされて居る事でありますから此人達も何れ決行するに至りませう。私自身は、一弟を原氏に托する事にしました事既に申述べた通りで、此他に例の栗本氏も自動車營業は既に一昨年廢業し、精米の方も競爭の結果失敗に歸し、六十を越した老年でモゴンド落ちをやる事になりました。其慘憺たる狀は、誠に御氣の毒に絶えませぬ。

私も何れは土地に親しむ身になり度いと思ひます。私の理想として居る樣な商賣と申すものは、とても夢想に過ぎませぬ。只もう修羅道の苦みをして富を得るより外に道を知らぬと言ふのでは、氣の弱い者にとび込める處ではありませぬ。根が百姓の私などの身を置く可き境涯ではありませぬ。

其他の在留邦人狀況・造船業が有望

只今の處先づ斯樣な有樣ですが、メナドに日本人の影を見る樣になつて以來の元老とも申す可き栗本氏が、先づ前述の通りの始末になつたのに加へて、岡本氏も捲土重來の意氣を以て再渡來を致しましたが、無謀な汽船（百五十噸のスチームエンジン附帆船）の廻航で今日進退谷まると言ふ窮狀に陷つて居ります。山田氏も昨年養嗣子八田氏と喧嘩別れをして、八田夫妻が内地に歸つて以來、漸く經營も困難になり、急に衰へて愈々メナド本店及アムラン支店（昨年末ストツクを捌く爲に開店）を競賣に附せねばならぬと言ふ處まで差迫つた狀態に立至りました。當地の三元老、揃ひも揃つて此體爲には、日本人一同の爲めに實に痛心の至に耐へませぬが、これも見樣に依つては自然の勢力とも思はれます。勢盛なれば天にも勝つかは知にませぬが、一旦の破綻を見るに於ては、天の理は爭ふ事は出來ませぬ。三元老の末路について私は非常に同情いたしますと同時に、其こゝに至つた原因について、後進の吾々がほんとうに眞面目に考ふ可きものゝある事に、在留同胞が充分反省して貰ひ度いと切に望んで居ます。他人の不幸を喜ぶと言ふさもしい心でなく。

此外の在留諸氏には大した變りはありませぬ。林商會は其營業を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

タルナに本店をもつ二葉商會（正木豐勝、柳井稔）に讓りました。林の支配人小路口氏は、目下物產輸出を專業として居ますが、今日の內地の經濟事情に制せられて、大した事は出來兼て居る樣です。

林を引き受けた二葉商會は正木氏がタルナ（サンギ島）から出て來てやつて居ますが、資金不足の爲めに充分伸び兼ねて居ます。あだかも當時不況の折柄で尙更ですが、勿論やつて行く事は出來ます。

前にも一寸申述べました通り、當地は目下海運熱が恐ろしく盛になりました。先年南洋丸を廻航した日本人は失敗しましたが、之を買受けた支那人は大分活動しました。また野田金一氏に依て建造せられた「かなか」丸も、シヤオ（サンギ諸島）の土人公司に渡されて以來、非常な利益を擧げました。こんな事が動機となつて、幾分熱をあほつて居る矢先、日本人造船大工が渡來し、支那人から註文を受けて昨秋末進水した船（七十噸のモーター船）の船長機關長を日本人がして就航して居ますが、其の所屬會社の株元が全部株主と言ふ樣な關係から、これ亦非常な成績を擧げて居ます。こんな風で益々造船、買船熱が盛となり、大岩造船所は其後沖繩縣人注文の漁船や、和蘭人のランチ、山田氏が自動車の古エンジンを利用する爲め船體を建造すると言ふので、それを引受けるやら其他で、當分は仕事に追はれると言ふ有樣です。

一方ではカナカ丸を所有する公司でも、野田氏の後任となつて來て居た事がある、田中鐵次氏の再渡來を幸として、七十噸のモーター船の新註文を發し、これ亦本年始めからメナド附近で建造中です。島永商會でも此造船所の方に、二十噸のモーター船を建造させる事になつて居ます。これで見ましても、こんなメナド位の小都會としては、そして今日まで海運を土人のブラオに委して居た土地としては、餘程の變化であります。岡本氏も此機運を見て、中古船の廻航を思ひ立つたのでせうが、昔風の考が厄をなして今日の苦境に陷つた譯です。新しい時代を今少し解して居たならば、こんな冒險はやれなかつたらうと思ひます。

然し現在の狀態では、まだ海運熱は衰へる事はありませぬから、中古船でも相當の利益で賣船するつもりならば、廻航するも見込は立ちますが、支那人を荷主とする關係上、日本人の經營ではとても見込はありませぬ。卽ち賣船か、當地で造船して賣るかに止めて置くならば、當分は利益がある事は確實であります。

メナドを中心とする海運の將來及日本品の輸入狀況

之に對してK・P・Mも、メナドを中心に小型船（百屯內外）四隻を配して、小船主をつぶしてやる計畫と言ふ事も噂せられて居ますが、果して實現するか今日の處大いに疑問とせねばなりませぬ。

何れにせよ、メナドを中心として北はサンギ諸島、東はタルナテ・ハルマヘラ・バチヤンより、南トミニ灣方面及ペールー島に至る航路

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は、餘り違からぬ將來に異常な發展をすると思ひます。西部も恐らくドンガラ附近までは、當港の勢力範圍とするに至るでせうが、其時に至つてK・P・Mが如何なる態度に出づるか、一寸面白い問題でありますが、一度そこまで進めば、K・P・Mと雖も獨立の夢を續ける事は絕對に不可能です。又貨物集散の上から自然分業となるの外はありませぬ。

メナドの對日貿易の上から申して、此新機運は非常に有利であります。裏南洋航路の開始が、對日貿易に一新紀元を畫しまして、開始當時直接此船路を利用するものは、南洋貿易を始め、林（今は二葉）山田の邦人貿易商の外四五の支那商店で、隔月僅かに百噸か百五十噸の輸入を見たに過ぎませぬが、年を經るに從て漸く堅實の發展をして、昨年度は臨時船を仕立てる事四回に及びました。時間の短縮と運賃の低下（まだ高率ではありますが、爪哇廻りに比すれば結局廉い率です）と、積換による損傷を減ずる等の利益があるのが、此航路の強味です。斯樣にして日貨の輸入が數量に於て增加すると同時に、品種に於ても增加して居ます。最早餘程特別の品でない限り、工業生產品は、擧げて日本品の供給に待つと言ふてもいゝ程になりつゝあります。今日までセメントかビールかを除いては、日本品に振り向く事を嫌つて居た和蘭商中の有力者モロクセ・ハンデルス・フエンノートスカプの支配人の渡航を見て、綿布の取引を始め其他モールマン・デレクス等追々日貨の輸入を試むるに至りました。只目下の母國經濟界の變調が、充分根底ある取引を彼等に許す程には立至りませぬが、將來は必ず相當彼等の此方面に於ける發展を覺悟しなければなりませぬ。こうなつて來れば、邦人諸氏も褌のしめ直しをやらればなりませぬ。日貨の發展と邦人輸入商（當地の）の發展とが反比例する樣では心細いが、若し現狀を以て推移すれば、單に杞憂とのみは申されませぬ。こゝにも何等かの方法を講ずる必要があります ある程度の成算ありとは申し乍ら、これも資金を要する事であるし、先憂ふべき前途と申した方が、適當と言ふ有樣です。

兎に角こうして、對日貿易に於ての發展を期し得る次第でありますが、當地の海運熱の勃興に依る、商業上の勢力範圍の擴大が、併せて此勢を助長するの甚大である事をも期待して居ます。

それから所謂國內商業の見地から申しますと、前にも申述べた通り支那人との取引關係は、日本人の素質が向上すれば向上する程、容易簡單になります。そして只辛棒強い事を除いて大した取柄のない支那人を向ふに廻しての競爭ならば、一決して恐しい事はありませぬ。乍然現狀ではまだ困難でありますと申すのが、其支那人の信用を得るまでの經路を如何にして辿つて行くかと申す事です。そしてこゝにも資本あり、また有識者の指導を必要として居ますが、何れこんな問題については更めて申述べます。【余り下らぬ事を長々しく申し上げて、御退屈の事と存じますから、此位にして擱筆いたします。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英領印度

□緬甸の油田

緬甸の油田は、國の中軸を形成する向斜盆地の中央附近を北から南に縦走する長い線上に存在して居る、換言すれば油田の重なるものは(イ)該盆地の中央附近と、(ロ)向斜盆地の中の緩徐な背斜褶曲とに存在すると云へる。比較的重要でない油田は六箇所ばかりあるが何れも、(イ)盆地の中央から僅に離れてゐるか、(ロ)高く褶曲せる構造又は不規則な構造上に在るかどちらかである、次に各油田の概要を記して見やう。

(一) インドゥ油田 (Indaw)

本油田は、凡そ十二三年前印度・緬甸石油株式會社の地質學者が發見したもので、最初の産油は一九一八年である。地質學上から見ると該油田は緩傾斜の開豁な圓頂丘であるが、今日迄の産油は淺い砂層から出たものであるから其の産油狀態は頗る有望である。目下深掘油井は試みてゐるが掘鑿困難なのと多量の瓦斯に惱まされて、今の處では不成功の模樣である。

インドゥは乾地帶の北方に位する上緬甸の濕地帶に位し、衞生狀態には隨分害がおれるが、熱病に對しては積極的手段を講じて其の防止に努めて居る。同油田の産油狀況を數示すれば次の如くである。

年次	産油量「ガロン」	年次	産油量「ガロン」
一九一八	四七三、八〇〇	一九二二	一、三二〇、九一四
一九一九	一、〇八五、〇二〇	一九二三	一、三二一、六六四
一九二〇	一、〇三三、七六六	一九二四	一、四七四、八六八
一九二一	一、一八三、七六三		

(二) エナンヤト及びシング油田 (Yenangyat—Singu)

エナンヤトとシングとは、南北約三十哩の一つの長い背斜の一部を形成して居る、從つて地理上から言へば、此二つは一緒にして記すのが至當である。イラワジ河に臨みエナンヤト油田は北にシング油田は南に在る。

エナンヤト油田の産油額が急速に減退されて居ることは、次表の數字に依つて伺はれる。

年次	量「ガロン」	年次	量「ガロン」
一九一七	六七〇、〇〇〇	一九一九	四、二三三、八六七
一九一八	四、七三九、六八〇	一九二〇	三、一七六、三二一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二一	二、五一〇、五三三	一九二三	一、七〇〇、〇三五
一九二二	二、四二三、四一六	一九二四	一、五九四、五一七

シング油田は今尙數多の油田を有し、且つ其の産油は增加せんとする傾向がある。有望な含油區域は、現存する二つの油田の中間にあるイラワジ河の河床に存在し、目下此鑛區に對する開發手段を講じて居るが、河の淺い處は河原石の增壁に閉ぢられて居るので、掘鑿は適當に開拓された河岸に行はなければならぬ。所謂ラニワ設計(Lanywa Scheme)は此の掘鑿計畫を指すのであつて、增壁がイラワジの對岸ラニワ村附近から其の端を發し、シング油田に達してゐるからである。シング油田の最近産油量は左の通りである。

年次	量「ガロン」	年次	量「ガロン」
一九一八	六二、〇五五、九八二	一九二二	九六、一〇七、九九八
一九一九	九三、六六六、五〇六	一九二三	八〇、四七六、四七四
一九二〇	九五、二三六、七七三	一九二四	七九、九六八、四三〇
一九二一	一〇四、一六七、七六九		

一九二二年及二三年に於ける産油量の減少は主として勞働爭議に起因するもので、特に二三年は大罷業に依るものである。

此の數字は英國油田の目覺しき産油を期待する人々に取つて、或は落膽せしむるものであるかも知れない。併し此産出量は堅實にして眞に科學的な採掘と言ふ我が石油政策 世界に於ける英國石油事業の一大特長であるが と相一致するものである。

(三) エナンヤウン油田 (Yenangyaung)

エナンヤウン油田は、緬甸の第三紀層盆地の恰度眞中に位置して居る。其の周圍數哩の間は美事な水源地であることも著明な一事である。石油は凹地のペグ岩から湧出するのであるが、其の容量から言へば世界有數の油田と稱し得る。一九〇〇年以來の産油量三、〇〇〇、〇〇〇ガロンに上り、而も僅か一平方哩餘の鑛區から出油したものである。

政府は、エナンヤウン油田の中ベメ(Beme)及トゥインゴン(Twingon)と呼ぶ二ヶ所の除外地を棄權して、世襲の土人所有主トゥインザヨ(Twinzayo)に提供した。是等の油田は土人が手掘をした油井からでも今尙幾分の石油が得られる樣な狀態であるが、トゥインザヨは殆ど全部の油井を大石油會社に賣却して終つた。油井と油井との最短距離は六〇呎である。トゥインザヨが初め要求した一油井の賣價は五〇留比以下であつたものが、ヂリヂリと上つて五〇、〇〇〇留比になつた有樣で、是迄非常に烈しい競爭があつた。現今でさへ尙猛烈に競爭をされて居るが、價値ある油井は殆ど殘つて居ない。

除外地以外の油田(緬甸石油會社に屬す)は堅實なる發展をなし、且石油鑛區に數個の油井を增設したことにより、將來幾年か其の産出を持續するものと見られる。加ふるに最近主産油區から一哩計り離れた該油田南部に於て、約三千呎の深度で油層に逢着した。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本油田の産油量は次の通りである。

年次	量「ガロン」	年次	量「ガロン」
一九一八	二〇三、六〇八、〇四三	一九二二	一九七、四一、四九三
一九一九	一九〇、三三二、〇七七	一九二三	一七五、一五八、七三一
一九二〇	一七六、二八五、〇四八	一九二四	一八一、六三六、七三九
一九二一	一八四、四三〇、一四一		

(四) ミンブ油田 (Minbu)

ミンブ油田はエナンヤト及びシング油田と同じくペグ岩よりなる長い油田の一である。油田としては實際に重要なものでなく將來に於ても亦夫れ程期待出來ないものと思はれる。

露出したペグ岩の大部分は、比較的深成の頁岩であつて、含油不能のものである。上部砂質累層は含油層であるけれども、殆ど全田を通じて削剝されて居る。

現に出油しつゝある油田は次の四區である。

(1) ミンブの北にある大褶曲北部の北に傾斜せる隆起部の上層から出油するもの

(2)(3) 大褶曲の中央附近に隆起する二つの穹窿狀地質構造があるが其のずつと下層にある含油砂質層から出るもの

此二つの地質構造ん普通にパランヨン (Palanyon) 及びエタヤ (Yethaya) 油田と呼んで居る。

(4) 大褶曲の南端で北方に傾斜せる隆起の下層砂層から出油するもの(タガイン又はミンラ Tagaing or Minhla 油田)

第(1)(4)の場合は何れも傾斜度の變化に起因して石油が一種の窪地に蓄積したものである。

ミンブ油田の油井は、大部分二、三百呎の深度に達したのみであり且實に十四年の長き間絕えず吸油して來たのであるが、今尙每日少ガロンの石油を産出してゐる。

現在最も齊一なる産油をなしてゐる油田は、エタヤ及パランヨン油田であつて、タガイン油田は全然採算不能の狀態である。

ミンブ、パランヨン及びエタヤ油田の産油量は左の通りである。

年次	量「ガロン」	年次	量「ガロン」
一九一四	一、六八三、一九〇	一九二〇	三、八二五、一九八
一九一五	二、三二六、二〇七	一九二一	二、七〇六、八三二
一九一六	三、〇四三、五四一	一九二二	三、九四〇、四一六
一九一七	三、四六八、三八六	一九二三	三、九一五、一四〇
一九一八	四、八三六、七三五	一九二四	三、八九九、〇四四
一九一九	四、四三三、三六一		

備考　右三油田はミンブ區に含まれ、其の産油量は政府の統計に別記されて居ない。

タガイン(ミンラ)油田の産油量は左の通りである。

年次	量（ガロン）	年次	量（ガロン）
一九一四年	三三,八三六	一九一八年	六三,〇〇〇
一九一五年	二五,九二〇	一九一九年	一二三,七六四
一九一六年	二五,〇〇〇	一九二〇年	九一,三三九
一九一七年	三〇,〇〇〇	一九二一年	六六,三七三
一九二二年以後不明			

（五）　パドウクピン油田（Padaukpin）

ペグ岩は南部に下るともつと粘土質となり一層深海成層となる。其の最上層は特に粘土質であつて含油性に富んで居るが、ずつと下層は砂質累層であつて局部的に含油する者である。是等砂質累層の一は、パドウクピンの緩かな卵形圓頂丘に露出して居る。頁質の地質構造であるが、果して石油層が可なりの厚みを有するか否かは疑問である。

本油田は、一九二〇年以來印度—緬甸油田株式會社の手で開拓され一九二二年三月七日から初めて出油した。會社の記錄に依る産油量は次の通りである。

年次	量「バーレル」	年次	量「バーレル」
一九二二年	一三,五三四	一九二五年	一四,〇〇〇（略數）
一九二三年	一六,〇七九	一九二六年	一七,〇〇〇（豫想）
一九二四年	一五,二〇八		

備考　右産油量は重油の揚油量であるから、政府の統計に現はれた産油量（鑛山使用税は此産油量に對し徴收する）より多量である。

（六）　ヌガラインドウィン油田（Ngahlaingdwin）

此の油田は未だ踏査中のもので、ペグ岩の細長い褶曲の南端に存在する。今日迄鑿井は成功せず作業を中止した。

（七）　エナンマ油田（Yonamma）

エナンマ油田はビルマ油田中孤立した注目に價する小油田であるが、皮層調査に依ると葉状粘土及び砂よりなる累層の眞中にある含油砂層の露頭であるらしく、二十度乃至二十五度の齊一な東方傾斜の單斜を形成して居る。或一部の人は是等の地層は之と同時代若くば夫れ以前の時代に屬する褶曲岩脈を越えて西方に突進して居り、且油は隱れた背斜から出るものと信じて居る樣である。けれどもそんな地質構造の意想に對して、緬甸を熟知する地質學者の多くは到底首肯し得ざる所である。

露出した石油の滲出帶を辿ると、其處に明確な二帶があり其の長さ約四十哩に達して居る、一はペグ岩の基脚に近く他は始新期の高處から二、〇〇〇呎乃至三、〇〇〇呎の下層にある。故に單斜の下部に他の油礦が存在する樣にも思はれる。併し其の油礦の位置を定むるに足る如何なる徴候も見付からない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

エナンマ油田は印度－緬甸油田株式會社の開拓したもので、其の産出は一九二二年一月十二日吸油作業開始以後からである。

年次	量「バーレル」	年次	量「バーレル」
一九二二年	五四、二九五	一九二五年	三七、〇〇〇（略數）
一九二三年	三六、六四九	一九二六年	一七、〇〇〇（豫想）
一九二四年	三三、八五四		

備考　右産油量は油井揚油量で會社の記錄するものである。ハドウクピン及びエナンマを包括するタエットミヨ（Thayetmyo）區に對する政府の統計は左の通りである（タカインより産出する少量をも含む）

年次	量（ガロン）
一九二二年	二、三一九、八二五
一九二三年	一、八一八、五八四
一九二四年	一、七一七、六五二

（八）　アラカン沿岸油田（Arakan）（[illegible]）

アラカン沿岸には數種の褶曲細密な背斜があるが、之に石油を含蓄して居る。現在採掘權は凡て土人に屬し、其の採掘法も土人獨特の方法であつて、産油は次第に減退し、一年五〇、〇〇〇ガロンを出でない（一九二四年の産出量は二一、七一四ガロンであつた）。（ラングーンギヤセツト、一九二七、二、二一）

其他

□護謨生產及消費高豫想

Symington & Sinclair 商會發行世界市場年鑑所載の過去二ケ年の護謨生產高及消費高の概算及一九二七年の豫想を示せば次の通りである。

生產高（單位噸）

生產國	一九二五年	一九二六年	一九二七年
馬來	一九八、〇〇〇	二九四、〇〇〇	三三〇、〇〇〇
蘭領東印度	一九〇、〇〇〇	二〇八、〇〇〇	二五〇、〇〇〇
錫倫	四二、〇〇〇	五九、〇〇〇	六二、〇〇〇
サラワク	八、五〇〇	一〇、〇〇〇	一一、〇〇〇
英領印度	九、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一二、〇〇〇
印度支那	六、〇〇〇	六、五〇〇	七、五〇〇
英領ボルネオ	五、五〇〇	六、〇〇〇	七、〇〇〇
其他諸國	六、〇〇〇	六、五〇〇	七、五〇〇
伯剌西爾	二八、五〇〇	二六、〇〇〇	二八、〇〇〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

	一九二五年	一九二六年	一九二七年
野生護謨	八,五〇〇	一二,〇〇〇	九,〇〇〇
合計	五〇二,〇〇〇	六三八,〇〇〇	五七七,〇〇〇

消費高

（單位噸）

消費國	一九二五年	一九二六年	一九二七年
北米合衆國	三八六,〇〇〇	三六八,〇〇〇	四〇五,〇〇〇
英國	三〇,〇〇〇	四〇,〇〇〇	四七,〇〇〇
佛蘭西	三六,〇〇〇	三九,五〇〇	四二,〇〇〇
獨逸	三七,〇〇〇	二五,〇〇〇	三二,〇〇〇
加奈陀	一七,〇〇〇	二〇,〇〇〇	二三,〇〇〇
日本	一三,〇〇〇	一八,〇〇〇	一九,〇〇〇
伊太利	一二,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一一,〇〇〇
露西亞	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇
濠太剌利	二,〇〇〇	七,〇〇〇	七,五〇〇
スカンヂナビア	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
白耳義、和蘭	三,〇〇〇	三,五〇〇	三,〇〇〇
西班牙	二,五〇〇	二,〇〇〇	二,五〇〇
其他諸國	二,〇〇〇	二,五〇〇	二,五〇〇
合計	五五二,〇〇〇	五四八,〇〇〇	六〇七,〇〇〇

(Inter-Ocean. Apl. '27)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Le budget de 1928 (le T. June 28, '27.P. 2)

Le projet de budget de 1928 (le T. June 29, '27)

和 蘭

De economische Situatie van Nederland (L. N. e. H. No. 27, July 8, '27)

□兩 米 大 陸□

北米合衆國及南米

Present American Policy in China in the Light of the Past. (Concluded from last Week) (C. W. R. Vol. XLI, No. 5, July 2, '27)

A Two Thousand Year Old Precedent for the Mississippi (From the Literary Digest) (C. W. R. Vol. XLI, No. 6, July 9, '27)

De Braziliaansche katoenbouw (L. N. e. H. No. 25, June 24, '27)

□阿 非 利 加□

General

La production du Caoutchouc en Afrique Occidentale Française (M. C. No. 46, June, '27. P. 124)

Maatregelen ter vermeerdering der Palmolie-Product in Fransch-West Afrika (L. N. e. H. No. 27, July 8, '27)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

15, '27)

Nederlandsch-Indochine financieele Politiek (S. Hb. June 15, 16, '27)

Madoereesche affaires (S. Hb. June 18, 20, 21, 23, 24, '27)

Nieuwe wegen in de Suikerindustrie (S. Hb. June 18, '27)

De herziening van het belastingstelsel (S. Hb. June 20, '27)

De huidige toestand aan de Bovendigoel (S. Hb. June 23, '27)

Normalisatie en het belang daarvan voor de Suikerindustrie in Ned-Indië (S. i. N. I. No. 24, June, '27)

Burgerlijk en Militair gezag (S. Hb. June 27, '27)

Wat Indië voor Nederland is (H. N. v. d. D. June 23, '27)

De Bolsjewisatie van Indië (H. N. v. d. D. June 28, '27)

Afschaffing der poenale Sanctie (S. Hb. June 28, '27)

De Politiek-De Graeff (H. N. v. d. D. June 29, '27)

Huwelijksverbod voor Contractanten (H. N. v. d. D. June 29, '27)

Ontvoogde Suikerindustrie (S. Hb. June 30, '27)

Overheids-en Particulier bedrijf (S. Hb. July 1, '27)

De Koelie-wetgeving (H. N. v. d. D. July 2, 5, '27)

De Zout-beperking (S. Hb. July 5, '27)

De Javasche Bank in 1926/27 (S. Hb. July 8, '27)

英領印度

The Dutch in India (I. O. Vol. VIII, No. 5, May,'27. P. 258

Bullion Imports into India in 1926 (Com. R. No. 25, June 20, '27. P. 745)

Mysore Hydroelectric Development, India (Com. R. No. 26, June 27, '27. P. 805)

Protection of the Indian Steel Industry (Com. R. No. 26, June 27, '27. P. 763)

De katoen-industrie in Bombay (S. Hb. July 8, '27)

Rubber Industry. Problem of Pivotal Price (S. F. P. June 25, '27)

其他

New Era Opens for Australia (Com. R. No. 26, June 27, '27. P. 765)

□歐羅巴□

英國

The Colonies and Protectorates (S. F. P. June 15, '27)

Rubber Restriction. No Change in Pivotal Price (S. F. P. June 22, '27)

佛蘭西

La Chine et les intérêts Français (A. T. June 3, 4, 7, 8, 9, '27. P. 1)

La grande prospérité des industries Métropolitaines du Caoutchouc (le C. S. June 8, '27. p. 1)

Les relations Commerciales franco-Espagnoles (le T. June 8, '27. P. 1)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Report on the Budget of the Kingdom of Siam for the year B. E. 2469 (1926 27) (R. No. 23, Jan., '27)

Annual Return of Timber Exported from Bangkok for B. E. 2468 (1925-26) (R. No. 23, Jan., '27)

Summary of Mining Leases Granted and Expired B. E. 2468 (1925-26) (R. No. 23, Jan., '27)

Abstract of the Administration Report for the year B. E. 2467 (1924-1925) (R. No. 24, Apr, '27)

The Railways of Siam (B. T. June 6, 21, 22, 24, '27)

La Culture du tabac au Siam (F. I. June 15, '26. P. 1)

Siam's Opium Policy,-Important Communique (B. T. June 15, July 5, '27)

Dyeing and Weaving in Bangkok (B. T. June 21, '27)

英領馬來

Oil Palm Cultivation in Malaya (I. O. Vol. VIII, No. 5, May, '27. P. 283)

Overassessment of Standard Production (Com. R. No. 24, June 13, '27. P. 671)

The Iron and Steel Trade of British Malay in 1926 (Com. R. No. 24, June 13, '27. P. 680)

Malayan Trade (S. F. P. June 16, '27)

Shipping at Singapore (Com. R. No. 25, June 20,' 27. P. 742)

British Malaya Rubber. 5th Restriction Year (S. F. P. June 24, '27)

Unused Coupons in Malaya and Ceylon (Com. R. No. 26, June 27, '27. P. 795)

British Malaya Rubber. June Statistics (S. F. P. July 4, '27)

Difficulties of Trawl Fishing. Tongkol's Coal and Water Troubles (S. F. P. July 5, '27)

Malayan Fisheries. The Work of the Tongkol (S. F. P. July 6, '27)

Brunei in 1926. A Year of Quiet Prosperity (S. F. P. July 9, '27)

蘭領東印度

The New Constitution of the Netherlands Indies (I. O. Vol. VIII, No. 5, May, '27. P. 249)

Forty-five Years ago in Sumatra (I. O. Vol. VIII, No. 5, May, '27. P. 275)

De koelie-werving (S. Hb. June 4, '27)

De Voornaamste inlandsche landbouwgewassen op Java en Madoera (H. N. v. d. D. June 9, '27)

De Burgerluchtvaart en de verdediging van Indië (S. Hb. June 10, '27)

Het vijf zeventig bestaan van het Tinbedrijf op Billiton (S. Hb. June 10, '27)

De staatsrechtelijke Positie van den Landvoogd (S. Hb. June 10, '27)

Une meerderheid in den volksraad (H. N. v. d. D. June 11, '27)

Het arbeidsveld van Burgerlijke openbare werken (S. Hb. June 13, '27)

De levensstandaard (S. Hb. June 14, '27)

Regeerings-licht in de Vorstenlanden (S. Hb. June 14, 15, '27)

Havenbeheer Priok (H. N. v. d. D. June

U. S. Solons Unconvinced about P. I. Preparedness (P. H. July 10, '27)

Army and Navy Organ Fires First Shot in Fight Coolidge's Plan to Transfer P. I. Control From War Dep't (P. H. July 11, '27)

佛領印度支那

La Province de Hadong (E. A. No. 10, Apr., '27. P. 1)

Recueil de documents pour servir à l' histoire de Saigon (E. A. No.10, May, ,27. P. 433)

La province de Hadong (E. A. No. 11, May, '27. P. 439)

Autour de la Foire de Saigon (le C. S. June 1, '27. P. 1)

La questionde l' enseignement en Indochine F. I. June 4, '27. P. 1)

De Haiphong á paris par les Indes et la Mésopotamie (F. E.I. No. 521, June 5, '27. P. 1)

Les foréts de l'Indochine (E. E. I. No. 521, June 5, ,27. P. 7)

Chronique des Mines (E. E. I. No. 521, June 5, '27. P. 14)

Les exportation Japonaises en Indochine sont en progrès (le C. S. June 8, '27. P. 1)

Un budget autonome des postes pour la Cochinchine (le C. S. June 10, '27. P. 1)

Le tsavail en Indochine (le C. S. June 16, '27. P. 1)

Les travaux d' irrigation en Annam (le C. S. June 16, '27. P. 1)

Les hautes études speciales et les étudiants indochinois (le C. H. June 18, '27. P. 1)

Le Service Océanographi ue des pêches de l' Indochine en 1925—1926 (E. E. I. No. 523, June 19, '27. P. 2)

Chronique des Mines (E. E. I. No. 523 June 19, '27. P. 14)

Le Conseil de défense de l'Indochine (A. T. June 23, '27. P. 1)

De Haiphong á Paris par les Indes et la Mésopotamie (E. E. I. No. 524, June 26, '27. P. 1)

Canseries sur l'histoire d'Annam (F. E. I. No. 524, June 26,'27. P. 4)

Le Service Océanographique des pêches de l' Indochine en 1925—1926 (E. E. I. No.524, June 26, '27. P. 7)

Le travail en Inpochine (le C. H. June 29, '27. P. 1)

La Cochinchine est riche mais son budget est pauvre Pourquoi ? (le C. S. Jnne 29, 30, '27. P. 1)

La situation financière de la Cochinchine F. I. June 30, '27. P. 1)

暹羅

The Foreign Commerce of Siam. Figures for the 2nd and 3rd Quarters (July—Dec.) of the Year B. E. 2469 (R. No. 23, 24, Jan., Apr., '27)

List of Companies and Partnerships Registered and Dissolved during the months Nov.—Dec., 1926 and Jan.—Mar., 1927 (R. No. 23, 24, Jan., Apr., '27)

Annual Statement of Tin and Tin Ore won in Siam for the year B. E. 2468 (1925—26) (R. No. 23. Jan., '27)

Review of the Foreign Trade of Siam in B. E. 2468(1925 26) (R. No. 23, Jan., '27)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Hongkong's Trade Revival (H. D. P. July 7, '27)

A Policy for Hongkong Harbour (H. D. P. July 11, '27)

比律賓

Ifugao. By William B. Goldrick (I. O. Vol. VIII, No. 5, May, '27. P. 255)

Are the Filipinos Ready for Independence? (F. F. R. Vol. XXIII, No. 6, June, '27. P. 250)

Gold, Silver Output of P. I. Is Decreasing (P. H. June 14, '27)

Gilmore Wright are at Odds over Retirement Act (P. H. June 16, '27)

Senator Alegre Tells of Filippinos in Spain (P. H. June 16, '27)

Davao Planter Warns Against Yellow Peril (P. H. June 16, '27)

1927 Income is placed at 72,289,450 (P. H. June 21, '27)

Orchid Hunting in Mindano. Remarkable Pagan Tribe (S. F. P. June 21, '27)

Filippinos Have Lost in Fight for Independence, F. Russell Tells Leader (P. H. June 21, '27)

Governor Ledesma Defeats Montinola in Special Sentorial Election just Held in Iloilo (P. H. June 21, '27)

P. I. on Eve of Boom, States General Wood (P. H. June 22, '27)

Chief Executive of Islands to Quitnas soon as He Calls on Coolidge, is Belief Expressed By New York Times (M. T. June 23, '27)

Tirona, Montilona Accuse Leaders Especially Roxas and Want Coalition Ended (P. H. June 23, '27)

Says Minority's Reason for Asking Dissolution of Coalition is Flimsy (P. H. June 24, '27)

Foreign Capital is Welcome (P. H. June 24, '27)

President Declare Governor General will Come Back to Philippine Islands and Remain here for Indefinite Period (M. T. June 26, ,27)

P. I. Freedom is not Feared (P. H. June 26, '27)

Philippines are not Ready for Independence, Avers Representative Thurston (M. T. June 26, '27)

Governor declares his P. I. Work is Successful (P. H. June 26, '27)

Resignation of Wood in President's Hands, is President Belief (M. T. June 27, '27)

P. I. Lumber will Dominate Japan, U. S. Market Soon (P. H. June 29, '27)

Fear Independent Gov't is too Great for P. I. to Support (P. H. July 6, '27)

Solution of Conflict on Board Urged (P. H. July 6, '27)

Insular Treasurer Wants More Supervisory Power over Banks (P. H. July 7, '27)

Wood Expects Revised Bids for. P.I. Centrals on His Return to N. Y. (P. H. July 8, '27)

Strong says He is Convinced P. I. Leaders are not Sincere (P. H. July 8, '27)

Hotel Sale Terms Fixed by Railroad (P. H. July 9, '27)

Discussion about P. I. is Shifting now from Politics to Economics (P. H. July 10, '27)

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Who's Who in China. Mr. Wong Shu Min (黃首民) (C. W. R. Vol. XLI, No. 4, June 25, '27)

Kuomintang Composes Difference, United on Northern Campaign? By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLI, No. 4, June 25, '27)

Soviet Plots in China (C. E. T. Vol. LXIX, No. 3332, June 30, '27. P. 489.)

Curfew in Shanghai (C. E. T. Vol. LXIX, No. 3332, June 30, '27. P. 490.)

Chinese Labour Migration to Manchuria. By C. Walter Young (C. E. J. Vol. I, No. 7, July, ,27. P. 613)

History of the Chihli River Commission (C. E. J. Vol. I, No. 7, July, '37. P. 634)

References to Early Manchu Economy in the Annals on the Foundation of the Manchu Empire (C. E. J. Vol. I, No. 7, July, '27. P. 645)

China's Industrial Development. By D. K. Lieu (C. E. J. Vol. I, No. 7, July, '27. P. 654)

China's Railways in 1924 (C. E. J. Vol. I, No. 7, July, '27. P. 675)

Silk Filatures at Shuntch (順德), Kwangtung (C. E. B. Vol. XI, No. 332, July 2, '27)

Manchurian Tiger's New Role. By Carales Dailey (C. W. R. Vol. XLI, No. 5, July 2, '27)

Foreign Nationals in China (Chinese Economic Journal) (C. W. R. Vol. XLI, No. 5, July 2, '27)

Who's Who in China. Mr. Teng Shou-chuan (鄧壽荃) (C. W. R. Vol. XLI, No. 5, July 2, '27)

Chiang Kai-shek and Feng Yu-Hsiang. By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLI, No. 5, July 2, '27)

Flour Market in North Manchuria (C. E. B. Vol. XI, No. 333, July 9, '27)

Foochow Money Market (C. E. B. Vol. XI, No. 333, July 9, '27)

The Financial Program of the Nationalist Government. By Dr. Kan Lee (C. W. R. Vol. XLI, No. 6, July 9, '27)

Arthur Ransome-'Piscatologist' By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLI, No. 6, July 9, '27)

The Present War—An Interpretation. By C. Y. W. Meng (C. W. R. Vol. XLI, No. 6, July 9, '27)

Woh's Who in China. General Li Yuan (李垣字謙六) (C. W. R. Vol. XLI, No. 6, July 9, '27)

The Present Status of the Military Situation. By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLI, No. 6, July 9, '27)

Chow Pei-Chen to Head Local Branch of Central Bank. Mr. Chow Pei-Chen (周佩箴) (C. W. R. Vol. XLI, No. 6, July 9, '27)

Liuan Tea (六安茶) (C. E. B. Vol. XI, No. 334, July 16, '27)

Foochow Printers (C. E. B. Vol. XI, No. 334, July 16, '27)

Business Conditions in Hangchow (C. E. B. Vol. XI, No. 334, July 16, '27)

Colony's Rateable Value. The 1927—28 Assessment (H. D. P. June 24, '27)

Colony's Financial Position (H. D. P. June 24, '27)

Reports on the Trade Loan (H. D. P. June 4, ,27)

Hongkong Finance in 1926 (H. D. P. June 24, '27)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

1, 1927 (Com. R. No. 26, June 27, '27. P. 799)

De resultaten der economische wereldconferentie (L. N. e. H. No. 27, July 8, '27.)

□亞 細 亞□

General

Trade in the Far East (S. F. P. June 20, '27)

日 本

Japan's Food Problem. Menaced by the Chaos in China (F. E. R. Vol. XXIII, No. 6, June, '27. P 245)

L' Industrie des engrais chimiques au Japon (E. E. I. No. 523, June 19, '27. P. 9)

La Culture des perles au Japon (le C. S. June 25, '27. P. 1)

支 那 及 香 港

The Principles of Sun Yat Sen and the Principles of Jesus as Seen Through Chinese Eyes. By Frank R. Millican (C. R. Vol. LVIII, No. 4, Apr., '27)

Yunnan Weathers Hard Times (Com. R. No. 24, June 13, '27. P. 692)

Motor Cars in China. Possibilities of development (C. E. T. Vol. XVIII, No. 6, June 16, '27. P. 153)

Nanking as a Government in the Making. By R. S. Pickens (C. W. R. Vol. XLI, No. 3, June 18, '27)

Present American in China in the Light of the Past (Foreign Policy Association Information Service) (C. W. R. Vol. XLI, No. 3, June 18, '27)

Why don't Chinese Eat American Sardines? By Geo. W. Missemer (C. W. R. Vol. XLI, No. 3, June 18, '27)

Who's Who in China. Dr. Sarkon K. Ou, Wu Shou-kung (伍守恭) (C. W. R. Vol. XLI, No. 3, June 18, '27)

Truth and Propaganda Regarding the Situation in the North. By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLI, No. 3, June 18, '27)

Market for Hardware in the Provincial Towns of China (Com. R. No. 25, June 20, '27. P. 716)

A Short History of the Yuan Dollar (C. E. B. Vol. X, No. 331, June 25, '27)

Kerosene on Foochow Market (C. E. B. Vol. X, No. 331, June 25, '27)

Changchow, An Important Agricultural and Industrial District (C. E. B. Vol. X, No 331, June 25, '27)

Shanghai's Best Asset—The Electricity Department (C. E. B. Vol. X, No. 331 June 25, '27)

Shanghai's Status, Past, Present and Future. By. G. W. M. (C. W. R. Vol. XLI, No. 4, June 25, '27)

Present American Feeling About China. By Grover Clark (Editor the Peking Leader) (C. W. R. Vol. XLI. No. 4, June 25' '27)

"What Price Nationalism?" By Thomas Elison Ennis (Manager, Chung Mei News Agency, Peking) (C. W. R. Vol. XLI, No. 4, June 25, '27)

Present American Policy in China in the Light of the Past. (Continued from Last Week) C. W. R. Vol. XLI, No. 4, June 25, '27)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那南洋其他海外
重要記事索引

臺灣總督官房調査課

◆ 新聞雜誌略號一覽表 ◆

A. T. L' avenir du Tonkin (June 1-30, '27)

B. T. Bangkok Times (May 18—July 16, '27)

C. E. B. Chinese Fconomic Bullentin (Vol. X, No. 331, June 25 Vol. XI, No. 334, July 16, '27)

C. E. J. Chinese Fconomic Journal (Vol. I, July, '27)

C. E. T. China Express and Telegraph (Vol. XVIII, No. 6, June 16-Vol. LXIL, No. 3332, June 30, '27)

Com. R. Commerce Reports (No. 23, June 5—No. 26, June 27, '27)

C. R. Chinese Recorder (Vol. LVIII.No. 4, Apr., '27)

C. W. R. China Weekly Review (Vol. XLI, No. 3, June 18—No. 6, July 9, '27)

E. A. Extrême-Asie (Apr.—May, '27)

E. E. I. L' éveil économique de l' Indochine (June 5—26, '27)

F. E. R. Far Eastern Review (Vol. XXIII, No. 6, June, '27)

F. I. France-Indochine (June 1—30, '27)

H. D. .P. Hongkong Daily Press (June 16—July 11, '27)

H.N.v.d.D. Het Nieuws van den Dag (June 8-July 5, ,27)

I. O. Inter Ocean (Vol. VIII, No. 5. May, '27)

le C. H. Le Courrier d'Haihong (June 1—30, '27)

le C. S. Le Courrier Saigonnais (June 1-30, '27)

L. N. e. H. Landbouw, Nijverheid en Handel (June 17-July 8, '27)

le T. Le Temps (June 1-30, '27)

M. C. Le Monde Colonial (June 1—30,'27)

M. T. Manila Times (May 25-June 27, '27)

P. H. Philippine Herald (June 12—July 11' '27)

R. The Record (No. 23, Jan., No. 24, Apr., '27)

S. F. P. Singapore Free Press (June 16-July 18, '27)

S. Hb. Soerabajasch Handelsblad (June 4-July 8, '27)

S. i. N. I. Suikerindutrië in Ned-Indië (No. 24, June, '27)

□ 世 界 □
General

Prize Essays on Rubber (S. F. P. June 23, '27)

Extent of Worlp Modernization on January

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN